使い方の手びき

《取扱説明書》

JANOME

安全上のご注意

◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
◆お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。　For use in Japan only.

危害・損害の程度を表わす表示

警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	**注意** この表示の欄は「傷害を負う可能性および物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

本文中の図記号の意味

	△記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。 図の中には具体的な注意内容を表示しています。（左図の場合は一般的な注意）
	⃠記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。 図の中には具体的な禁止内容を表示しています。（左図の場合は分解禁止）
	●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 図の中には具体的な指示内容を表示しています。（左図の場合は一般的な強制）

⚠ 警告　感電・火災の恐れがあります。

必ず実行

一般家庭用、交流電源 100 Vでご使用ください。

必ずプラグを抜く

以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。
・ミシンのそばを離れるとき
・ミシンを使用したあと
・ミシン使用中に停電したとき

⚠ 注意　感電・火災・けがの原因となります。

分解禁止

お客様自身での分解はしないでください。

接触禁止

ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。

禁　止

ぬい中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。針が曲がり、針折れの原因になります。

禁　止

曲がったり、先のつぶれた針は、ご使用にならないでください。

禁　止

フットコントローラーの上に物をのせないでください。

禁　止

このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。
付属の専用電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。

禁　止

プラグ受けに糸くずや、ほこりがたまらないようにしてください。

注　意

お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。

必ず実行

針および押さえは、確実に固定してください。
また、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。
針が押さえにあたり、けがの原因になります。

必ず実行

以下のことをするときは、電源スイッチを切ってください。
・押さえ、アタッチメントを交換するとき
・上糸、下糸をセットするとき

必ず実行

電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜いてください。

必ずプラグを抜く

以下のことをするときは、電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。
・針、針板を交換するとき
・ミシンのお手入れを行うとき

必ずプラグを抜く

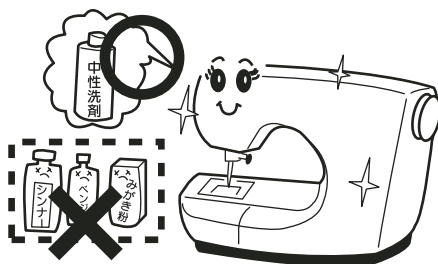
ミシンに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてお買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。
・正常に作動しないとき
・水に濡れたとき
・落下などにより破損したとき
・異常な臭い・音がするとき
・電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき

目次

おとり扱いについてのお願い

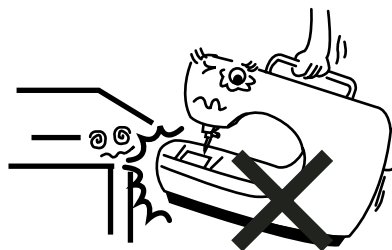
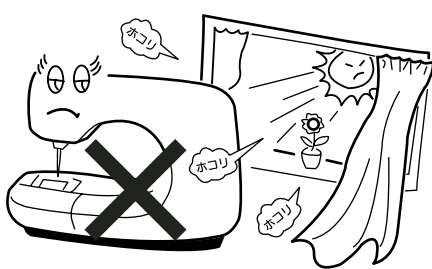
◇ご使用の前に

① ほこりや油などで、ぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよく拭いてください。

② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

◇いつまでもご愛用いただくために

① 長時間日光に当てないでください。

② 湿気やほこりの多いところは避けてください。

③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。

◇ 修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障を生じたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」（162～164ページ）により点検・調整を行ってください。

ぬう前の準備

各部のなまえ

糸立て棒
糸こま押さえ
早見表
天板
糸切り
糸巻き軸
押さえ圧ダイヤル
面板
液晶表示画面（タッチパネル）
糸切り・糸押さえ
糸通し
針板
スピードコントロールつまみ
糸通しボタン
角板
上下停針ボタン
角板開放ボタン
止めぬいボタン
返しぬいボタン
補助テーブル
スタート・ストップボタン

天びん

手さげハンドル

はずみ車

押さえ上げ

BHレバー

メモリーカード
差し込み口

メモリーカード
（別売品）

ドロップつまみ

メモリーカード
取り出しボタン

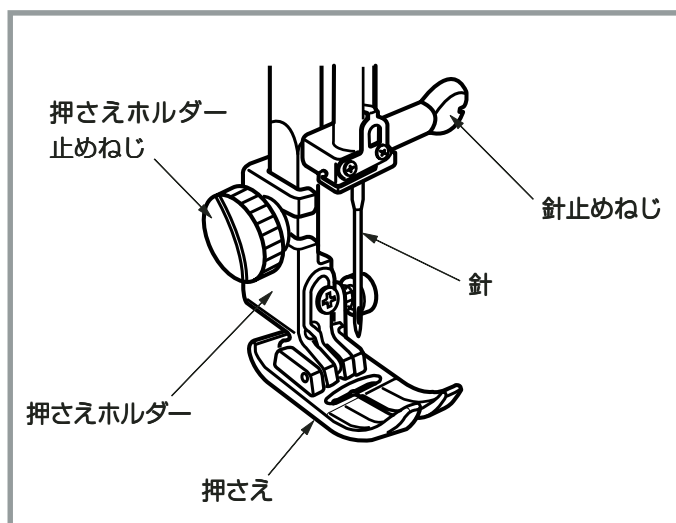
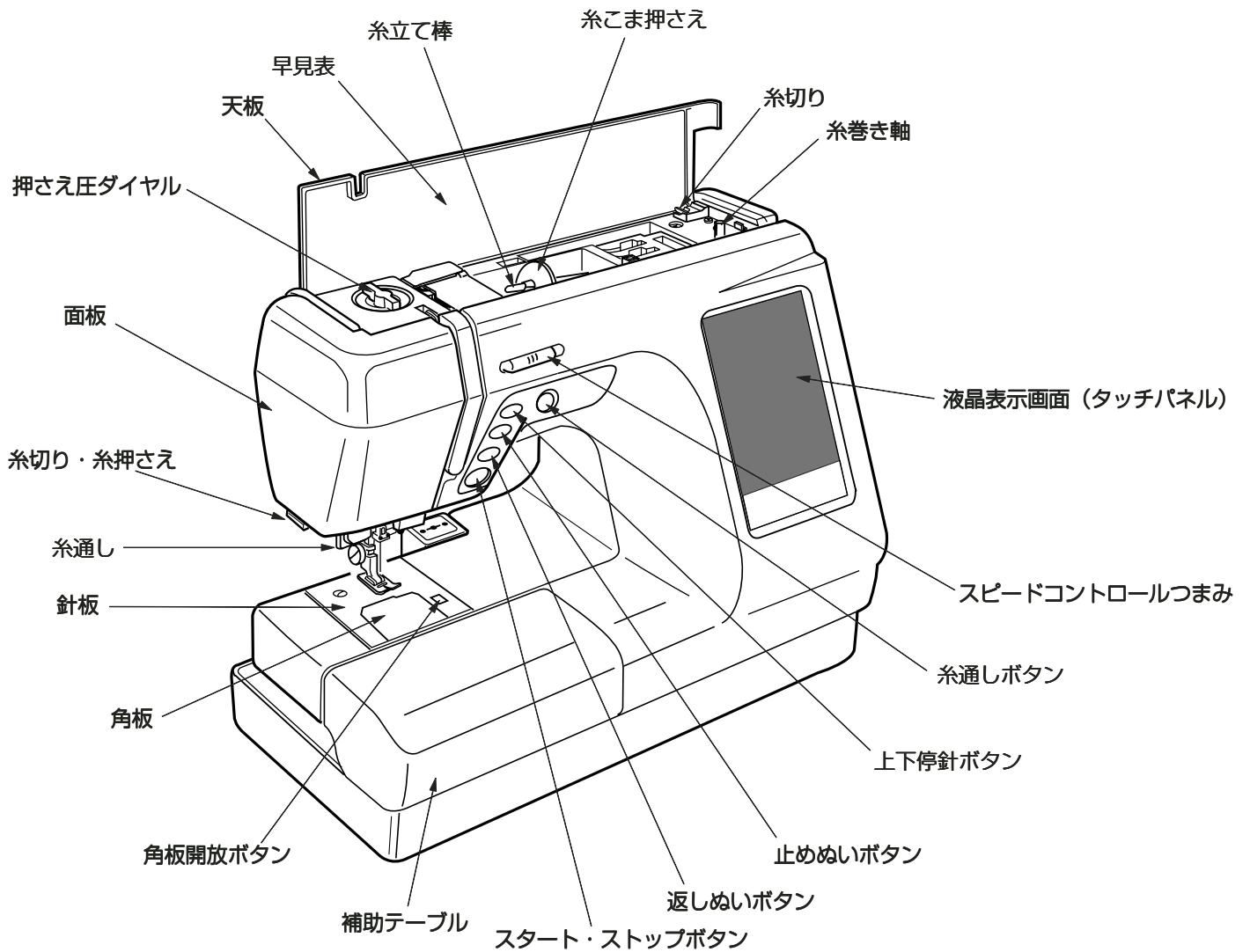
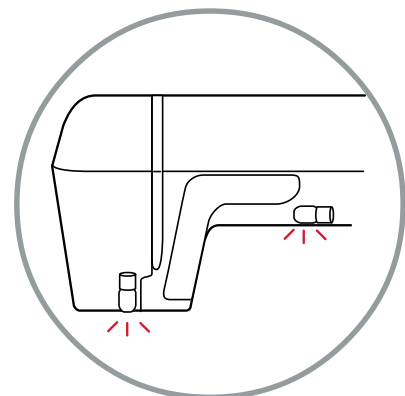
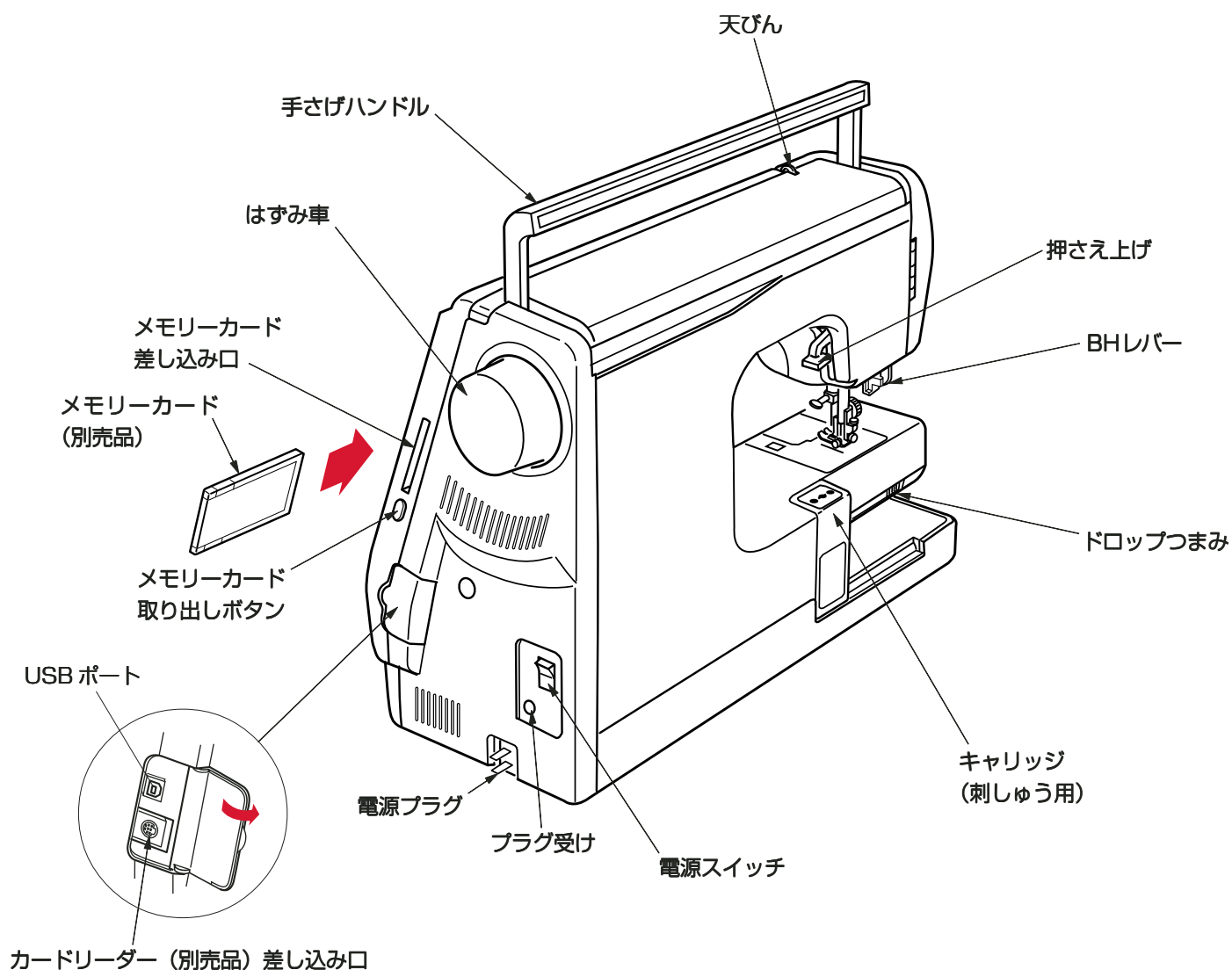
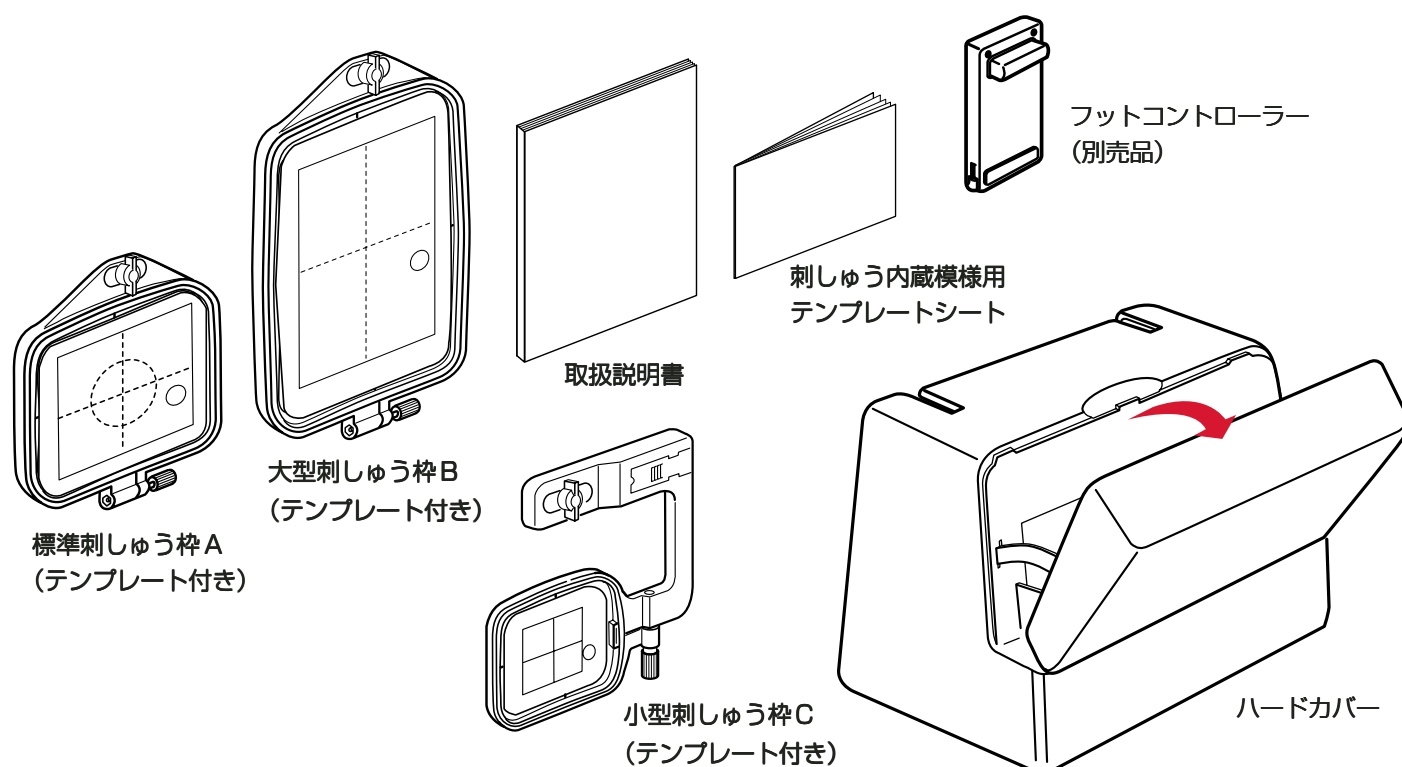
USB ポート

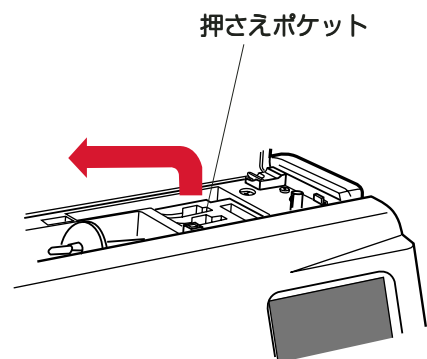
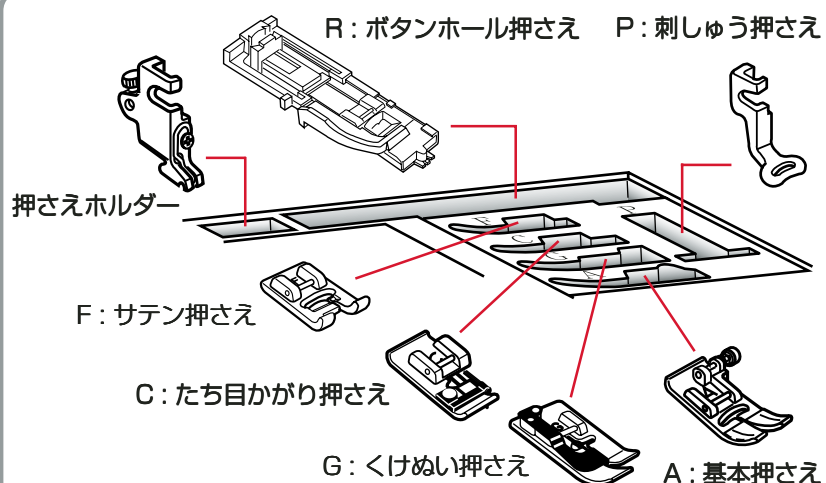
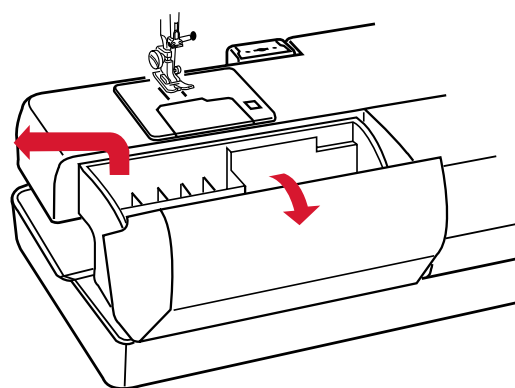
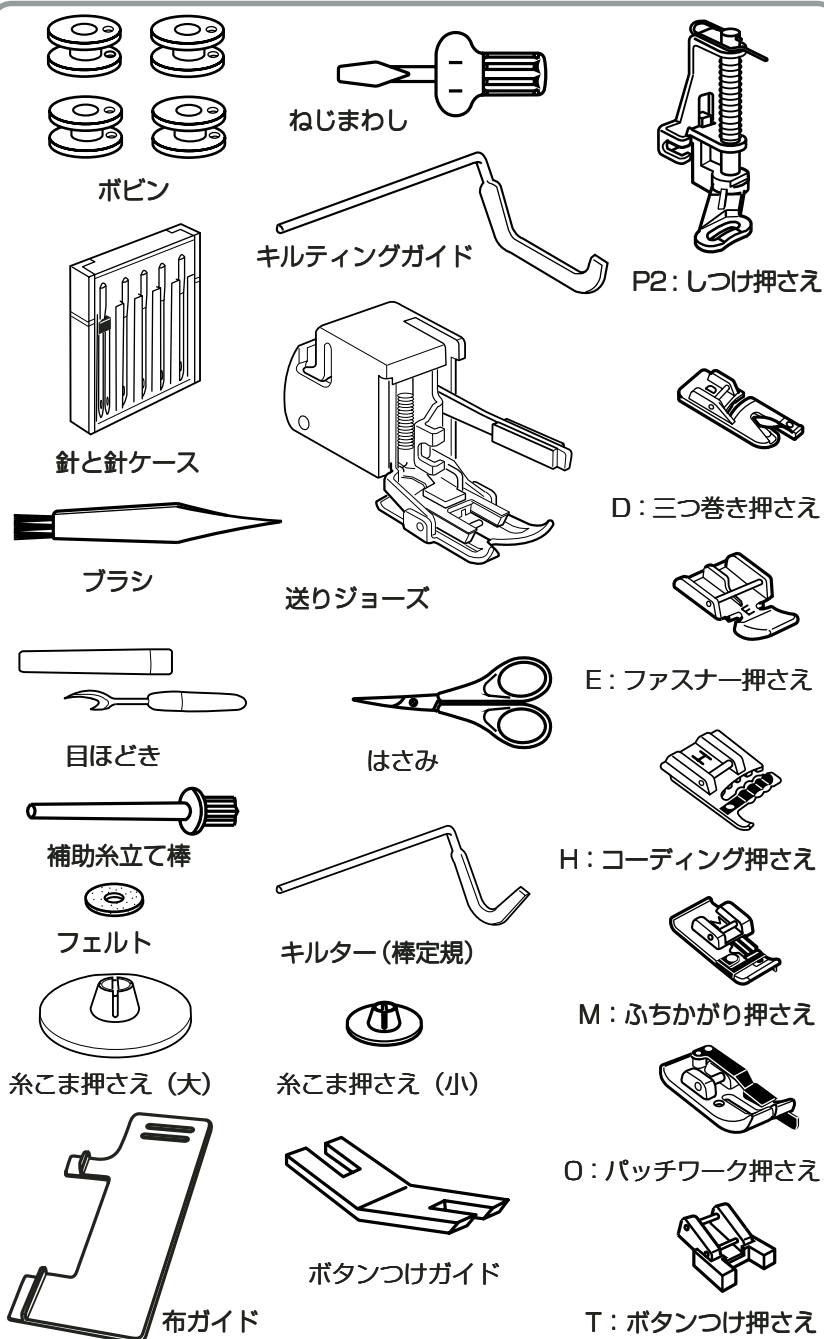
キャリッジ
（刺しゅう用）

電源プラグ

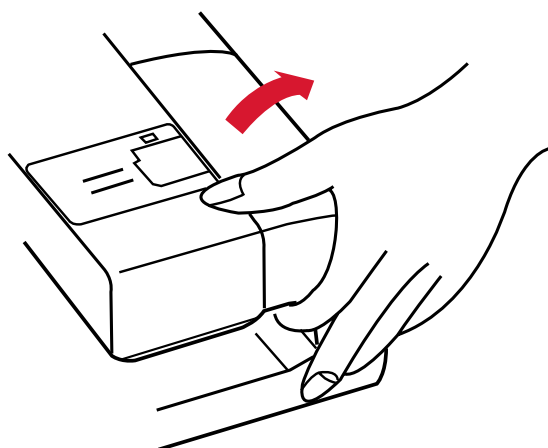
プラグ受け

電源スイッチ

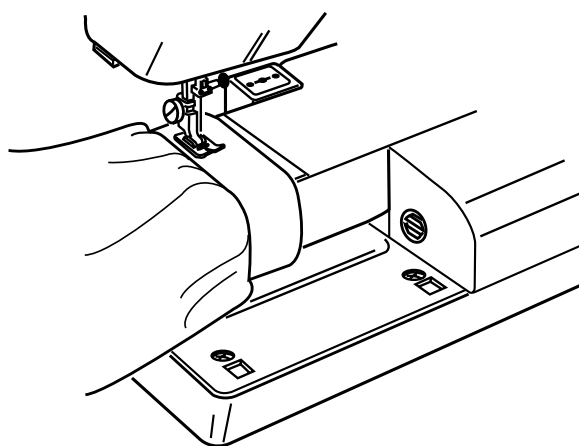
カードリーダー（別売品）差し込み口

標準付属品と収納場所（1）

標準付属品と収納場所（2）

※A：基本押さえは、ミシンについています。

補助テーブルを開くと、小物入れに標準付属品が収納できます。

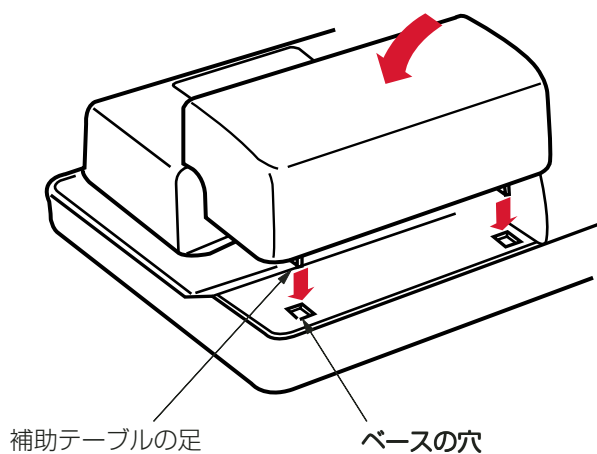
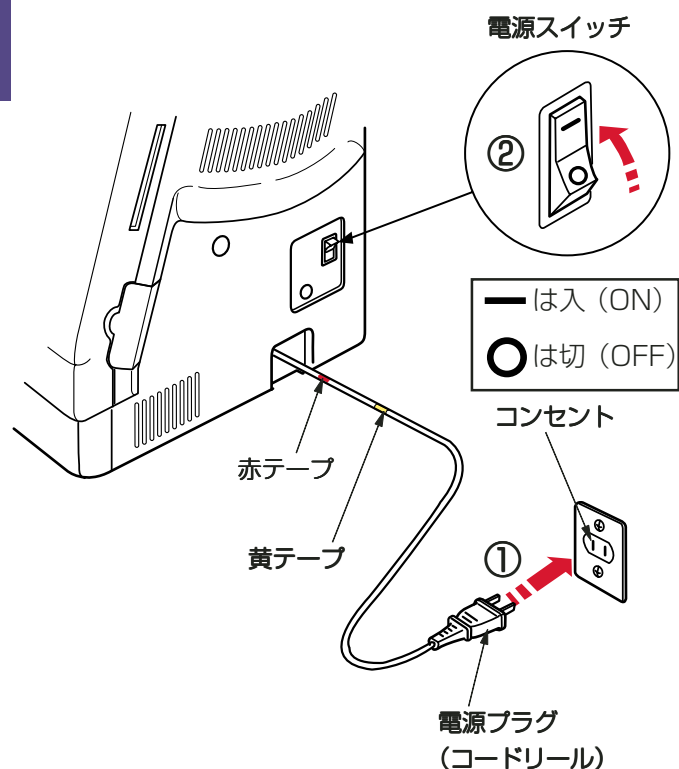
※糸こま押さえ（大）は、ミシンについています。

補助テーブルの使い方

はずし方

はずすときは、補助テーブルを閉じて、下側に手をかけて持ちあげます。

フリーアームの使い方

袖口やすそなどのぬい、および、ふくろ物の口端の始末に利用します。

つけ方

つけるときは、ベースの穴に補助テーブルの足をのせて上から軽く押しつけます。

電源のつなぎ方

スタート・ストップボタンの使用

① 電源スイッチを「切」にして、電源プラグを引き出しコンセントに差し込みます。

② 電源スイッチを「入」にします。

注意

1. 電源は、一般家庭用（100V　50/60Hz）です。
2. 電源プラグのコードリールは、黄テープが出てきたらゆっくり引いてください。また、赤テープの印より引き出さないでください。
3. 電源スイッチの「入」、「切」の操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも5秒以上の間かくをあけてください。

⚠ 注意

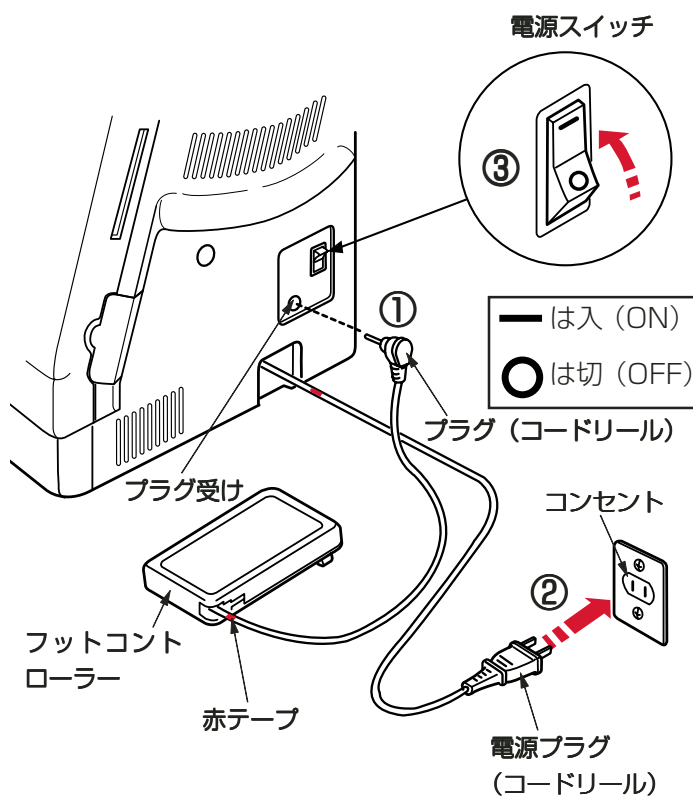
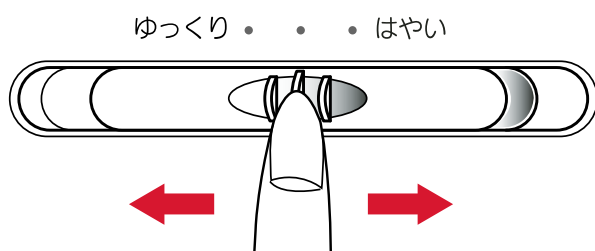
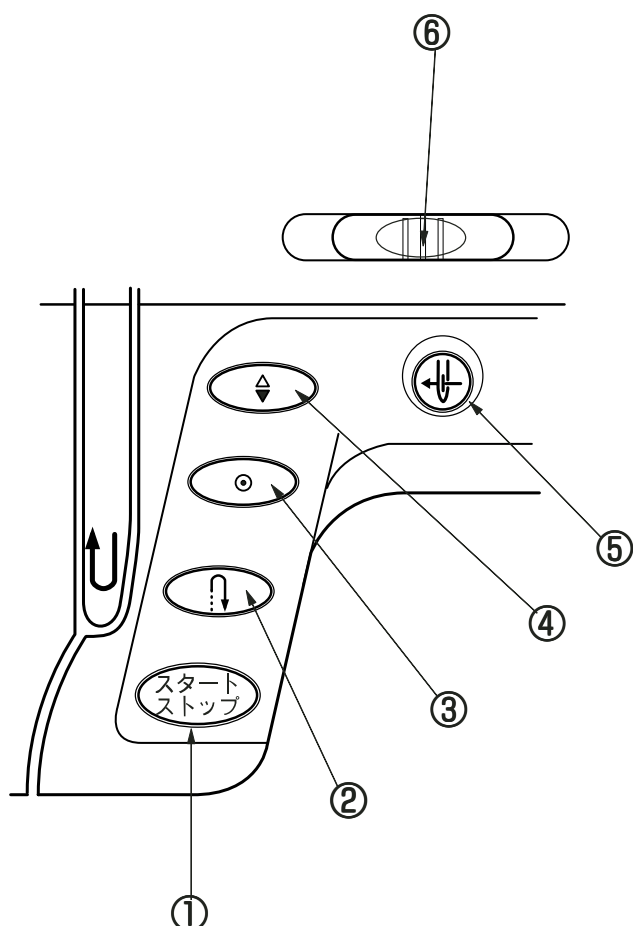
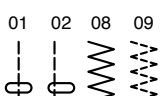
ミシンを使わないときには、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

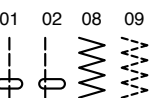
感電・火災の原因になります。

フットコントローラー（別売品）の使用

① 電源スイッチを「切」にして、フットコントローラーのプラグをプラグ受けに差し込みます。
② 電源プラグを引き出しコンセントに差し込みます。
③ 電源スイッチを「入」にします。

注意

1. 電源は、一般家庭用（100V　50/60Hz）です。
2. フットコントローラーのコードリールは、赤テープの印より引き出さないでください。
3. 電源スイッチの「入」、「切」の操作はコンピュータに負担をかけるので、少なくとも5秒以上の間かくをあけてください。
4. 刺しゅうぬいモードでは、フットコントローラー（別売品）は使用できません。スタート・ストップボタンを使用してください。
5. フットコントローラーの上に物を置かないようにしてください。

操作ボタンのはたらき

①スタート・ストップボタン

ボタンを押すと、ミシンは数針ゆっくりとぬってから、スピードコントロールつまみでセットした速さでぬいはじめます。

※ スタートさせると、ボタンが「緑」から「赤」に変わります。

②返しぬいボタン

模様 01 02 08 09 は、ボタンを押している間は返しぬいをします。
その他の模様のときには、すぐに止めぬいをして自動的に止まります。

【停止中の返しぬい】(スタート·ストップボタン使用時のみ)
模様＃01、02、08、09は、ミシンが動いていない状態で返しぬいボタンを押すと、押している間は返しぬいをし、指をはなすと止まります。

③止めぬいボタン

模様 01 02 08 09 は、ボタンを押すと数針止めぬいをして自動的に止まります。
その他の模様ぬいのときには、模様を完成させたあと、止めぬいをし自動的に止まります。

④上下停針ボタン

ミシンが止まっているときボタンを押すと、針が上位置から下位置に切り変わります。もう一度押すと、上位置に切り変わります。

⑤糸通しボタン

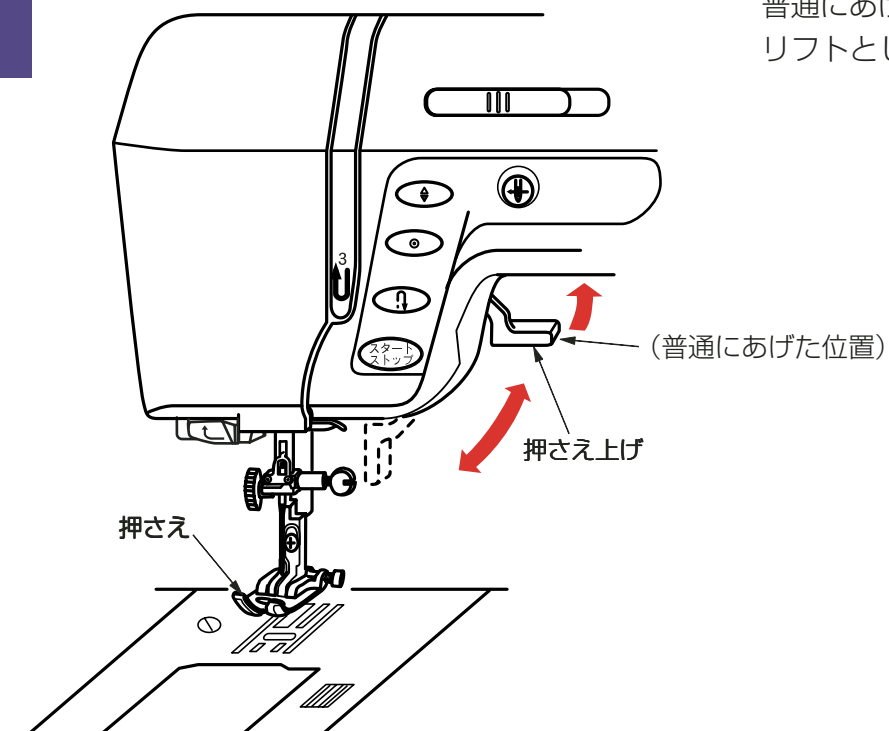
針に糸を通すときに、ボタンを押します。
(２０ページをごらんください。)

ゆっくり • • • はやい

⑥スピードコントロールつまみ

ぬう速さは、スピードコントロールつまみで自由にセットできます。

押さえ上げ

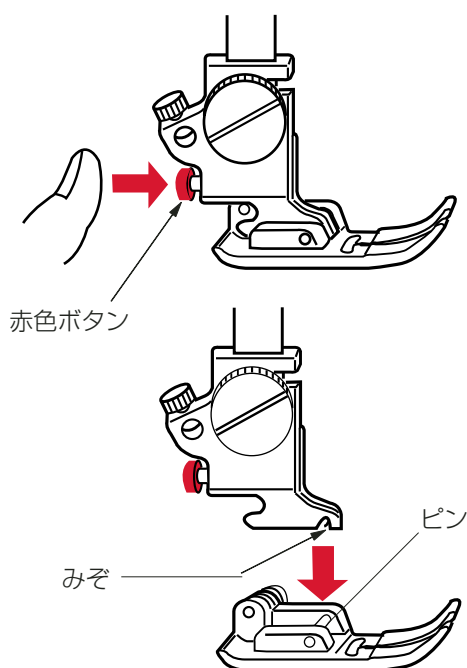
押さえ上げで、押さえのあげさげを行います。
普通にあげた位置よりさらにあげることも出来補助リフトとして使用します。

押さえのとりかえ

押さえのとりかえは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

押さえのはずし方、つけ方

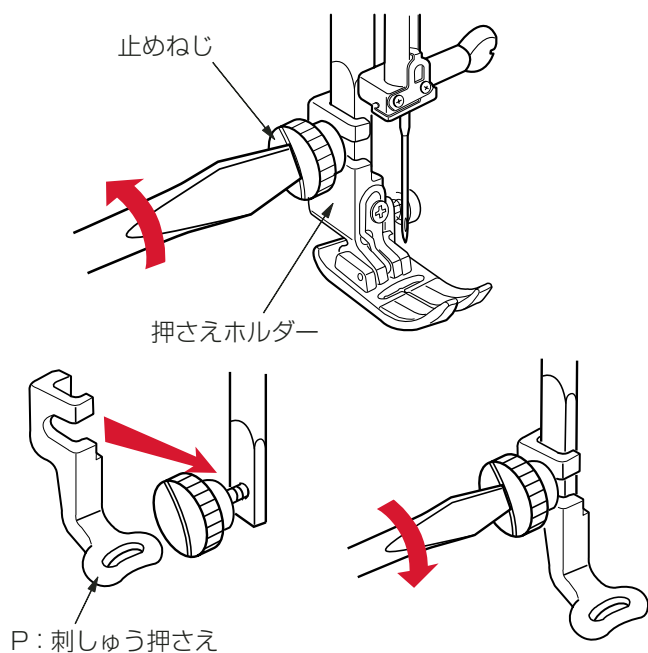
① 針をあげ、押さえをあげます。

② 押さえホルダーの赤色ボタンを押して、押さえをはずします。

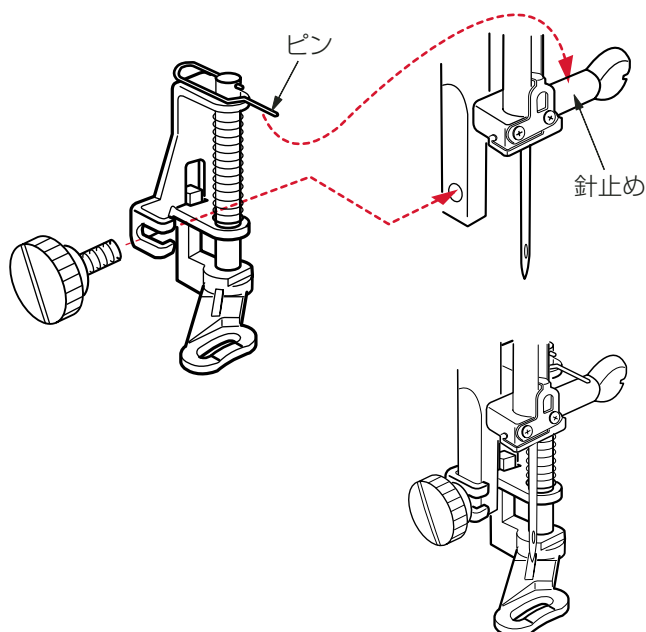
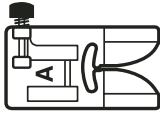
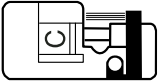
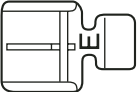
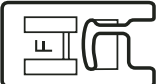
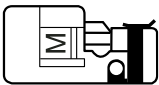
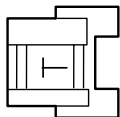
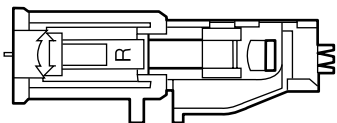
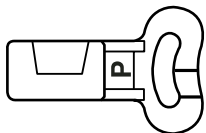
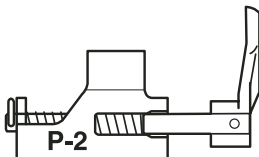
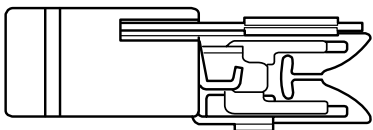
③ 押さえのピンを押さえホルダーのみぞの真下において、押さえをおろします。

各種押さえのとりつけ方

【P：刺しゅう押さえ】

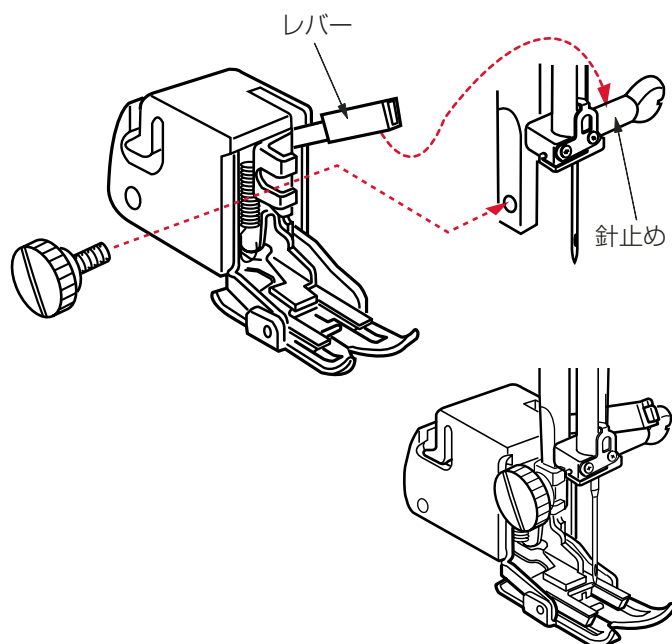
① 針と押さえをあげ、止めねじをゆるめて押さえホルダーをはずします。

② 刺しゅう押さえをとりつけ、ねじまわしで止めねじをしっかりしめます。

【P2：しつけ押さえ】

① 針と押さえをあげ、止めねじをゆるめて押さえホルダーをはずします。

② しつけ押さえのピンが針止めにのるように、押さえ棒にとりつけ、ねじまわしで止めねじをしっかりしめます。

【送りジョーズ】

① 針と押さえをあげ、止めねじをゆるめて押さえホルダーをはずします。

② 送りジョーズのレバーが針止めにのるように、押さえ棒にとりつけ、ねじまわしで止めねじをしっかりしめます。

各種押さえと用途

押さえ	用　　途
A：基本押さえ	直線ぬいを主に、地ぬいをするときに使用します。糸締まりがよく、パッカリング（ぬい目がしわになる）の発生にも強い形状をしています。
C：たち目かがり押さえ	たち目かがり専用の押さえで、布の端面での空ぬいに対応するよう右針落ち部をブラシ状にしています。
D：三つ巻き押さえ	三つ巻きぬいによる布端面処理をするために、布端を巻き込むための器具がついています。
E：ファスナー押さえ	ファスナーをぬいつけるための特殊な形をしています。
F：サテン押さえ	サテン模様ぬい、飾り模様ぬいをするための押さえで前後進ぬいで模様を安定させるために押さえの裏が逃げています。
G：くけぬい押さえ	くけぬい専用の押さえで、布の折り端のガイドがついています。
H：コーディング押さえ	コード付け専用の押さえで、コードの案内がついています。

押さえ	用　　途
M：ふちかがり押さえ	ふちかがり専用の押さえで、針落ちに合わせて設けられたピンが布のカーリングを防ぎます。
T：ボタンつけ押さえ	ボタンつけ専用の押さえで、ぬい糸がよく見えるように透明になっています。
O：パッチワーク押さえ	パッチワーク専用の押さえで、ぬい幅を一定にするためのガイドがついています。
R：オートマチックボタンホール押さえ	ボタンホール専用の押さえで、全てのボタンホールぬいと、つくろいぬいに使用します。
P：刺しゅう押さえ	刺しゅう専用押さえで、刺しゅうするときに使います。
P2：しつけ押さえ	しつけぬいや、フリーキルトの押さえで、針の上下と連動して上下する構造になっています。
送りジョーズ	ぬいずれ、パッカリング（ぬい目がしわになる）を防ぐ目的の専用押さえです。

押さえ圧ダイヤルの使い方

普通ぬいのときは ....「３」

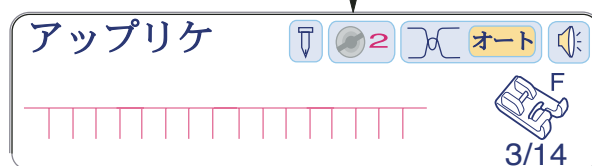
うす手の化繊地や伸縮性のある布などでぬいずれがするとき、または、アップリケなどぬいしろ部分が重なり合うときは ....「２」または「１」

刺しゅうのとき ....「２」

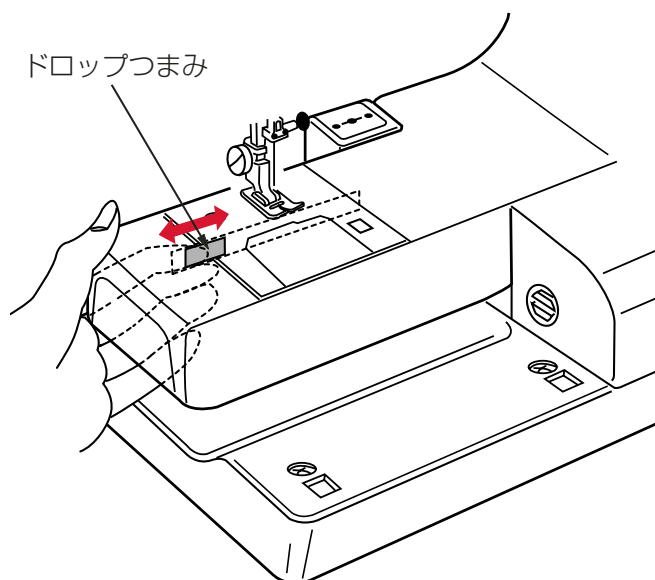
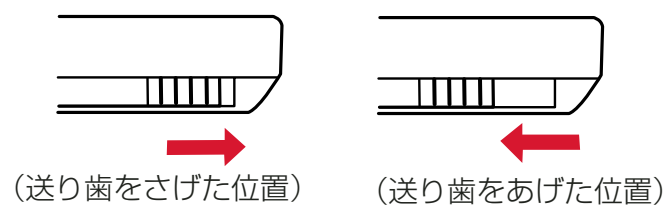
を指示マークに合わせます。

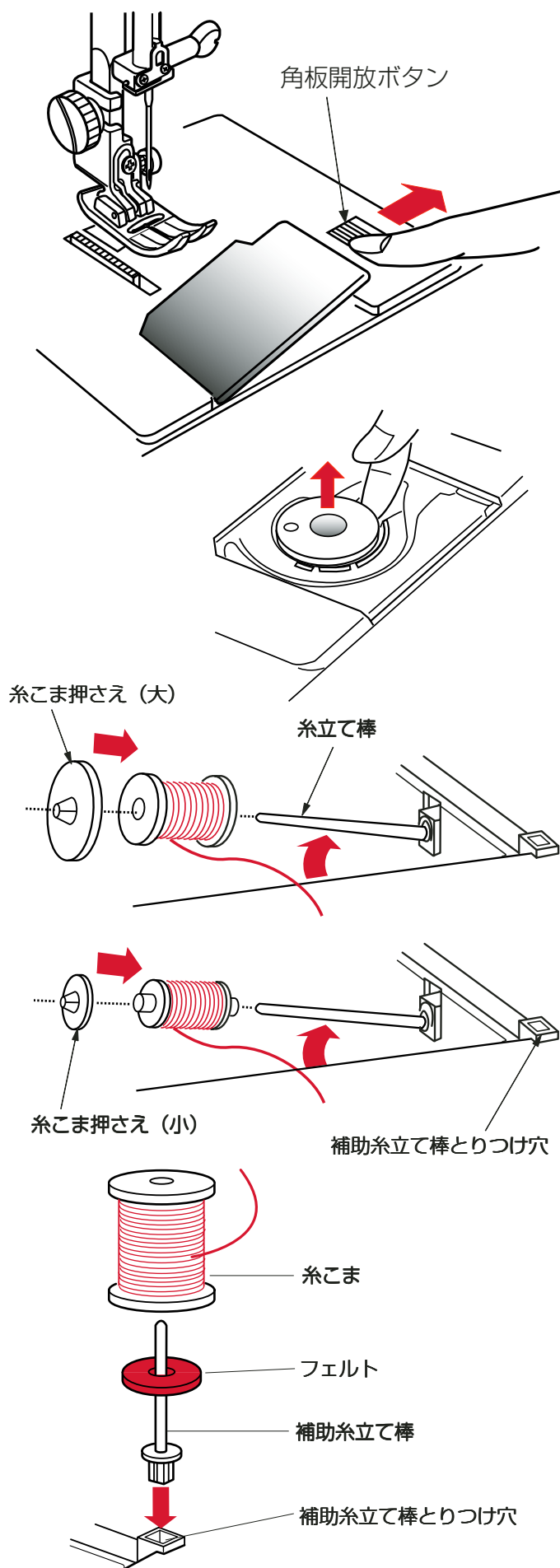
画面に押さえ圧のセットが表示されます。

（用途選択のアップリケ）

アップリケ　2　オート　F　3/14

送り歯のさげ方

【ドロップつまみを手で動かす方法】

（送り歯をさげた位置）　（送り歯をあげた位置）

※自動的に送り歯がさがる模様（ぬい）は、しつけ、ボタンつけ、フリーキルト、刺しゅうモードのときです。

下糸の準備をしましょう

ボビンをとり出します

① 角板開放ボタンを右へずらして角板をはずします。

② ボビンをとり出します。

糸こまをセットします

糸立て棒を軽くおこし、糸の端が下から手前に出るようにして、糸こまを入れ、糸こま押さえで糸こまを押さえます。
※糸こま押さえ(小)は、小さい糸こまに使用します。

補助糸立て棒の利用

補助糸立て棒とりつけ穴に、補助糸立て棒を立て、フェルト、糸こまを入れます。
糸の端は、向こう側から出るようにします。
※ 2 本針ぬいのときにも利用します。

ボビンに糸を巻きます

 スピード・コントロールつまみは、「はやい」の位置にセットします。

① 糸を両手に持って、糸案内カバーのすきまに糸を通します。

② 糸案内(A)と糸案内(B)に糸を通し、糸案内カバーに掛けて右に引き出します。

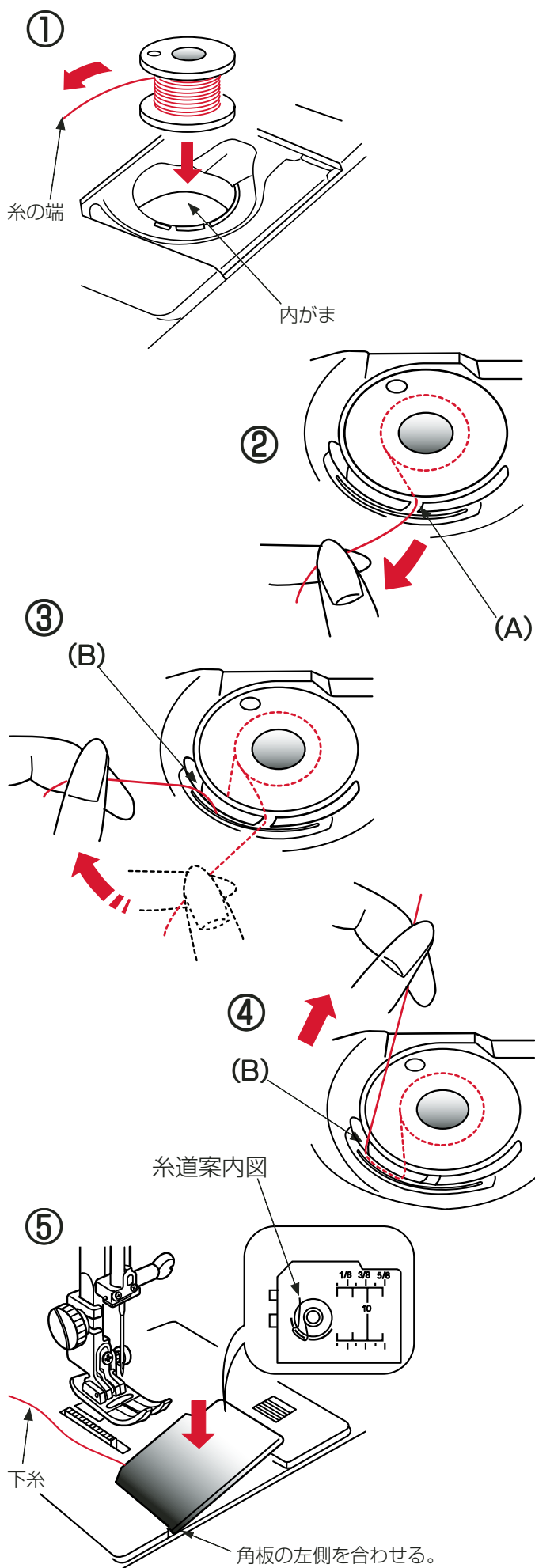
③ ボビンの穴に内側から糸を通し、糸巻き軸に差し込みます。

④ ボビンをボビン押さえの方に押しつけます。

⑤ 糸の端をつまんだまま、ミシンをスタートして、ボビンに糸が二重ほど巻きついたら、ミシンを止めて、つまんでいる糸をボビンのきわで切ります。

⑥ 再びスタートして、巻きおわったらミシンが自動的に止まります。糸巻き軸を戻し、ボビンを糸巻き軸からはずして糸を糸切りで切ります。

注意 糸巻き軸は、必ず、ミシンが止まってから動かしてください。

ボビンをセットします

① 糸の端を矢印方向に出し、ボビンを内がまに入れます。

糸の端
内がま

② 糸の端を引きながら、手前のみぞ（A）に掛けます。

(A)

③ 糸を引きながら、左へ移動させ、みぞの外側とバネの間を通して、左側のみぞ（B）のところに出します。

(B)

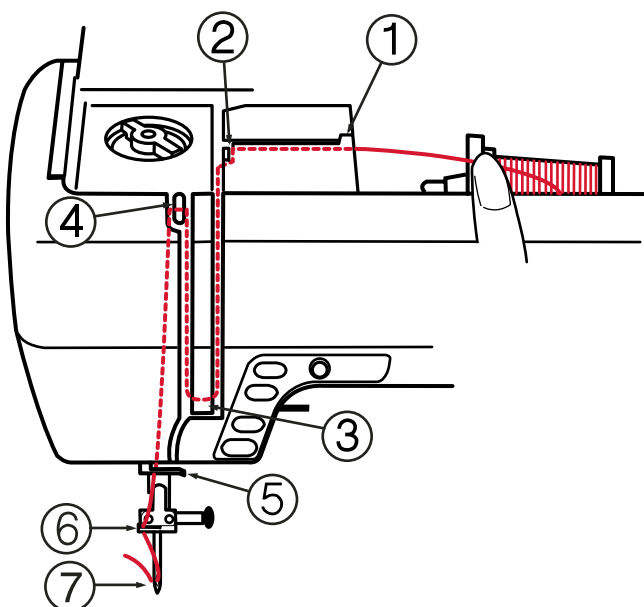
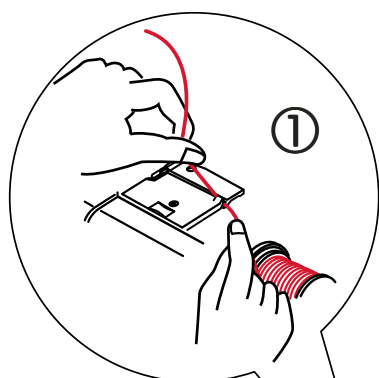
④ 糸を左側のみぞ（B）に掛けるように向こう側に出します。

(B)

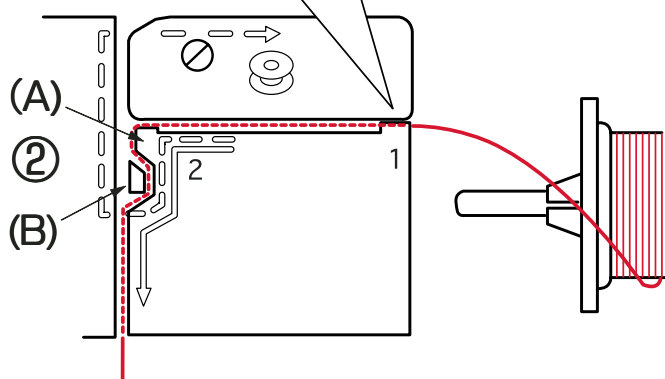
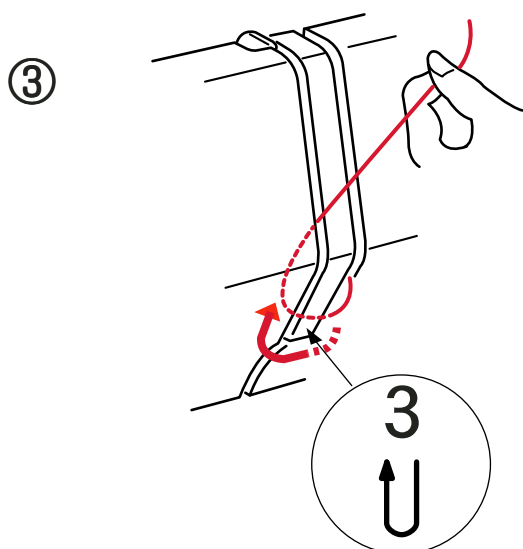
⑤ 下糸は、10cmくらい引き出して、角板を左側から合わせてつけます。

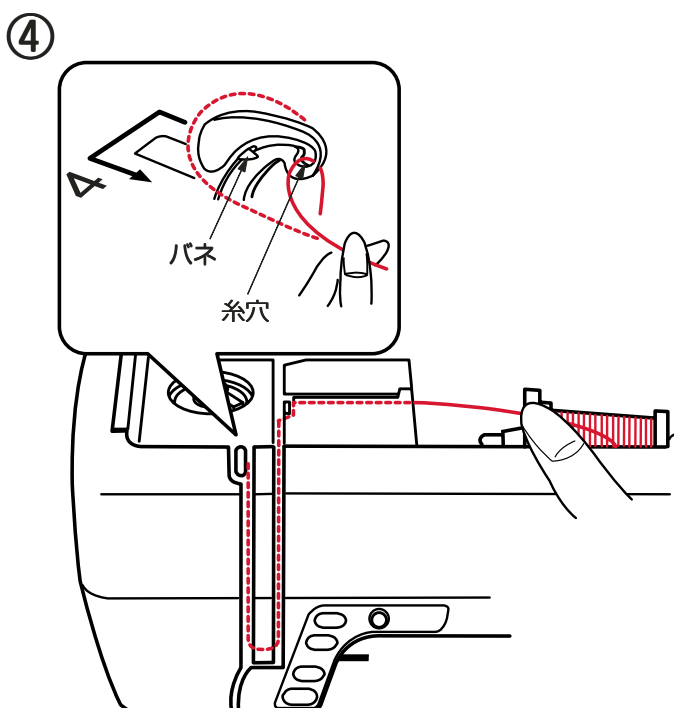
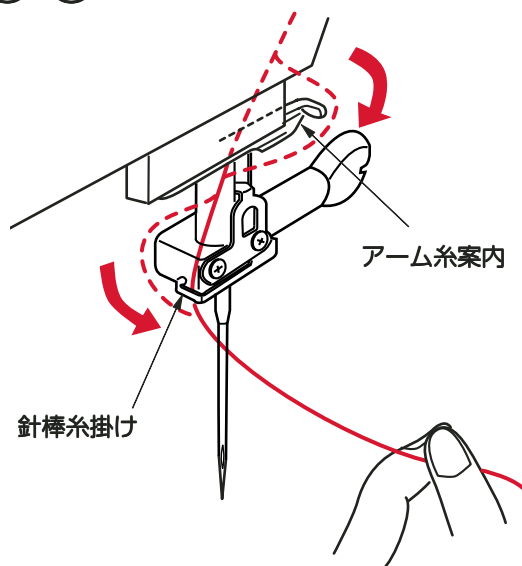
糸道案内図
1/8 3/8 5/8
10
下糸
角板の左側を合わせる。

上糸の準備をしましょう

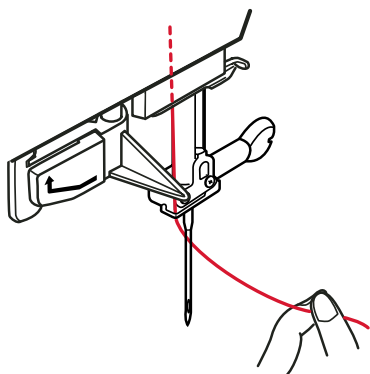
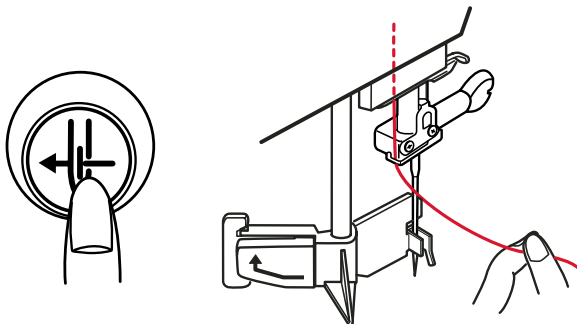
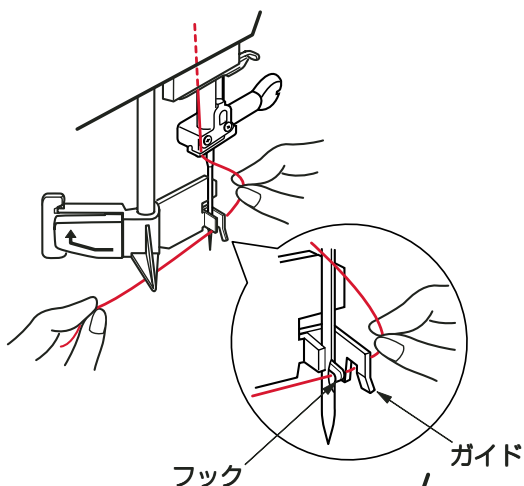
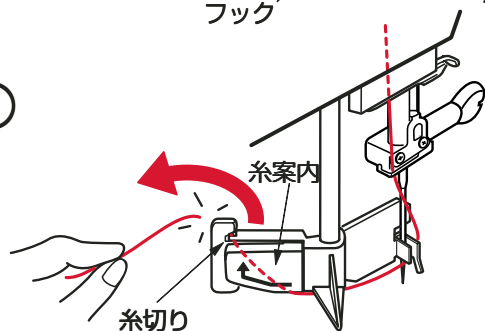
上糸を掛けます

※押さえは、あげておきます。
※電源を入れ、上下停針ボタンで針と天びんを上の位置にしてください。
終わったら、電源スイッチを切ります。
※上糸は①～⑦の順に掛けます。
※③～⑥に掛けるときには、糸こまの糸を押さえておきます。
※⑦（針）には、糸通しを使って通します。

① 糸こまからの糸を両手で持ち、下に押し込むようにして糸案内カバーのすきまに通します。

② 糸案内（A）と糸案内（B）に糸をまわし、みぞにそって手前に糸を引き出します。

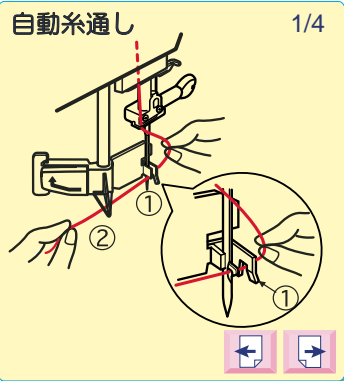
③

③ 押さえがあがっていることを確認して、糸案内板の下をまわし、左上に引きあげます。

④

④ 糸こまの糸を押さえ、天びんに右からうしろへまわし、バネを通過させて糸穴に入れ、まっすぐにおろします。

⑤ アーム糸案内に右から掛けます。

⑥ 針棒糸掛けに左から掛けます。

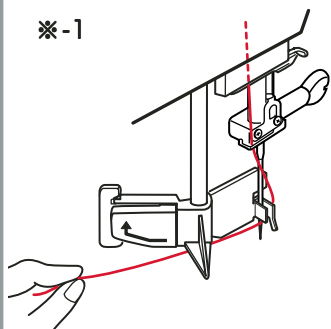
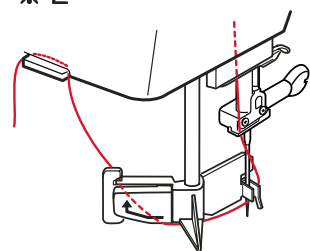
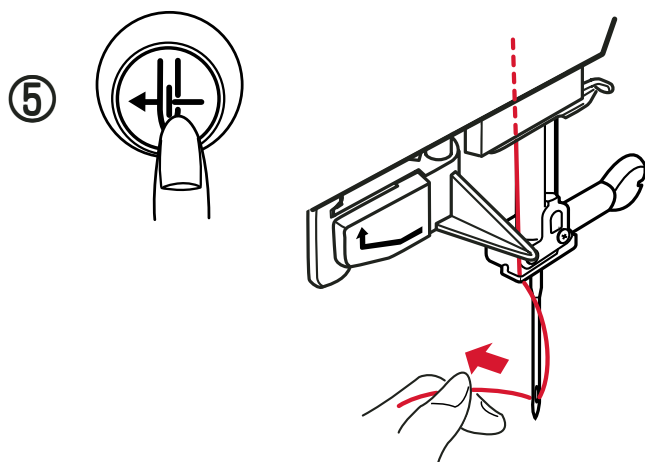
⑦ 糸通しを使って針に糸を通します。
（糸通しの使い方は、20ページをごらんください。）

糸通しを使って針に糸を通します

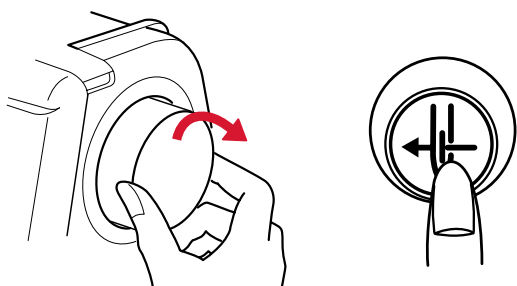
① 押さえをさげ、糸の端を軽く持ちます。

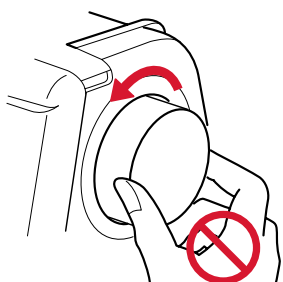
② 糸通しボタンを押します。
糸通しが自動的におりて、フックが針穴に入ります。
※自動糸通しの手順が表示されます。

キーは、後ろのページに他の項目があることを示します。

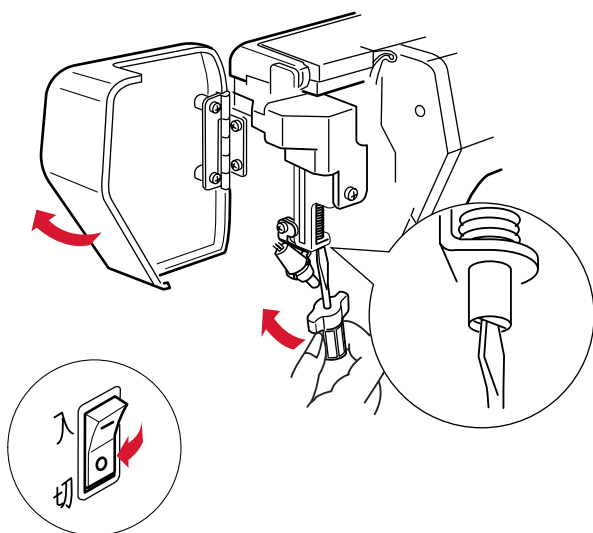
キーは、前のページに他の項目があることを示します。

③ 糸をガイドの下を通し、フックに掛けます。

④ 糸を糸案内の間を通し、糸切りで糸を切ります。

※-1 針と糸によっては、糸案内を通さずに手で持って糸通しボタンを押す方法もあります。
※-2 フィラメント糸を通すときは、糸を切らずに面板の糸押さえに固定して、通してください。

⑤ 糸通しボタンを押すと、糸が針穴を通り、向こう側へ引き出されます。

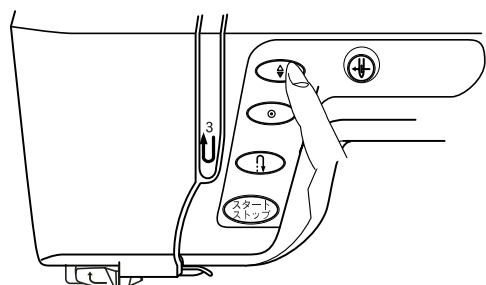
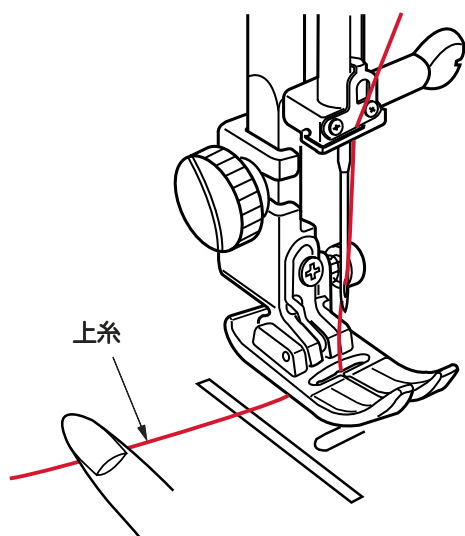
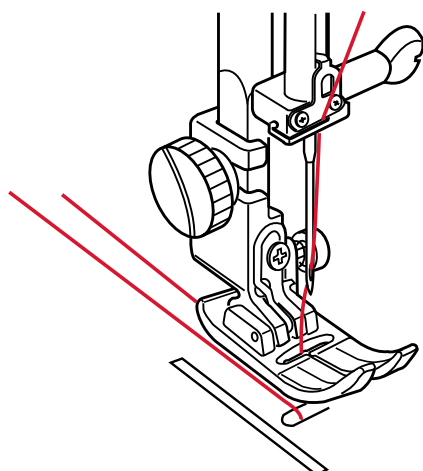
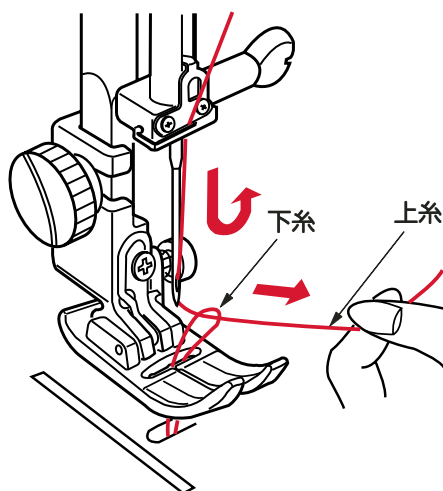
※ 針は、１１番、１４番
糸は、一般糸６０～１２０番
ジャノメ刺しゅう糸５０番が使えます。
※ 糸の２０番、３０番は使用できません。

注意

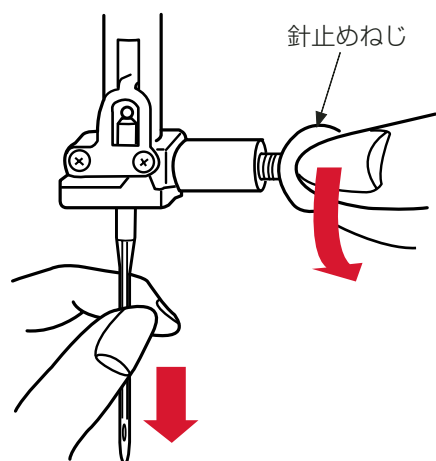
※ 糸通し中「自動糸通し」表示のときに、はずみ車をまわしたときには、糸通しボタンがきかなくなり糸通しがロックしてしまいます。
そのようなときには、はずみ車を向こう側へ少し戻してから、糸通しボタンを押してください。

注意

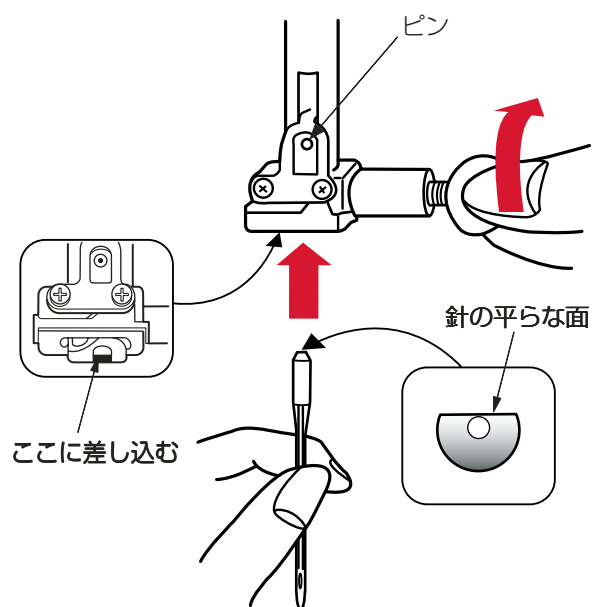
※ 糸通し中には、はずみ車をまわさないでください。故障の原因となります。
※ 糸通しが動いているときは、手でさわらないでください。
※ 高温、多湿の場所では使用しないでください。

注意

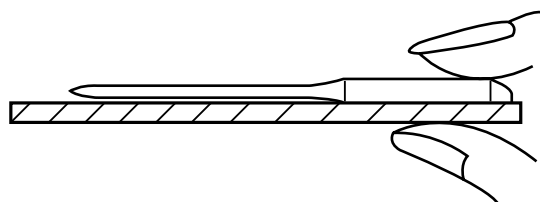
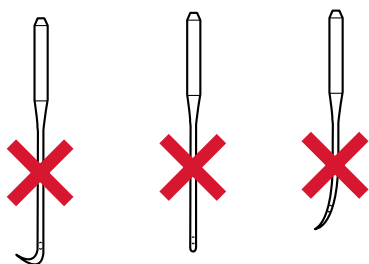
※ 糸通しボタンの操作で、糸通しが戻らないときは、下記の手順で糸通しを戻してください。
1. 電源を「切」にします。
2. 面板を開けます。
（ランプが熱くなっていますので、さわらないようにしてください。）
3. ねじまわしで、軸を１～２回転左にまわして、針穴からフックが抜ける位置にします。
※ 軸は４回転以上まわさないでください。また、反対方向にまわさないでください。故障の原因になります。
4. 電源を「入」にします。（糸通しが初期の位置に戻ります。）
5. 面板をしめます。

下糸の引き上げ方

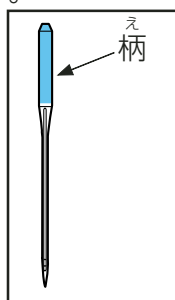
① 押さえをあげ、糸の端を指で押さえておきます。

② 上下停針ボタンを２回押して、針をあげます。
上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。

③ 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約10cm ほど引き出して、そろえておきます。

針のとりかえ方

針のとりかえは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

① 針止めねじを手前に１～２回まわしてゆるめ、針をはずします。

② 針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまで差し込み、針止めねじをかたくしめます。

針の調べ方

針の平らな面を平らな物（針板など）に置いたとき、すきまが針先まで平均に見えるのが良い針です。針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

布に適した糸や針を選ぶ目安

布の厚さ	布の種類				糸	針
	木綿	絹	ウール・化繊織物	ニット		
うすい布	ローン ボイル	シフォンジョーゼット オーガンジー	デシン クレープ モスリン	スムーズニット地 トリコット地	ポリエステル、 ナイロン 90番	9番～11番
普通の布	ブロード サッカー ピケ	タフタ ファイユ サテン	ジョーゼット フラノ サキソニー	ジャカード ニット地	絹糸　50番 綿糸　60番 ポリエステル 60番～90番	11番～14番
					綿糸　50番	14番
厚い布	デニム キルティング ギャバジン		ツィード ギャバジン コート地	ダブルニット地	絹糸　50番 綿糸　40番～50番 ポリエステル60番	14番～16番
					ポリエステル30番 綿糸　30番	16番

※普通上糸と下糸は、同じ糸を使います。
※うすい布には細い糸と針、厚い布には太い糸と針を使いましょう。
※針や糸は、実際にぬう布のはぎれを使って、必ずためしぬいをして確かめてみましょう。
※ジャノメブルー針は、柄(え)の部分が青色をしています。伸縮性のある布（ニット地）や、目とびしやすい合織地・化繊地に効果があります。

モード切り替え

ミシンの電源を入れると、オープニング画面が表示された後、模様選択画面が表示されます。

(1) 通常ぬいモードキー（26ページ）

通常ぬい状態にミシンがセットされ、通常ぬいの使用目的に合った模様を選択することができます。

(2) 刺しゅうモードキー（112ページ）

刺しゅうぬい状態にミシンがセットされ、刺しゅうぬいの使用目的にあった模様を選択することができます。

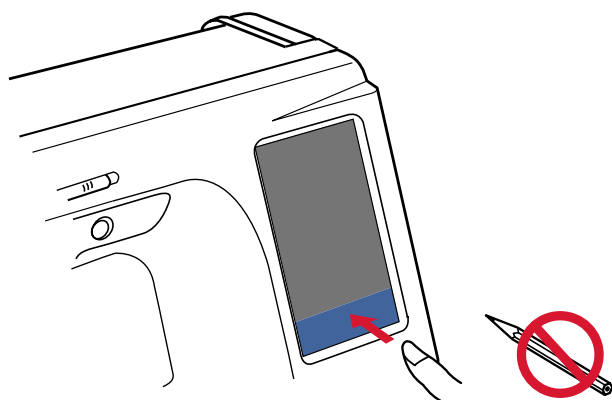
(3) ファイルオープンキー（88ページ）

通常ぬい、刺しゅうぬいそれぞれのモードで記憶された模様を呼び出すことができます。

(4) セットキー（151ページ）

基本機能、通常ぬい、刺しゅうぬい及び使用言語について、ミシンのセット状態を変えることができます。

(5) ヘルプキー（159ページ）

ミシンの重要な基本動作の説明を見ることができます。

注意

液晶表示画面をさわるときは、指でタッチしてください。先のとがった物（えんぴつなど）ではタッチしないでください。故障の原因になります。

通常ぬい

通常ぬい

模様の選び方

模様表示（キー）を直接押して模様を選びます。

①模様名
②ぬい目
③２本針設定の有無表示
④糸調子の設定を表示
⑤音量の設定を表示(音量0のとき表示が消えます。)
⑥模様に適した押さえを表示

キーのはたらき

通常ぬいモードは、６つのカテゴリーに分類されていて、各カテゴリーのキーを押すことによって、模様の選択をすることができるようになります。

（1）実用ぬいキー

１６種類の実用ぬい模様を直接選択できます。

（2）ボタンホール／ボタンつけ／つくろいぬい／かんぬきどめ／アイレットキー

１１種類のボタンホール、ボタンつけ、つくろいぬい、かんぬきどめぬい、アイレットぬいを直接選択できます。

（3）サテン模様キー

サテン模様を選択できると同時に、組合せ模様をプログラムすることができます。

（4）飾りぬいキー

飾りぬい模様を選択できると同時に、組合せ模様をプログラムすることができます。

（5）文字ぬいキー

文字の組合せ模様（文章）を作成することができます。

（6）用途選択キー

使用用途を選択することによって、目的に適した模様が選択され、同時に、ミシンも目的に合った状態に自動セットされます。

（7）布ガイドキー

布ガイドの位置を設定することができます。
(33 ページをごらんください。)

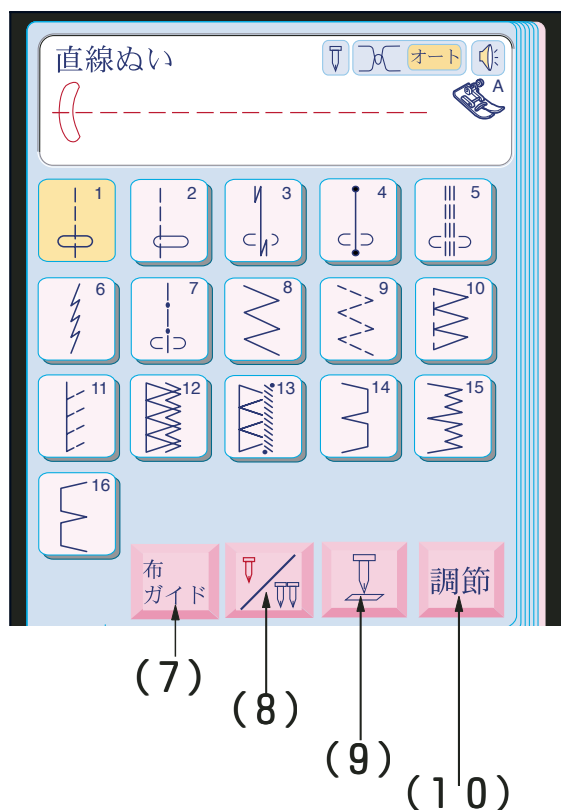
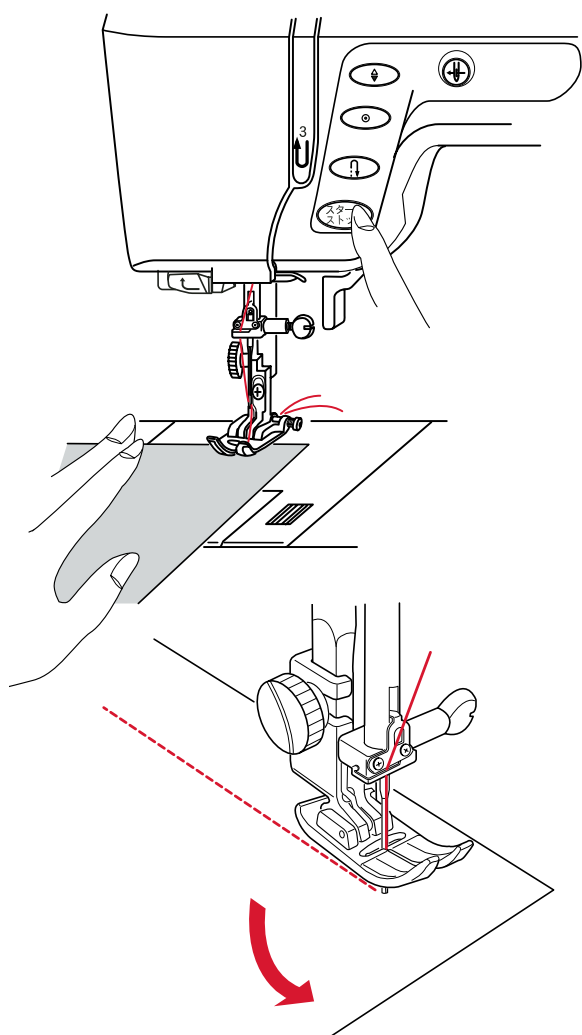
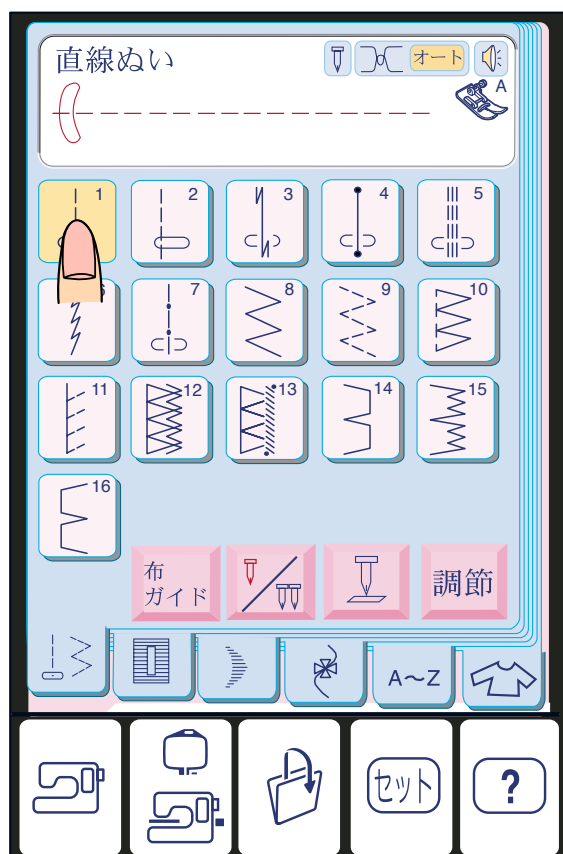
（8） ２本針ぬい切りかえキー

２本針ぬいのときに選択します。

（9）針上下切り替えキー

ミシンを停止したとき、針を上に止めるか下に止めるかを選択することができます。

（１０）調節キー

調節キーを押すと、マニュアル調節画面が表示されます。
(30 ページをごらんください。)

直線ぬい

ぬいはじめ

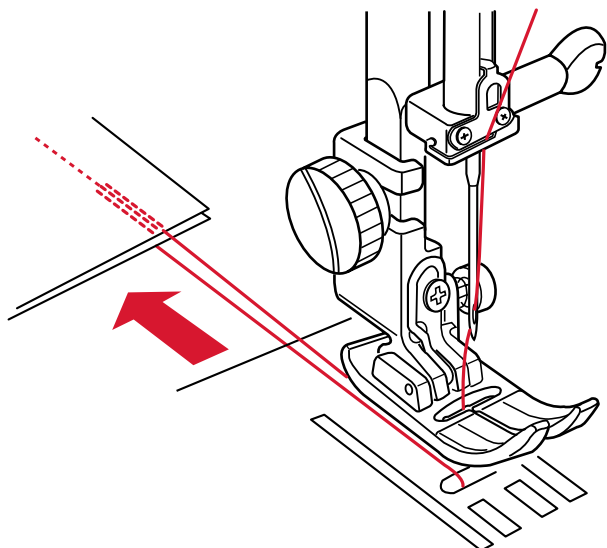
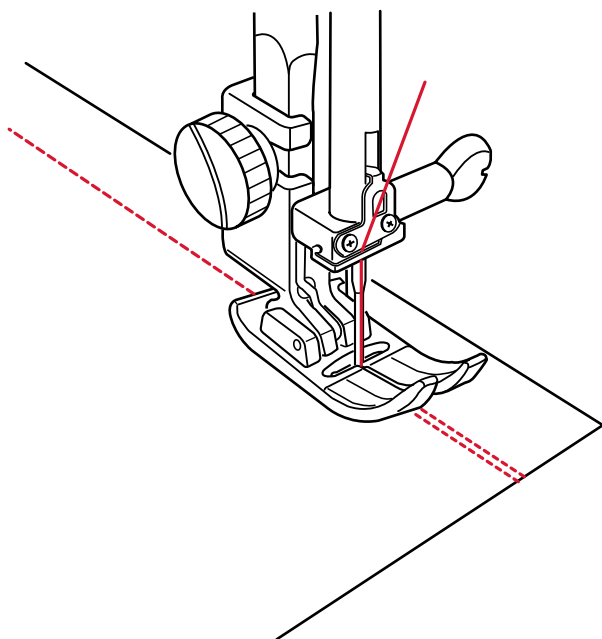
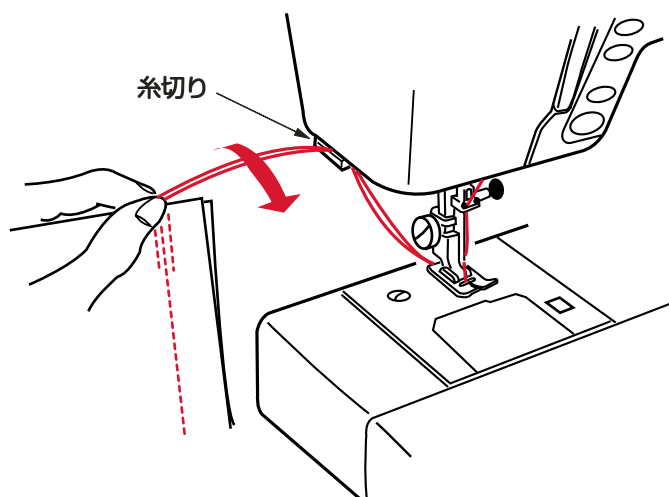
上糸と下糸を向こう側に引き出し、押えをさげてゆっくりぬいはじめます。

ぬい方向をかえるには

ミシンを止め、上下停針ボタンを押して針を布にさし、押えをあげます。
針を布にさしたまま、ぬい方向をかえて押えをさげ、スタート・ストップボタンを押して、ふたたびぬいはじめます。

ぬい終わりの返しぬい／糸切り

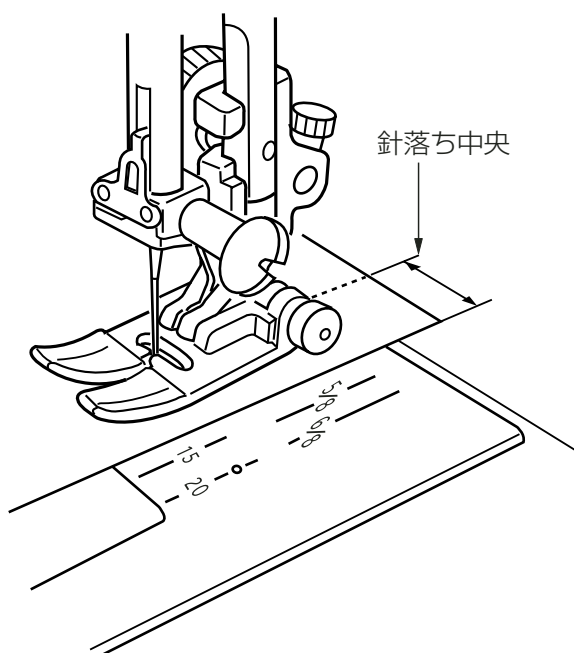
返しぬいボタンを押しながら数針返しぬいをします。

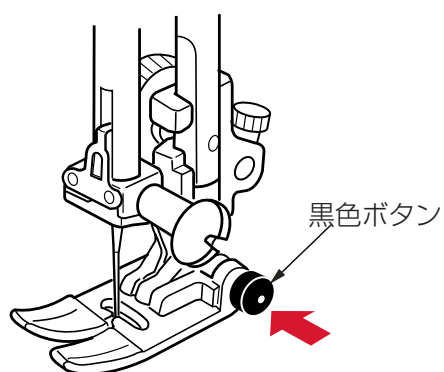
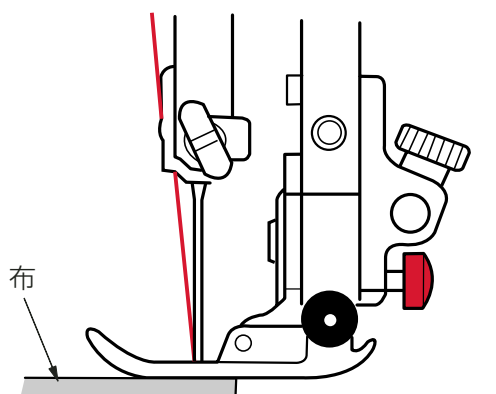
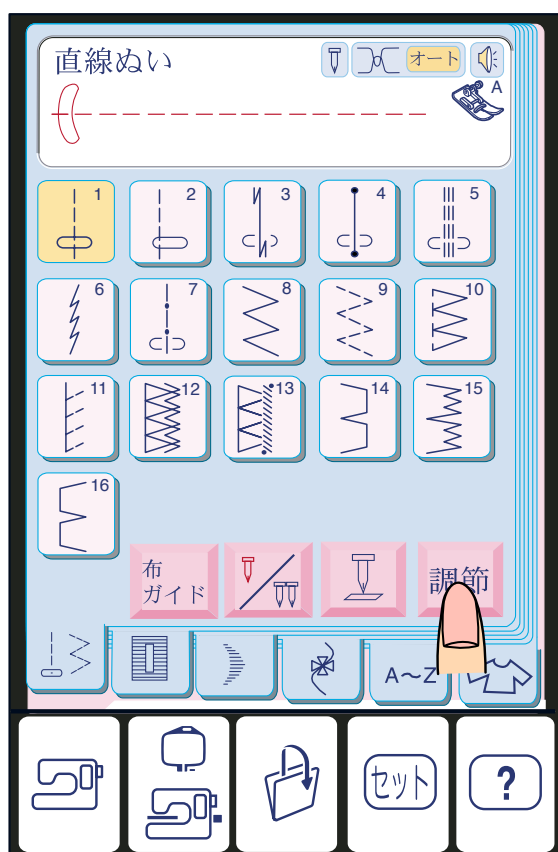
※ 模様 03 04 のぬいおわりに返しぬいボタンを押すと、模様 03 は数針返しぬいを、模様 04 は数針止めぬいをして自動的に止まります。

押さえをあげて、布を向こう側に、静かに引き出します。

布を手前に返すようにして、糸切りで糸を切ります。

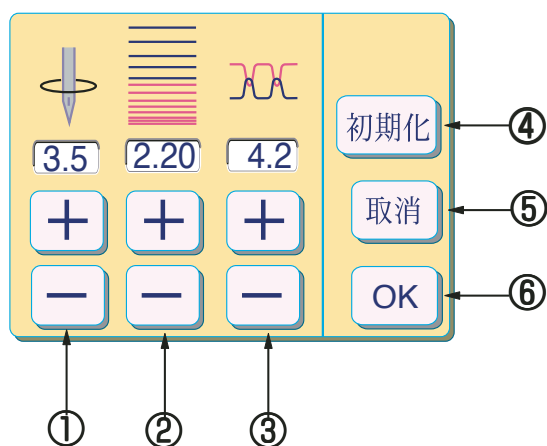
針板ガイドラインの利用

布端を針板のガイドラインに合わせてぬいます。

※数字は、針落ち中央からガイドラインまでの間かくです。

数　字	15	20	4/8	5/8	6/8
間かく (cm)	1.5	2.0	1.3	1.6	1.9

厚手の布端のぬいはじめ

ぬいはじめの位置に針をさし、基本押さえの黒色ボタンを押しこみます。
ボタンを押したままで押さえをさげます。
ボタンから手をはなし、ぬいはじめます。
押さえが完全に布の上にのると、黒色ボタンの押しこみは自動的に解除されます。

直線模様の針落ちの変更／ぬい目あらさ／マニュアル糸調子の合わせ方

（1）調節キーを押すと、マニュアル調節画面が表示されます。

＋ ー キーを押してマニュアル調節をします。

① 針落ち位置調節キー

② 送り調節キー

③ 糸調子調節キー

④ 初期化キー

キーを押すと、表示されている項目全てがデフォルトの状態（購入時のセット状態）へ戻ります。

⑤ 取消キー

キーを押すと、もとの数値になり、もとの画面に戻ります。

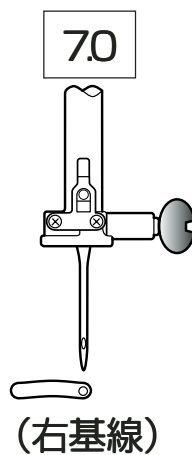
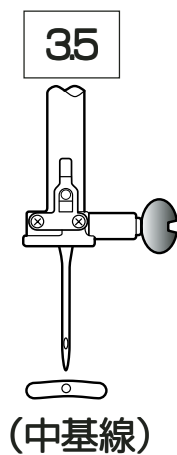
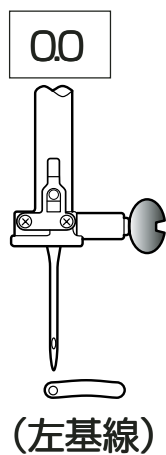
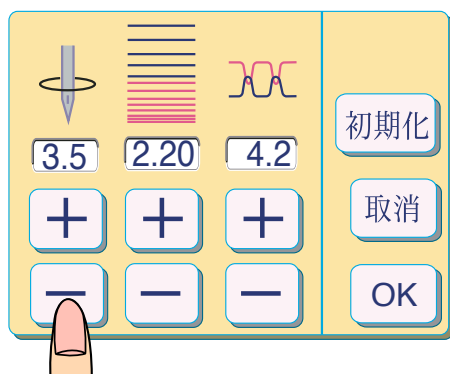
⑥ OKキー

キーを押すと、表示された数値になり、もとの画面に戻ります。

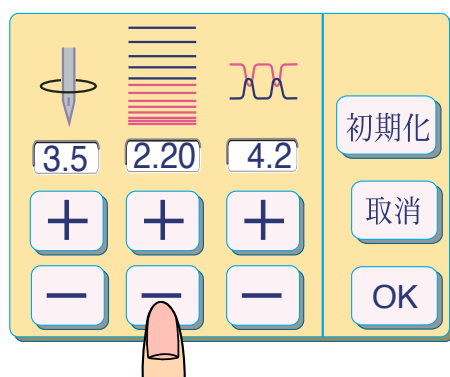
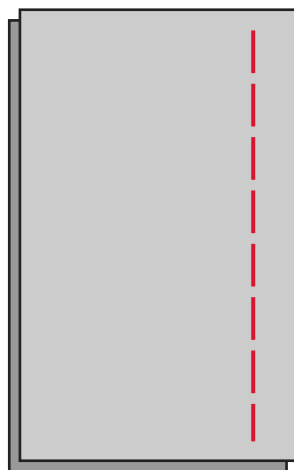
（ぬい目が細かい）

（ぬい目があらい）

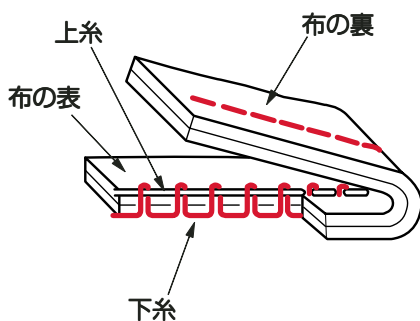
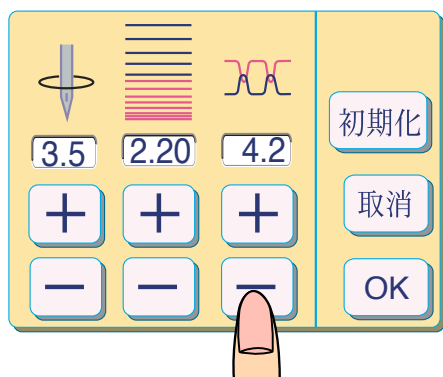
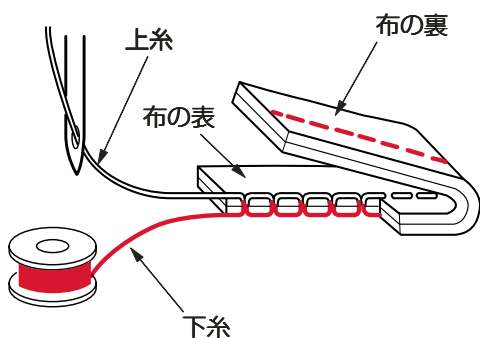
直線ぬいの針落ち位置をかえるとき

針落ち位置調節 ＋ － キーで針落ち位置を変えることができます。

ぬい目のあらさをかえるとき

－ キーを押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目が細かくなります。

＋ キーを押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目があらくなります。

マニュアル糸調子の合わせ方

【バランスのとれた糸調子】

直線ぬいのときは、上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。
ジグザグぬいのときは、布の裏側に上糸が少し出るくらいになります。

【上糸が強すぎるとき】

・・・下糸が布の表に引き出されます。

① − キーを押して数値を小さくします。

② OKキーを押します。

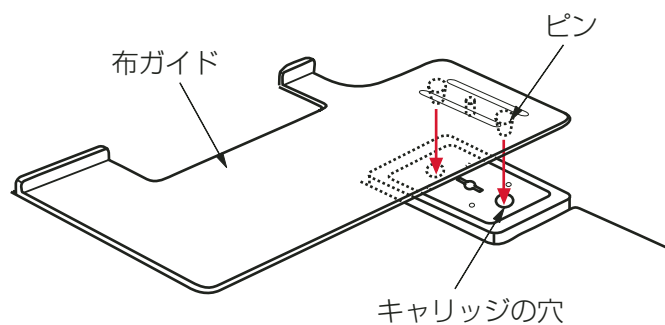
【上糸が弱すぎるとき】

・・・上糸が布の裏に引き出されます。

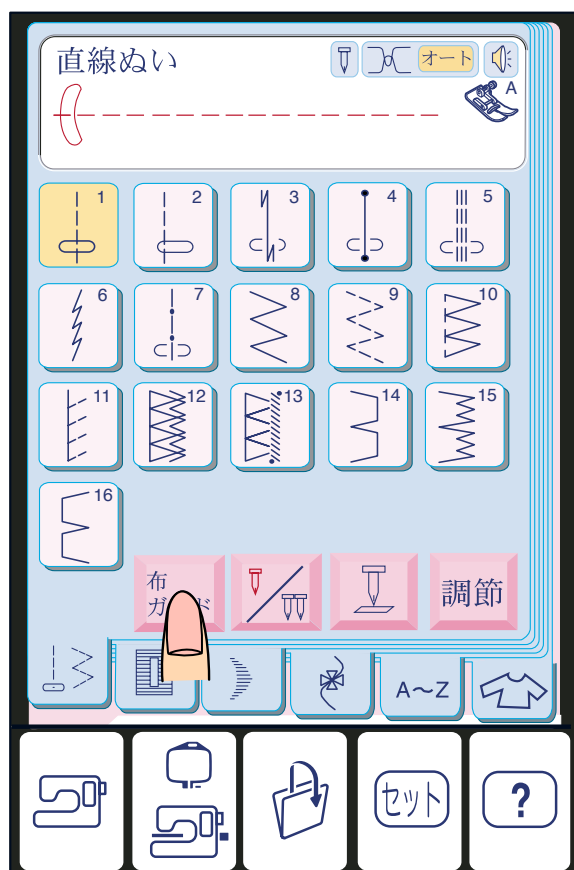
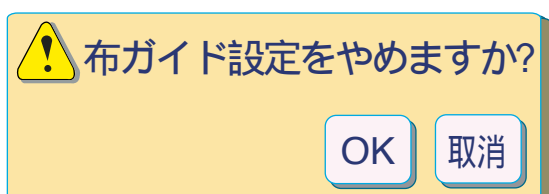
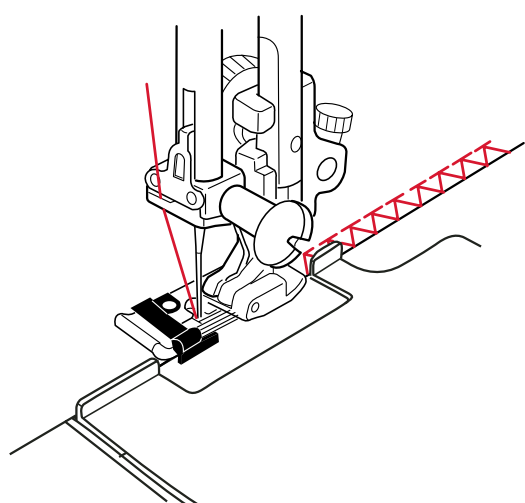
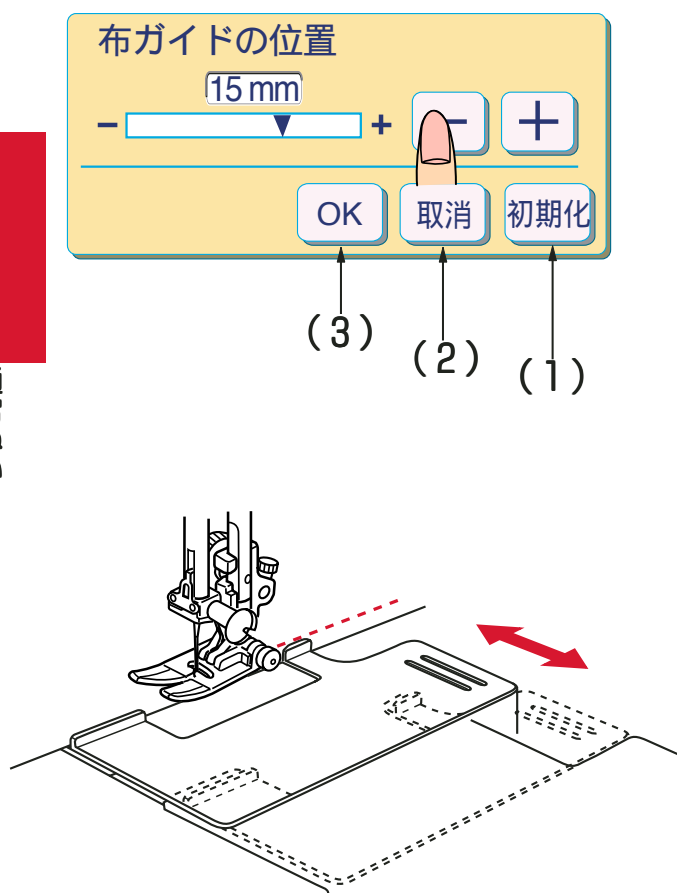
① ＋ キーを押して数値を大きくします。

② OKキーを押します。

電源を切ったときや、他の模様を選択したとき、振幅、送り、糸調子のセットはキャンセルされます。

布ガイドの使い方

布ガイドのとりつけ

布ガイドのピンをキャリッジの穴に差し込みます。

①布ガイドキーを押します。

② 布ガイドの位置が表示されますので、

＋ － キーを押して、ガイド距離をセットします。

※ 数値は針落ち中央からガイドまでの距離です。

－２mm～４０mmまで設定できます。

－1mm～１０mmまでは１mm毎に、

１０mm～４０mmまでは5mm毎にかえられます

（1）初期化キーを押すと、設定値がデフォルトの状態（購入時のセット15mm）へ戻ります。

（2）取消キーを押すと、もとの数値になり、もとの画面に戻ります。

（3）OKキーを押すと、表示された数値になり、もとの画面に戻ります。

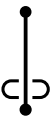
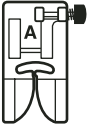
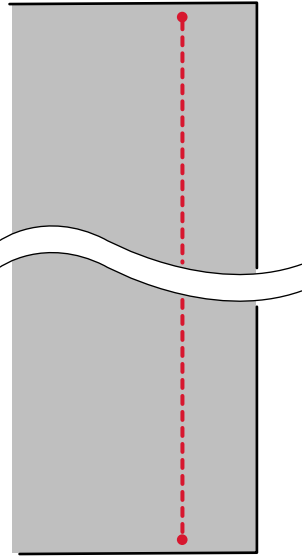
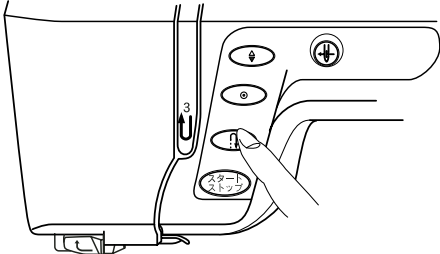
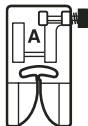
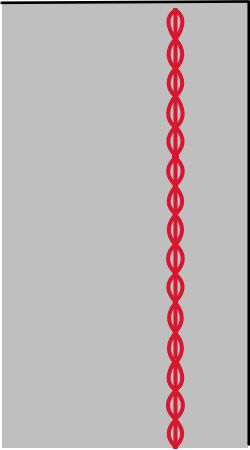
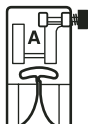
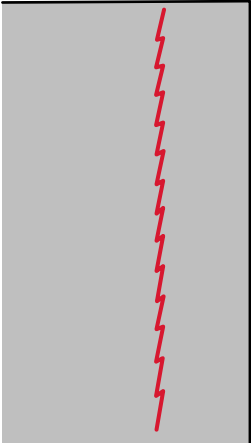
通常ぬい

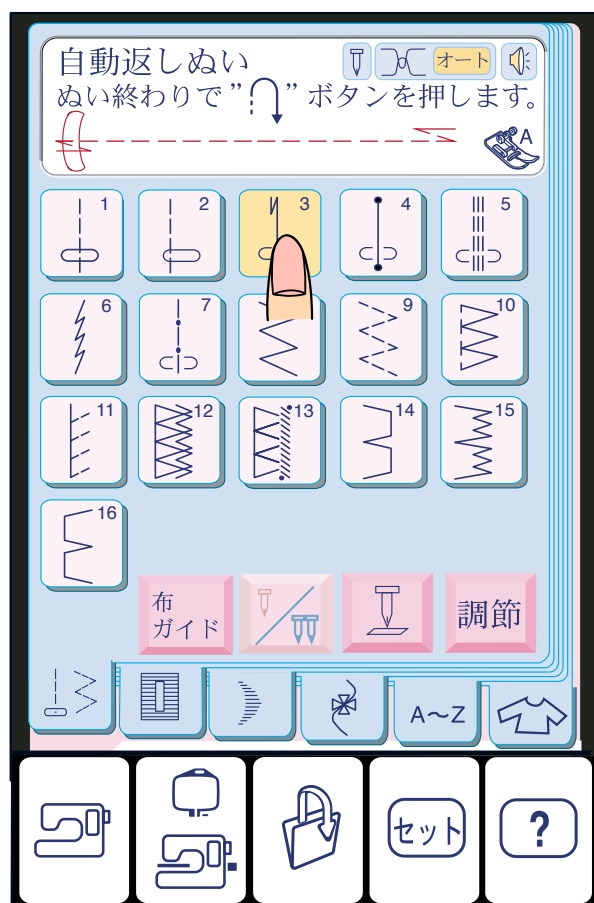
かがりぬいでの使い方

① 模様＃10を選び、C: たち目かがり押さえを使います。

② ガイド距離を2mmにセットしてぬいます。

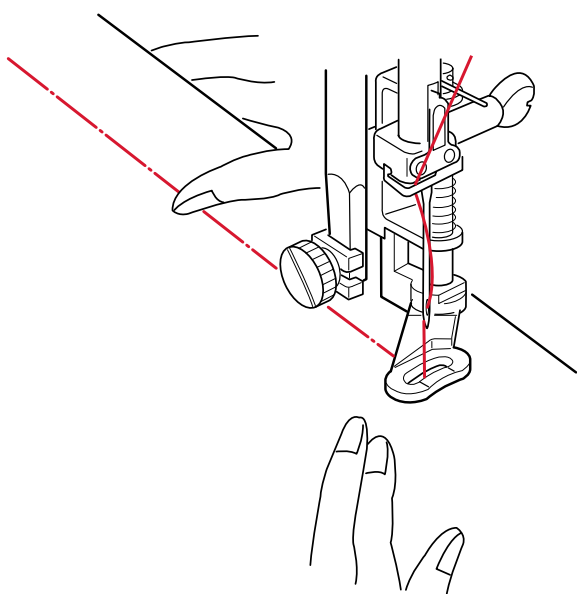
布ガイドを使うときの注意

布ガイドを使いおわって他の模様を選ぶと、「布ガイド設定をやめますか?」のメッセージが表示されますのでOKキーを押して、キャリッジが格納位置に戻ったら布ガイドをはずします。

取消キーを押すと、布ガイドはそのままの位置で他の模様が選択されます。

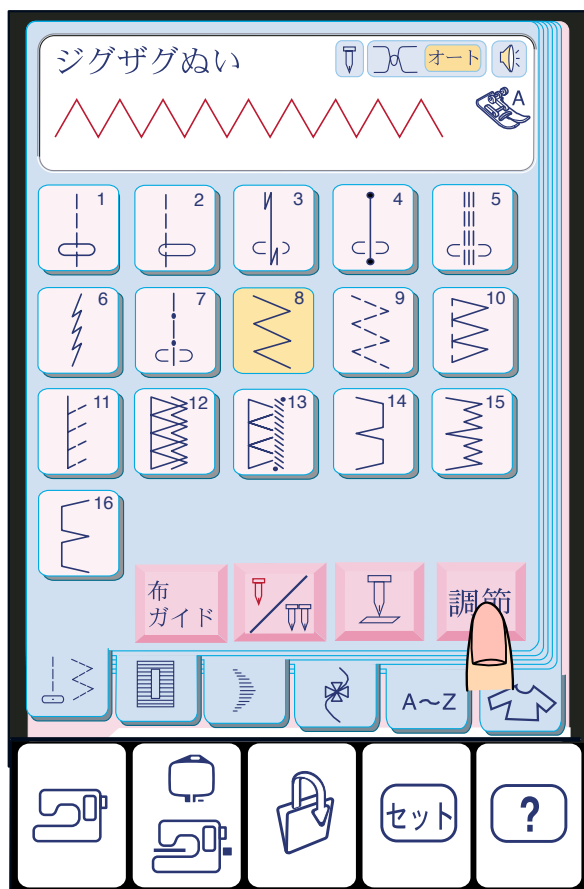
直線模様のぬい目いろいろ

	模様	押さえ	ぬ　い	用　　途
自動返しぬい	03			しっかりした止めぬいを自動的に行うときに使います。 ※ ぬいおわりに、返しぬいボタンを押します。

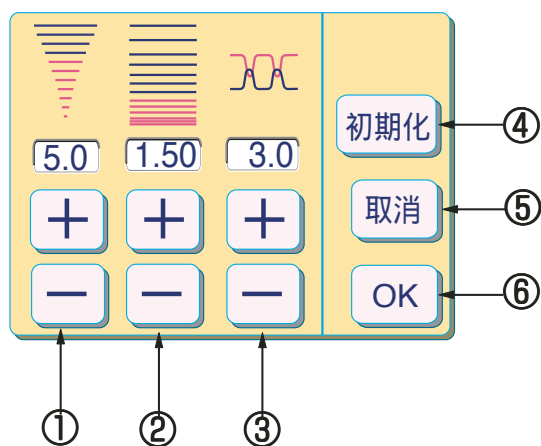
	模様	押さえ	ぬ　い	用　　　途
自動止めぬい	04			目立たない止めぬいを自動的に行うときに使います。 ※ ぬいおわりに、返しぬいボタンを押します。
三重ぬい	05			厚地、ニット地の地ぬいや補強ぬいに使います。
伸縮ぬい	06			布が伸びても、糸が切れにくい伸縮性のあるぬい目です。 ニット地の地ぬいなどに使います。

しつけぬい

※ 送り歯は自動的にさがります。
※ 針が下位置にあるとき模様を選ぶと、「送り歯を下げてください。」の表示が出ますので、14ページの（送り歯のさげ方）をごらんください。

布を前後にピンと張ってぬいます。
一針ぬって針が止まったら、ぬい目をつまんで布を向こう側に引きます。

※送り歯は、他の模様を選ぶと自動的にもとに戻ります。

ジグザグぬい

ジグザグぬい目幅／あらさの変更

（1）調節キーを押すと、マニュアル調節画面が表示されます。

(2) ＋ － キーを押してマニュアル調節をします。

① 振幅調節キー

② 送り調節キー

③ 糸調子調節キー

④ 初期化キー

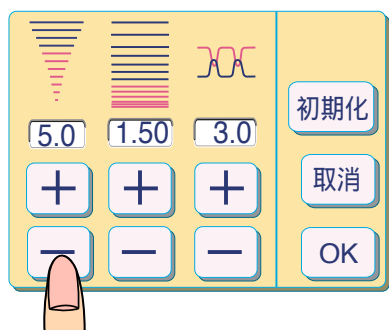
表示されている項目全てがデフォルトの状態（購入時のセット状態）へ戻ります。

⑤ 取消キー

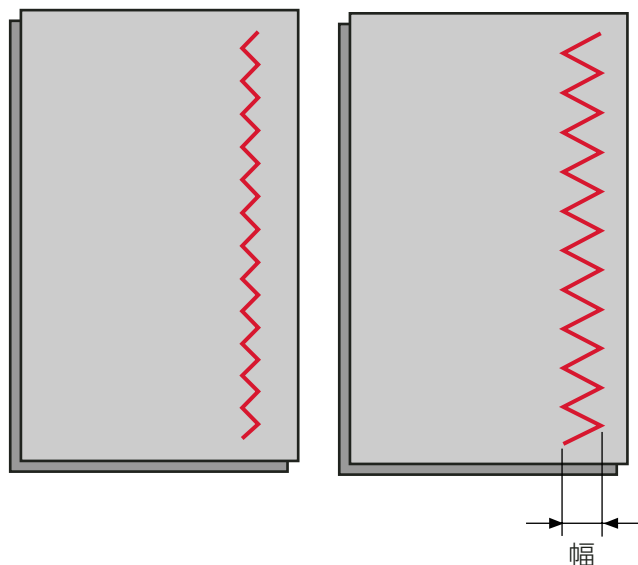
キーを押すと、もとの数値になり、もとの画面に戻ります。

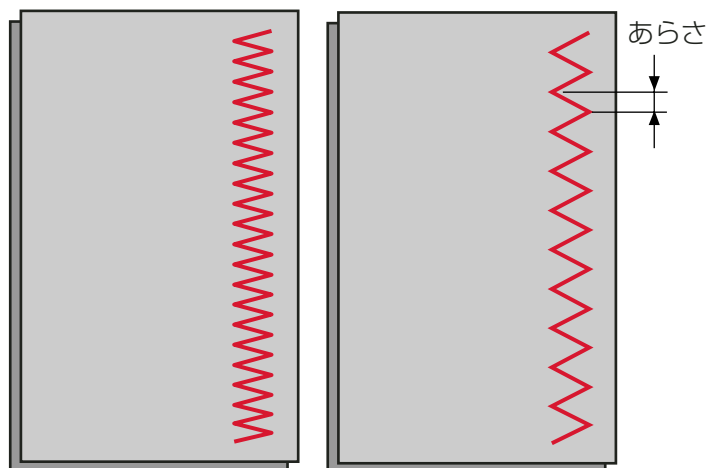
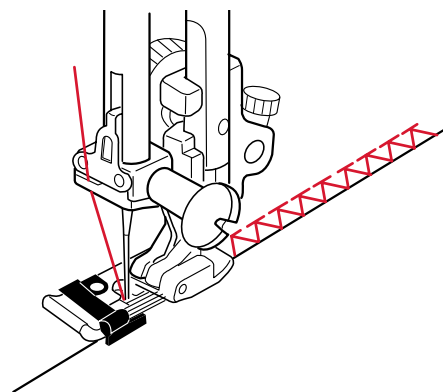
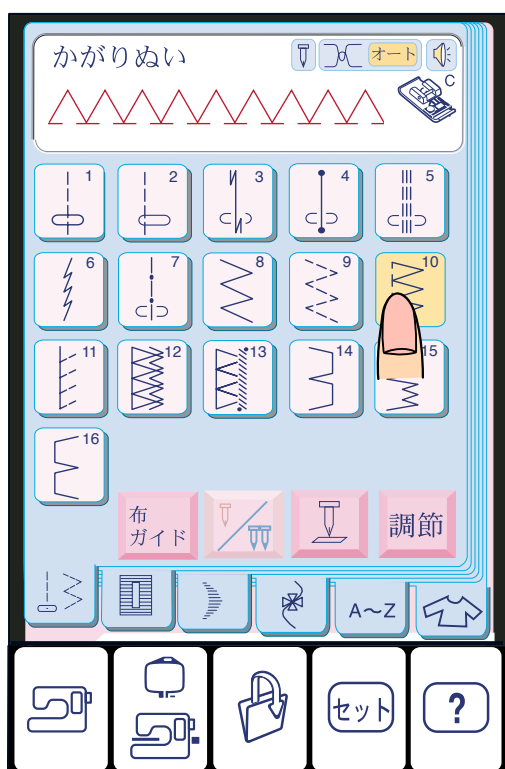
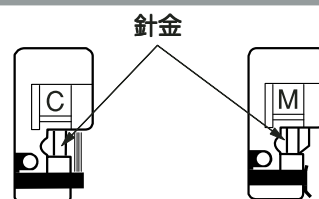
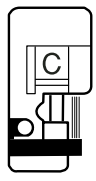
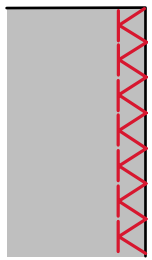
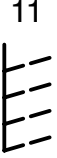
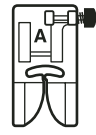
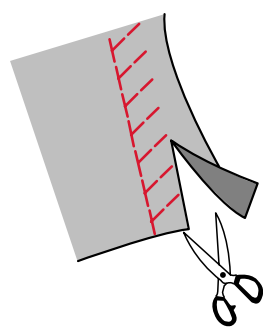
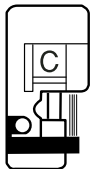
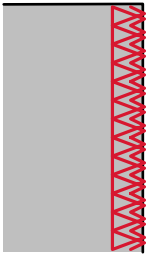
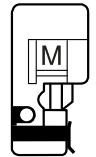
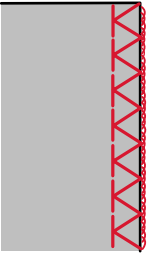
⑥ OKキー

キーを押すと、表示された数値になり、もとの画面に戻ります。

ぬい目幅の変更

－ キーを押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目の幅はせまくなります。
＋ キーを押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目の幅は広くなります。

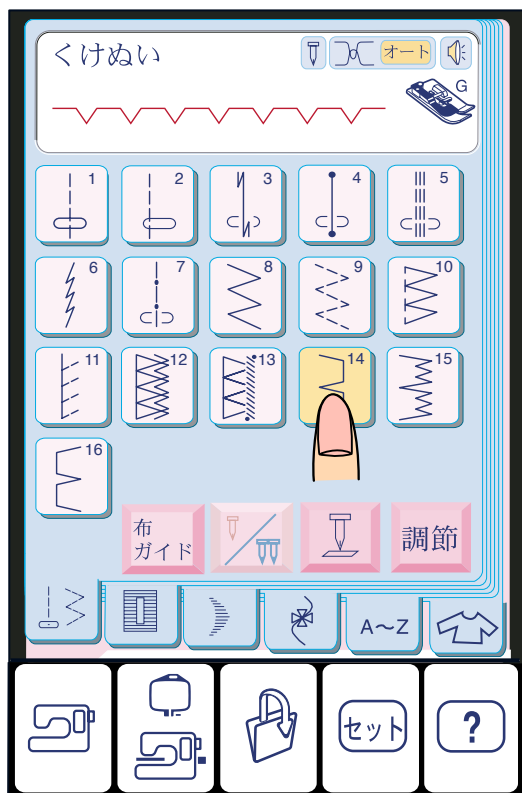
※セットが終わったら、OKキーを押します。

ぬい目あらさの変更

－ キーを押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目のあらさが細かくなります。
＋ キーを押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目のあらさがあらくなります。

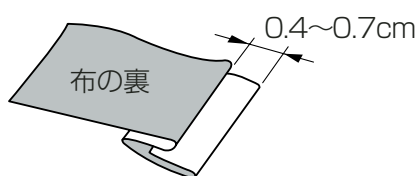
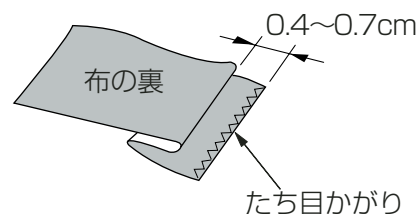
※セットが終わったら、OKキーを押します。

かがりぬい

C：たち目かがり押さえ、または、M：ふちかがり押さえを使用するときは、ぬい目の幅を5.0 ～ 7.0の間で使用します。
ぬう前に、押さえの針金に針が当たらないことを確認してください。

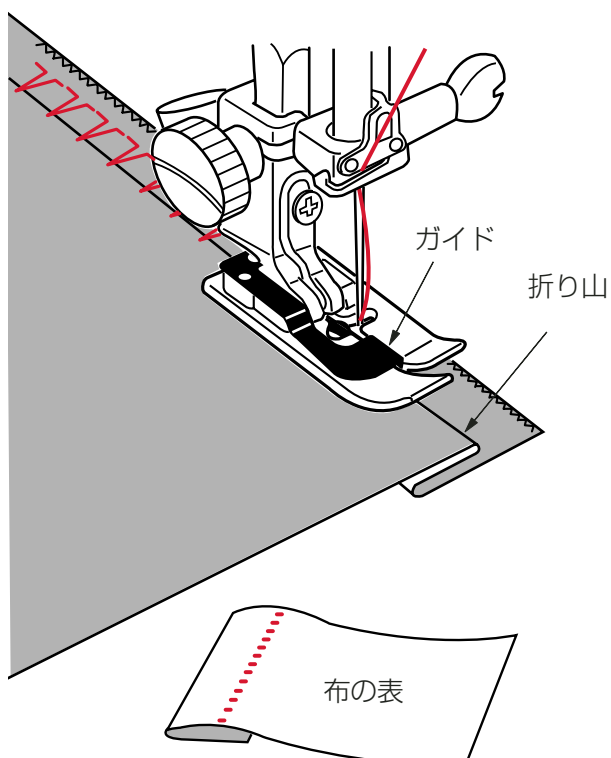
	模　様	押さえ	ぬ　い	用　　途
ジグザグぬい	08			布端のほつれ止めとして広く利用します。 布端をたち目かがり押さえのガイドにあててぬいます。
トリコットぬいたち目かがり	09			ほつれやすい布や伸縮性のある布のほつれ止め、布端の返り防止などに利用します。 ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

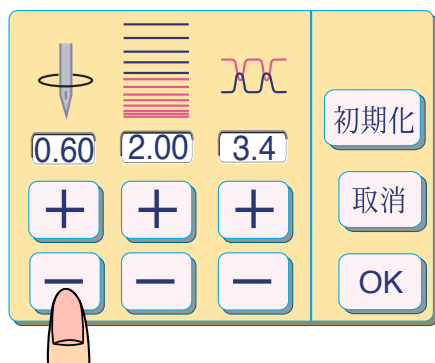
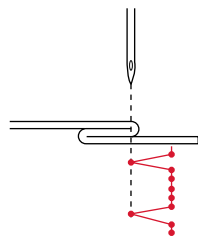
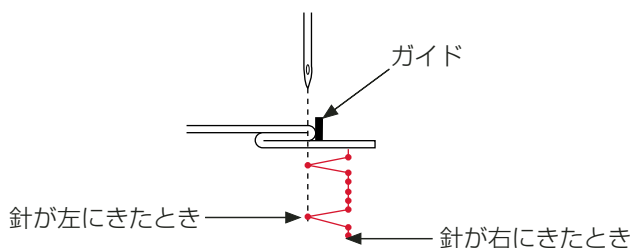
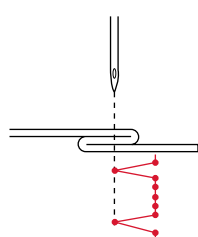
	模様	押さえ	ぬ　い	用　　　途
かがりぬい（1）	10	C		地ぬいをかねたたち目かがりに使います。布端をたち目かがり押さえのガイドにあててぬいます。
ニットステッチ	11	A		ニット地のかがりぬいに利用します。ぬいしろを少し余分にとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。
かがりぬい（2）	12	C		中、厚地のしっかりした布端をかがるときに利用します。布端を押さえのガイドにあててぬいます。
かがりぬい（3）	13	M		オーバーロックのぬい目に似ていて、布端がほつれやすい布地のかがりぬいに利用します。布端を押さえのガイドにあててぬいます。

くけぬい（まつりぬい）

※ 伸縮性のある布をぬうときは、模様# 15を選びます。
※ 模様# 14/ # 15は、ぬい目の幅は変化せず、ガイドからの針落ちが変わります。
※ ぬい目の幅を変えるときは、「使い方からの模様選択」のくけぬいをお使いください。
（93ページをごらんください。）

布の折り方

【うすい布、普通の布の場合】

【厚い布の場合】

ぬい

① ガイドを折り山に合わせ、針が折り山からはずれないようにぬい目の幅調節キーで針落ち位置を調節してぬいます。

② ぬいおわったら布をひろげます。

針落ち位置をかえたいとき

① 調節キーを押すと、マニュアル調節画面が表示されます。

② 振幅／送り／糸調子の調節表示画面がでます。

（1）針落ち位置調節キーで ＋ － 調節します。

（2）針落ちを右に移動させたいとき － キーを押します。

（3）針落ちを左に移動させたいとき ＋ キーを押します。

（4）OKキーを押すと表示された数値になり、もとの画面へ戻ります。

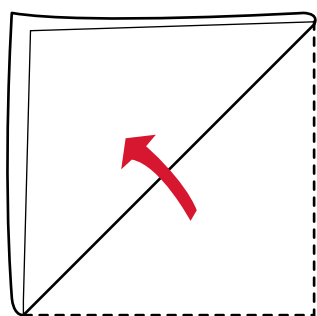
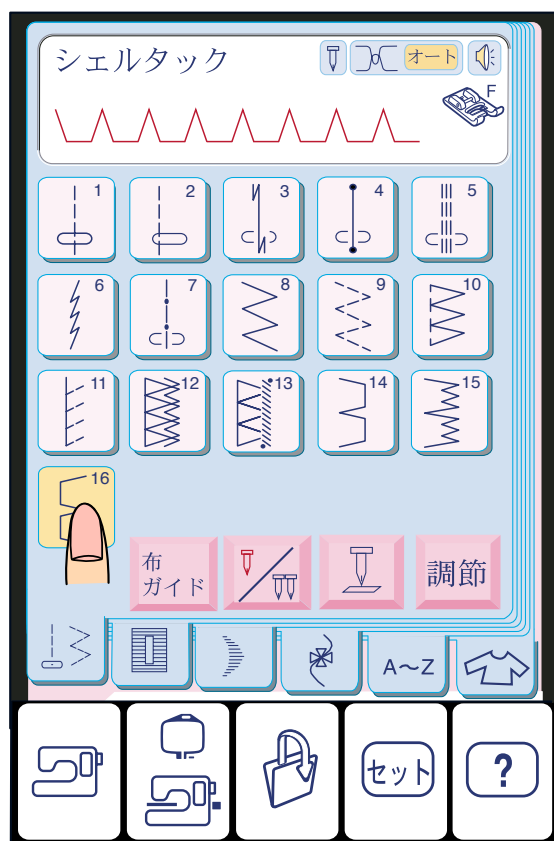
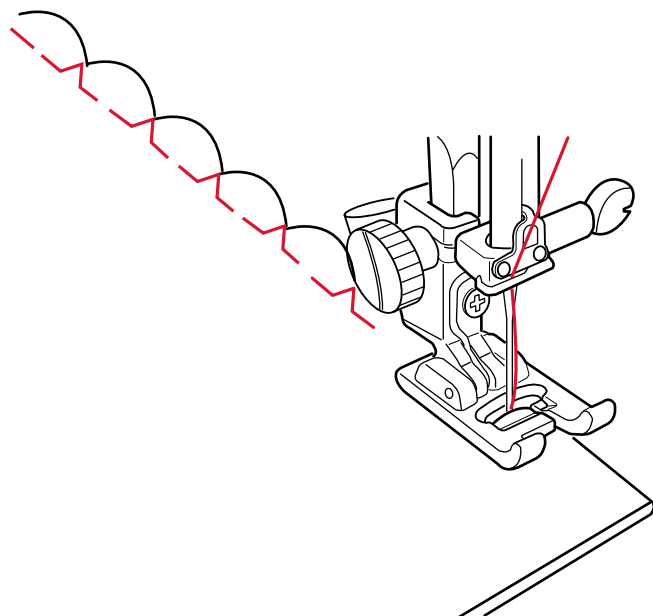
（5）初期化キー

表示されている項目全てがデフォルトの状態（購入時のセット状態）へ戻ります。

（6）取消キー

キーを押すともとの数値になり、もとの画面へ戻ります。

通常ぬい

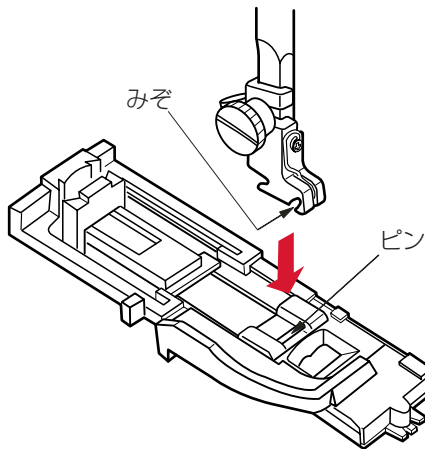
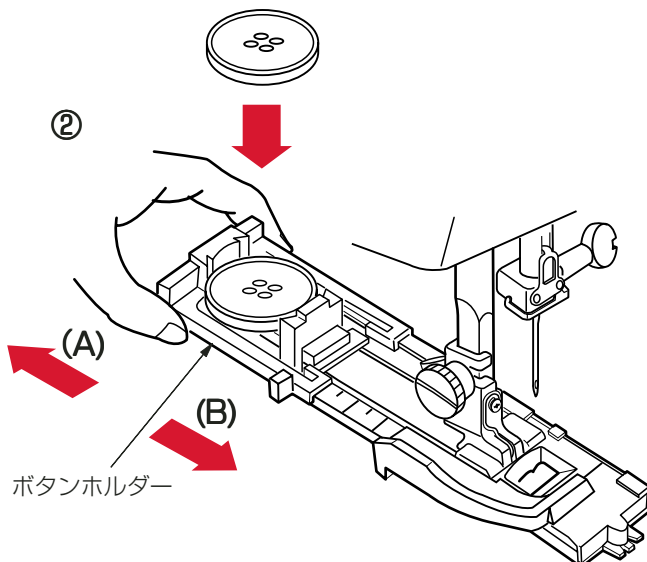
シェルタック

① 布をバイヤスに2つ折りにします。

② 右の針落ちが布の折り山のきわにおりるように
してぬいます。

ボタンホール

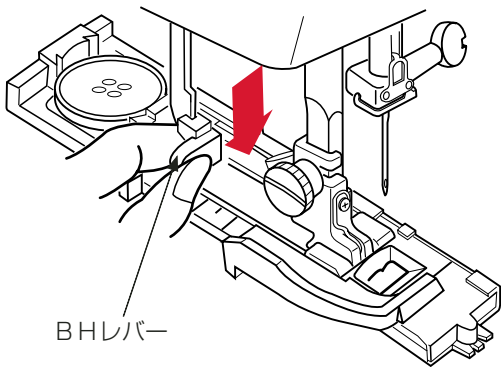
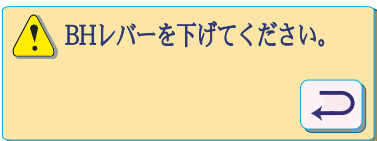
ボタンホールの種類と用途

種　類	用　途
スクエアボタンホール（センサーボタンホール）	スクエアボタンホール（両とめ）は、中厚物から厚物まで一般的な使用目的のボタンホールです。センサーボタンホールは、使用されるボタンの大きさに合わせて自動的にボタンホールの大きさを決定して、ぬいあげます。
スクエアボタンホール（オートボタンホール）	オートボタンホール（両とめ）は、中厚物から厚物まで一般的な使用目的のボタンホールです。オートボタンホールはボタンホールの長さを自由に決めることができ、一度決めた長さを記憶することにより、自動的に何度も同じ大きさのボタンホールをぬうことができます。
片ラウンドボタンホール（センサーボタンホール）	中厚物から薄物の素材に使います。ブラウス、子供服でよく使われます。
両ラウンドボタンホール（センサーボタンホール）	薄物の素材に使います。薄手のブラウスでよく使われます。
キーホールボタンホール（センサーボタンホール）	中厚物から厚物の素材で使われる一般的なボタンホールです。大きく厚めのボタンは、キーホールボタンホールがよく使われます。
ラウンドキーホールボタンホール（センサーボタンホール）	中厚物の素材で厚めのボタンを使用するときに使います。
テーラーメイドボタンホール（センサーボタンホール）	厚物の素材で大きく厚めのボタンを使用するときに使います。ボタンホールのラウンド側と反対の口を補強した形から、厚物専用の特殊な使い方をします。
ニットボタンホール（センサーボタンホール）	伸縮性のある布に適したボタンホールです。また、そのぬい目の形から飾りぬいボタンホールとしても使えます。
ニットボタンホール（センサーボタンホール）	ニットに適したボタンホールです。また、そのぬい目の形から飾りぬいボタンホールとしても使えます。
薄地用ボタンホール（センサーボタンホール）	エアールーム模様としてのボタンホールで、手ぬい風の見栄えを与え、飾りぬいボタンホールとして使用されます。
たまぶちボタンホール（センサーボタンホール）	たまぶちボタンホールを作るためのぬい目で、たまぶち布をぬい付ける最初のぬい工程となり、ボタンホールの大きさを決定します。

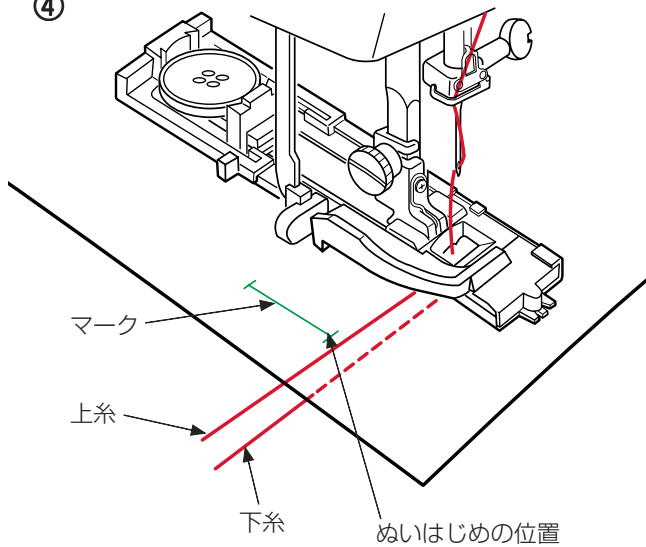
スクエアボタンホール

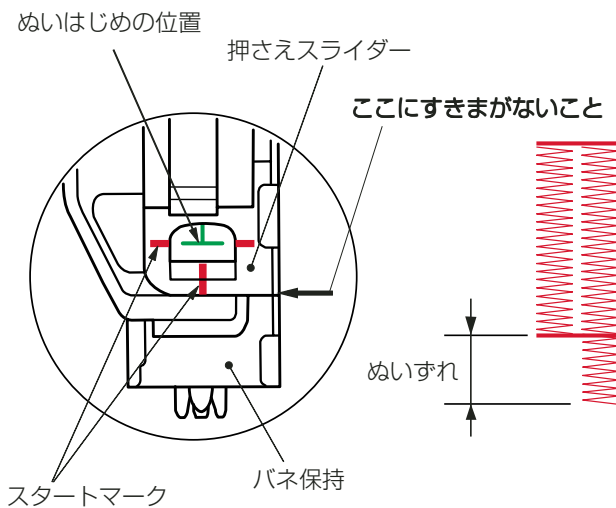
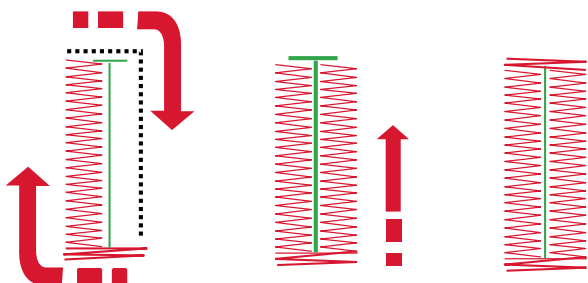
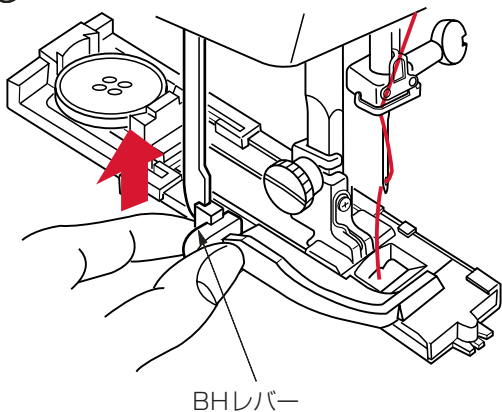
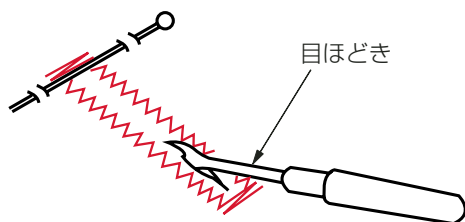
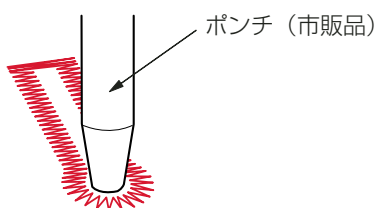
※ No.1 7、1 9～2 7はセンサーボタンホールです。
※ ボタンホールの長さは、使用するボタンをボタンホルダーにはさみ込むと決まります。
※ ボタンの直径 2 . 5 cmまで、ボタンホールができます。
※ ボタンホール幅は、シャツなどのボタン穴の幅に自動セットされています。

① 上下停針ボタンを押して針をあげ、押さえをあげます。
押さえホルダーのみぞと押さえのピンをあわせ、押さえをさげてセットします。

② ボタンホルダーを(A)の方向へ引き、ボタンを乗せて(B)方向にもどしてはさみ込みます。

※ ボタンホルダーのすきまをあけて位置決めをすると、その分大きいボタンホールができます。

③

【エラー表示画面】

③ BHレバーを止まるまでいっぱいに引きさげます。

【エラー表示画面】
※ BH レバーをさげないでボタンホールを 0.5cm ぬうと表示され、ミシンが止まります。
BH レバーを引きさげて再スタートします。
 キーを押すと、もとの画面にもどります。

④

④ 押さえをあげて上糸を押さえの穴から下に通 し、横に引き出して下糸とそろえます。
布を入れ、押さえのスタートマークとぬいはじめの位置を合わせ、針をさして、押さえをさげます。

※ ぬいはじめに、押さえスライダーとバネ保持の間にすきまがないことを確認してください。すきまがあると、ぬい終わったときぬいずれがおこることがあります。

⑤

ぬいあがりました。
押さえを上げてください。

⑤ ミシンをスタートさせます。
ボタンホールをぬい終わったところで、自動的に止まります。

※ 引き続きセンサーボタンホールをする場合、押さえをあげ、糸を切り別の場所にそのままの状態で押さえをおろしてスタートします。

⑥

⑥ ぬいおわったら、BHレバーを止まるまでいっぱいに押しあげて戻してください。

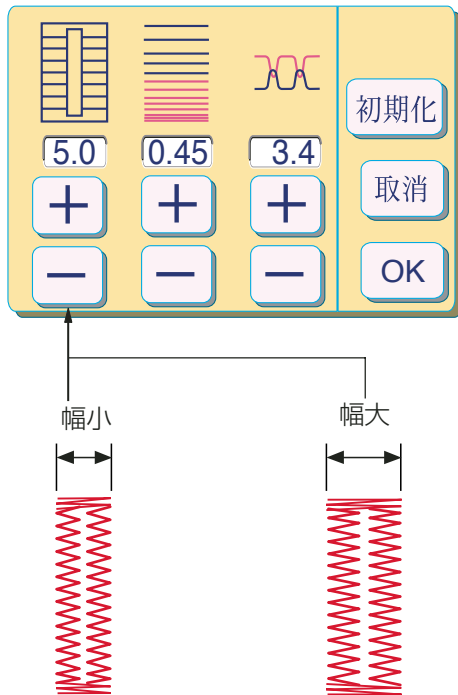
⑦

⑦ かんぬきの内側にまち針をわたして、目ほどきでかがった糸を切らないように切り開きます。

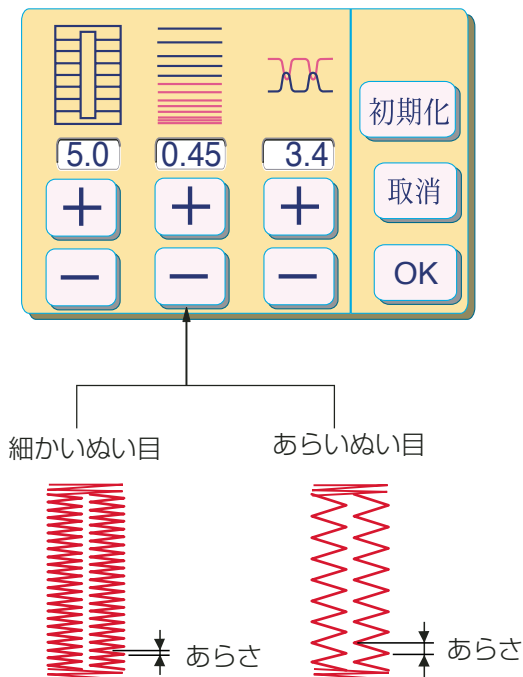
【キーホールボタンホールのとき】

ポンチ（市販品）で穴をあけて、目ほどきで切り開きます。

ボタンホール

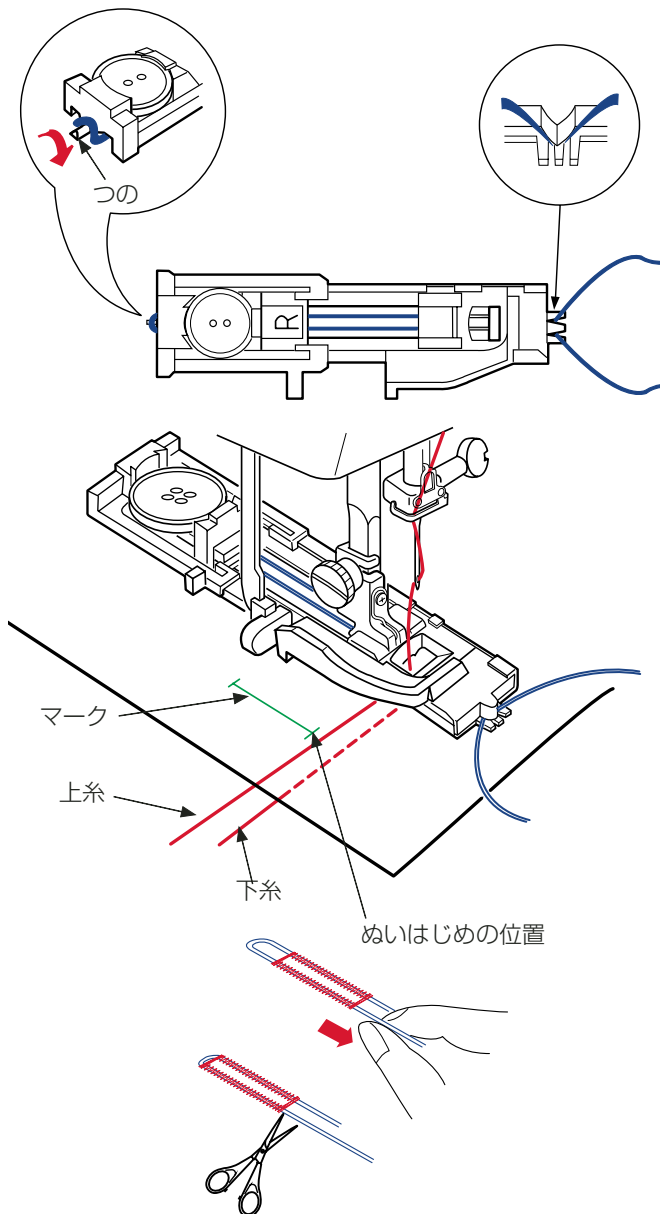
ボタンホールの幅をかえるとき

① 調節キーを押します。

ボタンホール幅キー ＋ − キーで調節します。
＋ キーを押すと幅は広くなります。
− キーを押すと幅は狭くなります。
デフォルト値（購入時の設定状態）は「５.０」です。

（１）初期化キー
表示されている項目全てがデフォルトの状態（購入時の設定状態）へ戻ります。
（２）取消キー
キーを押すともとの数値になります。
（３）OKキー
キーを押すと表示された数値になります。

ぬい目のあらさをかえるとき

① ぬい目のあらさキー ＋ − キーで調節します。
＋ キーを押すとあらさはあらくなります。
− キーを押すとあらさは細かくなります。
デフォルト値（購入時の設定状態）は「０.４５」です。

※ 電源を切ったときや、他の模様を選択したとき、ボタンホール幅、あらさ、糸調子のセットは取り消されます。

芯入りスクエアボタンホール

① 上糸と下糸を横に引き出してそろえます。

② R押さえ前部の右側の切り込みに芯糸の一方の端をはさみ、芯糸を押さえの下から後ろに引き、輪にして、つのに掛けます。

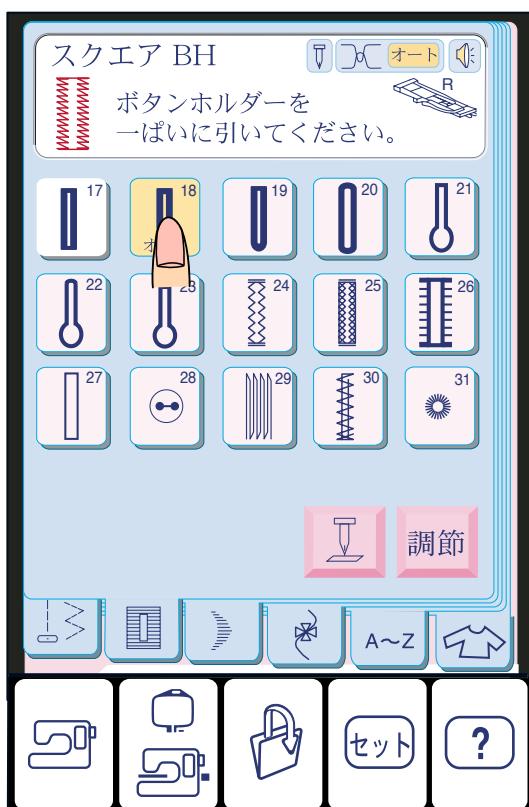
③ つのに掛けた芯糸を押さえの下を通して、前部左側の切り込みにしっかりはさみます。

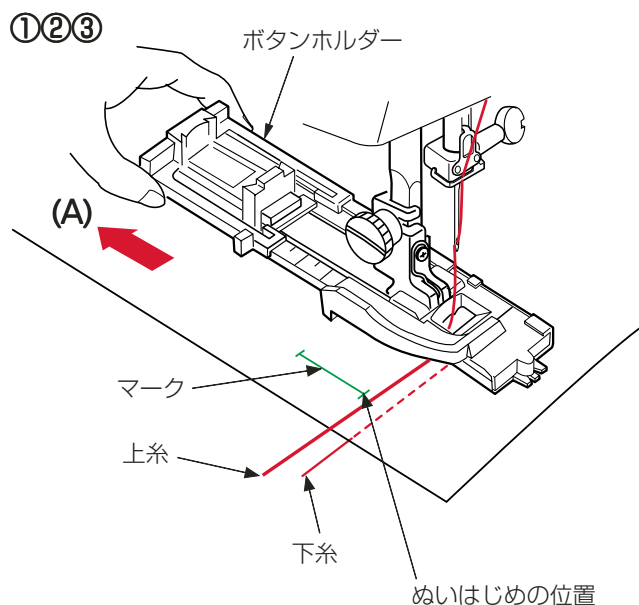
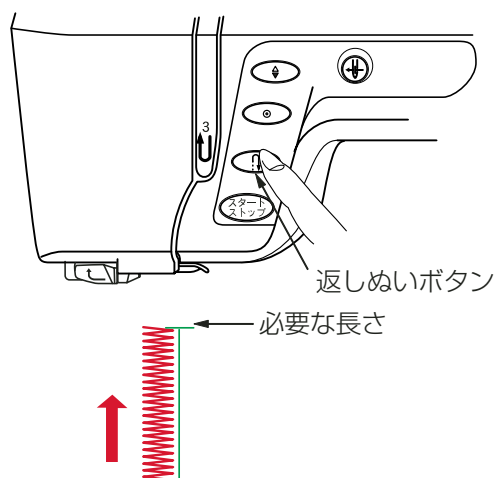
④ ぬいはじめの位置に針をさして押さえをさげます。

⑤ スタート・ストップボタンを押して、スクエアボタンホールをぬいます。

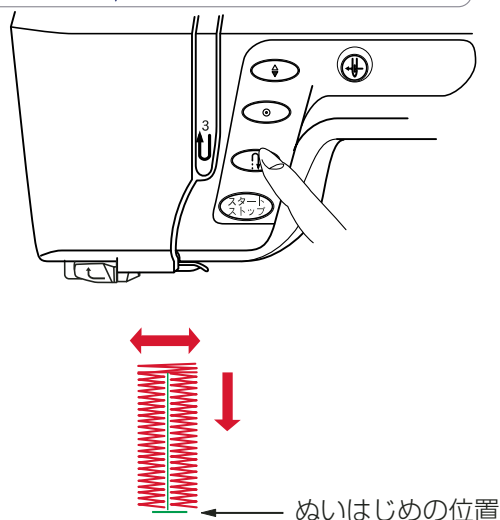
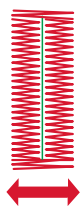
⑥ 左側の芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

※ ぬい目の幅は、芯糸に合わせてセットします。
※ ボタン穴の開け方は、48ページをごらんください。

オートボタンホール

※ ボタンホールの幅やあらさ、糸調子をかえたいときは、調節キーを押してください。
※ 左右のぬい目のあらさがそろわないときは、89ページをごらんください。
※ 長いボタンホールをぬいたいときは、F：サテン押さえをご使用ください。また、B：ボタンホール押さえ（別売）も使用できます。

①②③

① ボタンホルダーを(A)の方向にいっぱいに引き出します。
② 上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。
③ ぬいはじめの位置に針をさし、押さえをさげます。

ボタンホール

ボタンホール

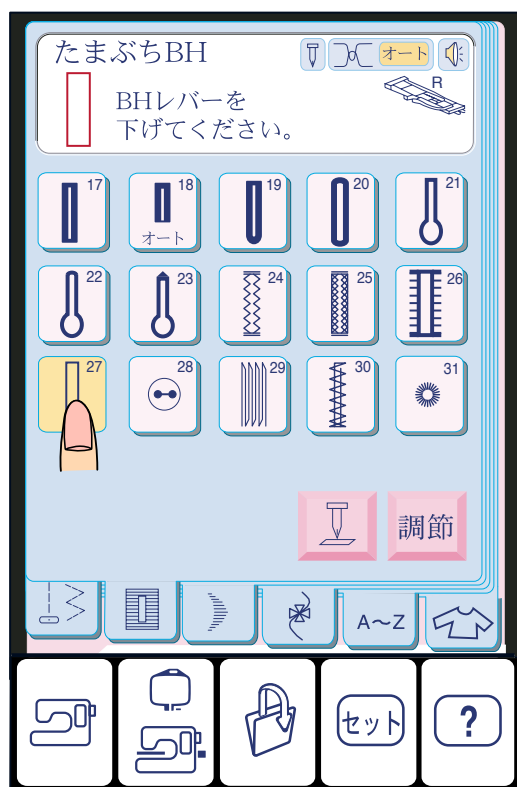
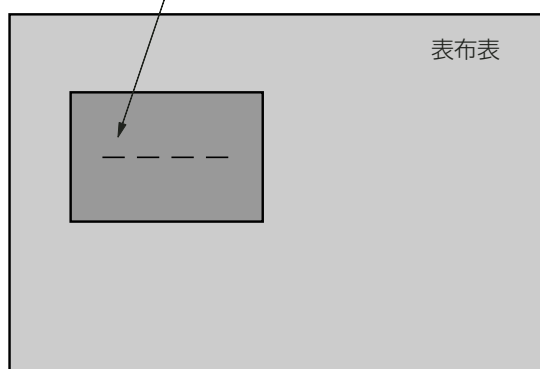
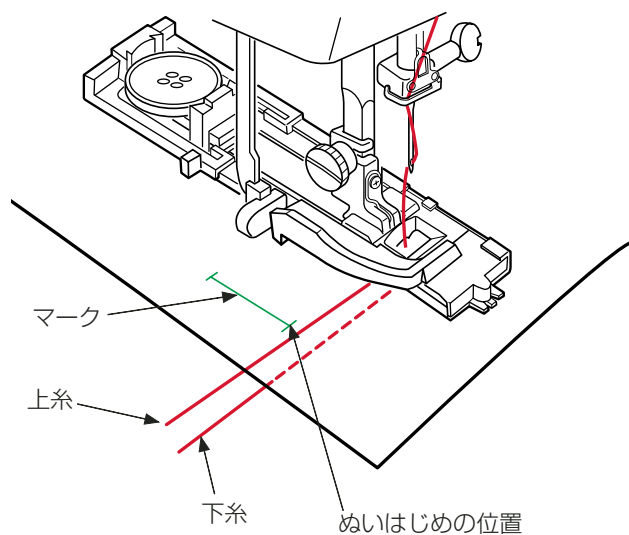
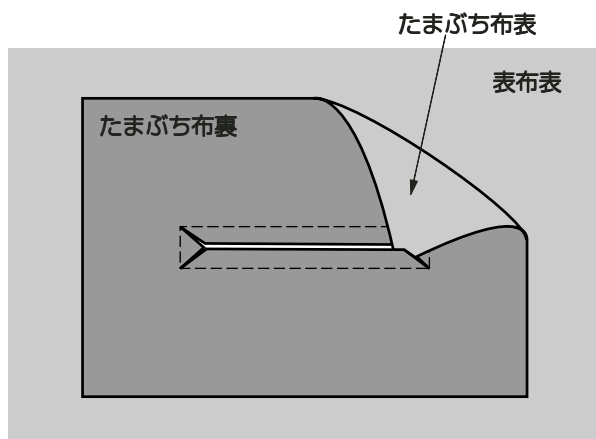
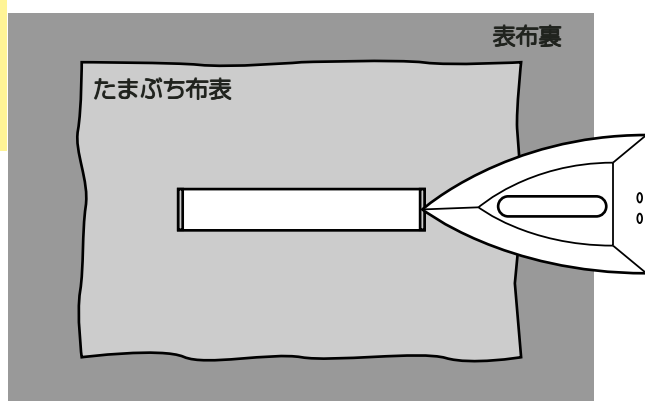
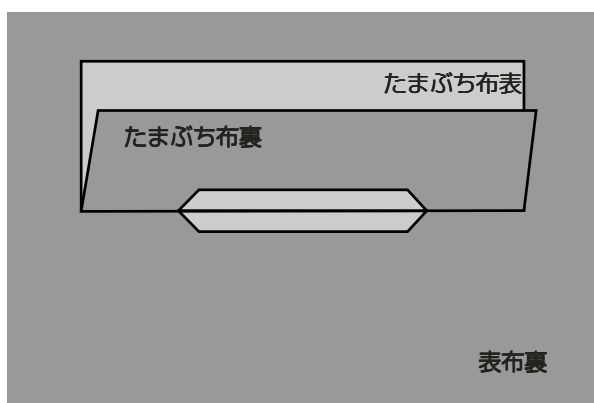
④ 左側のボタンホールぬいを必要な長さまでぬったら止めて、返しぬいボタンを押します。

⑤ かんぬきと右側をぬい、ぬいはじめの位置に戻ったら止めて、返しぬいボタンを押します。

⑥ かんぬきと止めぬいをし、自動的に止まるまでぬいます。

引き続きオートボタンホールをするとき／しないとき

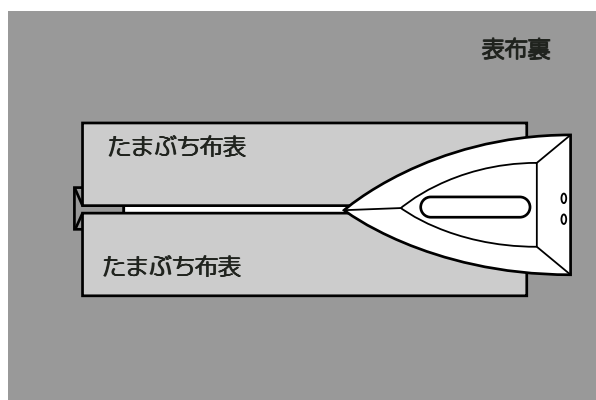
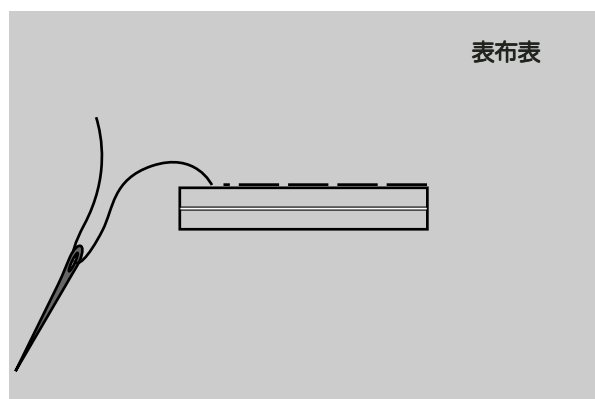
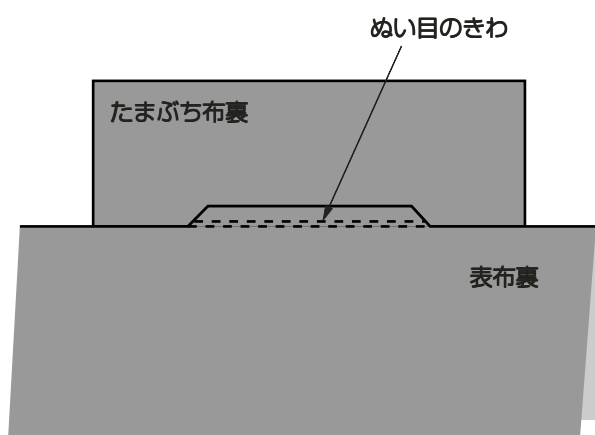
※ ミシンは、１度ぬったボタンホールの大きさを記憶しています。２度目からは、同じ大きさのボタンホールが自動的にできます。

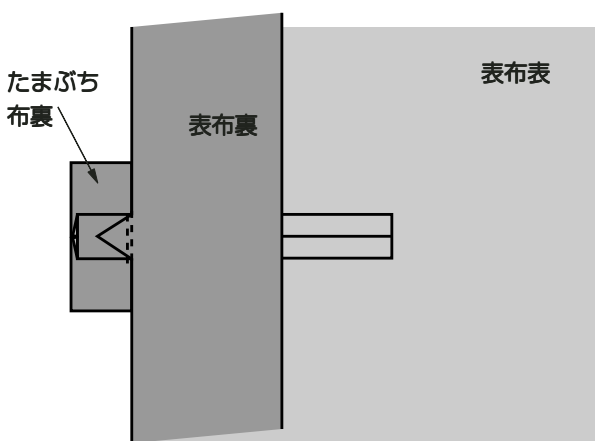
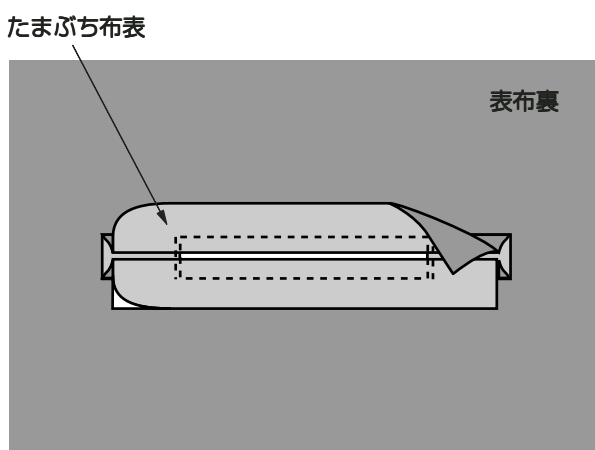
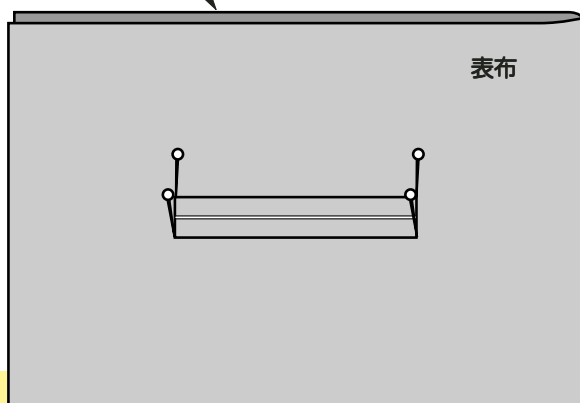
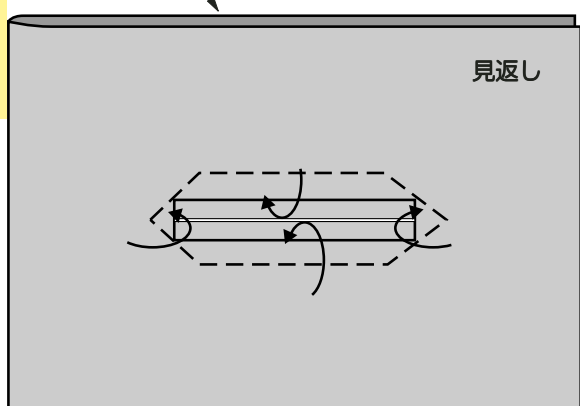
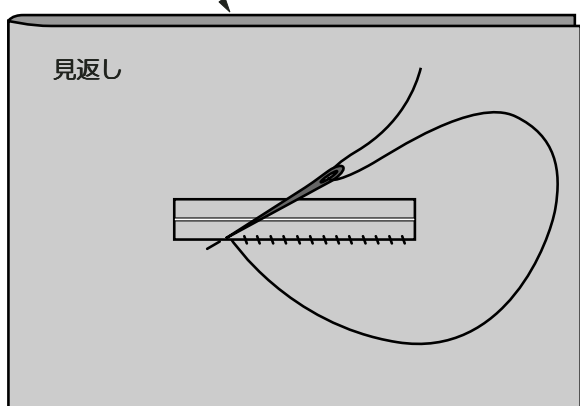
⑦ スタート･ストップボタンを押すと同じ大きさのボタンホールが自動的にできます。
異なる大きさのボタンホールをぬうとき、または、他の模様をぬうときには取消キーを押します。

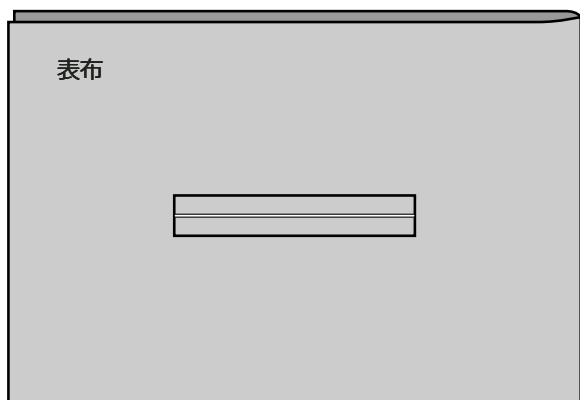
※ ボタン穴のあけ方は、48ページをごらんください。

たまぶちボタンホール

① たまぶち布と表布をしつけぬいで止めます。

② ボタンをボタンホルダーにはさみ、BH レバーをさげて、自動的に止まるまでぬいます。

③ ミシンをかけてからＹ字型に切れ込みを入れ、たまぶち布を裏側に出します。

④ 布表が見えるまでたまぶち布を引き、アイロンの先で角を整えます。

⑤ ぬいしろを正しく割ります。

⑥ アイロンで幅を整えます。

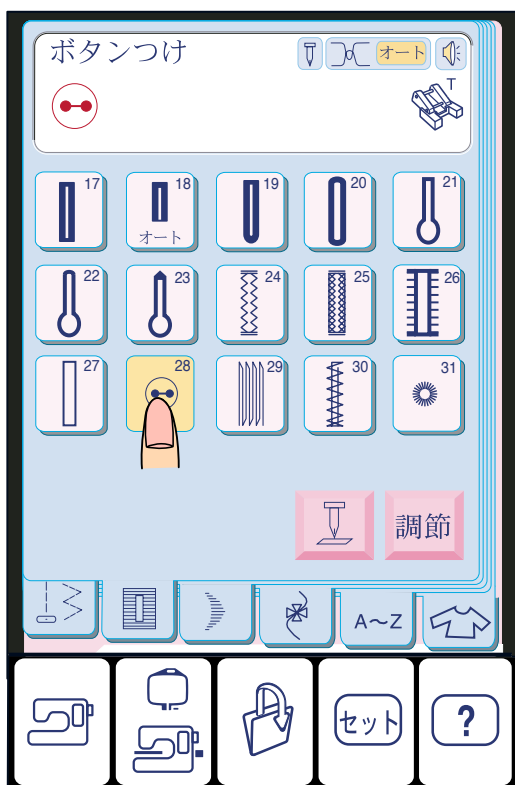
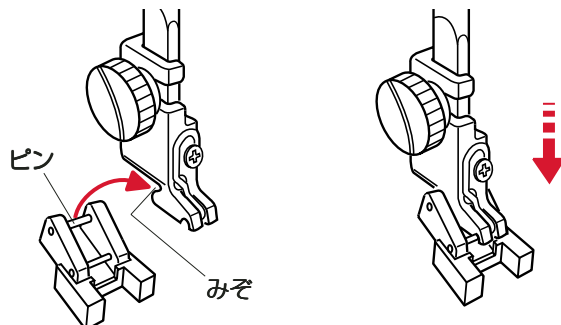
ボタンホール

⑦ ぬい目にしつけをします。

⑧ ぬい合わせたぬい目のきわをぬいます。

ボタンホール

⑨ 三角の布に三重にぬいをします。

⑩ たまぶち布を穴から１．０〜１．５ cmにたちおとします。角は丸くたちおとします。

⑪ 見返しに、たまぶち穴の形のしるしを付けます。

⑫ 見返しの表から③のようにＹ字型に切り込みを入れて、出来上がりの幅に折り、切り込まれた布を見返しとたまぶち布の間に折り込みます。

⑬ 細かめにまつります。

表布

⑭ 出来上がりです。

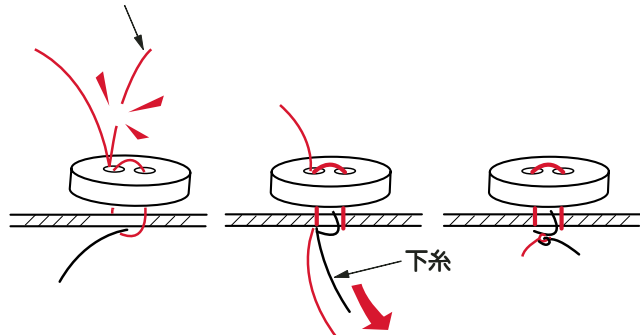
ボタンつけ

【押さえのとりつけ方】

ピン
みぞ

①押さえの後ろのピンをホルダーの後ろのみぞに掛けます。

②押さえの後ろを軽くささえながら、静かに押さえ上げをさげます。

3.5
3.4
初期化
取消
OK

根巻きなしボタンつけぬい

① 調節キーを押します。

② ＋ － キーでぬい目の幅をボタンの穴に合わせます。

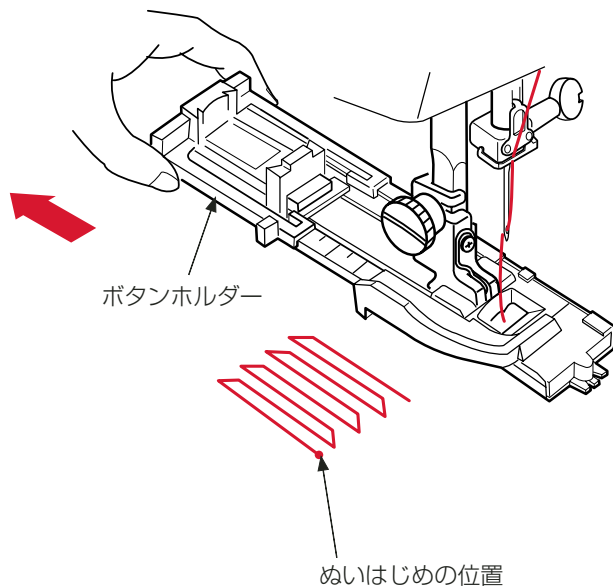
※ 手ではずみ車を手前にまわし、針を左にふらせたとき、ボタン穴幅に調節してください。

③ スタートして自動的に止まるまでぬいます。

④ ぬいはじめの上糸を切ります。

⑤ 下糸を引いて、上糸を布の裏に引き出し上糸と下糸を結びます。

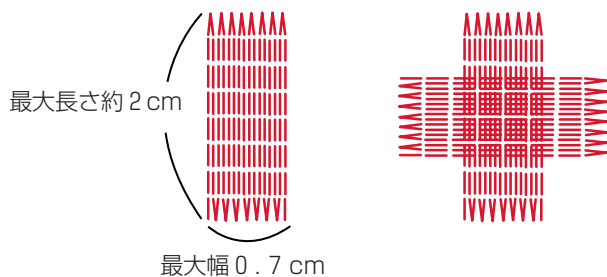
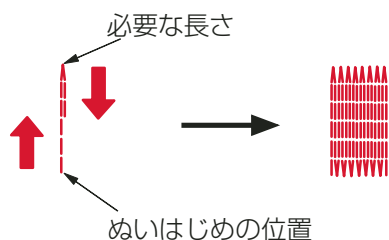
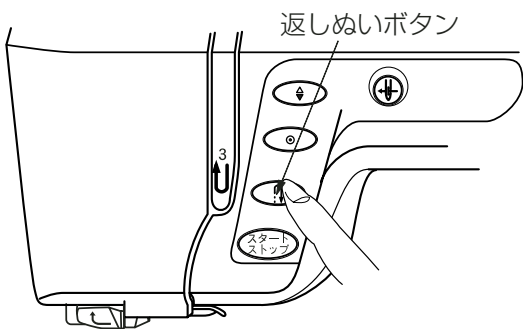
※ ボタンつけガイドの使い方及び、根巻きつきボタンつけは、使い方からの模様選択モードの「ボタンつけ」を参考にしてください。
（101ページをごらんください。）

つくろいぬい

① ボタンホルダーをいっぱいに引き出します。

② 上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。

③ ぬいはじめの位置に針をさし、押さえをさげ自動的に止まるまでぬいます。

※ 一回のぬいで、最大長さ約 2 cm、最大幅約0.7cmまでぬえます。

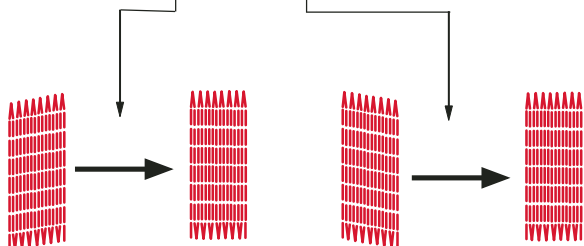
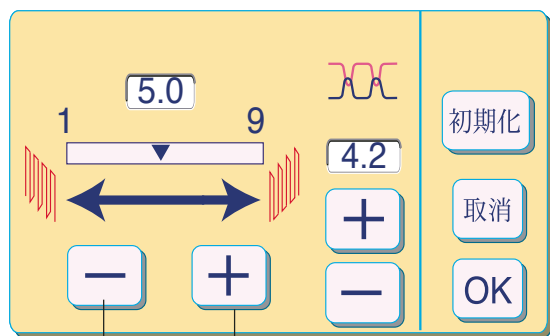
④ 布の向きをかえてくり返しぬいます。

2 cmより短い長さでぬう場合

最初に必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押して、自動的に止まるまでぬいます。

同じサイズ → 再スタート
ちがうサイズ → 取消

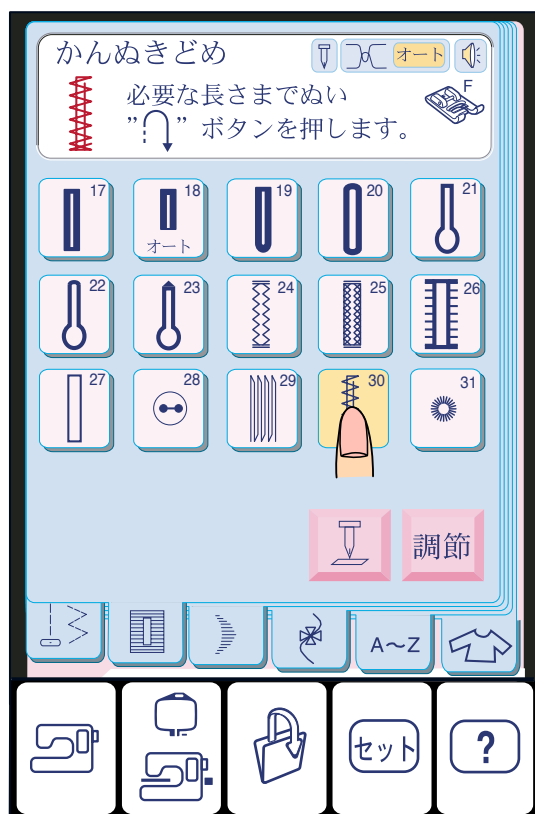
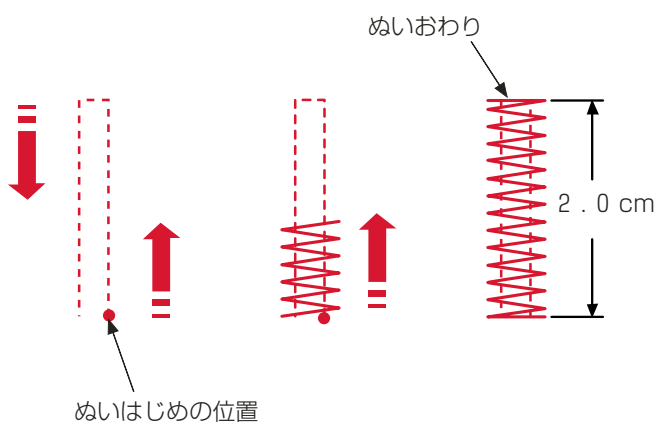
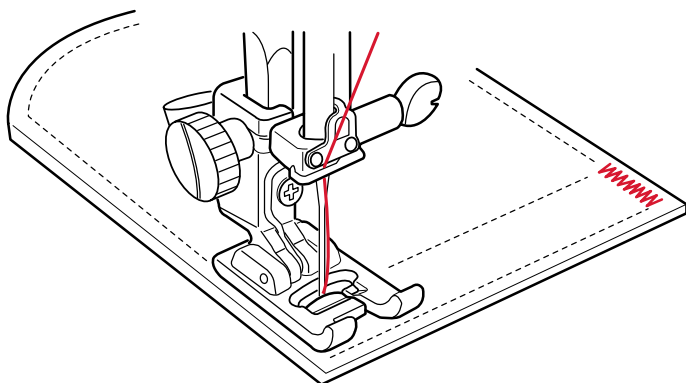
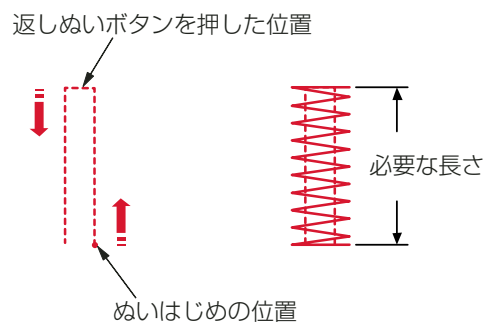
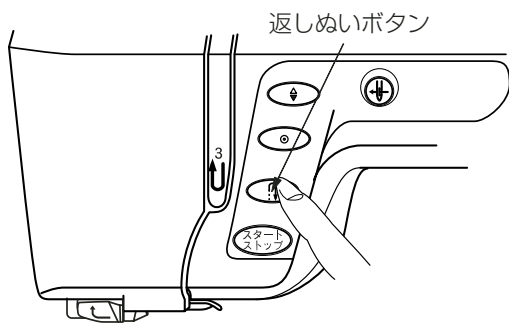
つくろいぬいの記憶

スタートボタンを押してぬうとくり返し同じ大きさのつくろいぬいがぬえます。

取消キーを押すと、異なる大きさのつくろいぬいができます。

つくろいぬいの形の整え方

つくろいぬいのぬいはじめ（左側）と、ぬいおわり（右側）の高さがそろわないときは、調節キーを押します。
デフォルト値「５．０」が表示されます。
左側が低いとき ー キーを押します。
右側が低いとき ＋ キーを押します。
「１．０」～「９．０」の範囲で調節してください。

※ 初期化キーを押すとデフォルト値（購入時の設定状態）へ戻ります。
取消キーを押すとぬい画面に戻ります。
OKキーを押すと設定した傾きになり、もとの画面に戻ります。

かんぬきどめ

ぬい目に力がかかって、ほつれやすい部分などに使うと、ぬい目がしっかりします。

一回のぬいで、オート値で２．０ cmが自動的にぬえます。
ぬい目の幅、あらさを変えたいときは、調節キーを押して調節してください。

ボタンホール

2．0 cm より短い長さでぬうとき

必要な長さまでぬい返しぬいボタンを押すと、その長さが決まります。

返しぬいボタンを押した位置

必要な長さ

ぬいはじめの位置

同じサイズ → 再スタート

ちがうサイズ → 取消

スタートボタンを押すとくり返し同じ長さのかんぬきどめがぬえます。

取消キーを押すと異なる長さのかんぬきどめができます。

アイレット

ボタンホール

自動的に止まるまでぬいます。

※ぬい目の内側を目打ち（別売）などで穴をあけます。目打ちの大きさは、直径0.25cm以下のものをご使用ください。

アイレット形状の修正

調節キーを押すと、マニュアル調節画面が表示されます。

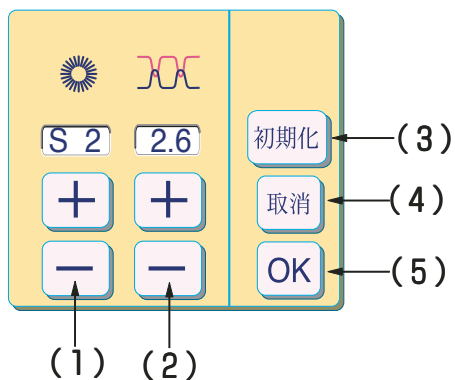
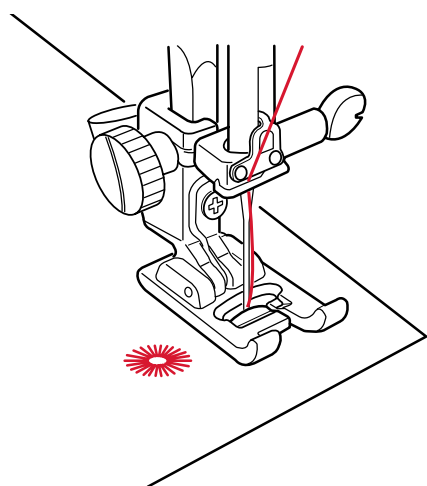
＋ － キーを押してアイレット形状を修正します。

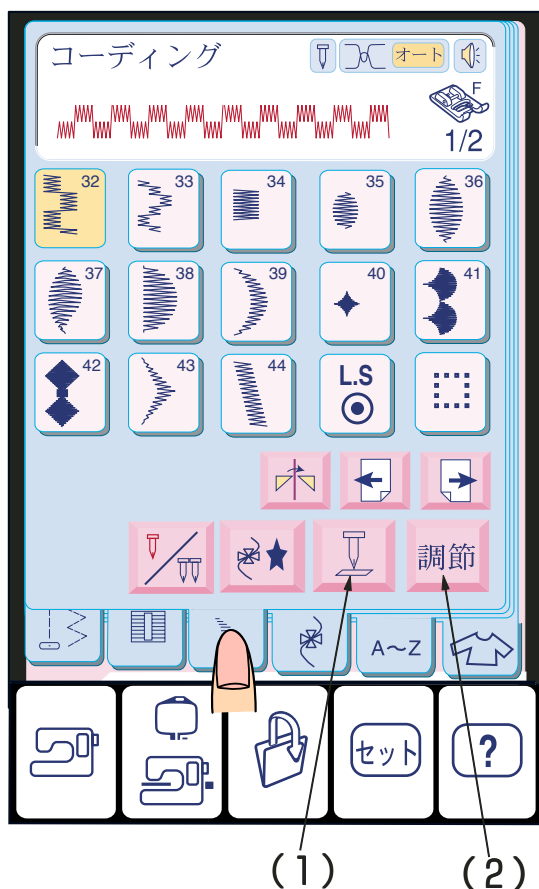
（1） 形状調節キーを押すと、「S2」が表示されます。布によってアイレットの形がくずれるときに調節します。
ぬい目にすきまがあるときは、「S1」にします。
ぬい目の重なりがあるときには、「S3」にします。

（2） 糸調子調節キー

（3） 初期化キー
キーを押すと表示されている項目全てがデフォルトの状態（購入時の設定状態）へ戻ります。

（4） 取消キー
キーを押すともとの数値になり、もとの画面に戻ります。

（5） OK キー
キーを押すと表示された数値になり、もとの画面に戻ります。

サテン / 飾りぬい

サテン模様

通常ぬいモードキーを押して、サテンモードを選びます。

キーのはたらき

(1)針上下切り替えキー

ミシンを停止したとき、針を上に止めるか、下に止めるかを選択することができます。

(2)調節キー

調節キーを押すと、マニュアル調節画面が表示されます。

＋ － キーを押してマニュアル調節をします。

(3)振幅調節

振幅量のマニュアル設定をします。

(4)送り調節

送り量のマニュアル設定をします。

(5)エロンゲータ

模様のあらさを変えずに、模様長さを変えます。

(6)糸調子

糸調子のマニュアル設定をします。

(7)初期化キー

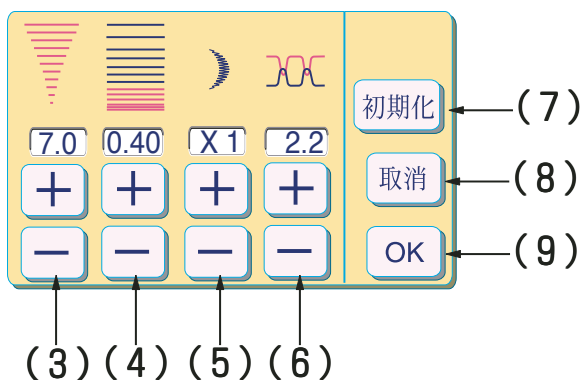
表示されている項目全てがデフォルトの状態（購入時のセット状態）へ戻ります。

(8)取消キー

キーを押すともとの数値になり、もとの画面に戻ります。

(9)OKキー

キーを押すと表示された数値になり、もとの画面に戻ります。

注意 電源を切ったときや、他の模様を選択したとき、振幅、送り、エロンゲータ、糸調子のセットは、取り消されます。

サテン・飾りぬい

（１０）模様組み合わせキー

模様組み合わせキーを押す毎に、通常モードと記憶モードを切り替えます。
記憶モードでは、カーソルキー、削除キー、確認キー、ファイルセーブキーが表示されます。

※ 模様の組み合わせは、サテン模様＃ 32 ～ 57 と、飾りぬい模様＃ 58 ～ 239、の中で組み合わせができます。

注意 模様組み合わせの後、通常モードに戻すと、プログラム内容はすべて取り消されます。

（１１）カーソルキー

カーソルを模様に合わせると（画面の模様 は赤から青になる。）削除したり、調節キーの項目が変更できます。

（１２）削除キー

カーソルのついている模様を削除します。
記憶した模様をすべて取り消すときには、一度他のモードを選んでください。

（１３）ファイルセーブキー

作成したプログラムを記憶しておくことができます。(86ページをごらんください。)

（１４）模様確認キー

記憶ぬい選択中は記憶した模様の確認ができます。(77 ページをごらんください。)
(頭出しキー)
ぬい中は、先頭表示になり先頭頭出しすることができます。
(72ページをごらんください。)

（１５）反転キー

模様を反転させるキーです。

（１６）ページキー

キーは、後ろのページに他の模様があることを示します。

キーは、前のページに他の模様があることを示します。

※キーのはたらきは、飾りぬいモードも共通です。

ワンサイクルぬい

① キーを押します。

② 模様＃36を選びます。

③ 自動止めぬいを選びます。
※自動止めぬいの後は、模様を記憶することはできません。

④ ミシンをスタートして自動的に止まるまでぬいます。

組み合わせ連続模様ぬいの例

例． 模様＃36、＃40の組み合わせ

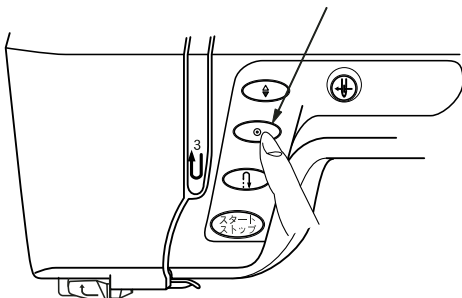
① キーを押します。

② 模様＃36を選びます。

③ 模様＃40を選びます。

④ ミシンをスタートしてぬいます。

ぬいおわり

必要な模様数の最後のぬい途中で、止めぬいボタンを押すと、その模様をぬって自動的に止まります。

反転キーを使った連続模様ぬいの例

例． 模様＃43

① キーを押します。

② 模様＃43を選びます。

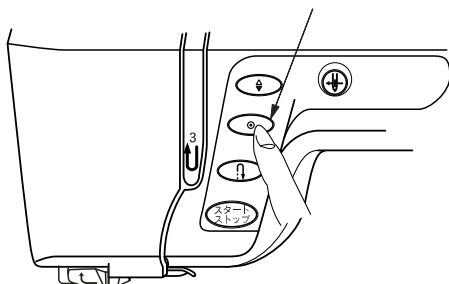
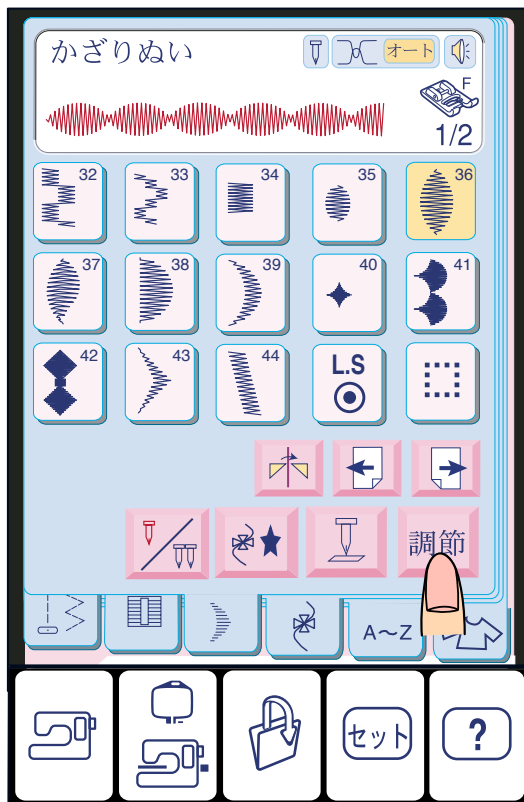
③ キーを記憶します。

④ 模様＃43を選びます。

⑤ ミシンをスタートしてぬいます。

ぬいおわり

必要な模様数の最後のぬい途中で、止めぬいボタンを押すと、その模様をぬって自動的に止まります。

ぬいあがり

エロンゲータぬい

例．模様＃３６

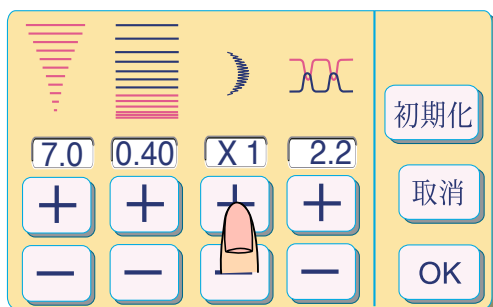
① 模様＃３６を選びます。

② 調節キーを押します。

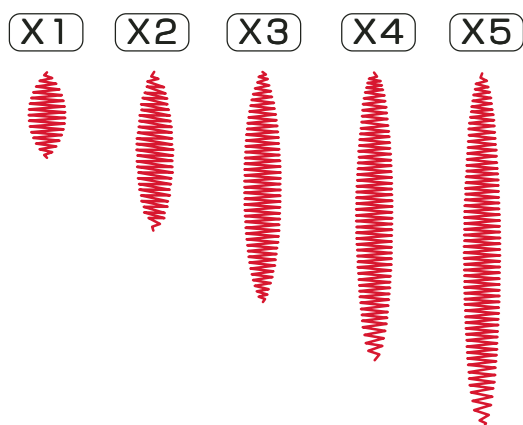
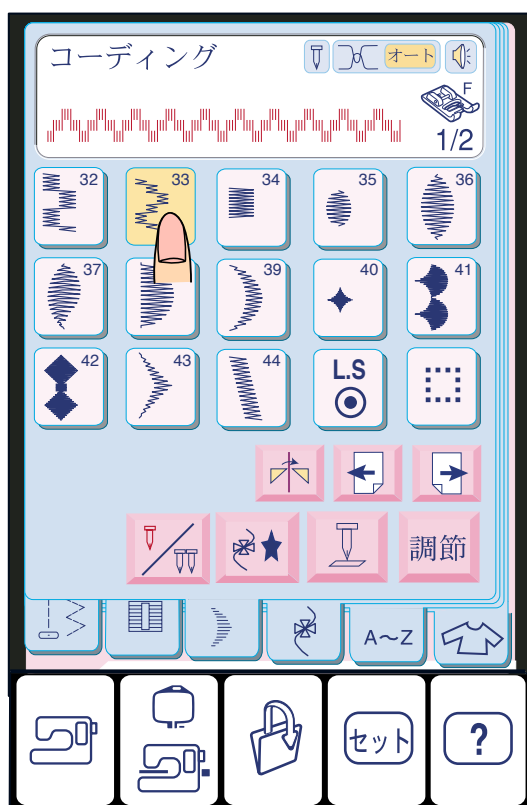
③ 模様長さを ＋ － キーで選びます。
模様長さは×１、×２、×３、×４、×５で表示されます。

④ OKキーを押すともとの画面に戻ります。

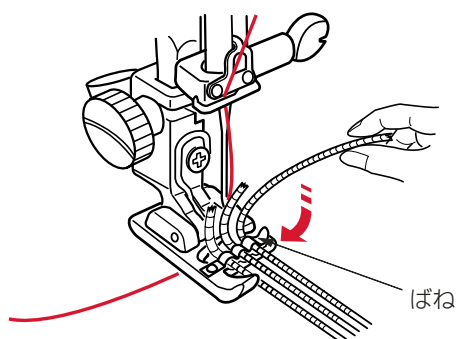
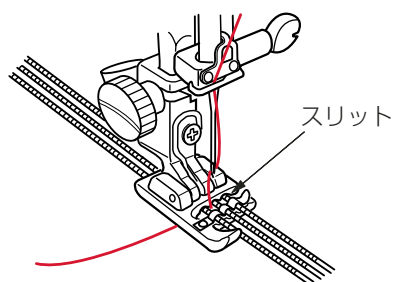
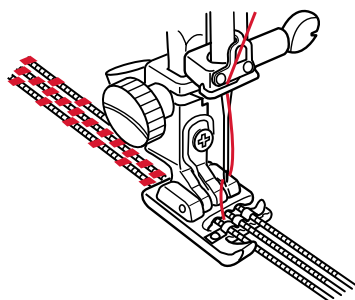
⑤ ミシンをスタートしてぬいます。

※ ぬい途中で止めぬいボタンを押すとその模様をぬって自動的に止まります。

(1) 初期化キー
表示されている項目全てがデフォルトの状態（購入時のセット状態）へ戻ります。

(2) 取消キー
キーを押すともとの数値になり、もとの画面へ戻ります。

(3) OKキー
キーを押すと表示された数値になり、もとの画面へ戻ります。

サテン・飾りぬい

コーディング

※ ３本コードのとき模様＃３３を選びます。
※ １本コードのとき模様＃３４を選びます。
調節キーを押し模様の幅を「３．０」に合わせます。
１本コードのときは、コーディング押さえ中央のみぞを使います。

① コードを押さえのばねの下にくぐらせ、みぞに通します。

② コードを押さえのスリットから押さえの下をくぐらせ、押さえの裏のみぞに入れ向こう側に１０cmくらい引き出します。

③ ３本コードを平行にそろえて、ぬい目がコードにまたがるようにぬいます。

飾りぬい模様

通常ぬいモードキーを押して、飾りぬいモードを選びます。

直線模様の記憶ぬい

例．模様＃70、＃58、＃70、＃59の組み合わせ

① 模様組み合わせキーを押して、模様＃70を選びます。

② 模様＃58を選びます。
（直線が２針記憶されています。）

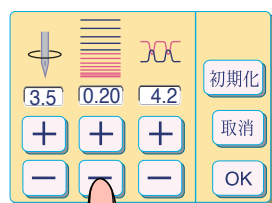
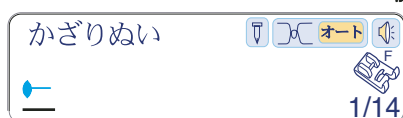
③ 模様＃70を選びます。

④ 模様＃59を選びます。
（直線が３針記憶されています。）

⑤ ミシンをスタートしてぬいます。

ぬいおわり

必要な模様数の最後のぬい途中で、止めぬいボタンを押すと、その模様をぬって自動的に止まります。

ぬいあがり

飾りぬい模様＃70直線部の変更

① 模様組み合わせキーを押して、模様＃70を選びます。

② 調節キーを押します。

③ 送りを0.2にセットし、「OK」キーを押します。

④ 模様スペースを選びます。

⑤ ミシンをスタートしてぬいます。

サテン・飾りぬい

サテン模様と飾りぬい模様の組み合わせ

例．サテン模様＃36、飾りぬい模様＃97の組み合わせ

① サテン模様キーを押します。

② 模様組み合わせキーを押します。

③ 模様＃36を選びます。

④ 飾りぬいキーを押します。

⑤ キーで４/12ページを開きます。

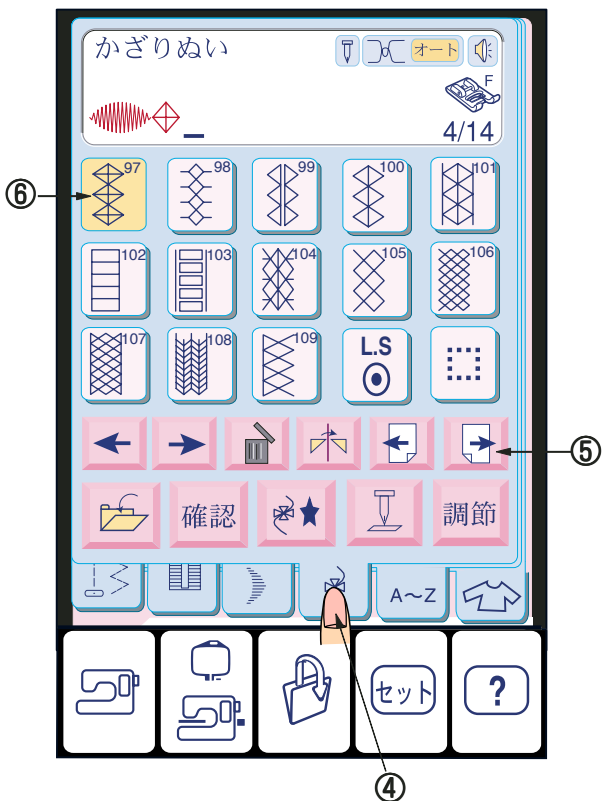
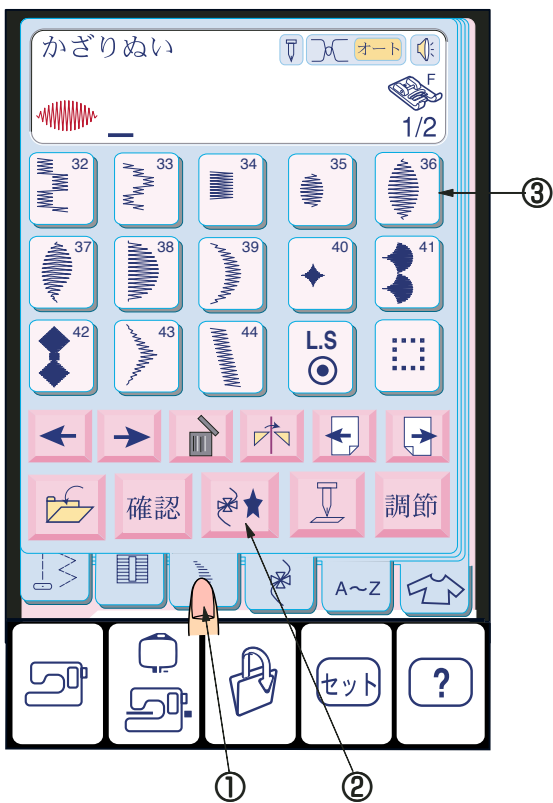
⑥ 模様＃97を選びます。

⑦ ミシンをスタートしてぬいます。

ぬいおわり

必要な模様数の最後のぬい途中で、止めぬいボタンを押すと、その模様をぬって自動的に止まります。

ぬいあがり

サテン・飾りぬい

先頭頭出しキーの使い方

ぬいの途中で、模様の最初からぬい直したいときに先頭キー（ぬいがはじまると表示されます。）を押します。画面表示が先頭表示されぬい直しができます。

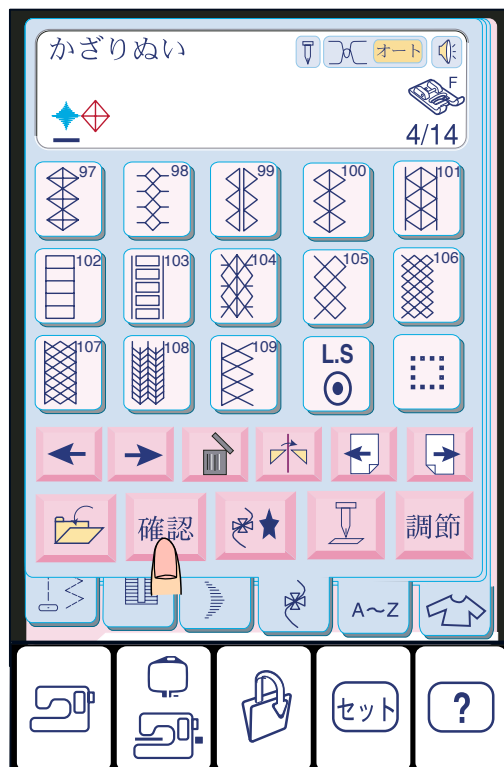
例．　サテン模様＃36、＃40、飾りぬい模様＃97の組み合わせ

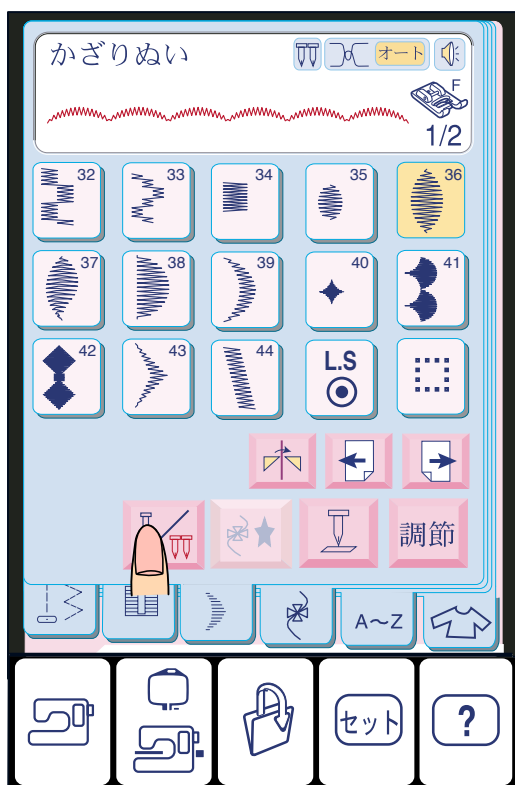
① ミシンをスタートしてぬいます。

② ぬいの途中でミシンを止めます。

③ 先頭 キーを押します。

④ はじめの模様（先頭）が表示されます。

⑤ ミシンをスタートしてはじめからぬうことができます。

サテン・飾りぬい

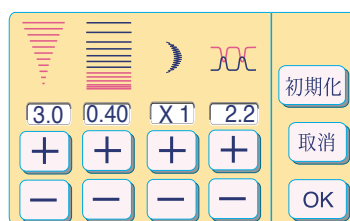
2 本針ぬい

※ 2 本針ぬいを行うときには、必ず試しぬいをしてください。

※ 2 本針ぬいのとき押さえは、A：基本押さえまたは、F：サテン押さえをご使用ください。

模様を選び、2 本針ぬい切り替えキーを押します。

2 本針ぬいに適さない模様の場合

模様を選ぶと 2 本針ぬい切り替えキーがうすくなり使えなくなります。

サテン・飾りぬい

⚠ 注意

針の取り替えは、電源スイッチを切って行ってください。

けがの原因になります。

※ 取付け穴に補助糸立て棒を立て、フェルト、糸こまを入れます。
（15ページをごらんください。）

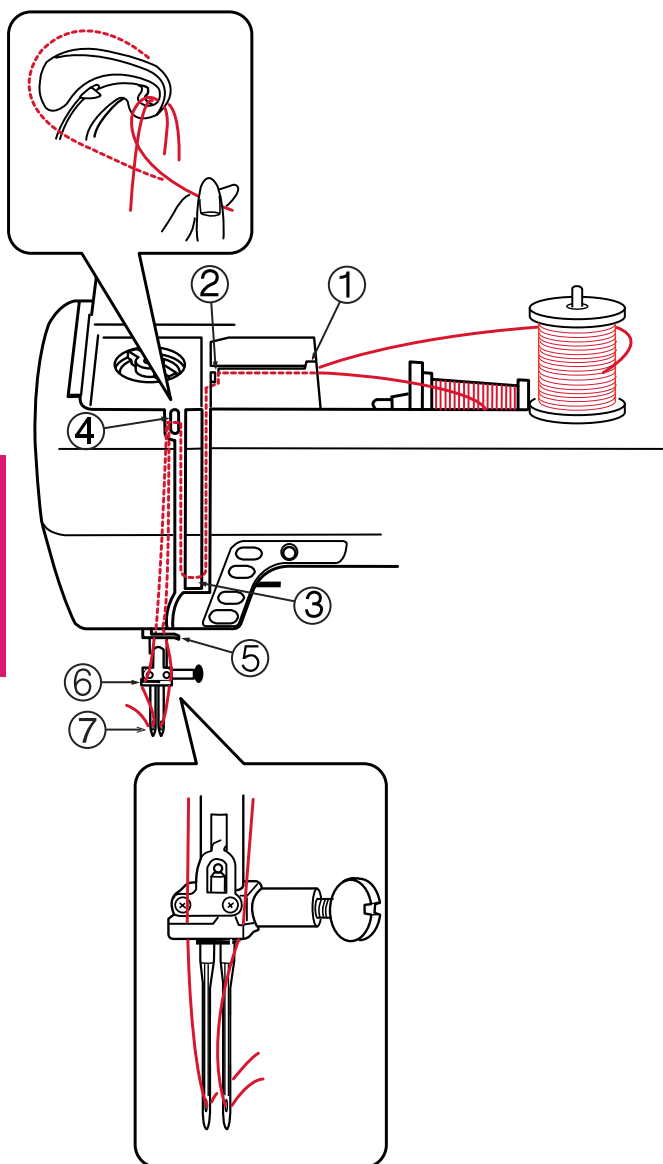
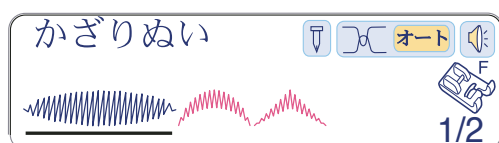
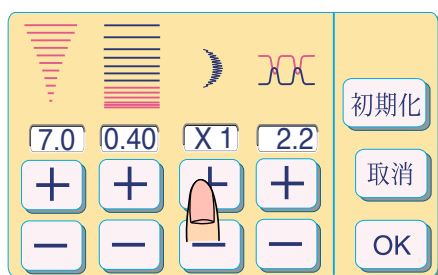
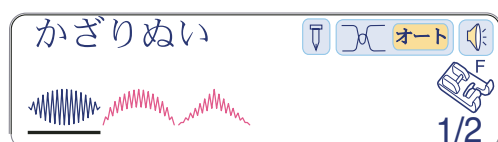
２つの糸こまから引き出した２本の糸は、途中でよじれないように ① ～ ⑦ の順序で正しく掛けてください。

① ～ ⑤ の糸の通し方は、１本針のときと同じです。

※ 糸の端は、下から手前に出るようにします。
※ 補助糸立て棒の糸こまの糸の端は、向こう側から出るようにします。

⑥ 針棒糸掛けに左右に分けて掛けます。

⑦ ２本針に左右に分けて糸を通します。

※ 糸通しは使えませんので、針の手前から向こう側に、手で通してください。
※ ぬい方向を変えるときは、針を上げて布の方向を変えてください。

組み合わせ模様の個別変換

プログラムぬい（模様組み合わせ）のとき、調節キーで、振幅、送り、エロンゲータ、糸調子の調節をすると、カーソルのついている模様のみが変更されます。

例． サテン模様＃36、＃39、＃43を記憶しているときの模様＃36の長さ（エロンゲータ）の変更

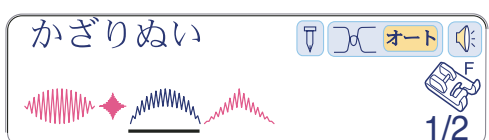
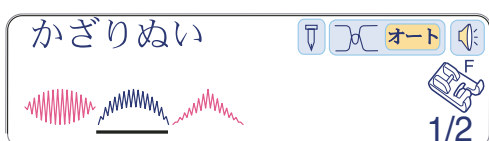
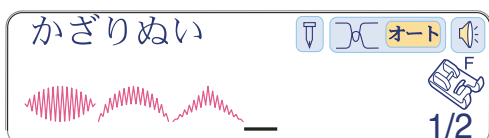
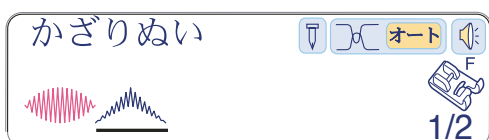
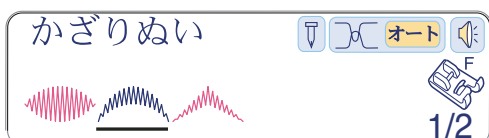
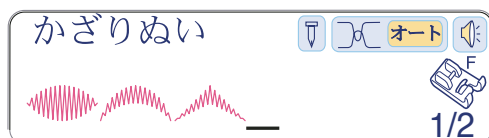
① ← キーを押して、変更する模様にカーソルを合わせます。

② 調節キーを押します。

③ 模様の長さを ＋ － キーで選びます。

④ OK キーを押すと、もとの画面に戻ります。

⑤ ミシンをスタートしてぬいます。

プログラム修正

例．　サテン模様＃36、＃39、＃43を記憶しているとき

模様の削除

① キーで削除する模様にカーソルを合わせます。

② キーを押します。

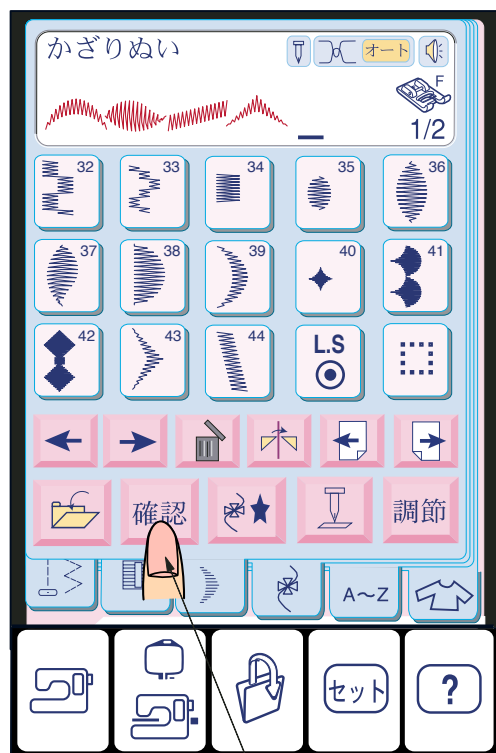
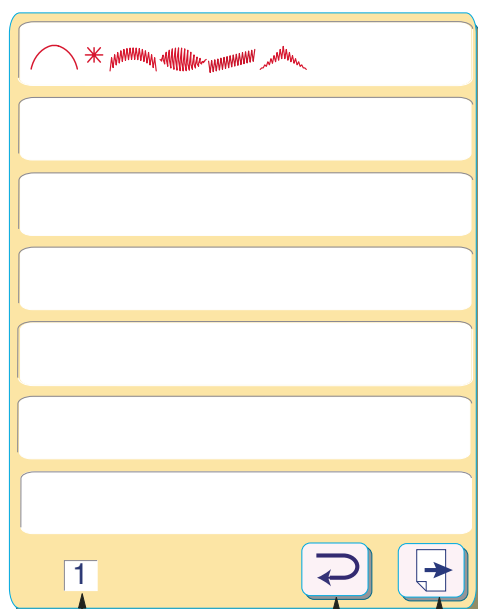
③ 模様＃39が削除されます。

模様の挿入

① キーで挿入したい場所の次の模様にカーソルを合わせます。

② 模様を選びます。（例．模様＃40）

③ 模様が挿入されます。

プログラム確認

例．　模様＃92、＃96、＃39、＃37、
　　　＃44、＃43を記憶しているとき

① 確認 キーを押したとき、プログラムした内容が確認できます。

② キーで後ろ、または、前ページに記憶している模様が一覧できます。

※一画面しか模様が記憶されていないときは、
　キーはうすく表示され使用できなくなります。

③ キーを押すと、もとの画面に戻ります。

④ ページ数を表示します。

文字ぬい

キーのはたらき

文字ぬいモードで、文字の組み合わせ模様（文字列）を作成することができます。

（ブロック体 / スクリプト / ブロードウェイ / ワンポイントの書体のとき）

（1）

書体

（2）

（3）

（4）

（5）

（6）

（1）書体キー

キーを押すと、６種類の選択画面が表示されます。

ブロックキー
スクリプトキー
ブロードウェイキー
ワンポイントキー
明朝体キー
まるもじキー

（2）戻りキー

キーを押すと、もとの画面に戻ります。

（3）糸調子キー

文字をカーソルで選んで糸調子キーを押すと糸調子調節画面が表示されます。

（糸調子のマニュアル設定）

＋ キーで上糸を強くします。

－ キーで上糸を弱めにします。

（4）初期化キー

糸調子の数値がデフォルトの状態（購入時のセット状態）へ戻ります。

（5）取消キー

キーを押すと、糸調子がもとの数値になり、もとの画面に戻ります。

（6）OKキー

キーを押すと、表示された数値になり、もとの画面へ戻ります。

注意 電源を切ったときや、他の模様を選択したとき、糸調子のセットはキャンセルされます。

(7) 0~9 A~Z

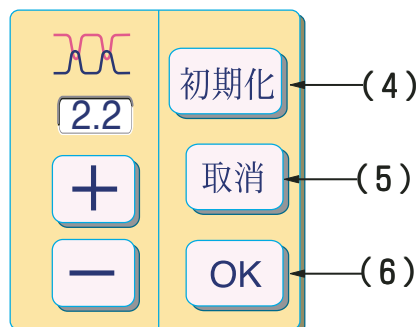
(8) 大/小

(9)

(10)

(11)

(12) A/a

(13) 確認 （先頭）

（7）アルファベットと数字切り替えキー

アルファベットと数字の切り替えができます。
キーは、一度押すと数字になり、もう一度押すとアルファベットに戻ります。

（8）縮小キー

文字の大きさが約2/3に縮小されます。
キーは、一度押すと縮小となり、もう一度押すと普通サイズになります。

（9）ファイルセーブキー

作成したプログラム（文字列）を記憶しておくことができます。

（10）カーソルキー

文字列編集をするときに使います。
← キーでカーソルは左へ移動します。
→ キーでカーソルは右へ移動します。

（11）削除キー

カーソルのついている模様を削除します。
記憶した文字をすべて取り消すときには、一度他のモードを選んでください。

（12）大文字、小文字切り替えキー

キーを押すごとに大文字、小文字に切り替わります。

（13）確認キー

プログラム中は文字列の確認、ぬい中は「先頭」と表示され先頭頭出しさせるキーです。

キーのはたらき

(明朝体 / まるもじ書体のとき)

（1）

（2）

（3）

（4）

（1）ひらがなとカタカナ切り替えキー

ひらがなとカタカナの切り替えができます。
キーは、一度押すとカタカナになり、もう一度押すとひらがなに戻ります。

（2） 横書き、縦書き切り替えキー

横書きと縦書きの切り替えができます。
キーは、一度押すと縦書きになり、もう一度押すと横書きになります。

（3）濁点(だくてん)、半濁点切り替えキー

濁点と半濁点の切り替えができます。
キーは、一度押すと濁点になり、もう一度押すと半濁点になります。

（4）ページキー

キーは、後ろのページに他の模様があることを示します。

キーは、前のページに他の模様があることを示します。

※その他のキーの使い方は、ブロック体と同じです。

文字ぬい例

（例）明朝体ひらがな、横書き（がっこう）

① 書体キーを押します。

② 明朝体を選びます。

③「か」を選びます。

④ 濁点、半濁点切り替えキーを押します。

⑤ ページキーを押します。

⑥「っ」を選びます。

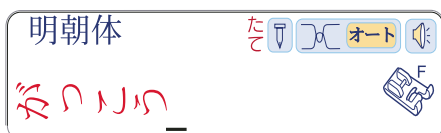
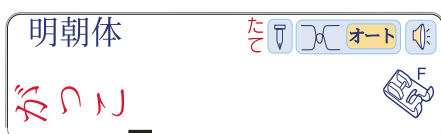
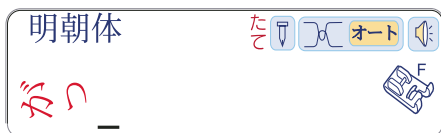
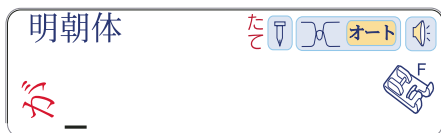
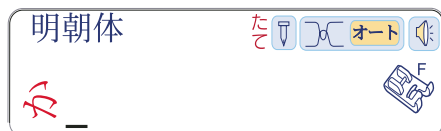
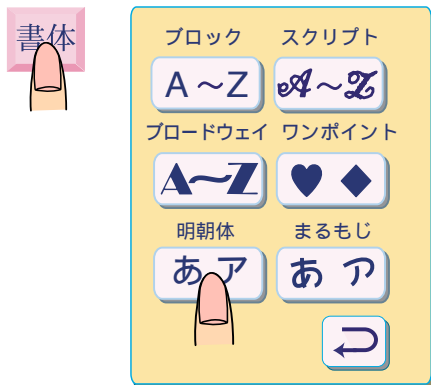
⑦ ページキーを押します。

⑧「こ」を選びます。

⑨「う」を選びます。

⑩ ミシンをスタートして自動的に止まるまでぬいます。

文字をきれいにぬうために

1 必ず同じ布地で試しぬいをしてください。
2 針は、ジャノメブルー針を使用してください。
3 伸びる布地、薄手の布地などのときには、布の裏に市販品の芯地を貼るか、または、トレーシングペーパーや薄い紙を布の下に敷いてぬってください。

（例）明朝体ひらがな、縦書き（がっこう）

① 書体キーを押します。

② 明朝体を選びます。

③ 横書き、縦書き切り替えキーを押します。

④「か」を選びます。

⑤ 濁点、半濁点切り替えキーを押します。

⑥ ページキーを押します。

⑦「っ」を選びます。

⑧ ページキーを押します。

⑨「こ」を選びます。

⑩「う」を選びます。

⑪ ミシンをスタートして自動的に止まるまでぬいます。

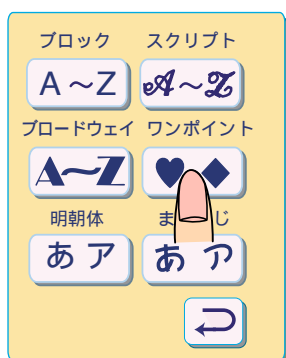
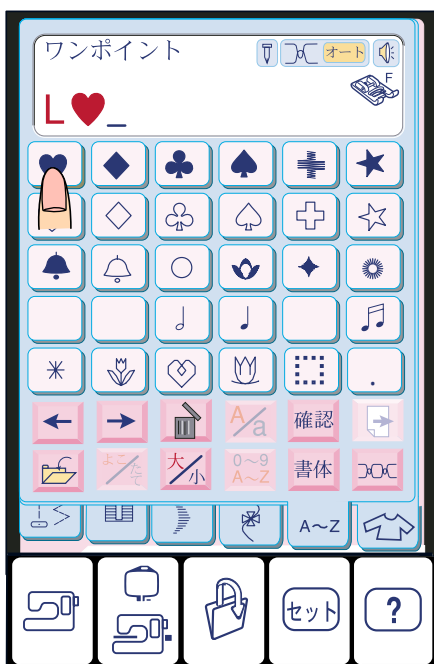
（例）アルファベット
ブロック体とワンポイントの組み合わせ
（L♥ve）

① 書体キーを押します。

② ブロック体を選びます。

③ 「L」を選びます。

④ 書体キーを押します。

⑤ ワンポイントを選びます。

⑥「♥」を選びます。

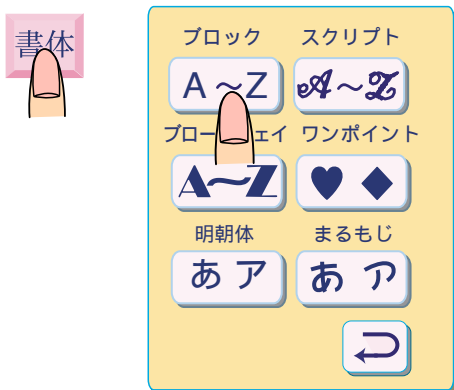
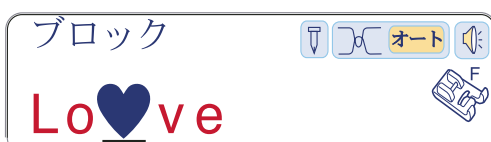
⑦ 書体キーを押します。

⑧ ブロック体を選びます。

⑨ 大文字、小文字切り替えキー A/a を押します。

⑩「v」を選びます。

⑪「e」を選びます。

⑫ ミシンをスタートさせ自動的に止まるまでぬいます。

プログラム修正

例．　文字ぬい L (ブロック体)、♥（ワンポイント)、ve（ブロック体／小文字）を記憶しているとき

文字の削除

① キーで削除する模様 ♥ にカーソルを合わせます。

② キーを押します。

③ 模様 ♥ が削除されます。

文字の挿入

① キーで挿入したい場所の次の文字にカーソルを合わせます。

② 模様を選びます。(例．ブロック体小文字「O」)

③「O」が挿入されます。

記憶模様の登録と呼び出し

記憶模様の登録

①ファイルセーブキー

作成したプログラムを記憶しておくことができます。

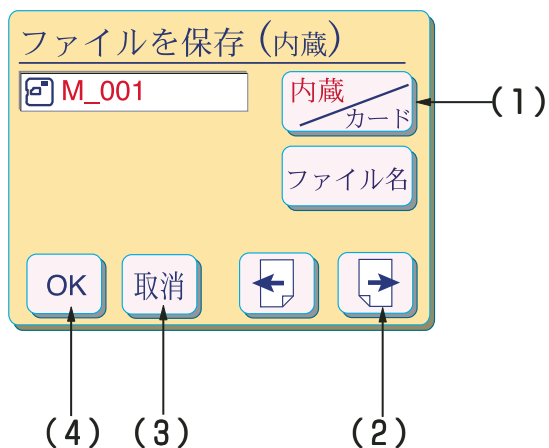
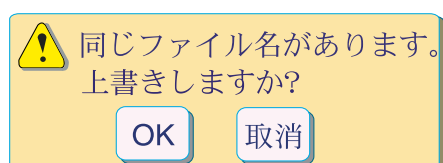
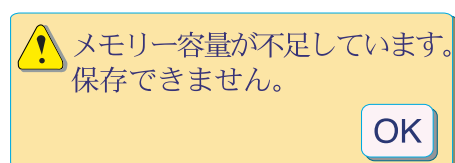
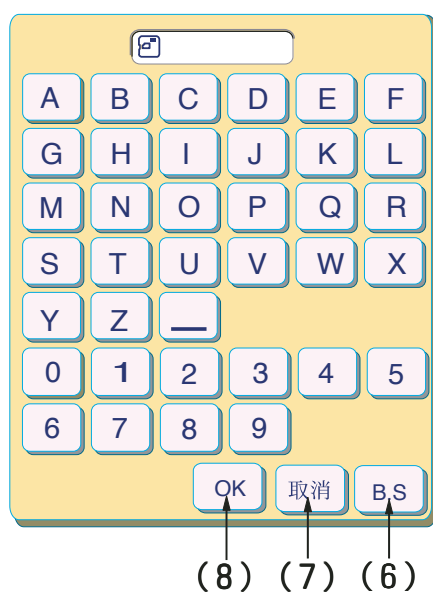
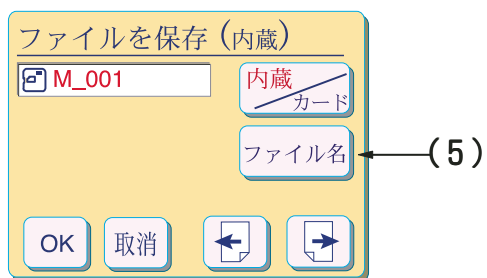
(1) 内蔵/カード キーでミシンにセーブまたは、カードにセーブの選択をします。

(2) ← → キーで後ろまたは、前のページにファイルセーブしている項目が一覧できます。

(3) 取消 キーを押すともとの画面に戻ります。

(4) OK キーを押すとセーブしてもとの画面に戻ります。

※模様をセーブすると、ファイル名を入れないとき M＿001・・・からの連番で自動入力します。

文字ぬい

注意：ファイルを保存中、および、開いている途中に電源を切ったり、カードの抜き差しを行わないでください。
また、画面に や砂時計が出ている間は、電源を切ったり、カードの抜き差しを行わないでください。記憶したデータが消失したり、ミシンがダメージを受ける場合があります。

(5) ファイル名 キーでファイル名が入力できます。

※８文字まで入力できます。

(6) B.S キーで入力修正をします。

(7) 取消 キーを押すと、ファイルセーブの画面に戻ります。

(8) OK キーを押すと、ファイルセーブ画面に戻り、ファイルセーブされます。

※ 記憶容量がいっぱいになったときは、[メモリー容量が不足しています。保存できません。] の表示が出ますので、 OK キーを押してください。記憶が必要な場合は、ファイルオープンをして、不要な模様を削除することにより、記憶容量を確保してから、もう一度、保存してください。

注意：保存したデータが誤操作や故障等で消失する場合に備え、別売のマイカードにも保存することをおすすめします。

※ 同じファイル名のときは、[同じファイル名があります。上書きしますか?] の表示が出ます。

「OK」 キーを押すと、上書きし、もとの画面に戻ります。

「取消」キーを押すと、上書きせずに、もとの画面に戻ります。

文字ぬい

文字ぬい

記憶模様の呼び出し

① ファイルオープンキー

ファイルオープンキーを押すことによって、記憶された模様をぬうことができます。刺しゅうぬいでファイルオープンしたときには、記憶された刺しゅう模様のファイルがリストアップされます。リストアップされた一覧から目的の模様ファイルを選択してぬいます。

(1) 内蔵/カード キーでセーブされている記憶媒体（ミシン、またはカード）を選択します。

(2) ↑ ↓ キーを使い、目的の模様ファイルに合わせます。

(3) OK キーを押すと目的の模様ファイルが選択され、ぬい画面が表示されます。

(4) 削除 キーを押すと、[ファイルを削除してもいいですか?] の表示が出ます。

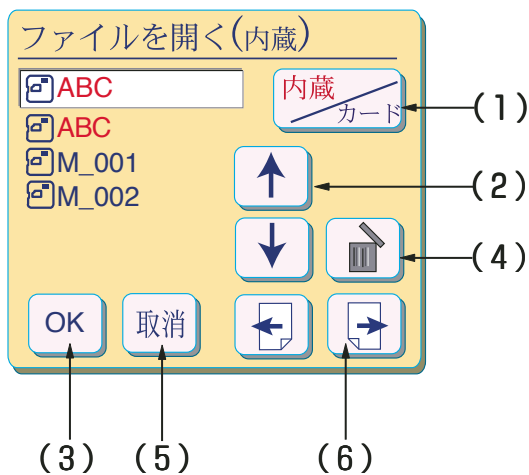
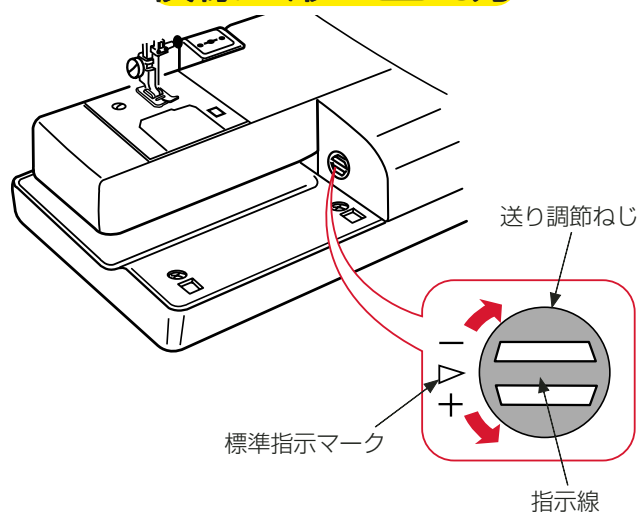
「OK」　キーを押すと、選択された模様ファイルは削除され、もとの画面に戻ります。

「取消」　キーを押すと、選択された模様ファイルは削除されずに、ファイルを開く画面に戻ります。

連番ファイル名を削除したとき、次にセーブするときの連番ファイル名は、現在ファイル名にある連番の続きになります。

例）M_001 から M_006 がセーブされていて、M_001 を削除したとき、次にセーブする連番ファイル名は、M_007 になります。

(5) 取消 キーを押すとファイル内の模様は選択されずもとの画面に戻ります。

(6) ← → キーでページを切り替えます。

模様の形の整え方

布の種類、厚さ、ぬいの速さなどによっては、模様の形がくずれる場合があります。実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをしながら、送り調節ねじで調節してください。

※標準指示マークと指示線が一致する位置が模様を正しくぬえる目安の位置です。

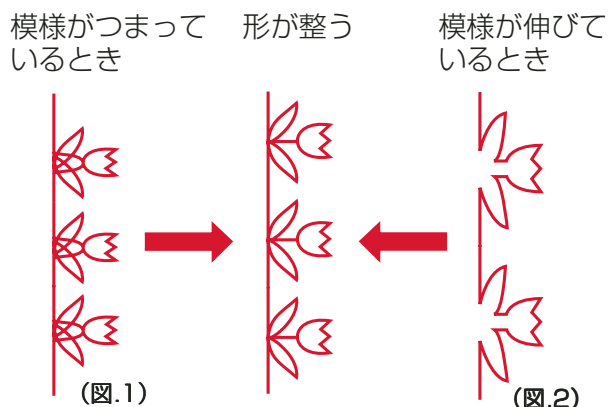
スーパー模様の形の整え方

模様がつまって いるとき　　形が整う　　模様が伸びて いるとき

模様の形が伸びたり、つまったりして形が整わないときは、下記の方法で調節します。

※スーパー模様は、前進ぬいと後進ぬいがある模様です。

図１のように模様がつまっているときは、送り調節ねじを「＋」方向にまわします。

図２のように模様がのびているときは、送り調節ねじを「−」方向にまわします。

文字・数字の形の整え方

文字・数字が つまっているとき　　形が整う　　文字・数字が 伸びているとき

(図.1)　　(図.2)

図１のように文字がつまっているときは、送り調節ねじを「＋」方向にまわします。

図２のように文字がのびているときは、送り調節ねじを「−」方向にまわします。

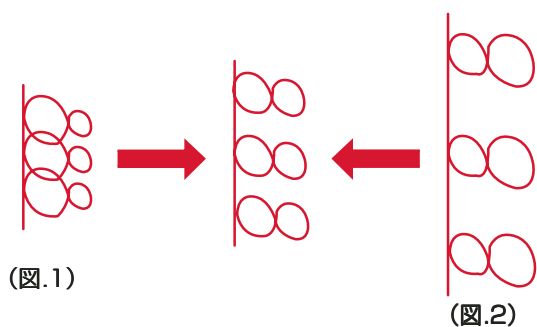
オートボタンホールの左右のぬい目あらさの整え方

右側がつまって いるとき　　形が整う　　右側が伸びている とき

図１のように模様がつまっているときは、送り調節ねじを「＋」方向にまわします。

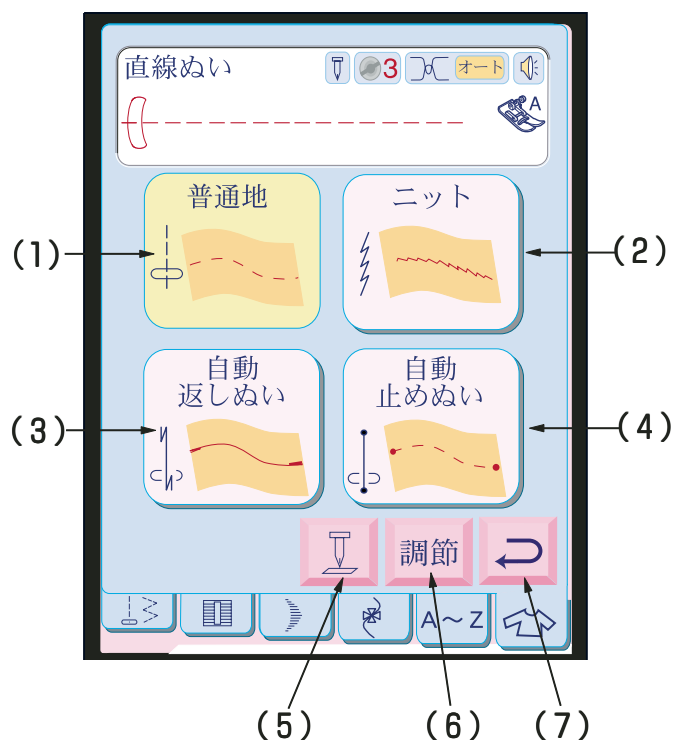
図２のように模様が伸びているときは、送り調節ねじを「−」方向にまわします。

使い方からの模様選択（用途選択）

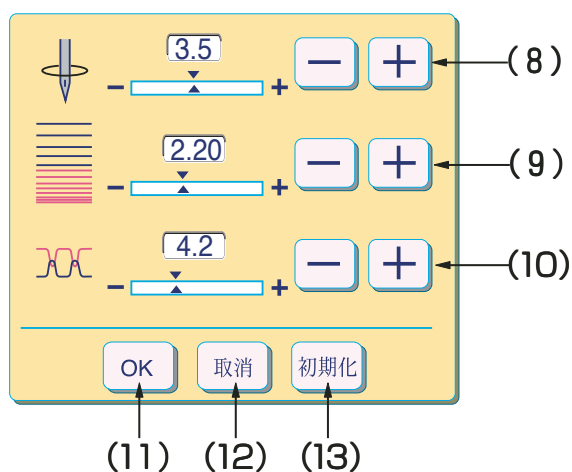
使い方の種類

用途選択キーを押すと、使い方からそれに適した模様が選べるモードになります。選択キーを押すと、使い方に合った模様が選択され、使い方に合った設定に自動セット（模様、振幅、送り、糸調子）されます。

使い方からの模様選択メニューから、１２種類の使い方が選択できます。

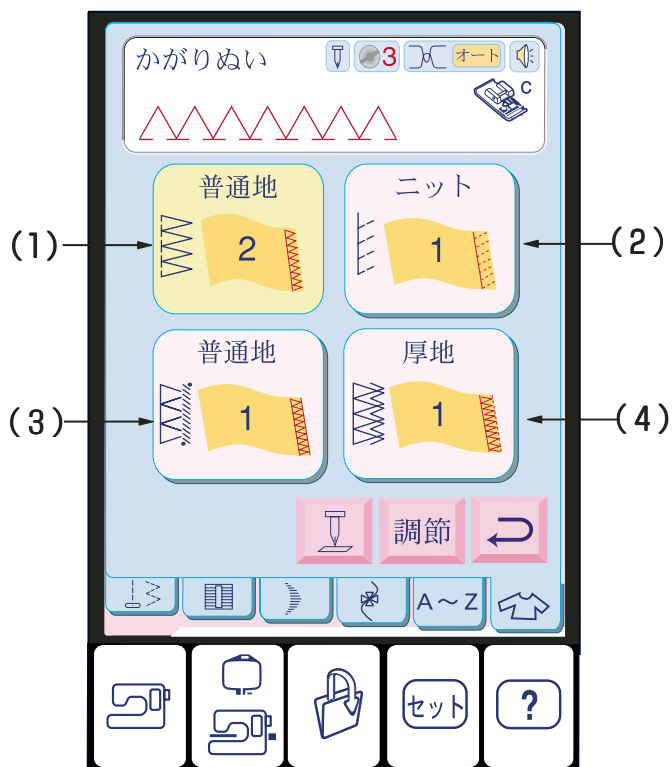
地ぬい

地ぬいキーを押すと、地ぬい選択画面が表示されるとともに、標準的な地ぬいの使い勝手として、ミシンは直線中基線、送り量2.2にセットされます。地ぬいモードでは、次の使い勝手の選択ができます。

（1） 普通地：平織り用地ぬい（標準）選択キー
（2） ニット地地ぬい選択キー
（3） 自動返しぬいつき地ぬい選択キー
（4） 自動止めぬいつき地ぬい選択キー
（5） 針上下切り替えキー
（6） 調節キー
（7） 戻りキー
戻りキーを押すと用途選択画面に戻ります。

調節キーを押すとマニュアル調節画面が表示されます。

[－] [＋] キーを押してマニュアル調節をします。
（8） 針落ち位置調節キー
（9） 送り調節キー
（10） 糸調子調節キー
（11） OKキー
キーを押すと表示された数値になり、もとの画面に戻ります。

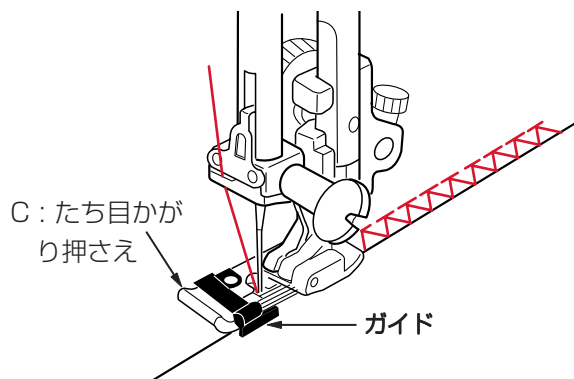
（12） 取消キー
キーを押すともとの数値になり、もとの画面に戻ります。

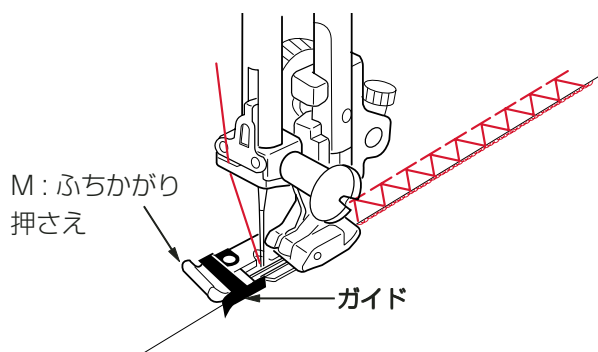
（13） 初期化キー
表示されている項目全てがデフォルトの状態（購入時の設定状態）に戻ります。

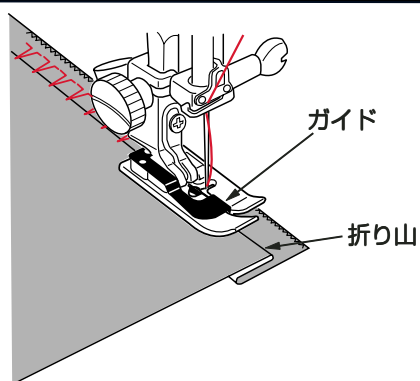
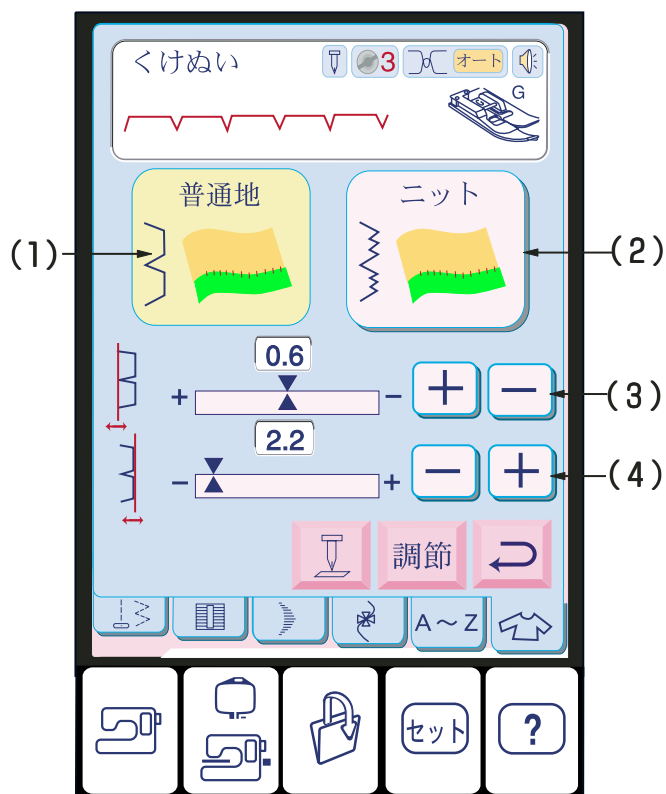
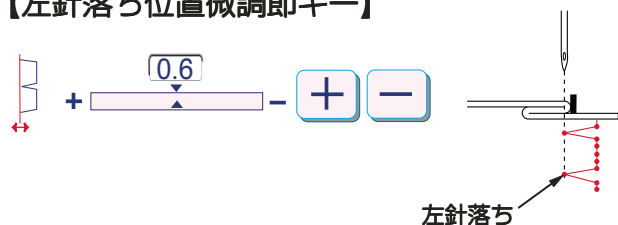
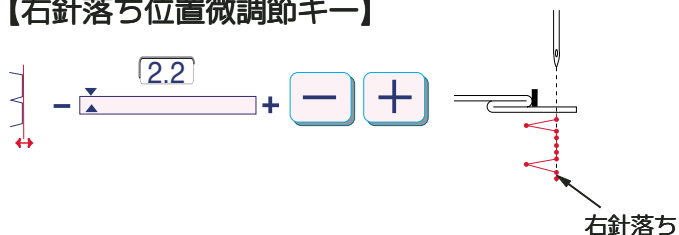
ふちかがりぬい

ふちかがりぬいキーを押すと、ふちかがりぬい選択画面が表示されるとともに、標準的なふちかがりぬいの使い勝手として、ミシンは中厚物（平織り２枚を合わせふちかがりする模様）を選択し、ミシンの状態も自動セットされます。ふちかがりぬいモードでは、次の使い勝手が選択できます。

（1）普通地　：平織り、２枚、合わせふちかがりぬい
（2）ニット地：１枚、ふちかがりぬい
（3）中厚物　：平織り、１枚、ふちかがりぬい
（4）厚物　　：平織り、１枚、ふちかがりぬい

平織り、２枚、合わせふちかがりぬい

布端をＣ：たち目かがり押さえのガイドにあててぬいます。

平織り、１枚、ふちかがりぬい

布端をＭ：ふちかがり押さえのガイドにあててぬいます。

※その他のぬい方は、40、41ページをごらんください。

くけぬい（まつりぬい）

くけぬいキーを押すと、くけぬい選択画面が表示されるとともに、標準的なくけぬいの使い勝手として、ミシンは平織りくけぬいをする模様を選択し、ミシンの状態も自動セットされます。また、この表示画面には、左針落ち位置微調節用のキーと右針落ち位置微調節用のキーが表示され、布の状態に合わせて針落ち位置を微調節することができます。くけぬいモードでは、次の使い勝手が選択できます。

（1）平織りくけぬいキー

（2）ニット地くけぬいキー

（3）左針落ち位置微調節キー

＋キーを押すと、左へ針落ちが移動します。

－キーを押すと、右へ針落ちが移動します。

（4）右針落ち位置微調節キー

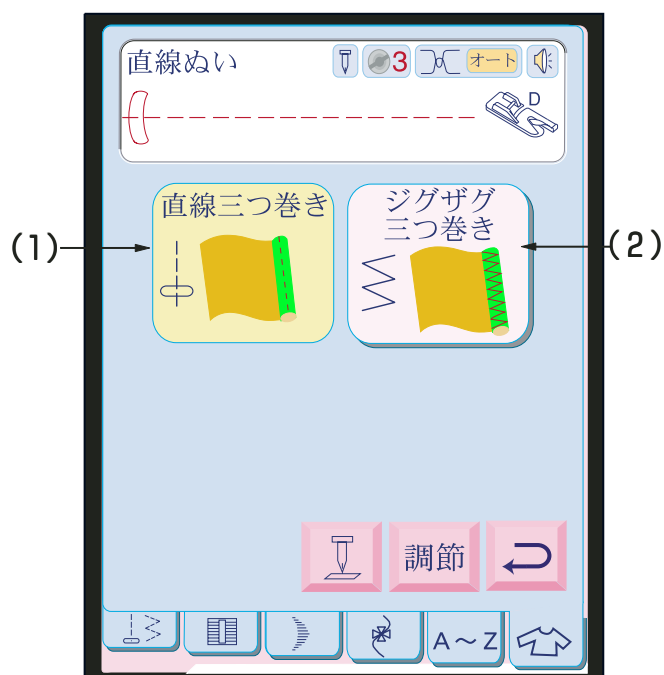
＋キーを押すと、右へ針落ちが移動します。

－キーを押すと、左へ針落ちが移動します。

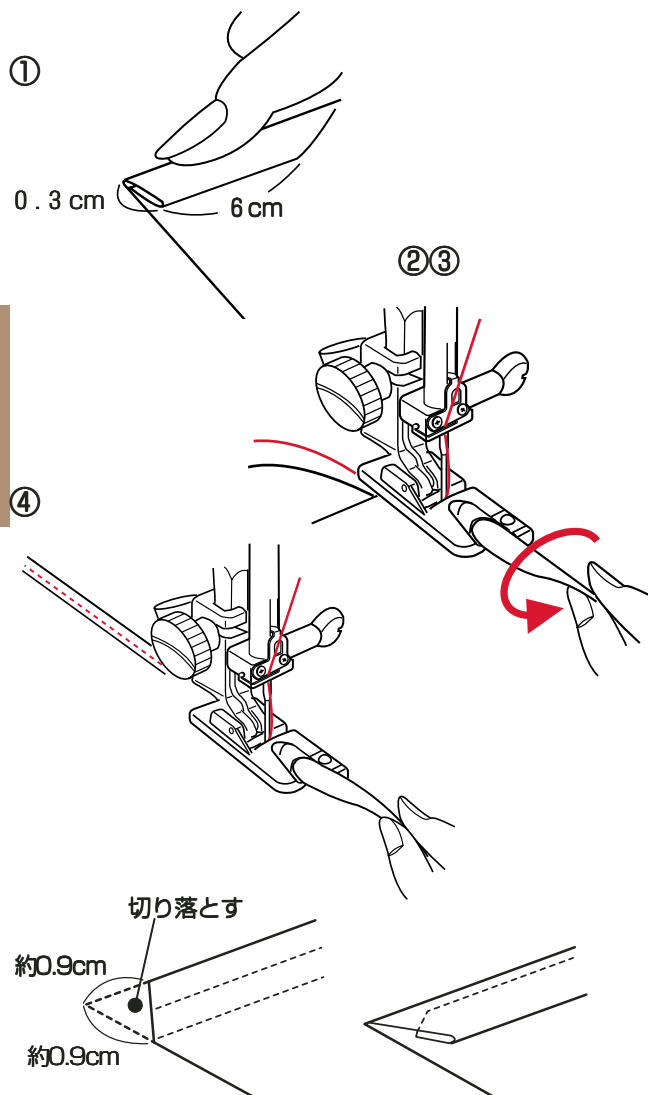
※「調節」キーを使用して、「初期化」キーを押した場合には、左右の針落ち位置微調節キーの設定もデフォルト値（購入時の設定状態）になります。

【左針落ち位置微調節キー】

ガイドを折り山に合わせ、針が折り山からはずれないようにぬい目の幅調節キーで針落ち位置を調節してぬいます。

【右針落ち位置微調節キー】

三つ巻きぬい

三つ巻きぬいキーを押すと、三つ巻きぬい選択画面が表示されるとともに、標準的な三つ巻きぬいの使い勝手として、ミシンは三つ巻き直線ぬいをする模様を選択し、ミシンの状態も自動セットされます。三つ巻きぬいモードでは、次の使い勝手が選択できます。

（1）直線三つ巻きぬいキー
（2）ジグザグ三つ巻きぬいキー

ぬい

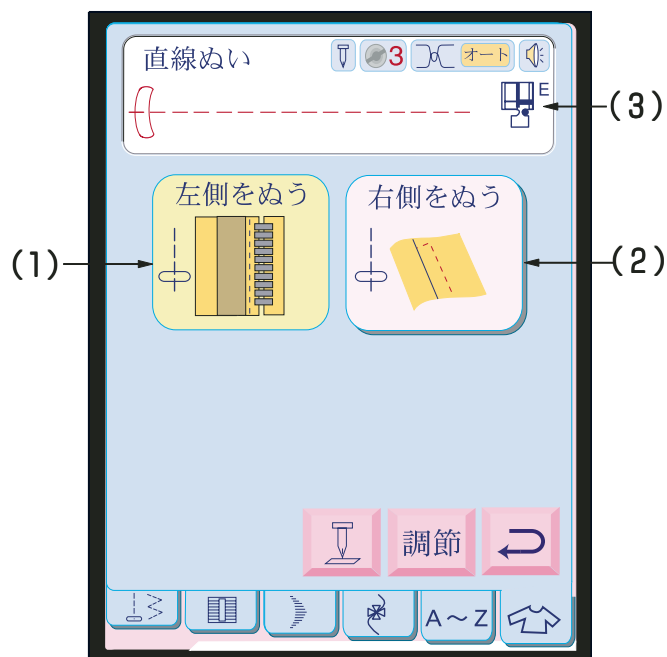
① 布端の長さ約6cmを約0.3cmの幅で三つ折りにします。
※ 折り目のつきにくい布は、アイロンで折り目をつけておくとぬいやすくなります。

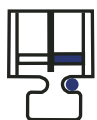
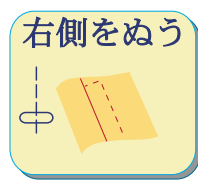
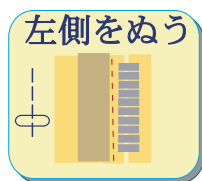
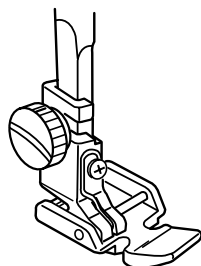
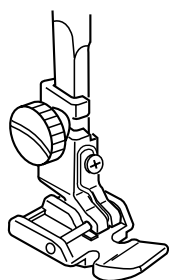
② ぬいはじめの部分に針をさし、押さえをさげます。上糸と下糸をそろえて向こう側に引きながら、布端と押さえのガイドを合わせて１～２cmぬいます。
③ 上下停針ボタンを押して針をさし、押さえをあげて、布の三つ折りの部分を開いて布端を押さえのうずの中に巻きこみます。

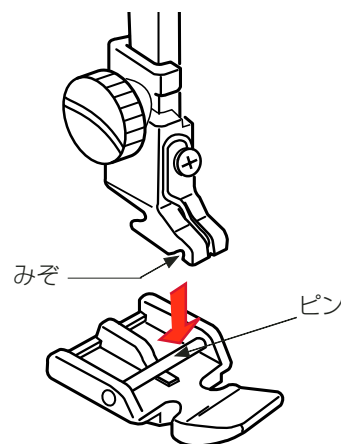
④ 押さえをさげ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持ちあげながらぬいます。

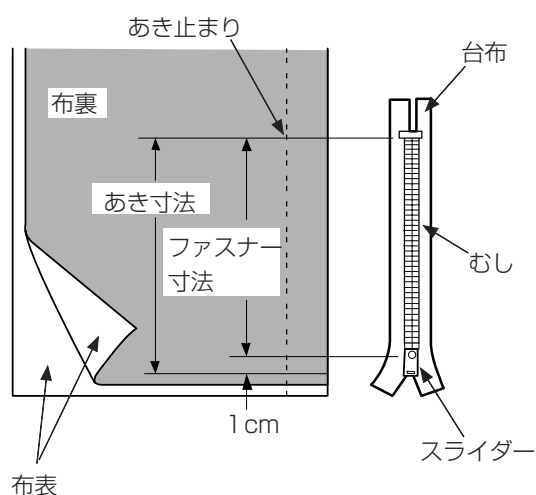
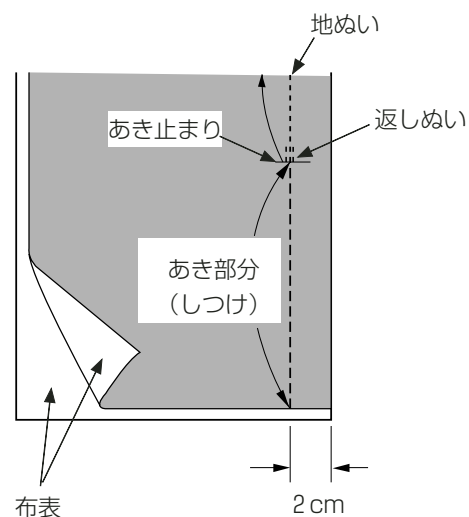
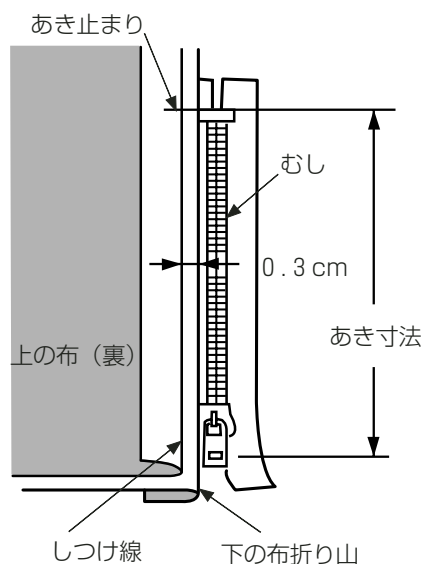
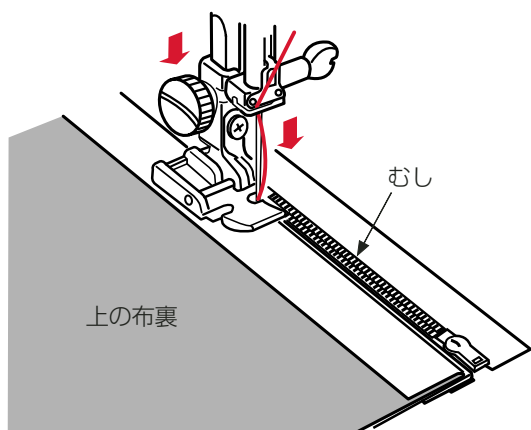
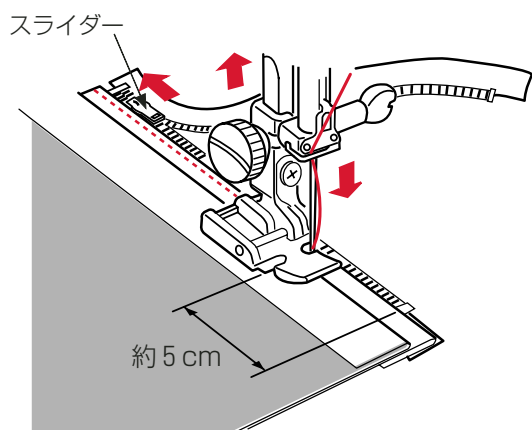
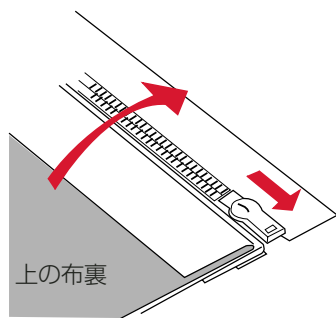
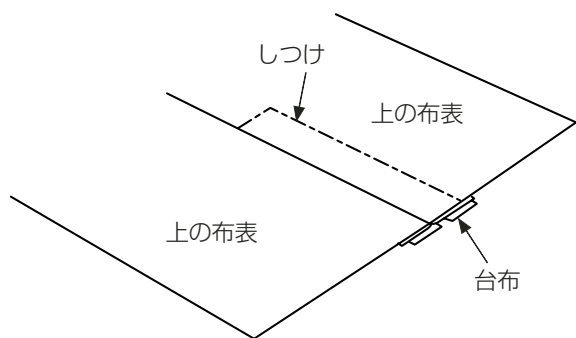
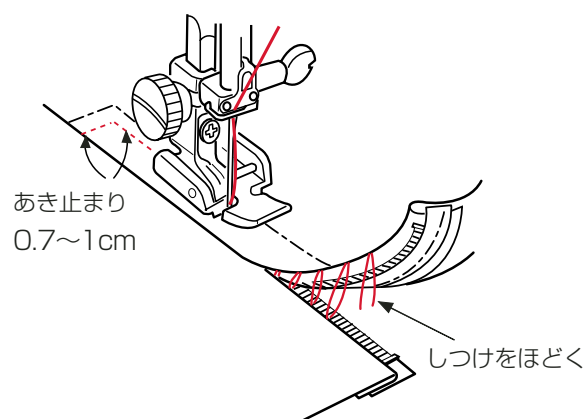
布端のしまつ

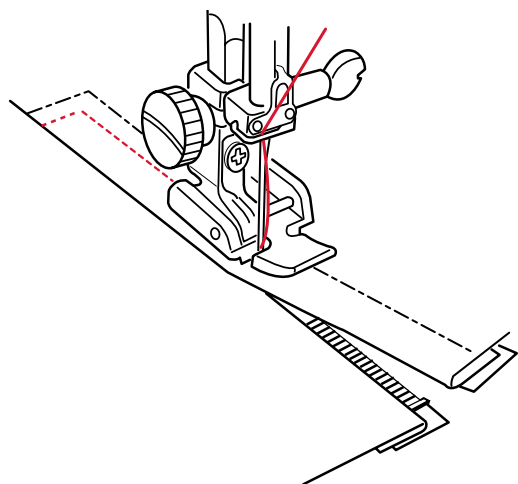
三つ巻きぬいの重なる角の部分は、布端を切り落として折り合わせ、厚みをうすくします。

ファスナーつけ

ファスナーつけキーを押すと、選択画面にはファスナーつけの工程が表示され、最初の工程としてファスナーの左ぬいつけ用にミシンがセットされます。押さえ表示は、左ぬいつけでの使用状態を絵表示します。左ぬいつけがおわったら、右ぬいつけキーを押してください。押さえ表示は、右ぬいつけでの使用状態を絵表示します。

（1）左ぬいつけキー
（2）右ぬいつけキー
（3）押さえ表示

【左側をぬうとき】　【右側をぬうとき】

ファスナー押さえのつけ方

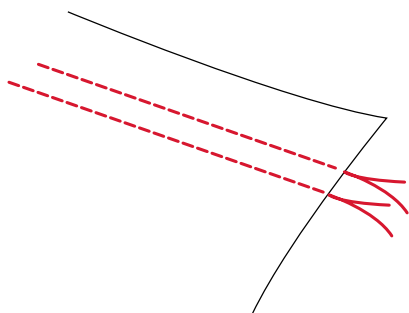
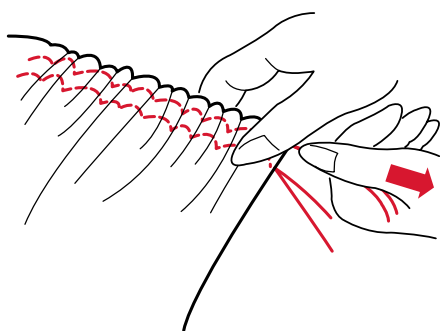
左側をぬうときは、押さえホルダーのみぞにピンを合わせて右側にセットします。
右側をぬうときは、左側にセットします。

（例：左脇(わき)あきのぬい方）

① ファスナーのあき寸法を確かめます。
あき寸法はファスナー寸法に1 cmプラスした寸法です。

② 仮ぬいのしつけと地ぬいをします。
布を中表に合わせて、あき止まりまで地ぬいをします。
あき部分は、ぬい目のあらさ0.5 cmでしつけをします。
※ しつけは、ほどきやすいように糸調子を「1」くらいにしてぬいます。

③ ぬいしろを割り、下の布のぬいしろを0.3 cm出して、アイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあてます。

④ 押さえホルダーをファスナー押さえの右側にセットして、むしのきわに押さえの端をあてて、あき止まりからぬいます。

⑤ ファスナーの端から約 5 cmほど手前でミシンを止め、上下停針ボタンを押して、針を布にさします。押さえをあげてスライダーを押さえの向こう側にずらし、押さえをさげて残りの部分をぬいます。

⑥ ファスナーをとじ、スライダーを上にたおし、上の布をファスナーの上にかぶせます。
かぶせた布と台布をしつけで止めます。

⑦

⑦ 押さえホルダーをファスナー押さえの左側につけかえ、上の布のあき止まりを（０．７〜１ cm）返しぬいし、むしのきわに押さえの端をあててぬいます。ファスナーの上側を５cmほど残したところで止め、上下停針ボタンを押して針をさげ、針を布にさしたままで押さえをあげて、手順 ② でぬったしつけ糸をほどきます。

⑧

⑧ スライダーを押さえの向こう側にずらし、押さえを下げて残りの部分をぬいます。ぬいおわったら手順 ⑥ でぬったしつけ糸をほどきます。

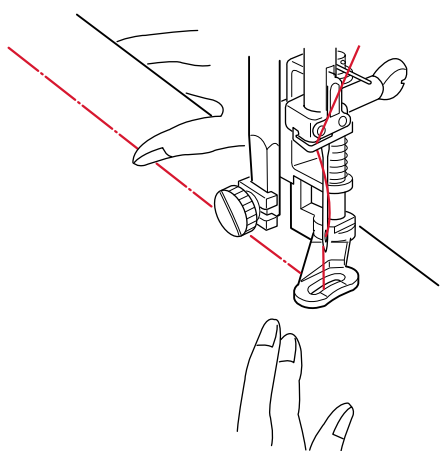
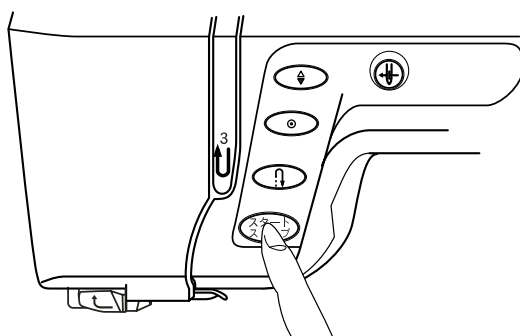
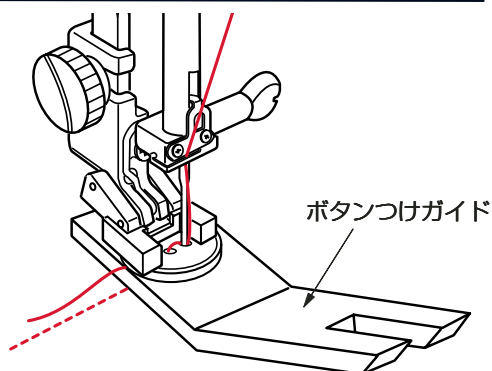
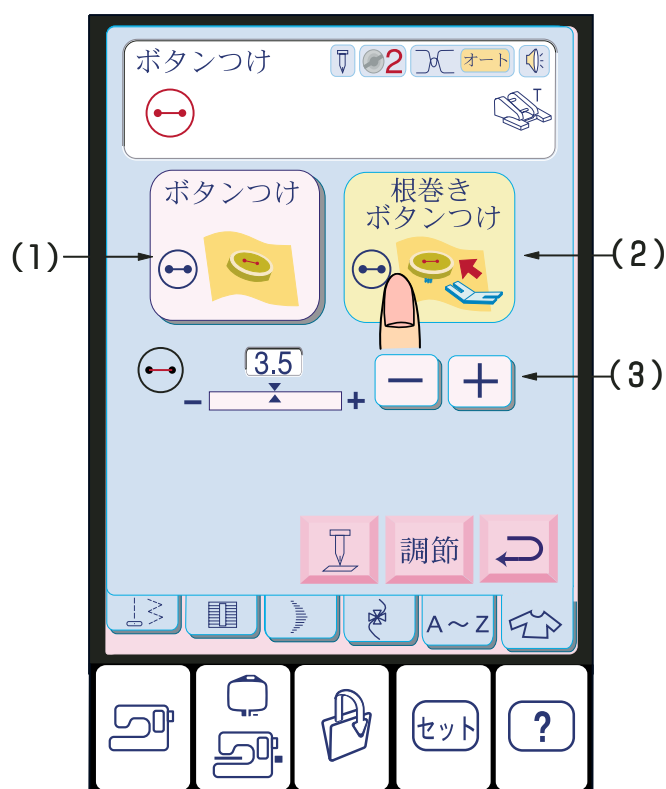
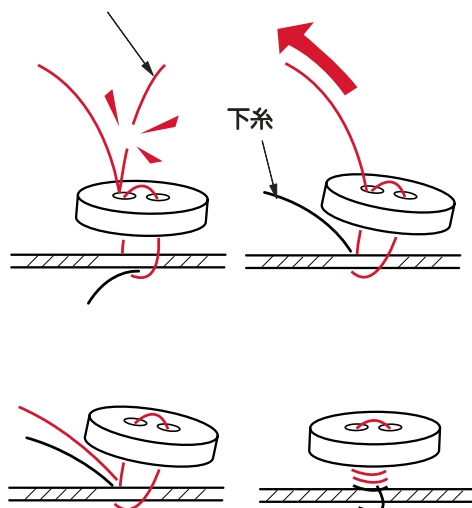
ギャザー

ギャザーキーを押すと、選択画面にはギャザーの絵が表示され、ミシンは、ギャザーの設定状態にセットされます。

① 0.5～0.7cmの間かくで２本平行にぬいます。

② 布を軽くつまみ、上糸はそのままにして、下糸を両端から引き、平均にギャザーをよせます。

しつけぬい

しつけぬいキーを選択すると、選択画面には、しつけぬいの絵が表示され、ミシンはしつけぬいの設定状態にセットされます。

※送り歯は自動的にさがります。
※ 針が下位置にあるとき模様を選ぶと、「送り歯を下げてください。」の表示が出ますので、14ページの（送り歯のさげ方）をごらんください。

布を前後にピンと張ってぬいます。
一針ぬって針が止まったら、ぬい目をつまんで布を向こう側に引きます。

ボタンつけ

ボタンつけキーを押すと、ボタンつけ選択画面が表示されるとともに、標準的なボタンつけの使い勝手として、ミシンは根巻きなしボタンつけをする模様を選択し、ミシンも自動セット（送り歯も自動的にさがります。）されます。
また、ボタンの穴に針落ちを合わせるための振幅量調節キーが表示されます。
ボタンつけモードでは、次の使い勝手が選択できます。

（1） 根巻きなしボタンつけキー

（2） 根巻きつきボタンつけキー

（3） 振幅量調節キー

＋ キーを押すと、幅が広くなります。

－ キーを押すと、幅がせまくなります。

※ 左針落ちが固定され、右の針落ち位置が変化します。

※「調節」キーを使用して、「初期化」キーを押した場合には、振幅量調節キーの設定もデフォルト値（購入時の設定状態）になります。

根巻きつきボタンつけ

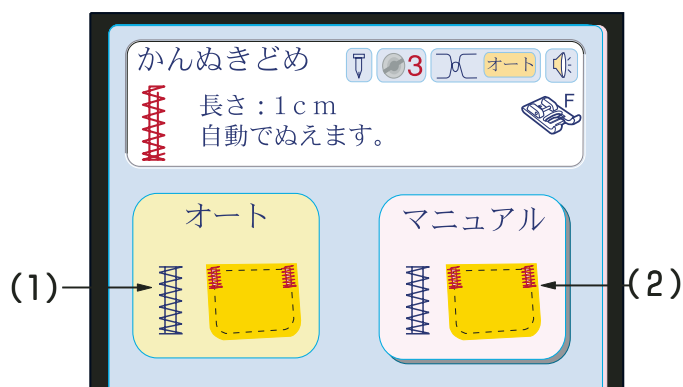
① ぬい目の幅をボタン穴に合わせます。

② ボタンつけガイドを差し込みます。
※ 根巻きの高さは、ガイドの厚さが3mm（うすい方）と4.5mm（厚い方）が使用できます。

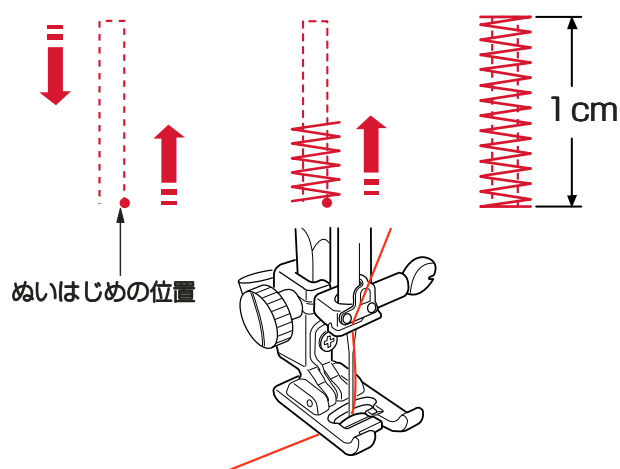
③ ミシンをスタートして、自動的に止まるまでぬいます。

④ ぬいはじめの上糸を切ります。

⑤ ぬいおわりの上糸を引いて、下糸を引き出します。

⑥ 上糸と下糸を浮かせた足の部分にそれぞれ反対方向に数回巻きつけて結びます。

かんぬきどめ

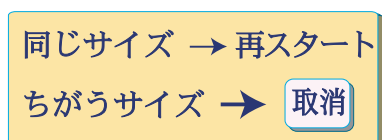
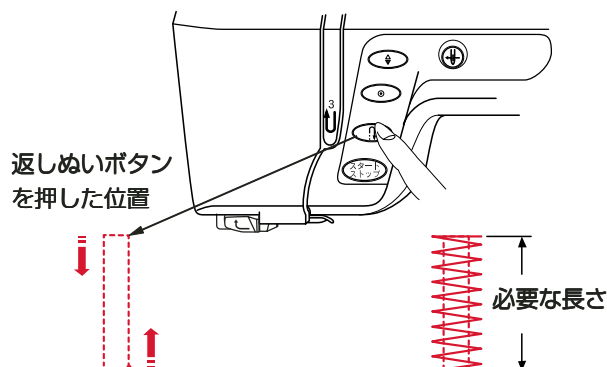
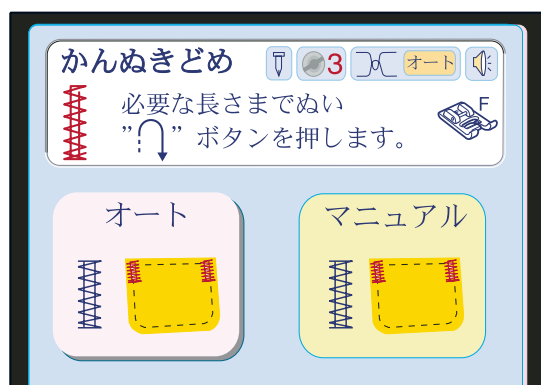
かんぬきどめキーを押すと、かんぬき止めぬい選択画面が表示されるとともに、標準的なかんぬき止めぬいの使い勝手として、ミシンは１cmのかんぬき止めぬいをする模様を選択し、ミシンの状態も自動セットされます。かんぬきどめモードでは、次の使い勝手が選択されます。

（１）自動かんぬき止めぬいキー
（２）マニュアルかんぬき止めぬいキー

自動かんぬきどめぬい長さ１cm

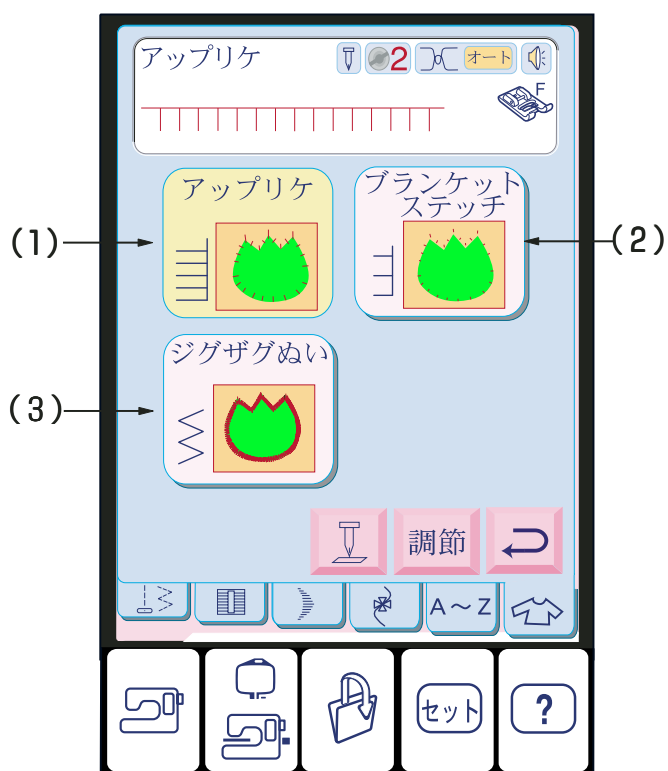
スタート・ストップボタンを押すと、ミシンは長さ１cmのかんぬきどめぬいをして自動的に止まります。
ぬい目の幅、あらさを変えたいときは、「調節」キーを押して調節してください。

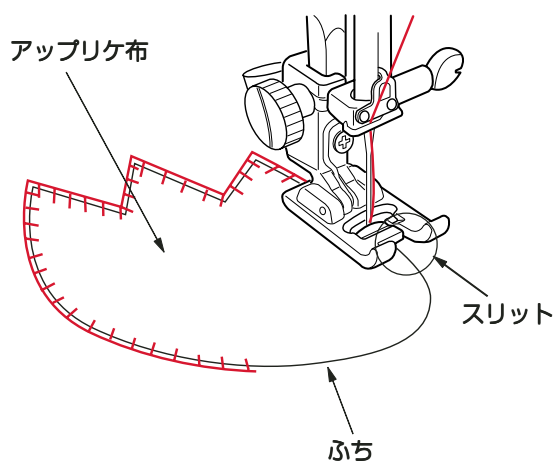
マニュアルかんぬきどめぬい

スタート・ストップボタンを押すと、ミシンは長さ２．０ cmのかんぬきどめぬいをして自動的に止まります。

【２．０ cmより短い長さでぬうとき】
必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押すと、その長さが決まります。

同じサイズ → 再スタート
ちがうサイズ → 取消

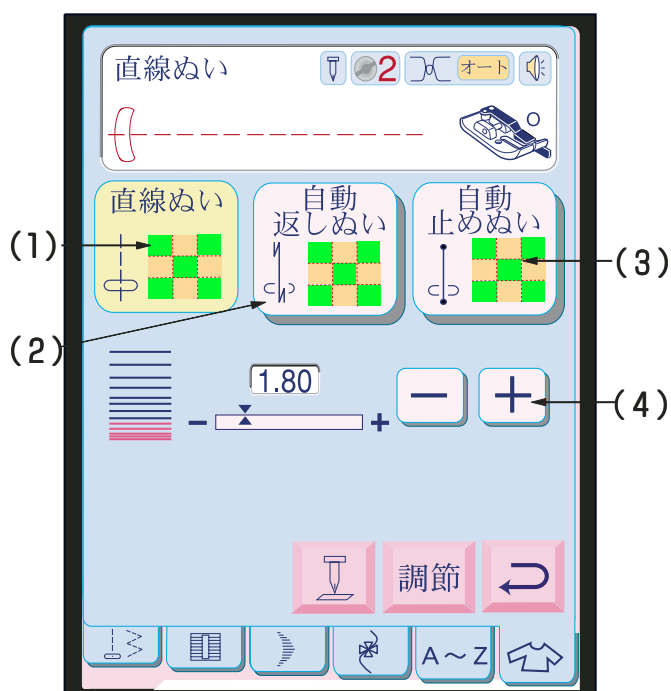
【記憶】
スタート・ストップボタンを押すとくり返し同じ長さのかんぬきどめがぬえます。
「取消」キーを押すと、異なる長さのかんぬきどめができます。

アップリケ

アップリケぬいキーを押すと、アップリケぬい選択画面が表示されるとともに、標準的なアップリケぬいの使い勝手として、ミシンはアップリケぬいをする模様を選択し、ミシンの状態も自動セットされます。アップリケぬいモードでは、次の使い勝手が選択できます。

（1）アップリケ模様キー
（2）ブランケット模様アップリケキー
（3）ジグザグ模様アップリケキー

アップリケ布を糊（のり）づけするか、しつけで止めます。アップリケ布が針の左にくるように、押さえのスリットをアップリケ布のふちにそわせながらぬっていきます。

※ カーブのところや方向転換するところでは、ミシンを止め、上下停針ボタンを押して針を右下位置にしたままで方向を変えると、きれいに仕上がります。

使い方からの模様選択

パッチワーク

パッチワークぬいキーを押すと、パッチワークぬい選択画面が表示されるとともに、標準的なパッチワークぬいの使い勝手として、ミシンは、直線中基線、送り量１．８にセットされます。パッチワークぬいモードでは、次の使い勝手の選択ができます。

（１）直線ぬい
（２）自動返しぬいつき直線ぬい
（３）自動止めぬいつき直線ぬい
（４）送り量調節キー

 キーを押すと、表示される数値が小さくなり、送り量が細かくなります。

 キーを押すと、表示される数値が大きくなり、送り量が大きくなります。

注意

「調節」キーを使用して、「初期化」キーを押した場合には、送り調節キーの設定もデフォルト値（購入時の設定状態）になります。

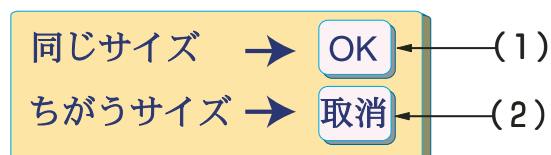
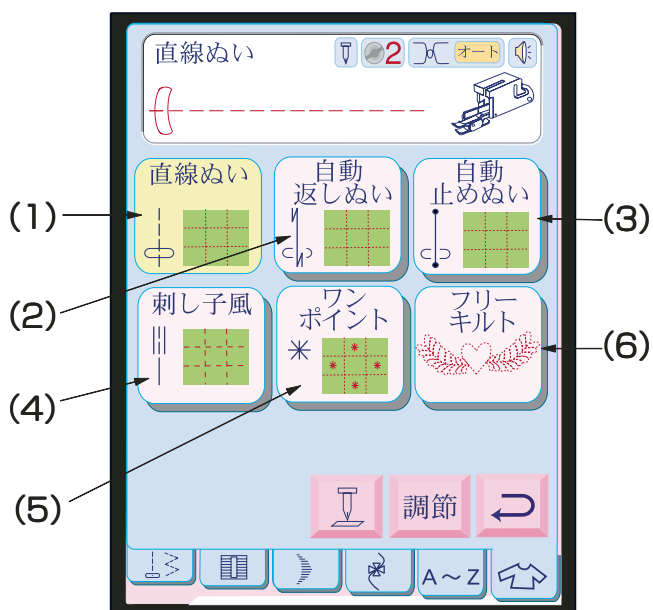
針板の角度目盛の使い方

布片の形状により針板の角度目盛に布端を合わせると、印なしでぬえます。

ぬい

① 布を中表に合わせ、スタート位置（A）から、ぬいおわり位置（B）までぬいます。
※ ガイドに布端をあてるだけで、ぬい代0.7cmがぬえます。

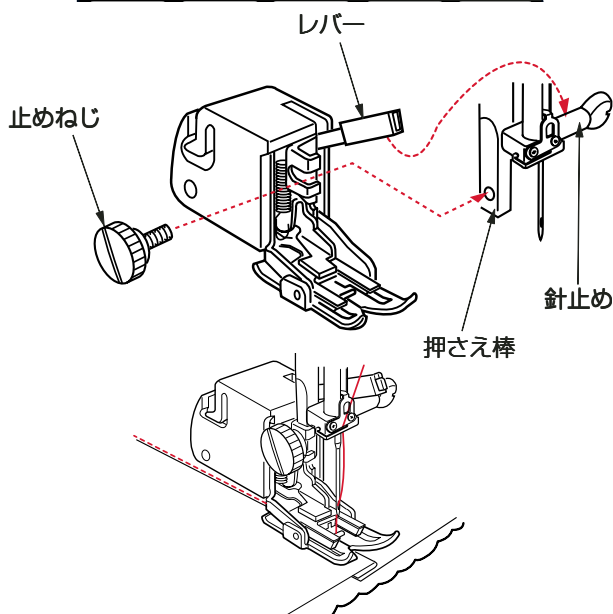
② ミシンを止めると自動的にくり返しぬいをするか、画面に表示されます。
そのままキーを押さずにミシンを動かすと、表示が消えてぬった分の針数も記憶されます。

（１）「OK」を押すと、くり返し同じ長さのぬいができます。
（２）「取消」キーを押すと、ぬい長さをかえたぬいや、他の模様がぬえます。
※　ぬいおわりには必ず、「OK」か「取消」キーを押してください。

キルティング

キルティングぬいキーを押すと、キルティングぬい選択画面が表示されるとともに、標準的なキルティングぬいの使い勝手として、ミシンは直線中基線、送り量2．2にセットされます。キルティングぬいモードでは、次の使い勝手の選択ができます。

（1）直線ぬい
（2）自動返しぬいつき直線ぬい
（3）自動止めぬいつき直線ぬい
（4）刺し子風
（5）ワンポイント
（6）フリーキルティング

直線ぬい

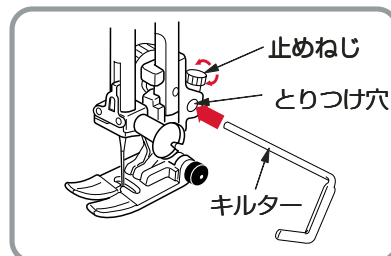
【送りジョーズのとりつけ】

押さえホルダーをはずし、レバーが針止めにのるように送りジョーズを押さえ棒に止めねじでとりつけます。

【ぬい】

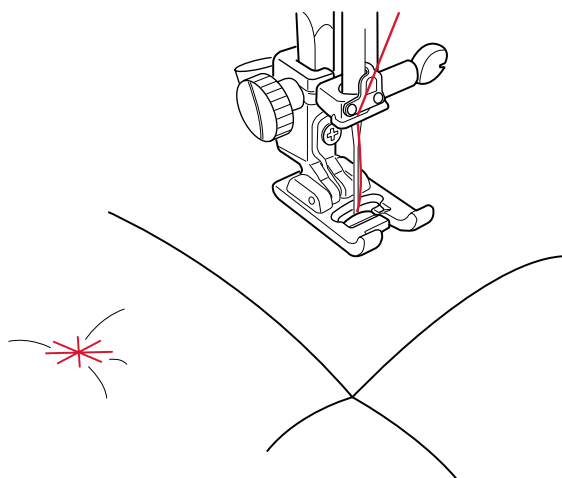
送りジョーズを使用し、落としミシン（接ぎ合わせた布どうしのぬい目のきわに目立たないようにかけるステッチ）やキルティングをします。

キルティングガイドとキルターの使い方・・・先にぬったぬい目をたどるのに使います。

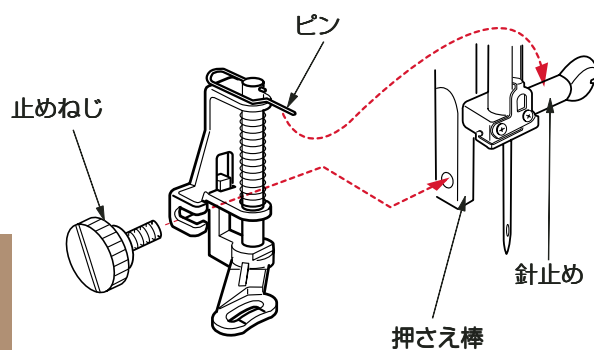
① キルティングガイドを上から下に向けて押し込んで固定します。

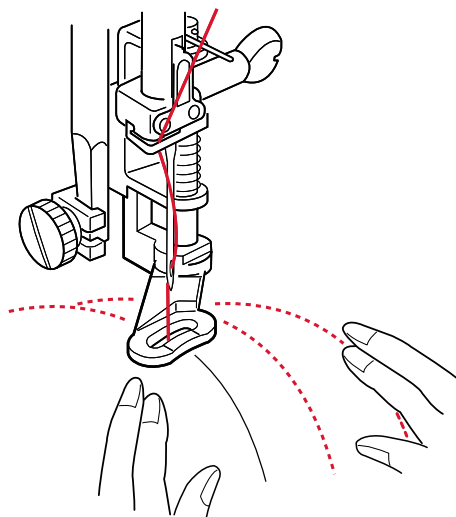
② キルティングのぬい目間かくに合わせて、キルティングガイドの左右方向の位置を調節します。

※ キルターは、押さえホルダーにとりつけます。
（押さえは、A：基本押さえを使用）
止めねじをゆるめて、キルターをとりつけ穴に入れ、ぬい目の間かくに合わせて、止めねじをしめます。

ワンポイント（とじぬい）

厚みのあるキルト綿を使う場合に、キルトをとじるときに使用します。
ワンサイクルぬいですので、自動的に止まるまでぬいます。

フリーキルティング

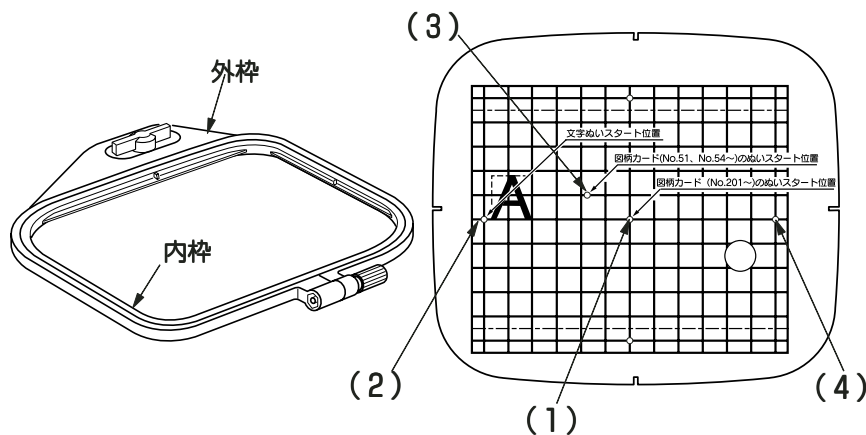
【しつけ押さえのとりつけ】

押さえホルダーをはずし、ピンが針止めにのるようにしつけぬい押さえを押さえ棒に止めねじでとりつけます。

【ぬい】

しつけ押さえを使用し、曲線などの図案を両手で布を案内しながらキルティングします。

刺しゅう

ぬう前の準備

刺しゅう枠（テンプレート）の種類と用途

①標準刺しゅう枠Ａ・・・刺しゅう範囲は、126mmX110mm で標準的な刺しゅうに使用します。

・・内蔵模様/文字ぬいと図柄カードNo.201～（別売）の刺しゅう範囲を示します。

・・カードリーダーからの読み込み模様及び、図柄カード（No.51、54～）の刺しゅう範囲を示します。

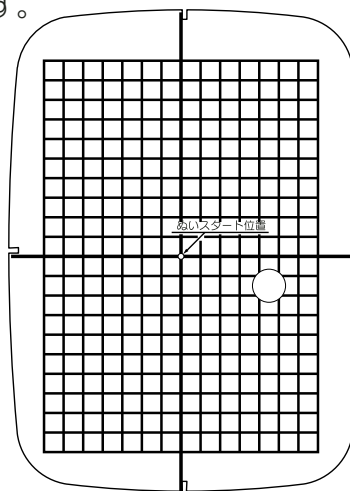
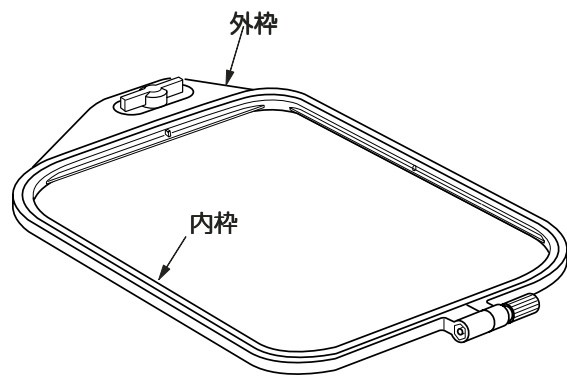
(1) 内蔵模様および、図柄カードNo.201～のぬいスタート位置
文字ぬい（たて書き）センターミドルのスタート位置

(2) 文字ぬい（よこ書き）トップボトムのぬいスタート位置
文字ぬい（たて書き）トップミドルのぬいスタート位置

(3) カードリーダー（別売）からの読み込み模様及び、図柄カードNo.51、54～のぬいスタート位置

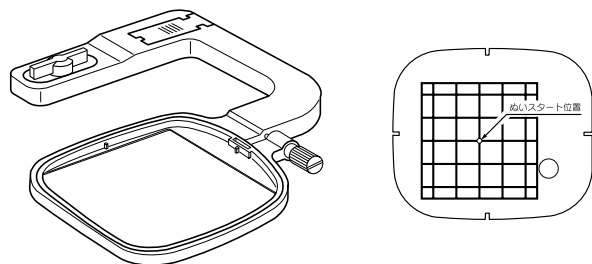
(4) 文字ぬい（よこ書き）エンドボトムのぬいスタート位置
文字ぬい（たて書き）エンドミドルのぬいスタート位置

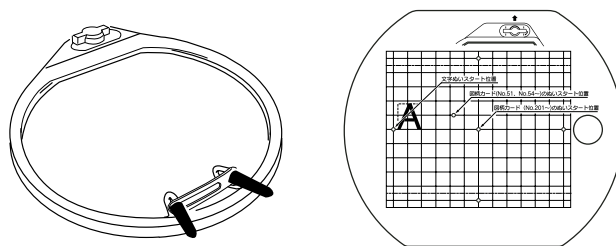
※文字ぬいスタート位置の詳細は、124ページをごらんください。

②大型刺しゅう枠Ｂ・・・　刺しゅう範囲は、140mmX200mmで大型模様を刺しゅうしたり、組み合わせに使います。

内枠セット用切り欠き（4カ所）

注意
切り欠きは基準線とは関係ありません。

③小型刺しゅう枠Ｃ

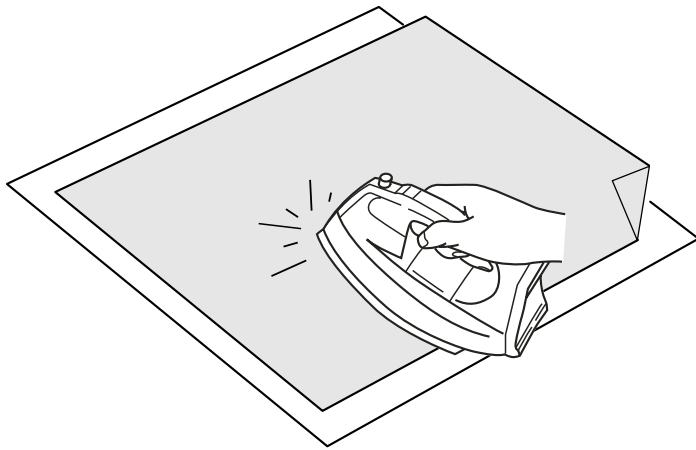
刺しゅう範囲は、５０mm Ｘ ５０mmでスモールデザインを使用して、フリーアーム刺しゅうができます。

④ワンタッチ刺しゅう枠Ｆ（別売品）

刺しゅう範囲は、126 mm X 110 mm です。
布張りがとても簡単な刺しゅう枠です。

※詳しくは、添付の説明書をごらんください。

注意 セシオ EX 用刺しゅう枠等、上記以外の刺しゅう枠の使用はできません。

芯　地

芯地を刺しゅう部分の布の裏側に使うときれいに仕上がります。
しっかりした厚手の布なら芯を貼らずにそのままぬえます。
薄い布や化織布、または、ジャージーのような伸縮性のある布の場合は、不織布の芯地を貼ります。
芯地はアイロンで接着するタイプと接着しないタイプがあります。
接着しないタイプの芯地は、アイロンをかけられない布やアイロンをかけにくい部分に刺しゅうするときに使ってください。
布がしっかりしている場合には、芯地のかわりに布の下に薄紙を敷いてもよいでしょう。
接着芯地は布の厚さに合わせて選びます。
厚手の布の場合は、ややそれより薄い芯地がよいでしょう。

【接着タイプ】
刺しゅうしない面（裏）と、芯地の光沢のある面（糊(のり)付き）を向かい合わせにしておき、かどを折ってアイロンがけします。
※芯地のかどを折っておくと、刺しゅうがおわったあとに、芯地をはがしやすくなります。
※アイロンの温度は、中温にします。

布と針と糸の関係

布	針	糸
うすい布	１１番 ブルー針	ミシン刺しゅう糸（ジャノメテレーザ５０番） 絹糸５０番 化繊糸５０番～９０番
普通の布		
ニット地		
厚い布	１４番	

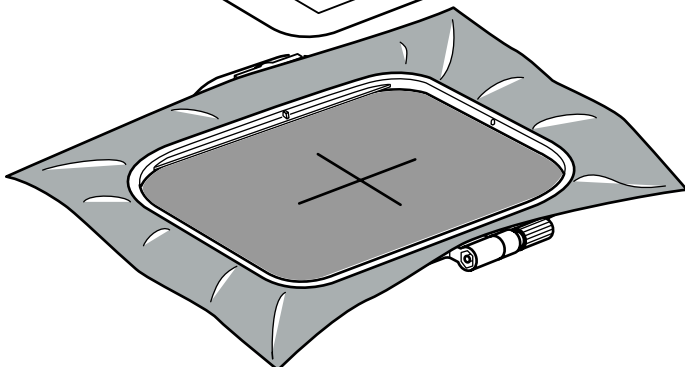
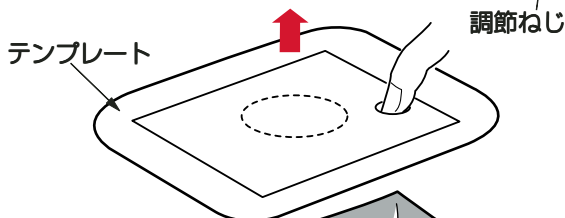
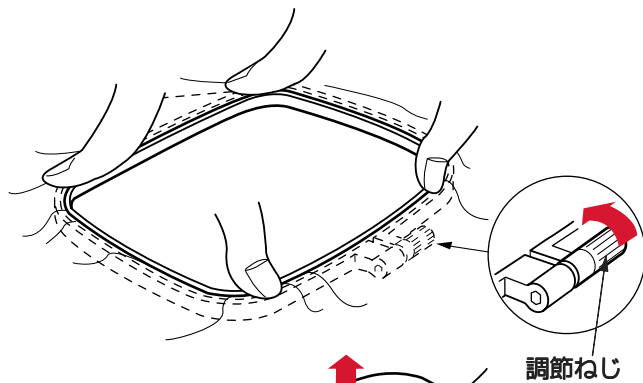
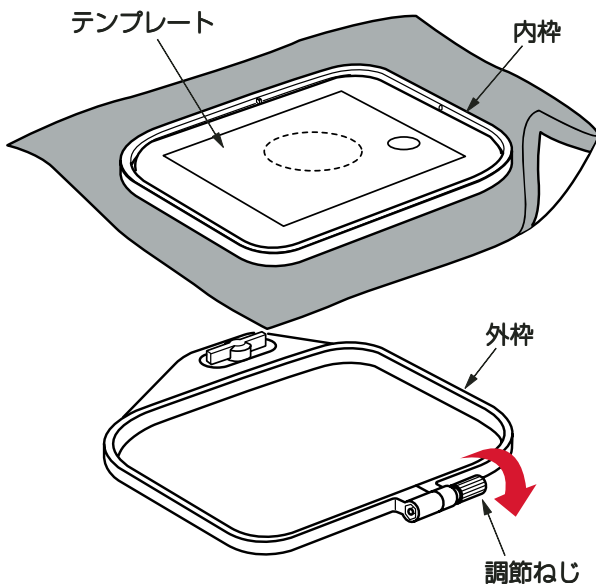
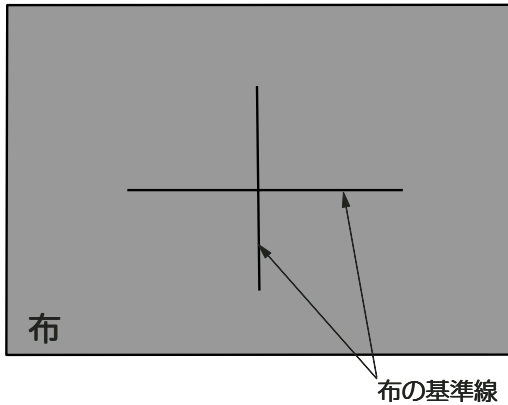
※刺しゅうの下糸には、専用の「テレーザ下糸用スパン糸９０番」をおすすめします。

押さえ圧ダイヤル

押さえ圧ダイヤルは、「２」にセットしてください。（セットのしかたは、14ページをごらんください。）

布の張り方

① 模様の位置を決めるために、布に模様の基準位置（ぬい原点）となる位置にマーク（十字）を付けます。

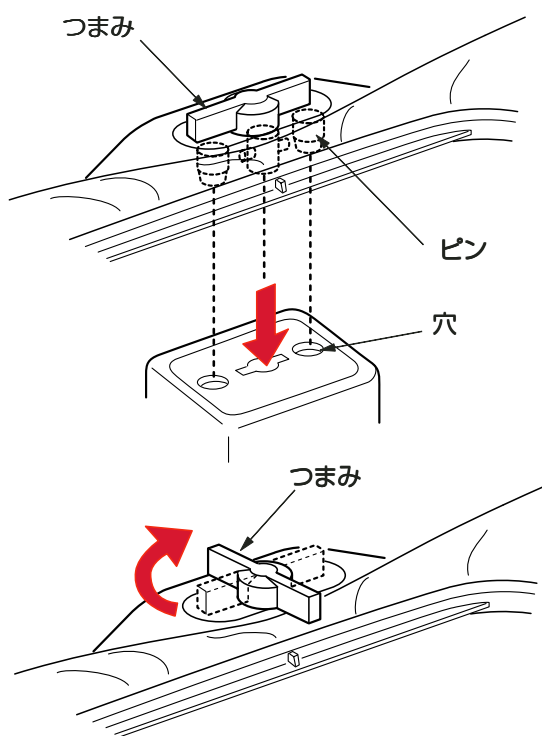
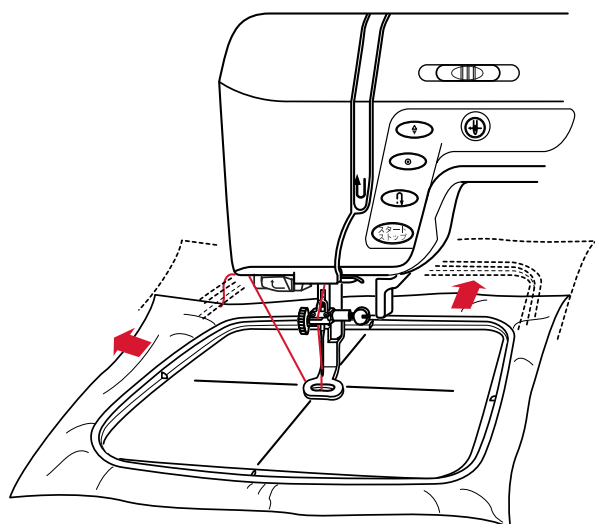
※ 模様の基準位置（ぬい原点）は、付属の模様用テンプレートシートに位置が示されています。
※ クロスセッターⅡ（別売）を使うと簡単に正確な位置決めができます。

② 外枠の調節ねじをゆるめます。

③ 布の上に内枠を置き、その上にテンプレートを入れ、テンプレートと布の基準線を合わせます。
※ マークが枠の中心になるように、かつ、水平方向、垂直方向も合わせて位置を決めます。

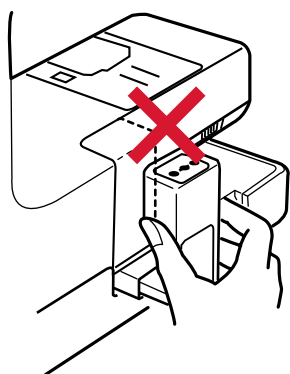
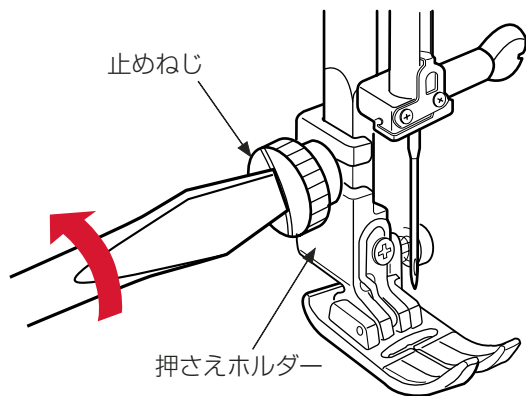
④ 布とテンプレートの基準線がズレないように外枠にセットします。

⑤ 調節ねじをしめて、布を張ります。

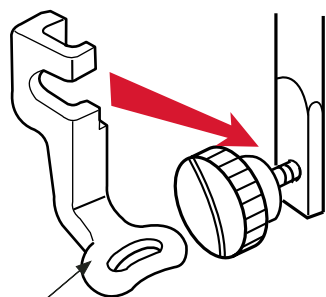
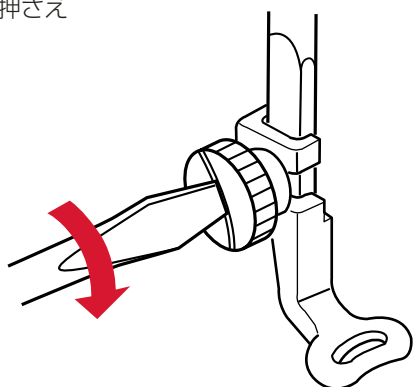
⑥ テンプレートをはずします。

刺しゅう枠のとりつけ方

刺しゅう枠のつまみを真横にして、ピンをキャリッジの穴に差し込み、つまみを右にまわして刺しゅう枠をとりつけます。
はずすときは、つまみを左にまわしてはずします。

注意

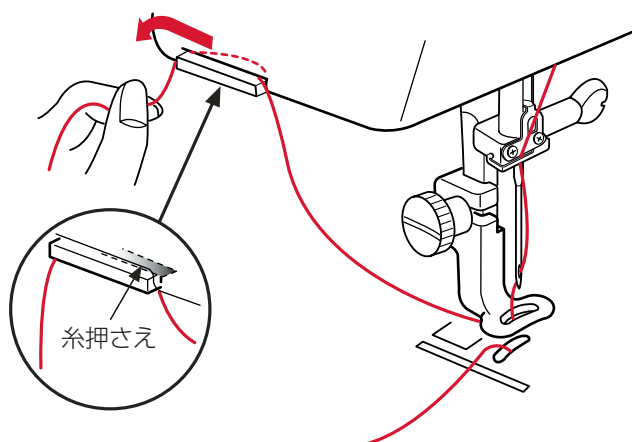
1 キャリッジが移動しますので、キャリッジ及び、ミシンの周辺には、物を置かないようにしてください。

2 キャリッジの操作は、手で行わないでください。故障の原因になります。

刺しゅう

刺しゅう押さえのとりつけ方

1 押さえをあげ、止めねじをゆるめて押さえホルダーをはずします。

2 刺しゅう押さえをとりつけ、ねじまわしで止めねじをしっかりしめます。

ぬいはじめの糸掛け

1 上糸は、刺しゅう押さえの穴に通し、糸端を糸切りの糸押さえ部に手前から向こう側へ2～3cm掛けます。

糸押さえ

内蔵模様刺しゅう

刺しゅうモードキーを押すと、刺しゅうモードが選択されます。

刺しゅうモード

刺しゅうモードキーを選択すると、内蔵模様の選択画面が表示されます。
刺しゅうモードは、5つのカテゴリーに分類されていて、刺しゅうぬいモードの画面には常に各カテゴリーの選択キーが表示されていますので、各キーを押すことによって目的の刺しゅう模様を選択することができます。

（1）内蔵模様
標準刺しゅう枠Ａ用の模様＃１～＃74、大枠Ｂ用の模様＃75～＃92、小型枠Ｃ模様＃93～＃102の内蔵模様を選択することができます。

（2）モノグラム模様
モノグラム５書体
（ゴシック、スクリプト、チェルトナム、明朝体、まる文字）、
３-エンブレム、２-エンブレム、ワンポイントが内蔵されています。

（3）メモリーカード
メモリーカード（別売）から模様データを読み込んで刺しゅうをします。

（4）カードリーダー読み込み
カードリーダー（別売）から、セシオEX、セシオEX Ⅲ、シリーズのメモリーカードNo.51 No.54～（別売）のデータを読み込んで刺しゅうをします。

（5）編集
刺しゅうデータを編集して刺しゅうすることができます。

模様選択画面のキーのはたらき

内蔵模様の選択画面から刺しゅうする模様のキーを押して選択します。

※ 内蔵模様は166ページの模様一覧表をごらんください。

（1）ページキー

後ろページキーは、選択できる模様が後ろのページにあることを示します。

前ページキーは、選択できる模様が前のページにあることを示します。

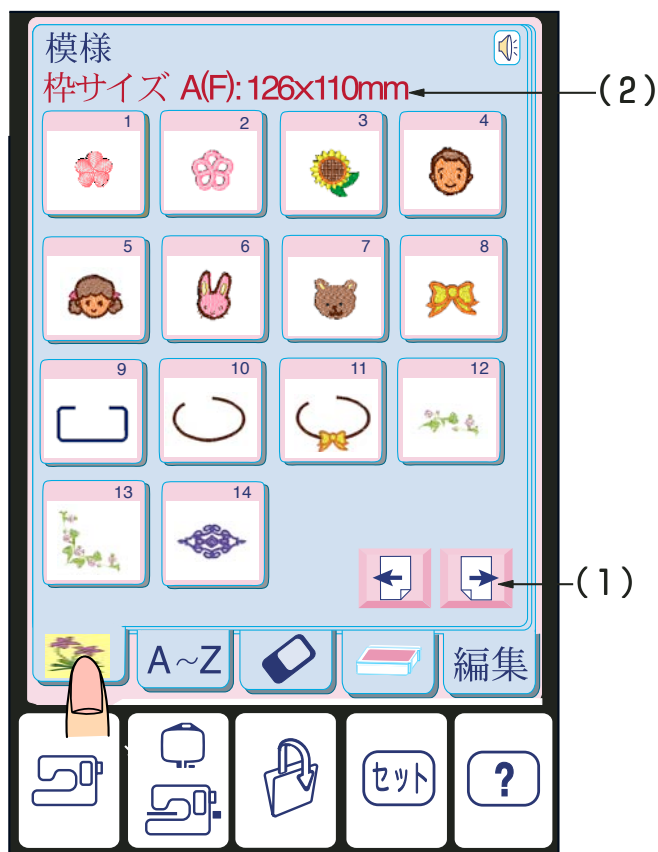
※ 9画面あります。

※ 模様＃74は、クロスセッターⅡ（別売）用模様です。

※ 模様＃87、＃88は、スモールデザイン用の下絵に利用します。（143ページをごらんください。）

（2）枠サイズ

選択した模様を刺しゅうするときに使用する刺しゅう枠が表示されていますので、指定の刺しゅう枠をお使いください。

⚠ 注意

刺しゅう枠は、指定された枠をご使用ください。
模様くずれや、針折れの原因になります。

刺しゅう画面のキーのはたらき

刺しゅう模様を選ぶと、刺しゅう画面に切り替わります。

※ 模様に適した刺しゅう枠が表示されます。
　A（標準刺しゅう枠）
　(F) 別売［ワンタッチ刺しゅう枠］
　B（大型刺しゅう枠）
　C（小型刺しゅう枠）

注意

刺しゅう枠は、指定された枠をご使用ください。
模様くずれや、針折れの原因になります。

（1）ジョグキー

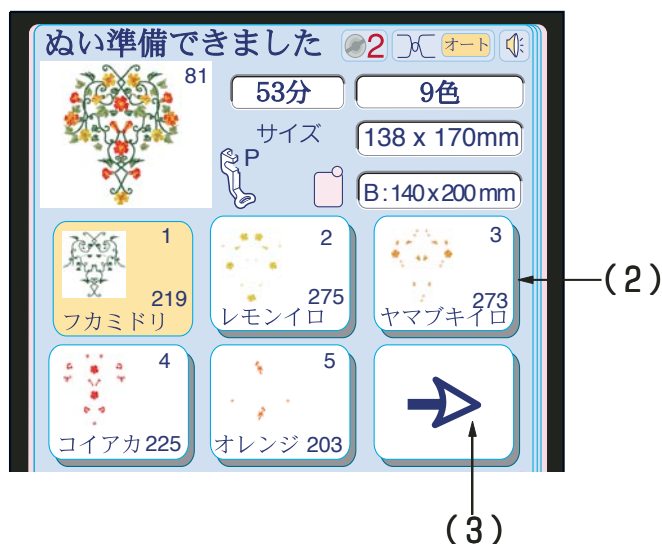
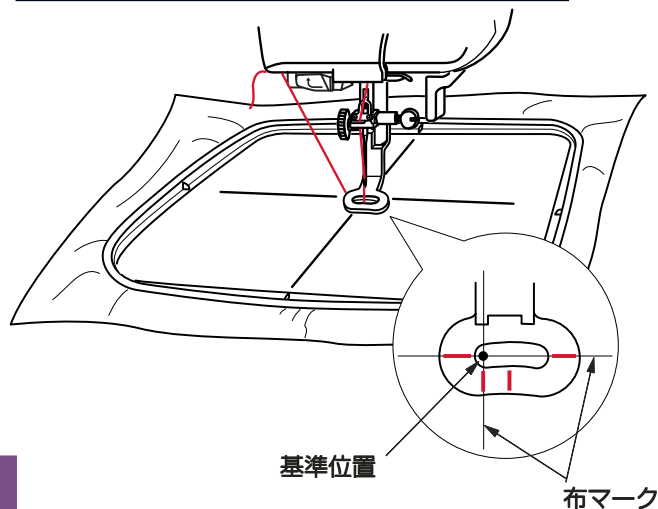
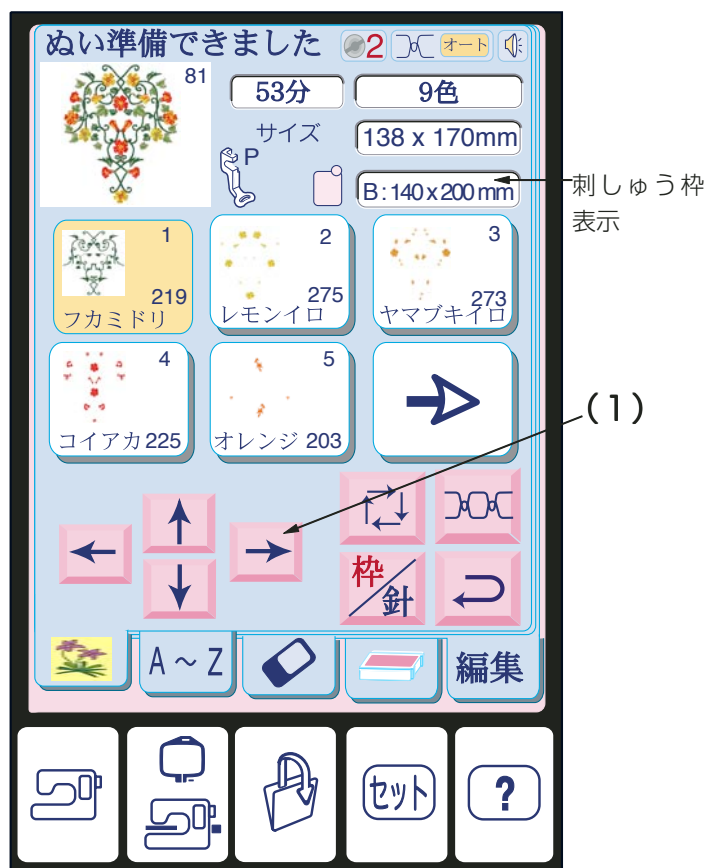
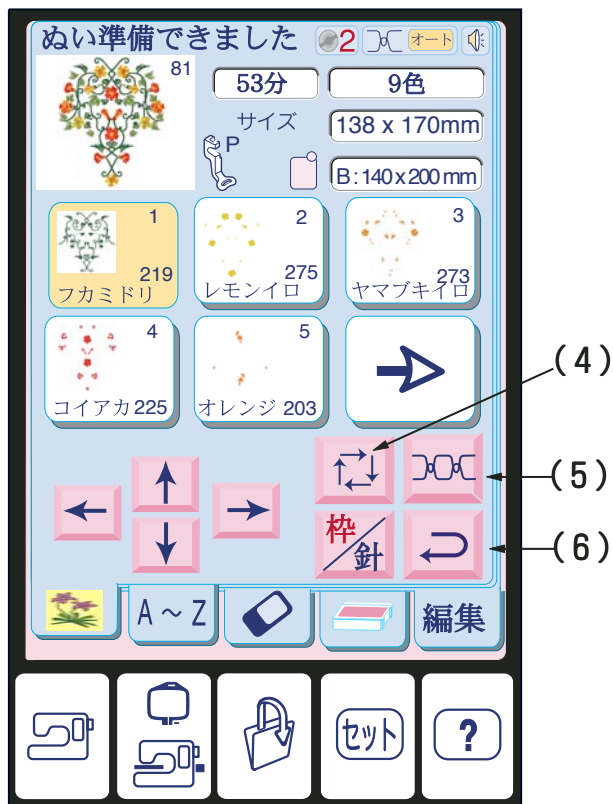
模様の基準位置を変えることができます。
あらかじめ布にマークされた模様の基準位置を針の真下にくるようにジョグキーで位置合わせをすることにより、思い通りの位置に刺しゅうすることができます。

（2）色替えキー

色毎に分かれた模様が一つ一つのキーに表示されています。ぬいはじめると、一色のブロックをぬいおわってミシンは、自動的に停止します。
糸を交換して再びスタートしてください。ぬいおえた部分のキーは、うすくなります。
※ 色名の横の数字は、ジャノメ刺しゅう糸（別売）番号です。

【スキップ機能】
刺しゅうをする前に、色替えキーを押すと押したキーまでの模様を省略してぬいはじめます。
その時、押したキーまでがうすくなります。
もとに戻すときは、うすくなっていない、いづれかの色替えキーを押します。

（3）矢印キー

色替えキーが矢印方向にあることを示しており、キーを押すことによって表示されます。

刺しゅう

（糸調子調節画面）

（4）刺しゅう範囲確認キー

キーを押すと自動的にぬい範囲を確認します。（押さえはあげた状態で確認します。）
確認がおわると、刺しゅう画面に切り替わります。

（5）糸調子調節キー

糸調子調節キーを押すと、糸調子調節画面が表示されます。

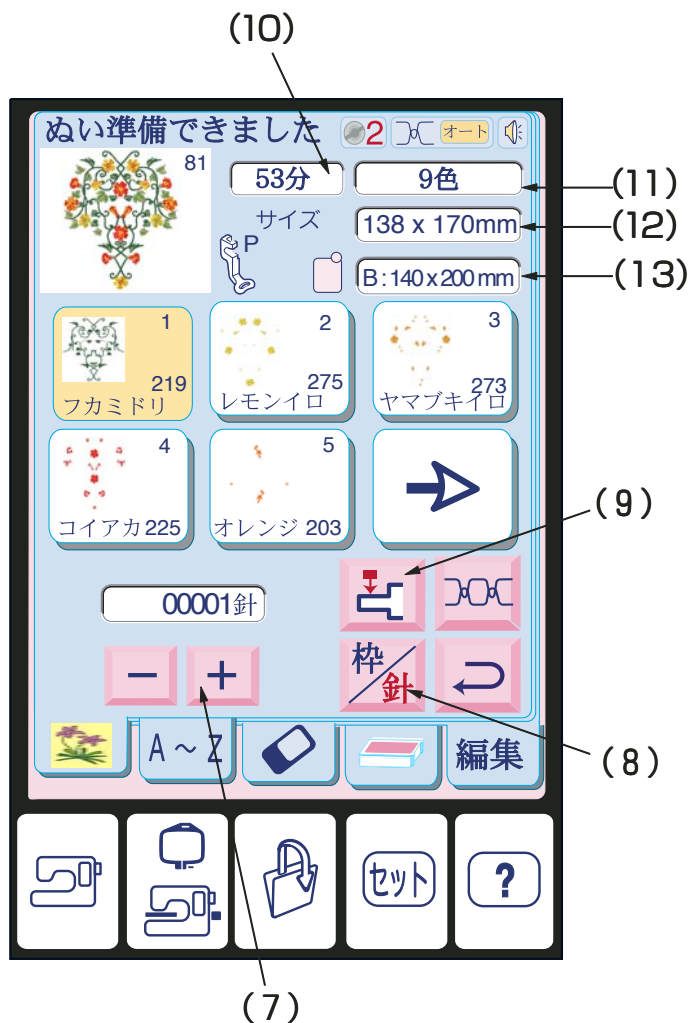
＋ − キーで糸調子を調節します。

初期化キー
糸調子がデフォルトの状態（購入時のセット状態）へ戻ります。

取消キー
キーを押すと、もとの数値になり、もとの画面になります。

OKキー
キーを押すと、表示された数値になり、もとの画面に戻ります。

（6）戻りキー

キーを押すと、模様選択画面に戻ります。

刺しゅう

（7）針前進／後進キー

ぬいはじめると、ジョグキーが消えて、枠針前進／後進キーが表示され、同時に窓に１針目からのトータル針数が表示されます。
ミシン停止中に

＋ キーを押すと、数字が進み、進めた分の針数がスキップします。

－ キーを押すと、数字が戻り、戻った分の針数を改めてぬえます。

（8）枠／針切り替えキー

刺しゅう画面では刺しゅうをはじめる前にはジョグキーを表示し、刺しゅうをはじめると枠針前進／後進キーが表示されます。
刺しゅうをはじめる前に枠針前進／後進キーを、刺しゅうをはじめた後ジョグキーを表示したい場合には、枠／針切り替えキーを押すことによって表示することができます。

（9）キャリッジ収納キー

刺しゅうモードの状態で電源を切る場合には、キャリッジ収納キーを押してキャリッジを収納してください。

その他画面説明

（10）刺しゅう時間表示

刺しゅうにかかるおおよその時間が表示されます。

（11）色替え数表示

模様に必要な色替え数が表示されます。

（12）サイズ表示

刺しゅう模様のおおよその大きさを表示します。

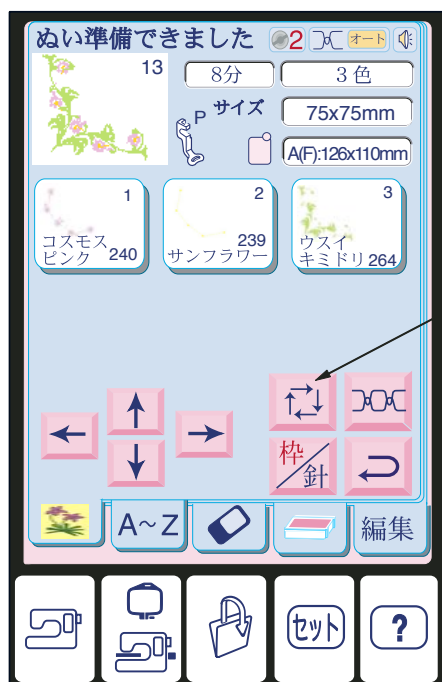
（13）刺しゅう枠表示

推奨（すいしょう）される刺しゅう枠の大きさを表示します。

刺しゅうぬい

① 刺しゅうモードキーを押します。

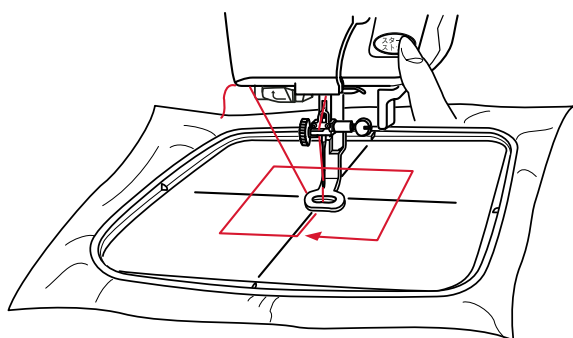
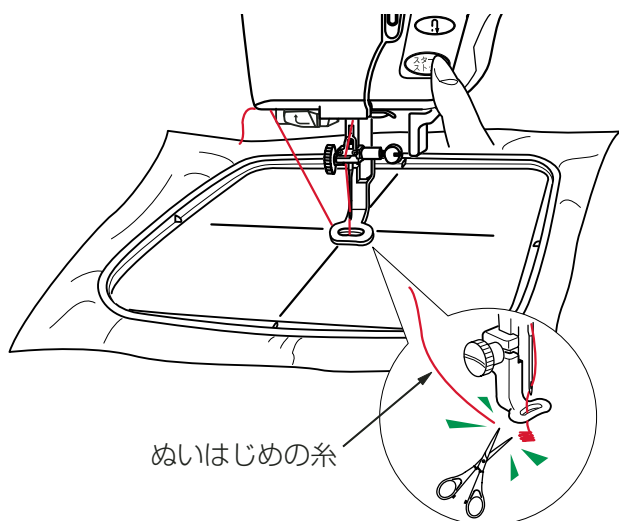
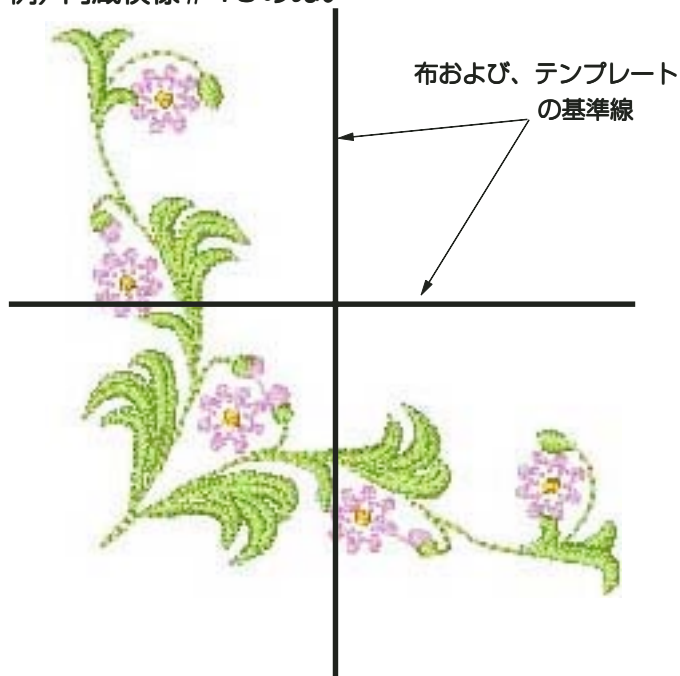
② 模様を選びます。(例. # 13)

③ 刺しゅう画面が表示されます。
画面上で指定された、枠に布を張り、キャリッジに枠をとりつけます。
(布の張り方は、109ページをごらんください。)

刺しゅう枠は、指定された枠をご使用ください。
模様くずれや、針折れの原因になります。

④ 押さえをあげた状態で、刺しゅう範囲確認キーを押すと、自動的に刺しゅう範囲の確認をします。

押さえを上げてください。

注意 押さえをさげたまま刺しゅう範囲確認キーを押すと、「押さえを上げてください。」と表示がでますので、押さえをあげて、もう一度キーを押してください。

⑤ 確認が終わったら、押さえをさげて、スタートボタンを押しぬいはじめます。

ぬい

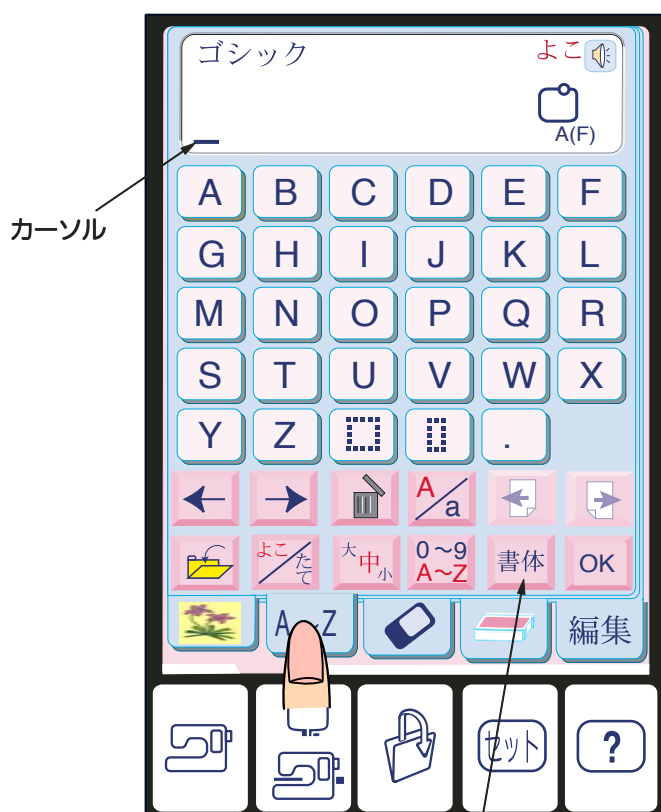
⑥ 押さえをさげて、スタート・ストップボタンを押し、5～6針ぬったところで、スタート・ストップボタンをもう一度押して、ミシンを一旦止めます。
⑦ 押さえをあげて、ぬいはじめの余分な糸をぬい目のきわから切り、押さえ上げをさげます。
⑧ ミシンをスタートして、自動的に止まるまでぬいます。

例）内蔵模様＃13のぬい

ぬいあがり

模様は、布の基準線に対して図のようにぬいあがります。

※ 基準線に対する模様の位置は、付属の模様テンプレートシートに示されています。
※ カード刺しゅうの場合には、カードに付属している、スタート位置マークまたは模様テンプレートシートを参照して位置決めをしてください。

文字刺しゅう

モノグラム選択画面で文字を組み合わせて、文字列を刺しゅうすることができます。
※ 文字刺しゅうのときは、標準刺しゅう枠Aをご使用ください。

モノグラム選択画面

モノグラム選択画面で直接文字キーを押して、文字列をプログラムします。
文字キーを押すと、押された文字は確定しカーソルが移動します。

キーのはたらき

（1）書体キー

書体切り替え画面が表示されます。
- ゴシック
- スクリプト
- チェルトナム
- ワンポイント
- 2－エンブレム
- 3－エンブレム
- 明朝体（ひらがな、カタカナ）
- 明朝体（漢字）
- まるもじ（ひらがな）

を切り替えます。

（2）戻りキー

戻りキーを押すと、はじめの画面に戻ります。

（明朝体／まるもじのとき）

（3）濁点(だくてん)、半濁点切り替えキー

濁点と半濁点の切り替えができます。
キーは、一度押すと濁点になり、もう一度押すと半濁点になります。

（3）

（4）

（5）

（4）文字大きさ選択キー

文字大きさを大・中・小選択できます。

文字を選択する前に選びます。

※文字の大きさの目安は、
大（L）サイズは、各書体とも30mm、
中（M）サイズは、各書体とも20mm、
小（S）サイズは、各書体とも13mmです。
尚、文字によって大きさが多少異なっています。

（5）縦(たて)書き／横書き切り替えキー

刺しゅうする方向を縦方向と横方向で選ぶことができます。
キーは、一度押すと縦書きになり、もう一度押すと横書きに戻ります。

刺しゅう

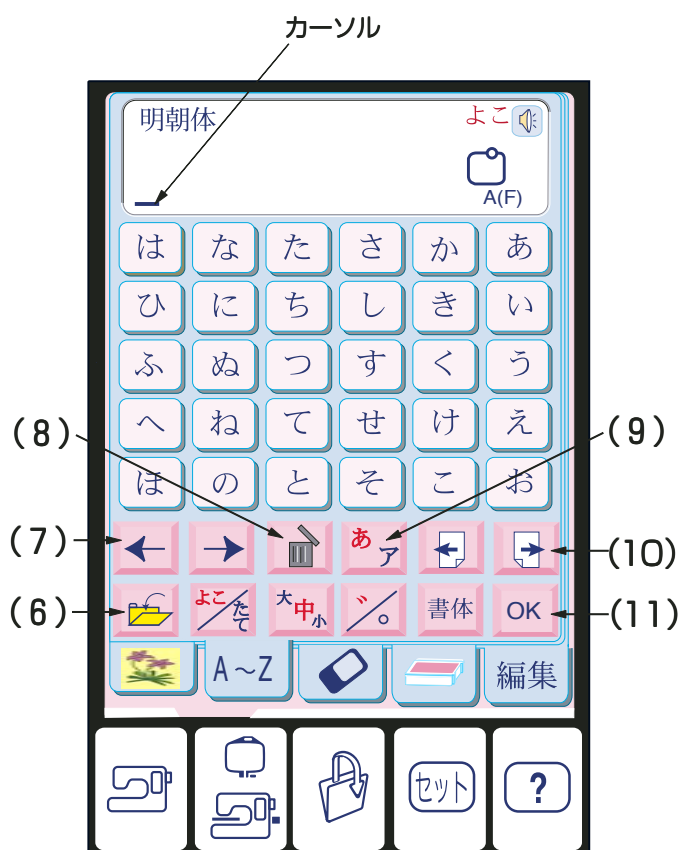
(6)

(7)

(8)

(9) あ ア

(10)

(11) OK

(6) ファイルセーブキー

作成した文字列を記憶しておくことができます。ファイルセーブ画面へ切り替わります。

(7) カーソルキー

カーソルキーでカーソルを移動します。
文字の挿入のときにも使用します。カーソルのついている文字の前に挿入されます。

(8) 削除キー

カーソルの合っている文字を削除します。

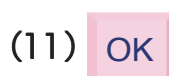
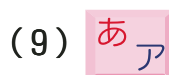
(9) ひらがな/カタカナ切り替えキー

ひらがなとカタカナを切り替えます。
キーは、一度押すとカタカナになり、もう一度押すとひらがなになります。

(10) ページキー

キーは、前または、後ろのページに他の文字があることを示します。

(11) OKキー

選択した文字列を確定し、刺しゅう画面に切り替わります。

（ゴシック／スクリプト／チェルトナム／ワンポイントのとき）

（12）アルファベットと数字切り替えキー

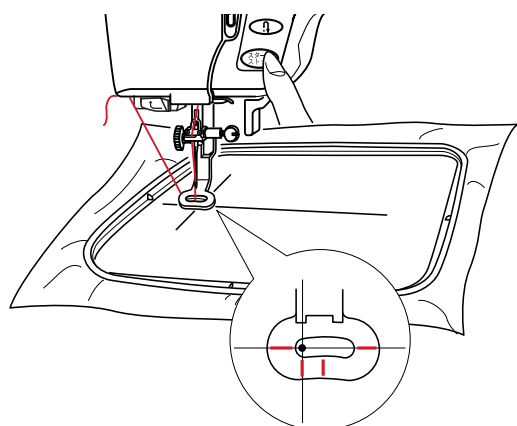
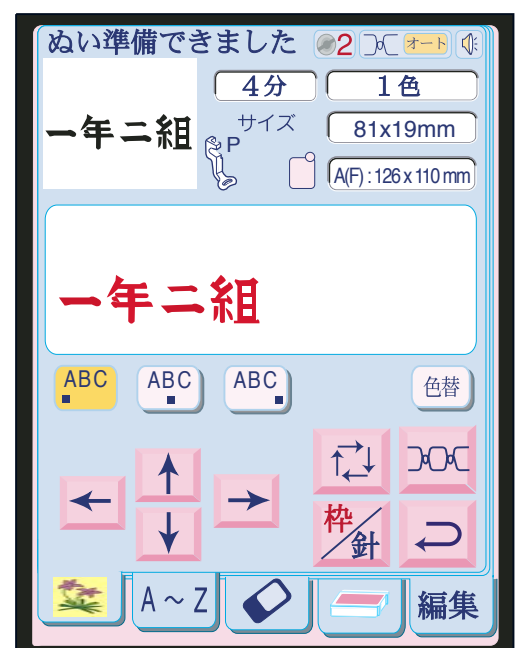
アルファベットと数字の切り替えができます。
キーは、一度押すと数字になり、もう一度押すとアルファベットに戻ります。

（13）大文字／小文字選択キー

大文字と小文字を切り替えます。

その他のキーは、明朝体のときと同じです。

（12）

（13）

文字ぬい例（明朝体）

例）一年二組

① 書体キーを押します。

② 漢字キーを押します。

③ ページキーで数字の画面にして、「一」を選びます。

④ ページキーで画面を変更して、「年」を選びます。

⑤ ページキーで数字の画面にして、「二」を選びます。

⑥ ページキーで画面を変更して、「組」を選びます。

⑦ OKキーを押します。

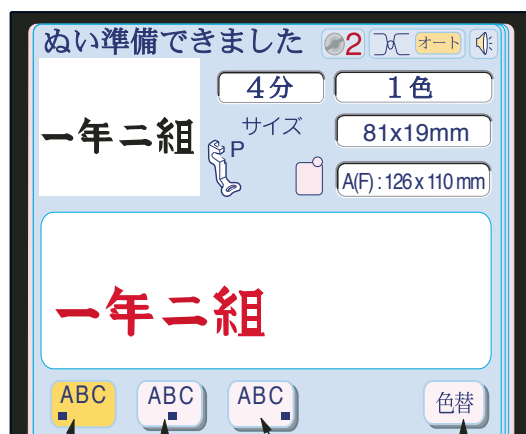
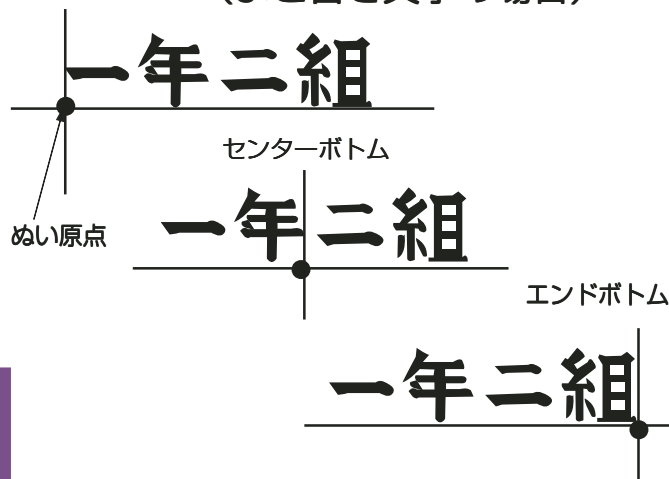
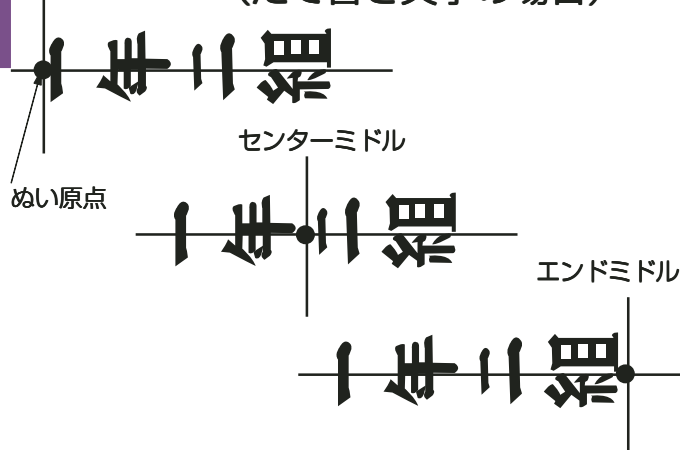
⑧ 刺しゅう画面が表示されます。
押さえをさげ、スタート･ストップボタンを押して
ぬいます。

模様の合わせ方

① ジョグキーを使って、布のマーク（十字）の中心が針の真下にくるように、位置決めします。

② スタートストップ・ボタンを押して自動的に止まるまでぬいます。

ぬいあがり

模様は、布の基準線に対して図のようにぬいあがります。

ぬい原点（スタート位置）の選択

模様のぬい原点は、３種類のぬい原点から選択できます。

（1）ぬい原点キー

（よこ書き）

（1）－１トップボトム
先頭ぬい原点の、下合わせとなります。

（1）－２センターボトム
中央ぬい原点の、下合わせとなります。

（1）－３エンドボトム
最終ぬい原点の、下合わせとなります。

（たて書き）

（1）－１トップミドル
先頭ぬい原点の、中合わせとなります。

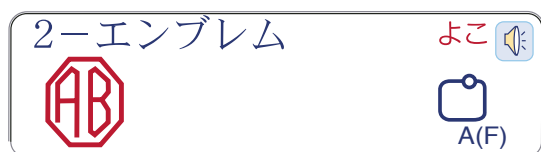
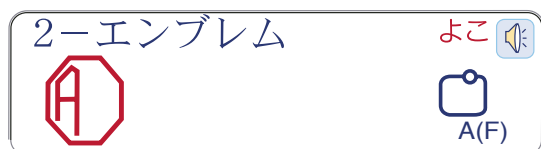
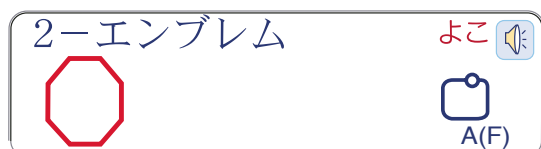
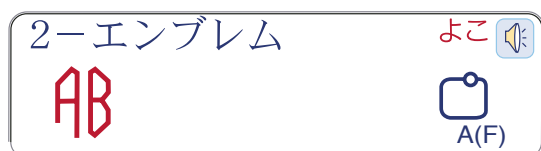
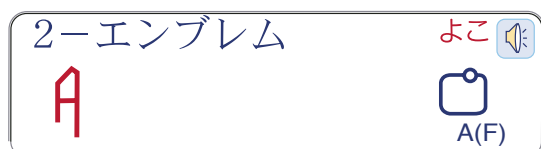
（1）－２センターミドル
中央ぬい原点の、中合わせとなります。

（1）－３エンドミドル
最終ぬい原点の、中合わせとなります。

（2）色替キー

ぬいの前にキーを押すと、一文字ぬって自動的に止まりますので糸を交換してください。

例-1

例-2

2 ーエンブレムぬい

例-1）

① 書体 キーを押して、2 -エンブレムを選びます。

② エンブレム を選びます。
※エンブレムを付けるときには、はじめに選択します。

③「A」を選びます。

④「B」を選びます。

⑤ OK キーを押します。

⑥ 刺しゅう画面が表示されます。

⑦ ミシンをスタートしてぬいます。

例-2）

① 書体 キーを押して、２ーエンブレムを選びます。

②「A」を選びます。

③「B」を選びます。

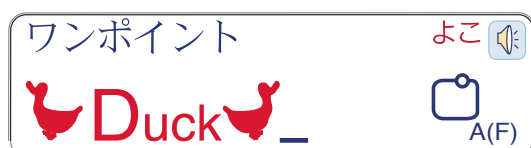
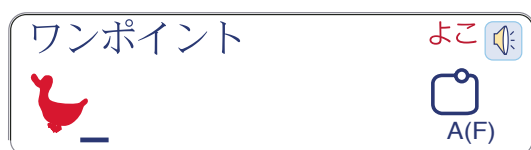
④ OK キーを押します。

⑤ 刺しゅう画面が表示されます。

⑥ ミシンをスタートしてぬいます。

※ 3-エンブレムぬいも、2-エンブレムぬいと同じ要領で行います。

※ 文字などの入れ替えをするときは、

 キーを押してはじめから選び直します。

ワンポイント模様と文字の組み合わせぬい

例）Duck

① 書体 キーを押して、ワンポイント模様を選びます。

② 大中小 キーを押して、サイズ中を選びます。

③ を選びます。

④ 書体 キーを押して、ゴシック体を選びます。

⑤ 大中小 キーを押して、サイズ小を選びます。

⑥ 「D」を選びます。

⑦ A/a キーを押して、小文字を選びます。

⑧ 大中小 キーを押して、サイズ小を選びます。

⑨ 「u」、「c」、「k」と選びます。

⑩ 書体 キーを押して、ワンポイント模様を選びます。

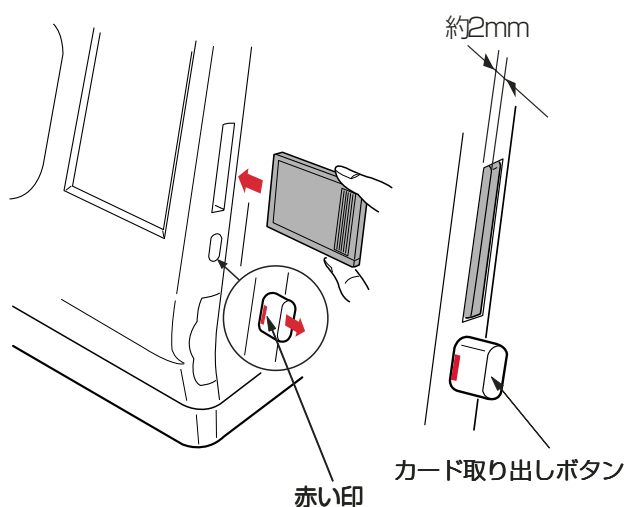
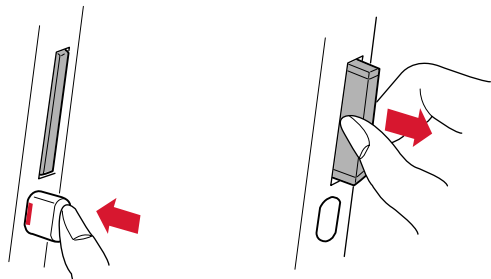
⑪ 大中小 キーを押して、サイズ中を選びます。

⑫ を選びます。

⑬ OK キーを押します。

⑭ 刺しゅう画面が表示されます。

⑮ ミシンをスタートします。

カード刺しゅう

メモリーカードのセットと取り出し方
（別売）

注意

電源スイッチ「入」「切」どちらのときでもメモリーカードのセットまたは取り出しは可能ですが、砂時計の表示中には、カードのセットまたは取り出しは行わないでください。

【セット】

① カードの表紙（矢印）を表にして、まっすぐに差し込みます。

※「カチッ」と小さな音がするまで少し強く押し込むと、ボタンが飛び出します。

※ カード取り出しボタンの赤い印が見えて、カードが約 2 mm出ている状態が正しくセットされた位置です。

【取り出し方】

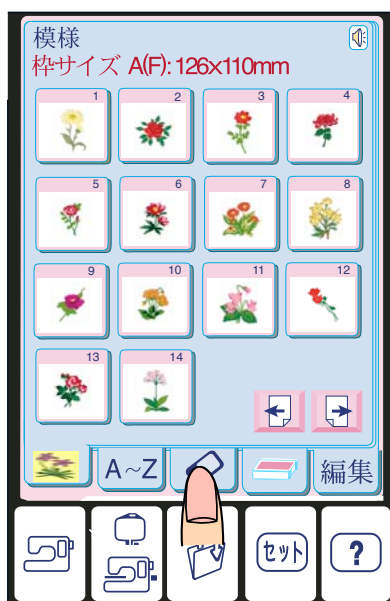
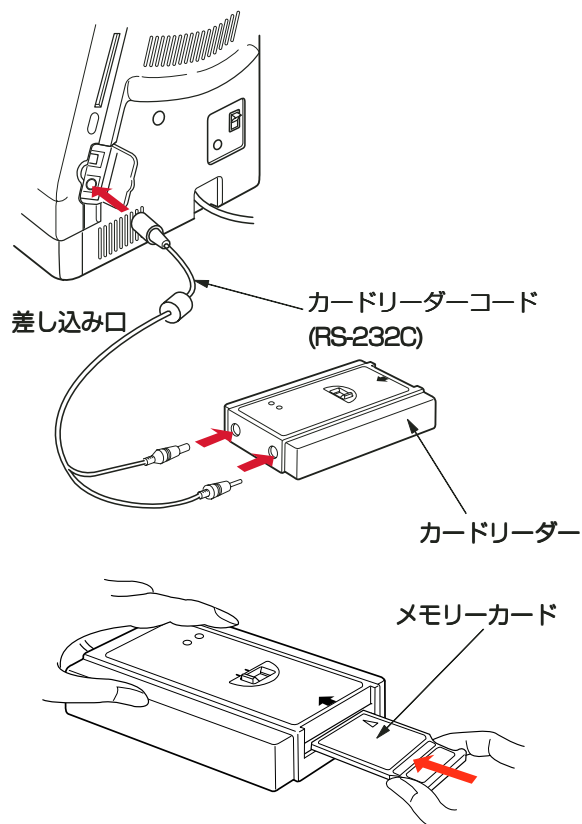
① カード取り出しボタンを押します。

② 少し飛び出したカードを手で取り出します。

模様選択画面

① 刺しゅうモードキーを押します。

② メモリーカードキーを押します。

※ 模様を選択すると、刺しゅう画面に切り替わります。キーなどの操作は、内蔵模様と同じです。

カードリーダー読み込み（別売）

カードリーダー（別売）から、メモリーカードNo.51、No.54～（別売）のデータを読み込んで刺しゅうをします。
（メモリーカードNo.52,53は使用できません。）

カードリーダーの接続

① ミシンの電源を切っておきます。

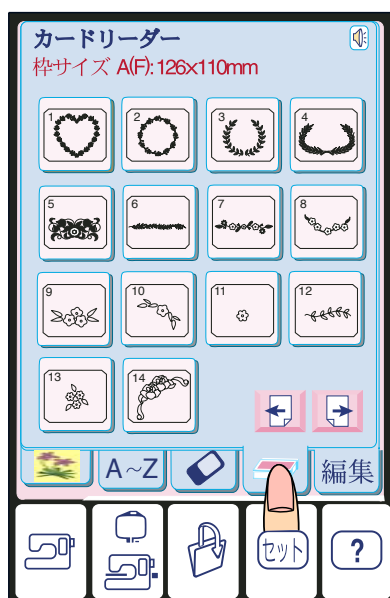
② カードリーダーコード(RS-232C)をミシンとカードリーダーに差し込みます。

③ メモリーカードをカードリーダーに差し込みます。

※カードリーダーをはずすときは、電源を切って行います。

※ カードリーダーの詳しい使い方は、カードリーダーに添付の取扱説明書をごらんください。

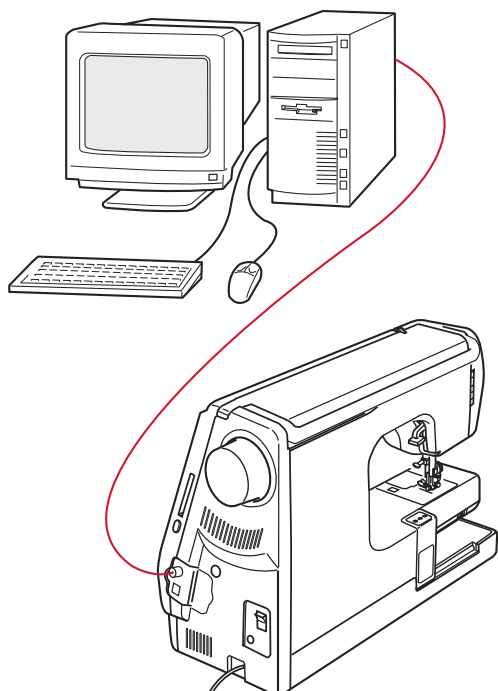
模様選択画面

① 刺しゅうモードキーを押します。

② カードリーダー読み込みキーを押します。

※ 模様を選択すると、刺しゅう画面に切り替わります。キーなどの操作は、内蔵模様と同じです。

刺しゅう

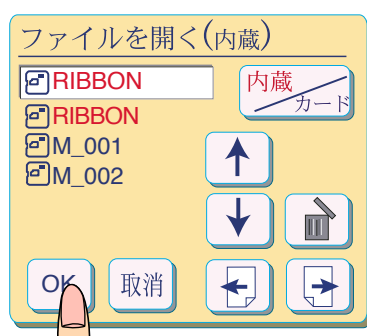
PC（パーソナルコンピュータ）読み込み（別売）

パソコンとの接続

パソコンとの接続は、別売の専用USBケーブルをご使用ください。
パソコンで作成した刺しゅうデータをミシンに直接送信して、刺しゅうすることができます。
専用ソフト、カスタマイザーPC（別売）がパソコンにインストールされている必要があります。

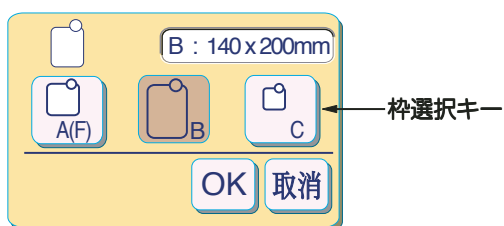
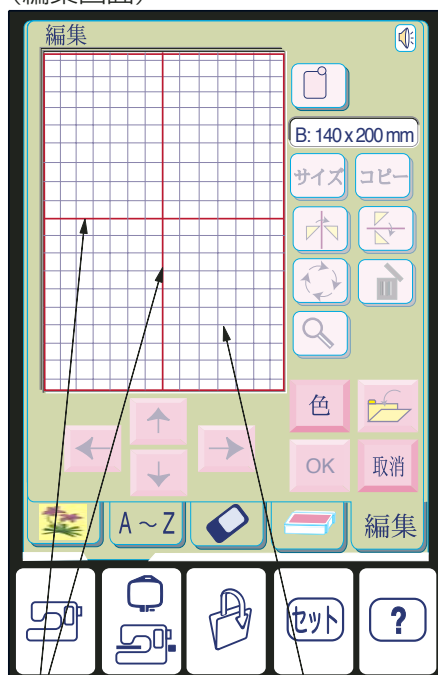
パソコンからデータが送信されると、受信入力まちになっている画面が表示されます。

刺しゅう

模様選択画面

① 刺しゅうモードキーを選択し、ファイルオープンキーを押します。

② ファイルを開く画面が表示されますので、送ったファイル名を選びます。

③ 「OK」キーを押すと刺しゅう画面に切り替わります。押さえをさげスタートボタンを押してぬいます。

※ キーなどの操作は、内蔵模様と同じです。

刺しゅう

編集モード

（枠選択画面）

（編集画面）

編集モードでは、刺しゅうデータを編集して、刺しゅうすることができます。

編集画面

編集モードを選択すると、枠選択画面が表示され、刺しゅうに使う枠の大きさを枠選択キーで指定することができます。
選択できる画面の大きさは、

A （標準刺しゅう枠）126 × 110mm、
B （大型刺しゅう枠）140×200mm、
C （小型刺しゅう枠）50 × 50mm、
F （ワンタッチ刺しゅう枠）126 x 110mm
の４種類です。
※Ｆ(ワンタッチ刺しゅう枠)は、別売品です。

OK キーを押すと選んだ枠の編集範囲が表示されます。

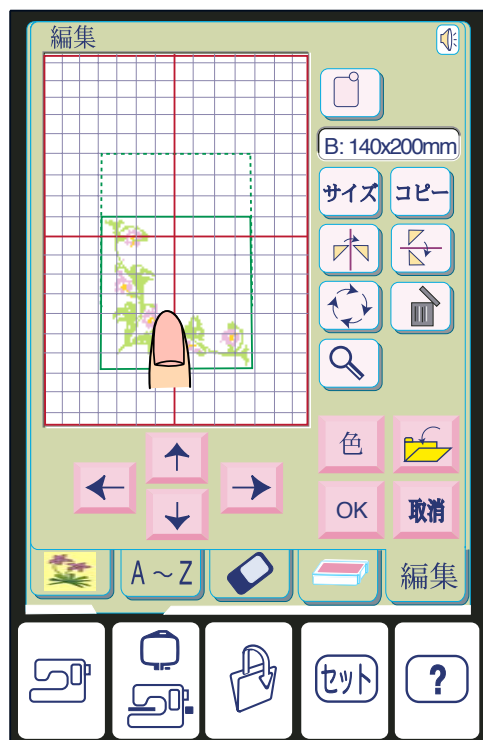
取消 キーを押すとデフォルト値(購入時のセット状態)では、Ｂ（大型刺しゅう枠）の画面に戻ります。

※模様選択後の枠選択は、133ページをごらんください。

編集画面が表示されると背景色が変わります。
デフォルト値（購入時のセット状態）では、一般刺しゅうモードは青系の背景色で編集モードは緑系です。
編集モードでは他のモードキー（内蔵模様、モノグラム、メモリーカード、カードリーダー読み込み）は編集画面へのデータ読み込みの選択画面となります。
データ読み込みの選択画面は一般刺しゅうモードの選択画面と同じレイアウトで選択方法も同じですが、背景色が編集モードの色をして区別しております。
編集から他のモードへの変更は、ＯＫキーで確定を押し、刺しゅう画面となってから目的のモードキーを押してください。

※ グリッドライン、センターライン表示の有無設定は、157ページをごらんください。

模様の指定

編集画面の中の変更する模様は画面（パレット）上のその模様に触れることで選択され、四角で囲まれます。四角で囲まれた模様は、いろいろな機能を使って画面（パレット）上で変更（編集）することができます。また、模様に触れそのまま移動しますと、それに従い模様も移動するドラッグ機能があります。先端の鋭く尖ったものでは画面に触れないでください。

キーのはたらき

（1）ジョグキー（レイアウトキー）

編集画面でのジョグキーは、画面（パレット）上の指定された模様を移動させるために使います。

※　編集画面のジョグキーを動かしてもミシンのキャリッジは動きません。形状は同じですが、ミシンのキャリッジを動かす刺しゅう画面のジョグキーとは機能が違います。ミシンのキャリッジを動かすためには、刺しゅう画面のジョグキーをお使いください。

（2）取消キー

編集モードを中止し、最後に選択した模様の選択画面に戻ります。

（例）内蔵模様＃13

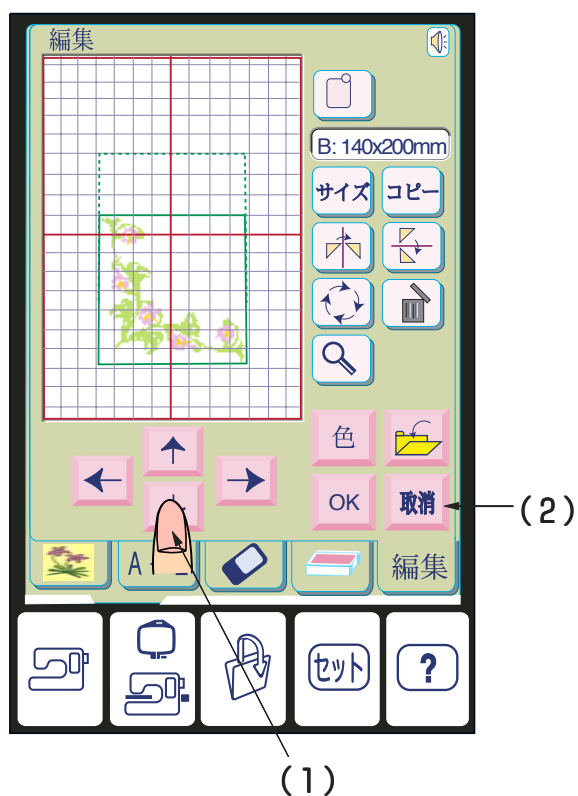
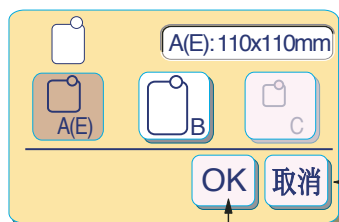
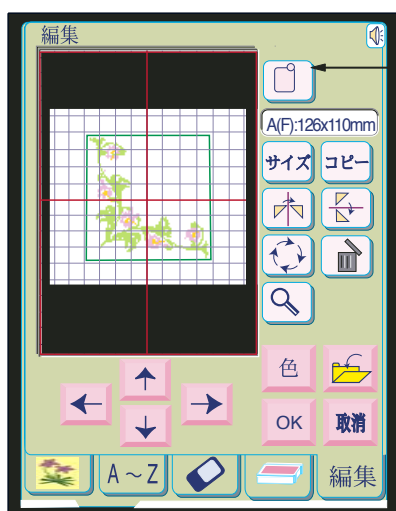
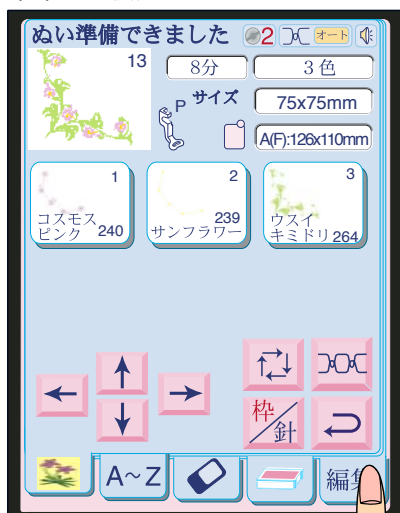
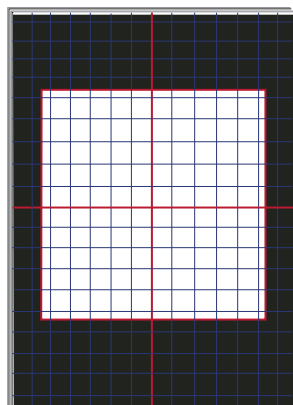
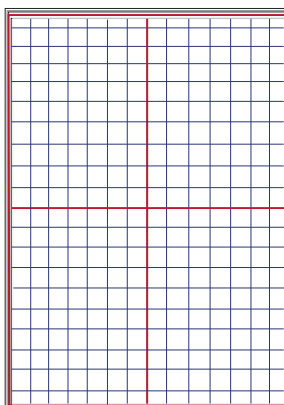
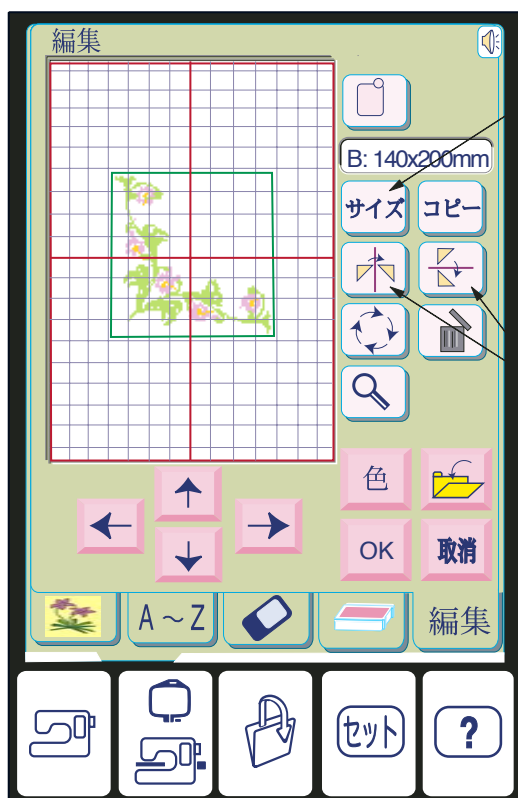
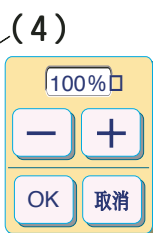
（3）枠選択キー

模様選択後に、編集モードを選択した場合、
模様のサイズにあった枠を指定することができます。
選択できる画面の大きさは、
A （標準刺しゅう枠）126 × 110mm、
B （大型刺しゅう枠）140×200mm、
C （小型刺しゅう枠）50 × 50mm、
F （ワンタッチ刺しゅう枠）126 x 110mm
の４種類です。
※Ｆ(ワンタッチ刺しゅう枠）は、別売品です。

(3)−1 OK キーを押すと選んだ枠の編集範囲が表示されます。

(3)−2 取消 キーを押すともとの画面に戻ります。

注意

※刺しゅう枠は、指定された枠をご使用ください。
針と刺しゅう枠がぶつかり危険です。

①標準刺しゅう枠Ａ（Ｆ）用
レイアウト範囲
※赤枠内が編集範囲です。

②標準刺しゅう枠Ｂ用
レイアウト範囲
※赤枠内が編集範囲です。

③小型刺しゅう枠Ｃ用
レイアウト範囲
※赤枠内が編集範囲です。

（4）サイズキー

指定された模様（緑枠で囲まれた模様）の大きさを4段階（90%･100%･110%･120%）で拡大縮小できます。
サイズキーを押すと、サイズ変更画面が表示されますので、－ ＋ キーで90%・100%・110%・120%の大きさを選んでください。デフォルト値（購入時のセット状態）は「100%」です。

OK キーを押すとサイズ変更され、編集画面にもどります。

取消 キーを押すともとの画面に戻ります。

（5）模様反転キー（ミラーキー）

指定された模様を反転することができます。

キーを押すと左右反転します。

キーを押すと上下反転します。

（6）模様回転キー（ローテーションキー）

模様回転キーを押すと模様回転調節画面が表示されます。

キーを押すと模様の回転方向を指定できます。

キーを押すと45°毎に回転します。

キーを押すと5°毎に回転します。

OK キーを押すと、窓に表示された回転角度に模様が回転されて編集画面へ戻ります。

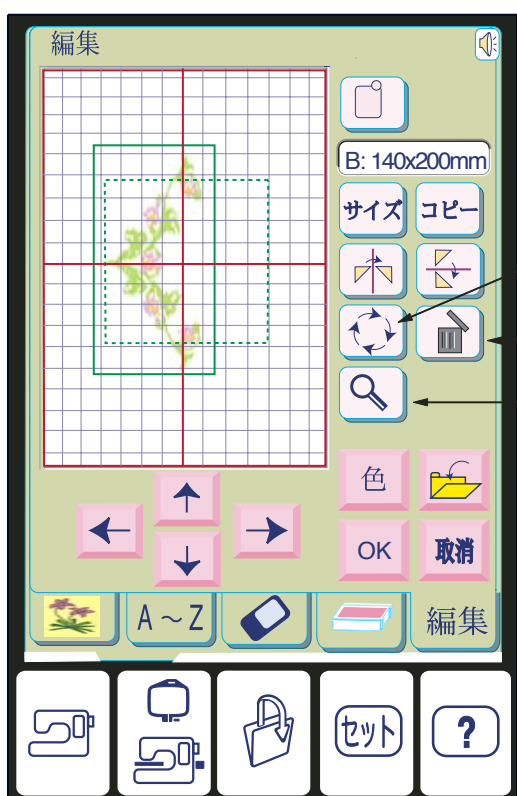
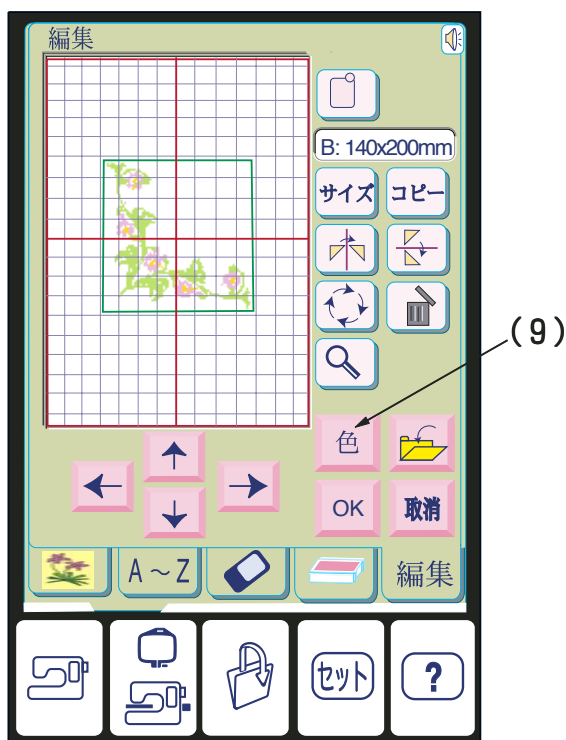
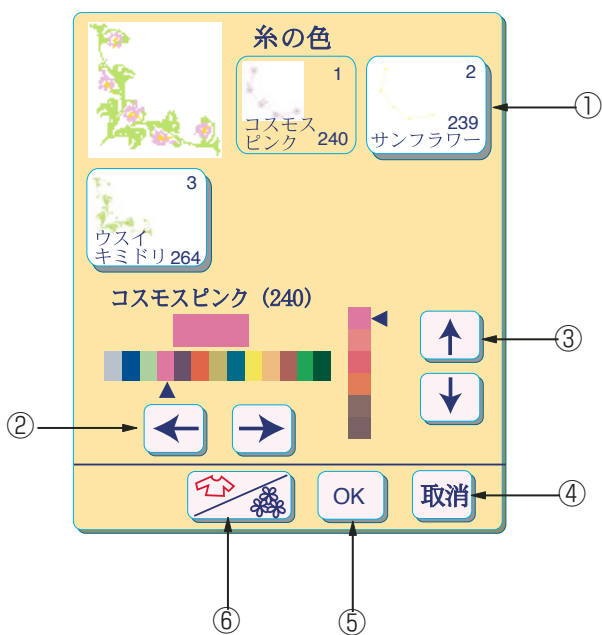
取消 キーを押すと、模様を回転せずに編集画面へ戻ります。

（7）削除キー

指定された模様を削除することができます。

（8）拡大表示キー

指定された模様を拡大して確認することができます。

キーを押すともとへ戻ります。

（10）

（模様＃81のとき）

（9）色キー

刺しゅうされる素材色のイメージを出すために画面内の背景色を変更することができます。また、指定された模様に使われる糸色を変更することができます。いずれの場合も色キー、または、色替え対象変更キーを押すことによって変更します。
色キーを押すと、模様が指定されていない場合（編集前など）は、画面内の背景色変更画面が表示されます。
模様が指定されている場合は指定された模様の糸色変更画面が表示されます。
それぞれの画面には、色替え対象変更キーがあり、キーを押すことにより色変更対象を切りかえることができます。

（10）糸色変更画面

刺しゅうされる模様の糸色を変更します。糸色変更画面では、色毎に分解され模様が一つ一つのキーに表示されています。

① 変更対象の糸色模様のキーを選択します。

② ← → キーを押して色を選択します。

③ ↑ ↓ キーを押して明るさを選択します。

糸色を変更したい模様をすべて変更したあと、

④ 取消キーを押しますと元の糸色のまま編集画面へ戻ります。

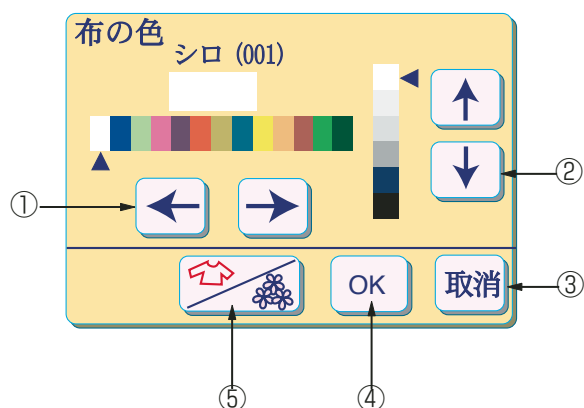
⑤ OKキーを押すと選択された糸色となって編集画面に戻ります。

⑥ 色替え対象変更キーを押しますと、背景色変更画面へ切りかわります。

⑦ 矢印キーは色毎に分解された模様が矢印の方向にあることを示しており、キーを押すことによって表示されます。

刺しゅう

(11)

布の色
シロ (001)
OK
取消

(11) 背景色変更画面

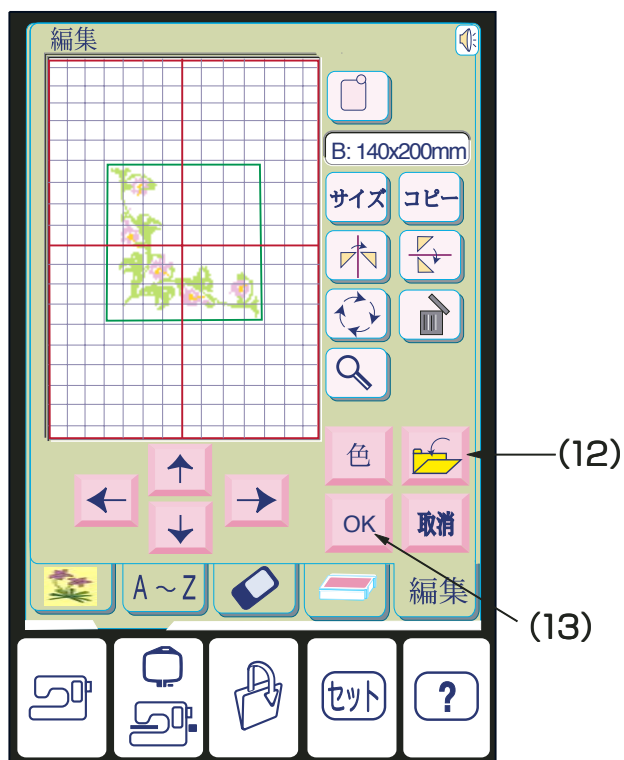
刺しゅうされる素材色のイメージを表わすために画面（パレット）内の背景色を変更します。

① ← → キーを押して色を選択します。

② ↑ ↓ キーを押して明るさを選択します。

③ 取消キーを押すともとの背景色のまま編集画面へ戻ります。

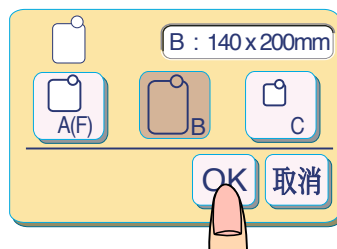
④ OKキーを押すと選択された背景色となって編集画面に戻ります。

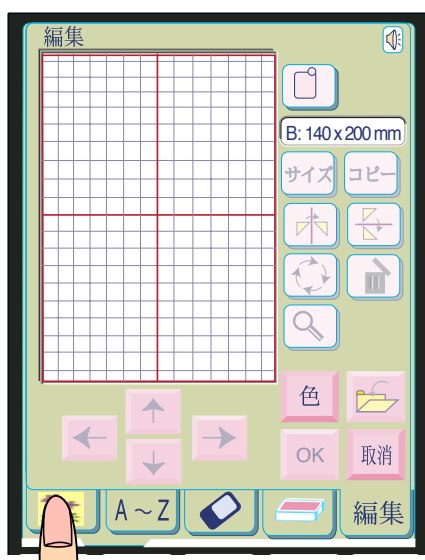
⑤ 色替え対象変更キーを押すと、糸色変更画面へ切りかわります。

(12) ファイルセーブキー

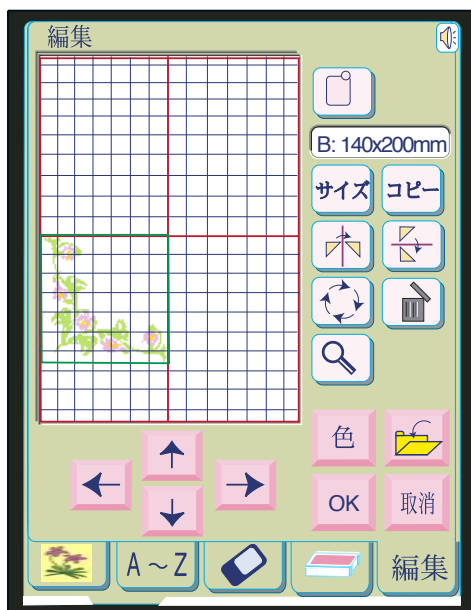
作成したプログラムを記憶しておくことができます。
（86ページをごらんください。）

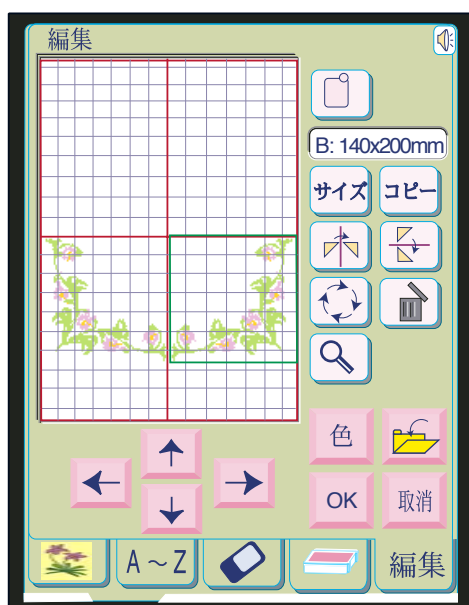
(13) OKキー

編集した模様を確定し、刺しゅう画面に切り替わります。

① 編集キーを押します。

② 刺しゅう枠Bを選び、「OK」キーを押します。

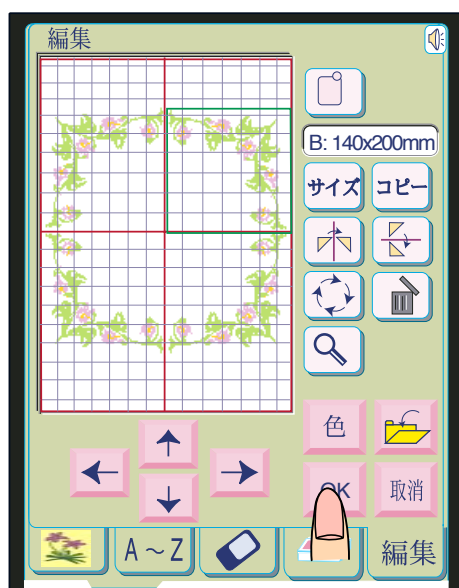
③ 内蔵模様キーを押します。

④ 模様＃ 13 を選びます。(例)

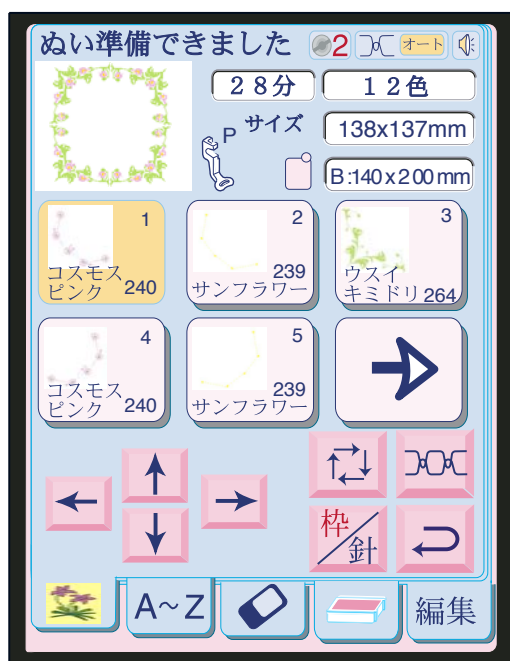
刺しゅう

⑤ サイズキーを押して、90%を選びます。
⑥ ジョグキーを使い、模様を移動します。
※ 大小の模様を編集画面に読み込む場合には、大きい模様をはじめに読み込んでください。
模様の移動がしやすくなります。

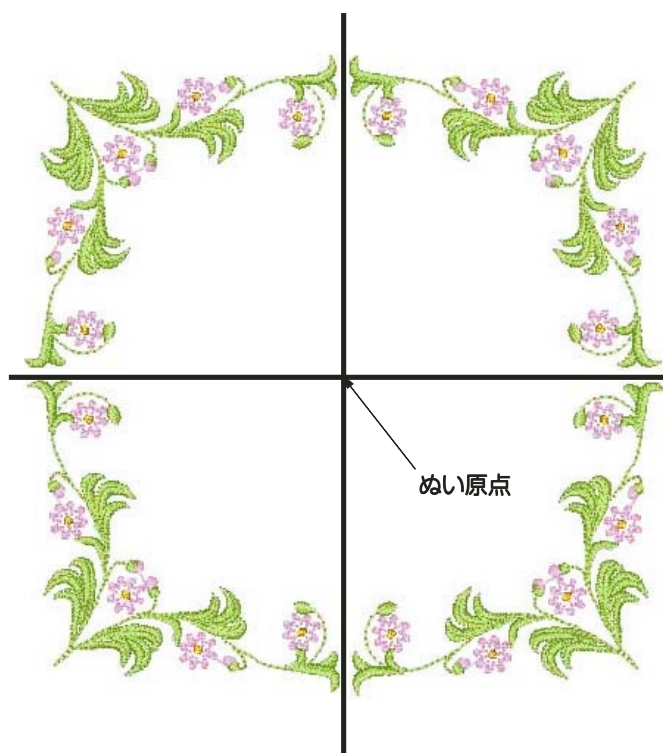
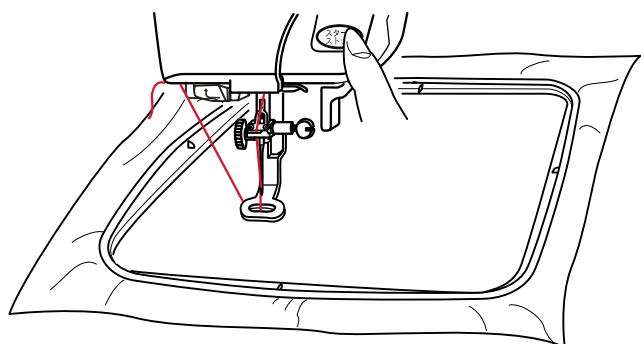
注意：編集刺しゅうぬいでは、重ねぬいはしないでください。針折れの原因となり危険です。

⑦ 内蔵模様キーを押し、模様＃13を選びます。

⑧ 模様反転キーで左右反転します。

⑨ サイズキーを押して、90%を選びます。

⑩ ジョグキーを使い移動させます。

⑪ 同じく手順④～⑩の要領で模様を配置します。

⑫「OK」キーを押します。

⑬ 編集画面に読み出された模様データの順に刺しゅう画面が表示されます。

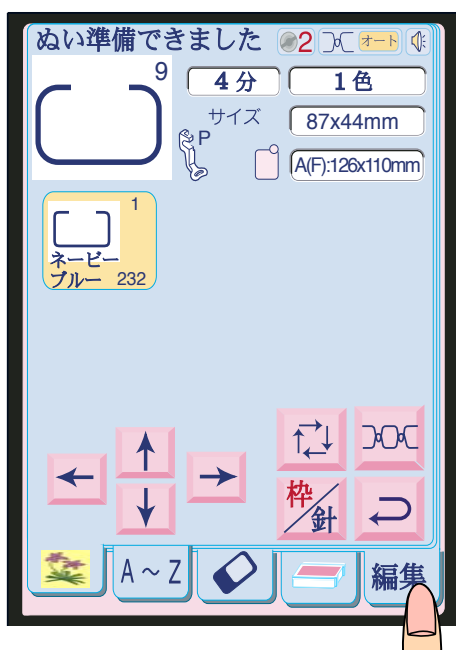
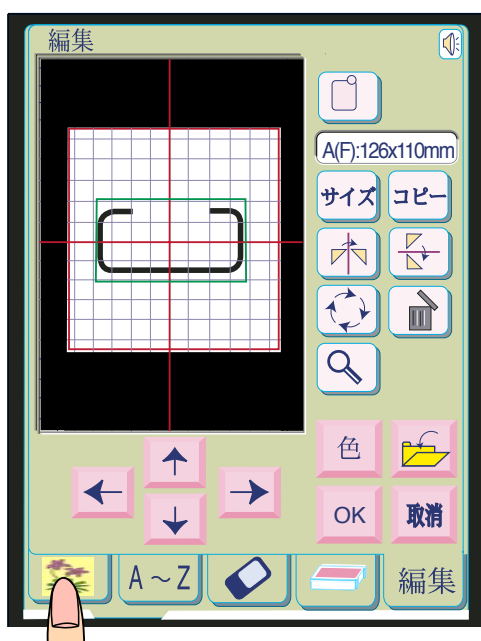
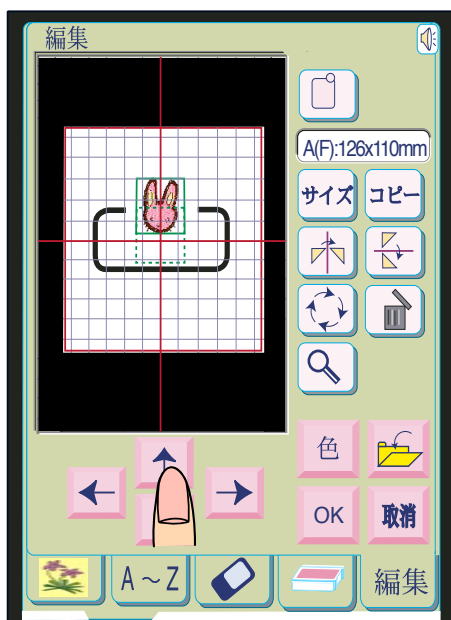
⑭ スタート・ストップボタンを押してぬいます。

ぬいあがり

ぬい原点は、模様の中心になります。
刺しゅう枠を張るときには、模様の中心を枠基準に合わせて張ります。
最初の模様をぬう前に針を中心に合わせてください。

編集例 - 2

内蔵模様＃９、＃６、文字「みどり」の組み合わせ

① 内蔵模様＃９を選びます。

② 編集キーを押します。

③ 内蔵模様キーを押します。

④ 内蔵模様＃６を選びます。

⑤ ジョグキーで、模様を移動させます。

⑥ モノグラムキーを押します。

⑦ 書体キーを押して、明朝体を選びます。

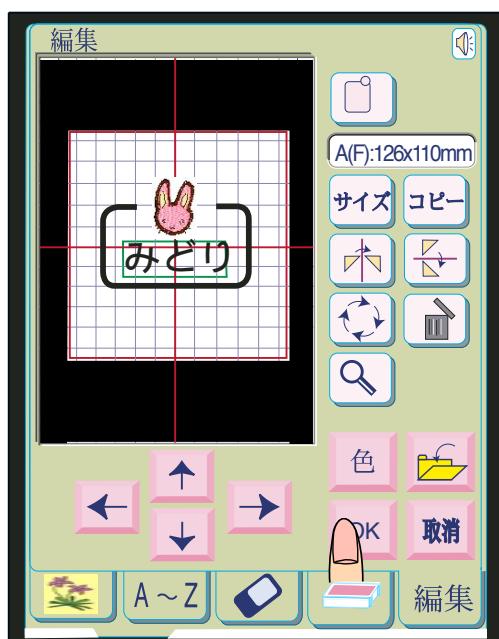
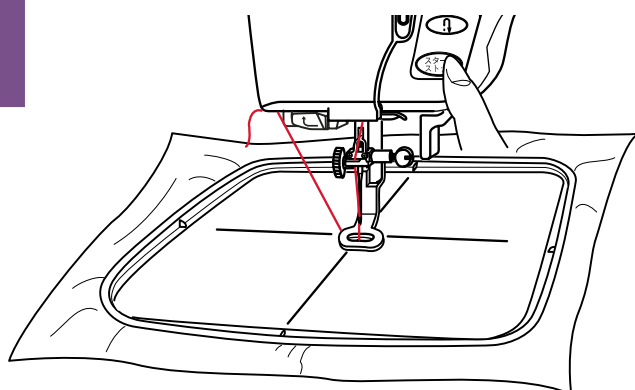
⑧「み」、「と」、「゛」、「り」の順に選んでいきます。

⑨ OKキーを押します。

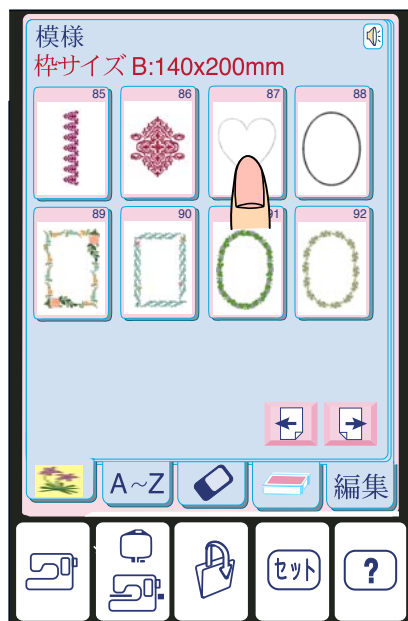
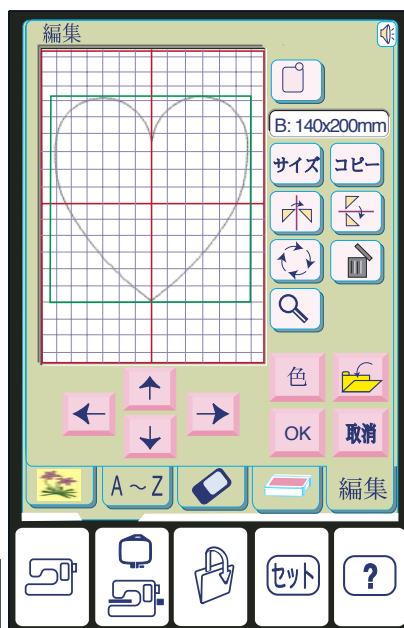
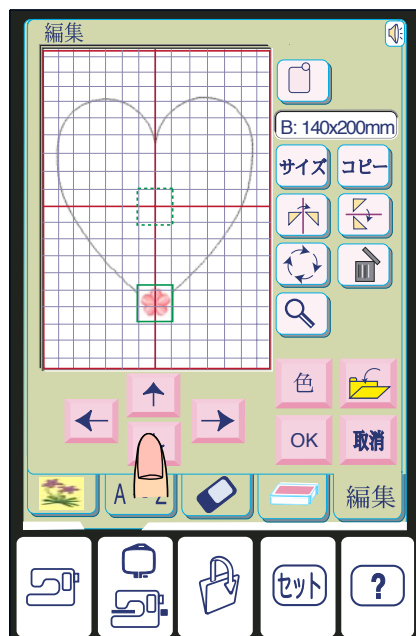
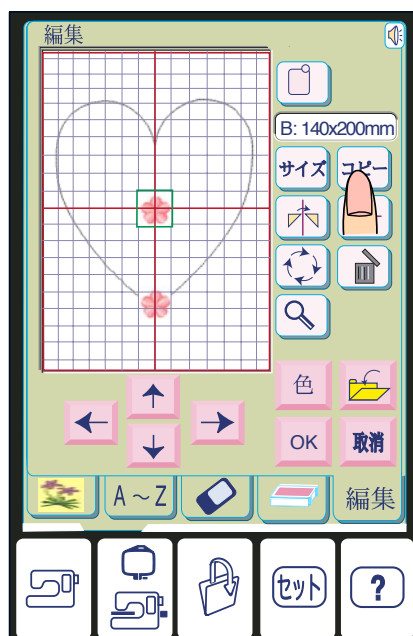
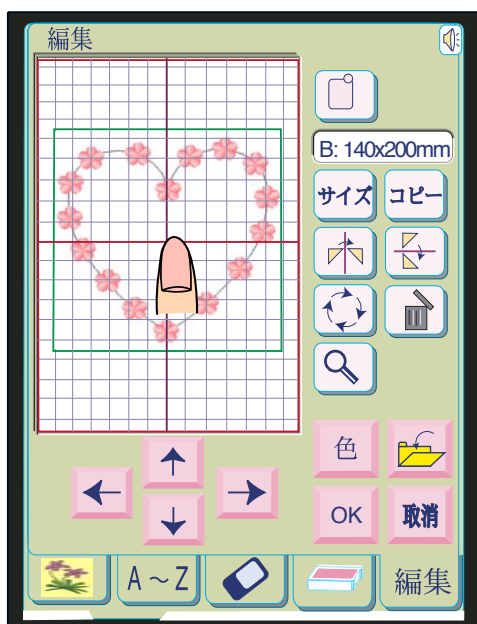
刺しゅう

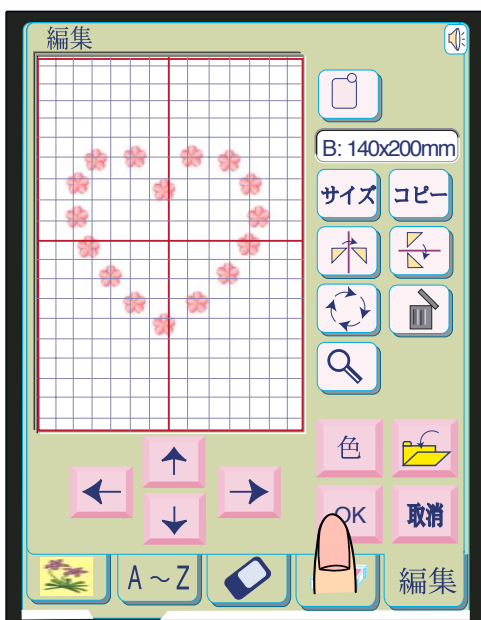
⑩ ジョグキーで模様を移動させます。

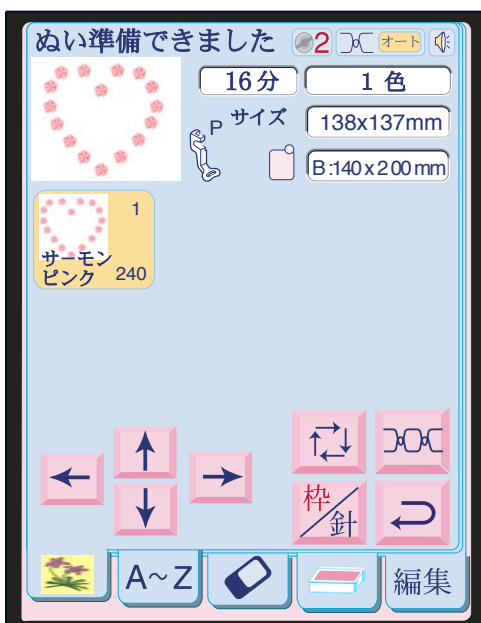
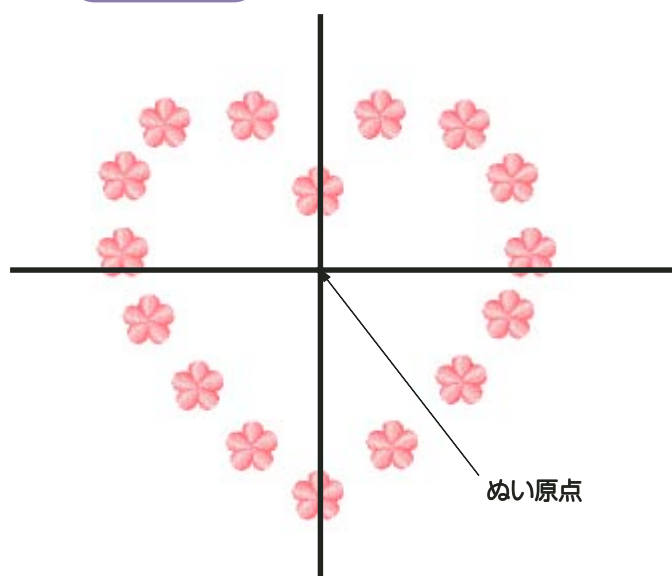
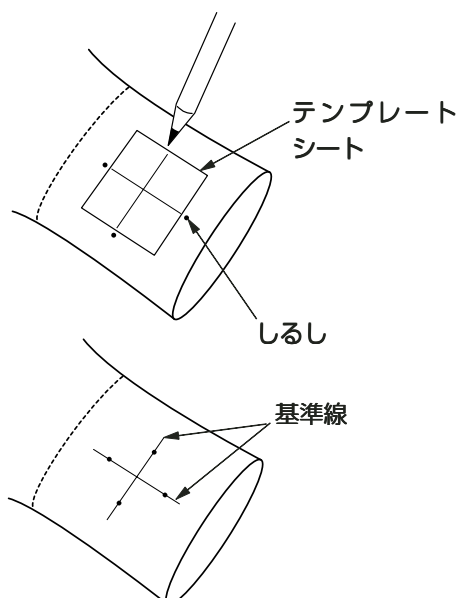
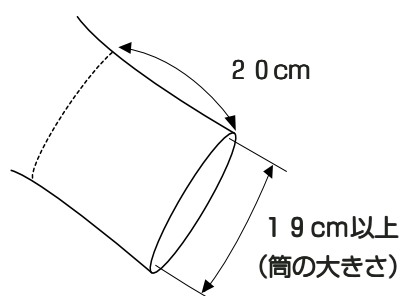
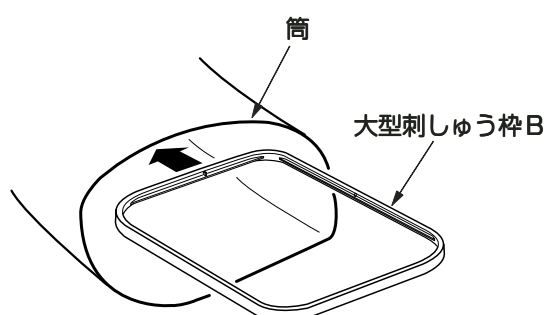
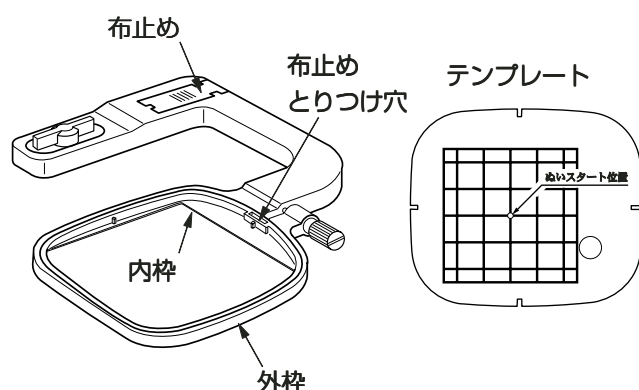
⑪ OK キーを押すと、刺しゅう画面になります。

ぬい準備できました
10分
5色
サイズ
87x55mm
A(F):126x110mm
みどり
1 ネービーブルー 232
2 ウスイピンク 211
3 ウスイキイロ 210
4 コゲチャ 205
5 クロ 002
枠/針
A～Z
編集

⑫スタート・ストップボタンを押してぬいます。

編集例 - 3

内蔵模様＃ 87 と模様＃ 1の組み合わせ

① 模様＃ 87 を選びます。

② 編集画面にします。

③ 組み合わせる模様＃ 1 を選んで、ジョグキーで模様を移動させ、レイアウトしていきます。

④「コピー」キーを押して、模様＃ 1 をコピーします。ジョグキーで模様を移動させ、レイアウトしていきます。

⑤ 手順④を繰り返しレイアウトがおわったら、指で模様＃ 87 を選びます。（緑枠が表示）

⑥「 」キーを押します。

⑦ OK キーを押します。

⑧ 刺しゅう画面になりますので、スタート・ストップボタンを押してぬいます。

ぬいあがり

刺しゅう

フリーアーム刺しゅう

小型刺しゅう枠Cで、フリーアーム刺しゅうが出来ます。

取扱上の注意

※ 枠のとりつけは、ぬい準備がすべて終わった最後にとりつけます。
※ ぬいおわったら、まず先に枠をとりはずします。
※ 電源を切るときや、他のモードに移るときには、枠をはずしてから行ってください。
※ テンプレートの ▦ は、刺しゅう範囲を示します。
※ 必ず、試しぬいを行ってください。

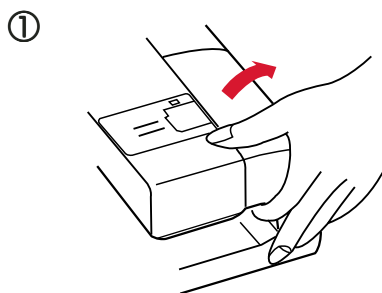
刺しゅうする布の準備

（1）サイズの目安（筒の大きさ）

① フリーアーム刺しゅうは、筒の太さにより刺しゅうできるものと、できないものがあります。
まず、大型刺しゅう枠Bの内枠を図のように筒に入れ、**刺しゅうする筒の大きさが19cm以上あることを確認します。**
スムーズに入る筒は、刺しゅうできます。
入らない筒では行わないでください。

② 筒の長手方向は、先端から２０cm程度まで、それ以上の場合は、ぬいずれや模様くずれが発生しやすくなります。

（2）模様の位置決め

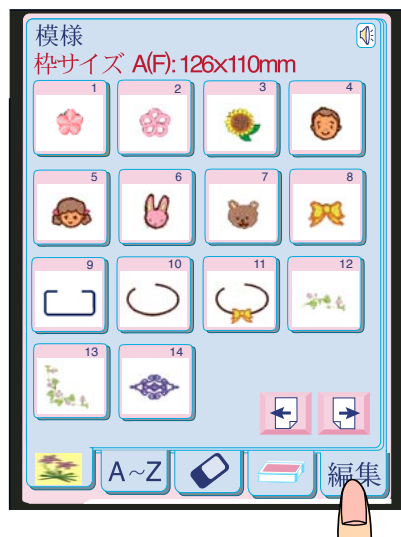
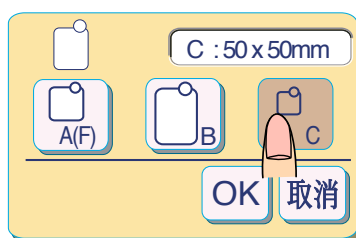
① 刺しゅうする場所にしるしを付けます。
付属のテンプレートシートを使用してしるしを付けるとぬいあがりの目安になります。
次に、しるしを結び基準線を引きます。

ミシンの準備（内蔵模様のとき）

注意 刺しゅう枠をキャリッジにとりつけるのは、ぬい準備がすべて終わった最後にとりつけます。

①

④

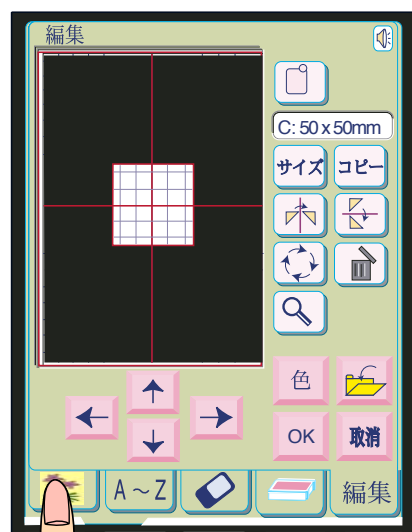
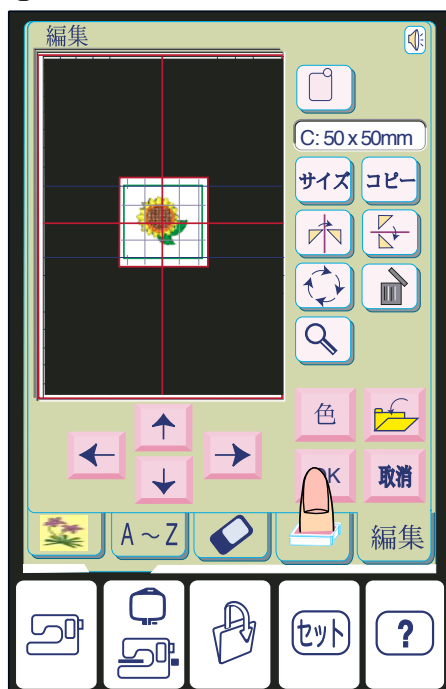
⑤

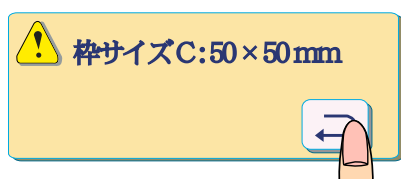
① ミシンの補助テーブルを外します。

※ フリーアーム刺しゅうは、内蔵模様＃１～＃８、＃93～＃102を使用してください。

②「編集」キーを押します。

③「C枠」を選び、「OK」キーを押します。

④ 内蔵模様キーを押します。

⑤ 模様＃３を選びます。

⑥

⑥ 編集画面に戻りますので「OK」キーを押します。

⑦

⑦ 使用する枠の注意表示がでますので、「戻り」キーを押します。

注意　刺しゅう枠は、C 枠以外使用できません。

⑧

⑧ 刺しゅう画面が表示されます。

⑨ 刺しゅう枠をキャリッジにとりつけます。

※ 布の張り方及び、枠のとりつけ方は、149ページをごらんください。

刺しゅう

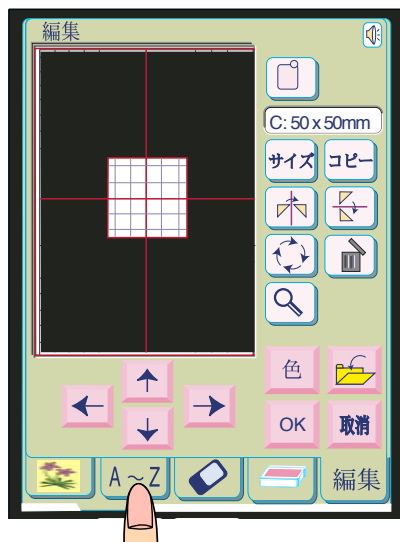
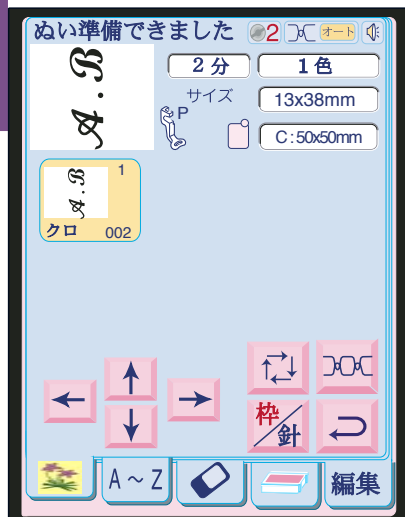
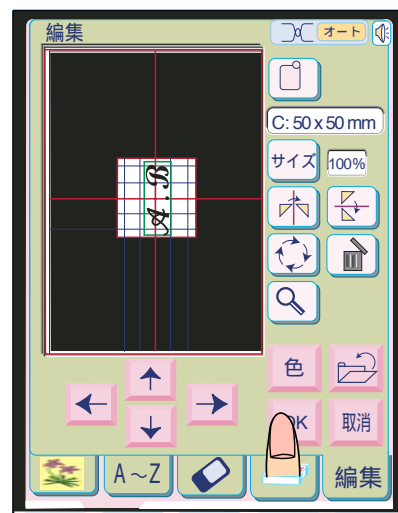
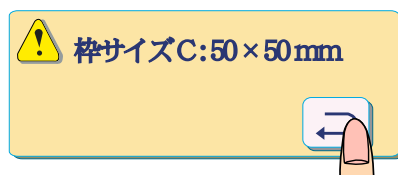
④

⑤

⑥

⑦

⑨

⑧

ミシンの準備

（モノグラムぬいのとき）

※ 手順①～③までは、146ページのミシンの準備（内蔵模様のとき）と同じです。

④ モノグラムキーを押します。

⑤「書体」キーを押し、スクリプトを選びます。

⑥ 文字大きさ「小」、文字Ａ．Ｂを選び「OK」キーを押します。

⑦ 編集画面に戻りますので文字のぬい方向を確認して、「OK」キーを押します。

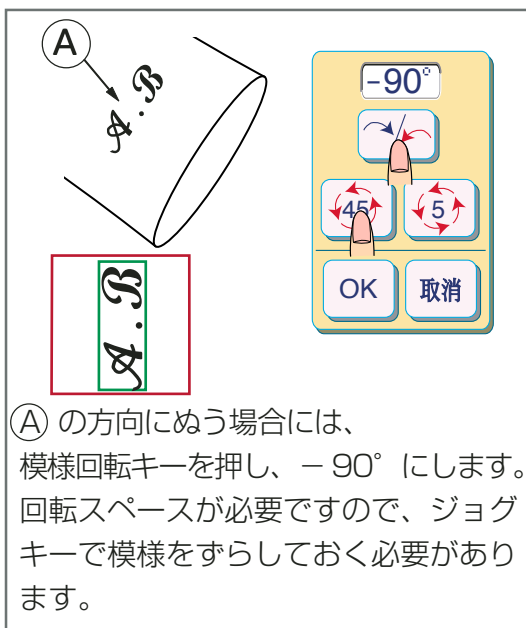
（ぬい方向の調節）.... 模様回転キー使用

Ⓐ の方向にぬう場合には、
模様回転キーを押し、－90゜ にします。
回転スペースが必要ですので、ジョグキーで模様をずらしておく必要があります。

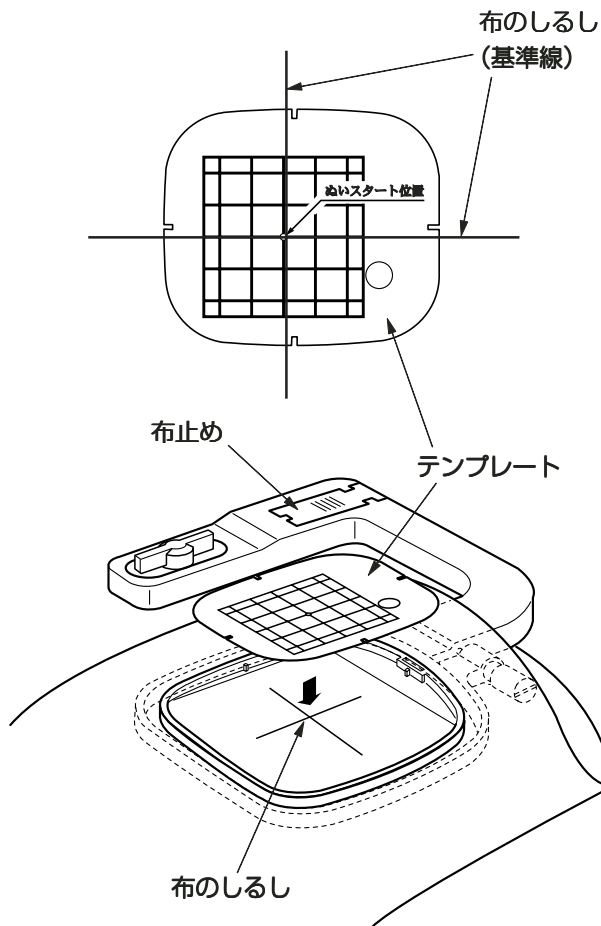
⑧ 使用する枠の注意表示がでますので、「戻り」キーを押します。

⑨ 刺しゅう画面が表示されます。

⑩ 刺しゅう枠をキャリッジにとりつけます。

※ 布の張り方及び、枠のとりつけ方は、149ページをごらんください。

刺しゅう

布の張り方

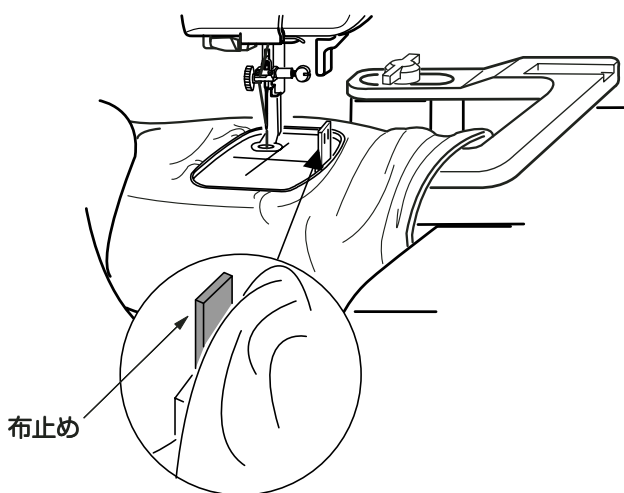
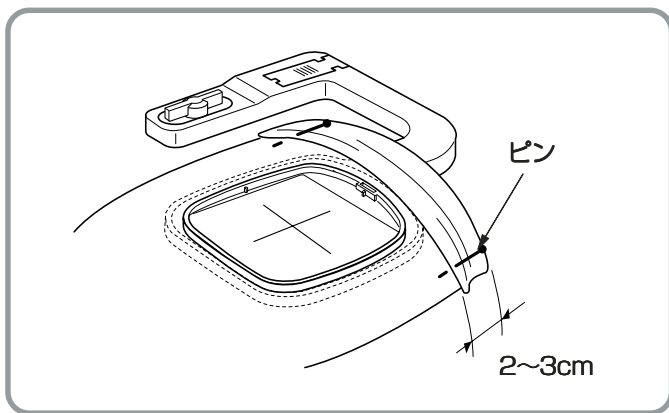
① 刺しゅう枠に布を張ります。内枠に付属のテンプレートをのせ、布のしるし（基準線）とテンプレートを合わせるようにして位置合わせをします。

刺しゅう枠のセットとぬい

① ミシンのアームに筒を通し、刺しゅう枠をキャリッジにセットします。

ふところにあまった布は、じゃまにならないように折り返し処理をします。

折り返し2～3cmぐらいになるようにし、ピンなどで止めておきます。

ふところにあまった布がたるむ場合は、刺しゅう枠に付いている布止めを、内枠にさしこみます。

布が枠内に入り込むのを防ぎます。

② 布に付けたしるしと針先が一致するようにジョグキーで調節します。

③ スタート・ストップボタンを押して、ぬいはじめます。このとき、布がキャリッジの動きをじゃましないよう、また、折り返した布をぬいこんでしまわないように注意してください。

注意 ぬいおわったら、まず先に枠をとりはずします。

その他小型刺しゅう枠Cの使い方

【角のぬい】

①

布

芯地

布

芯地

① 芯地が枠にとりつくぐらい、余分に貼ります。

②

模様
枠サイズ A(F):126x110mm
A～Z
編集

② 編集キーを押します。

③

③C 枠（小型刺しゅう枠C）を選択します。

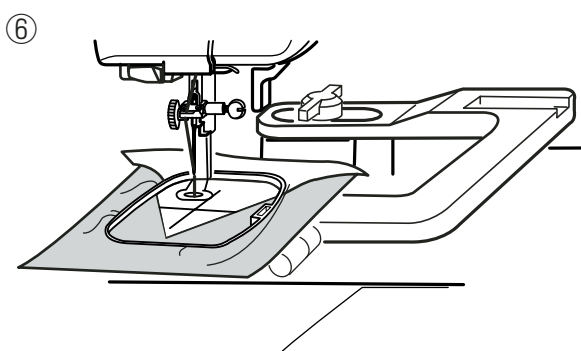
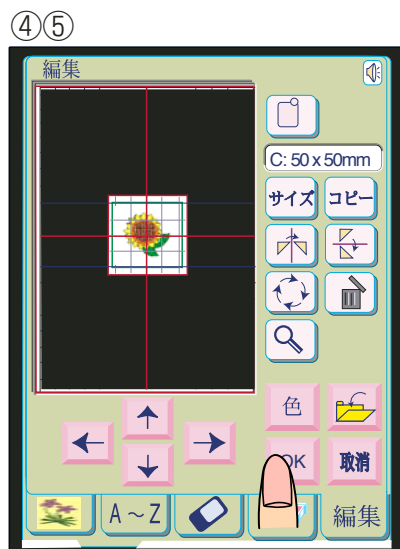
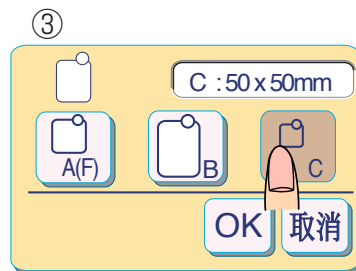
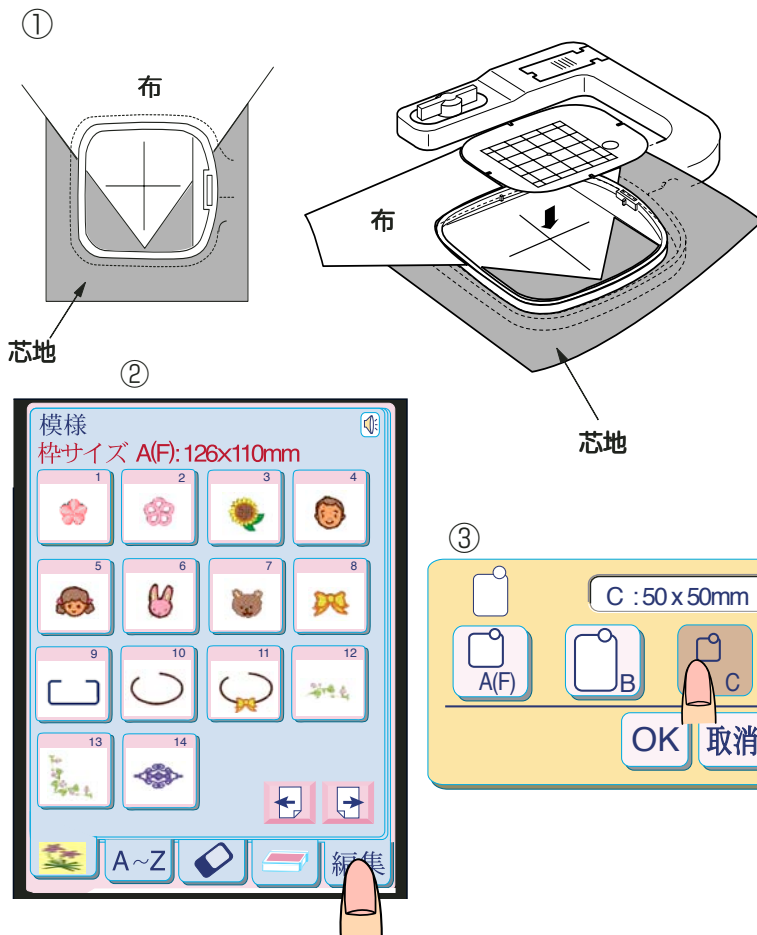
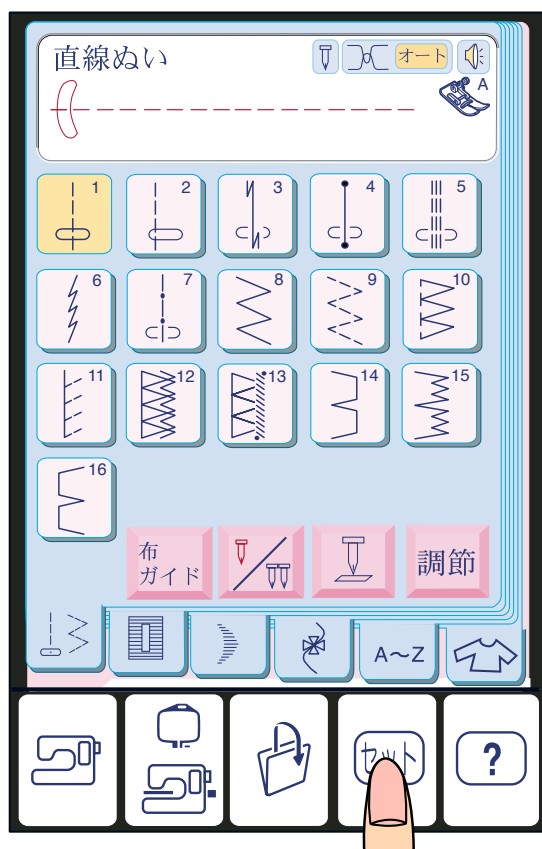
④⑤

④ 内蔵模様キーを押し、模様＃ 3 を選びます。

⑤ OKキーを押します。

⑥

⑥キャリッジに枠をとりつけ、スタート・ストップボタンを押してぬいます。

ミシンのお好みセット

セットキー

セット画面の選び方

セットキーを押すと、ミシンのセット専用画面が表示されます。ミシンの状態をお好みの状態にセットすることができます。

（1）共通キー

通常ぬい、刺しゅうぬいに共通の項目をセットできます。

（2）通常ぬいキー

通常ぬいに関わる項目をセットすることができます。

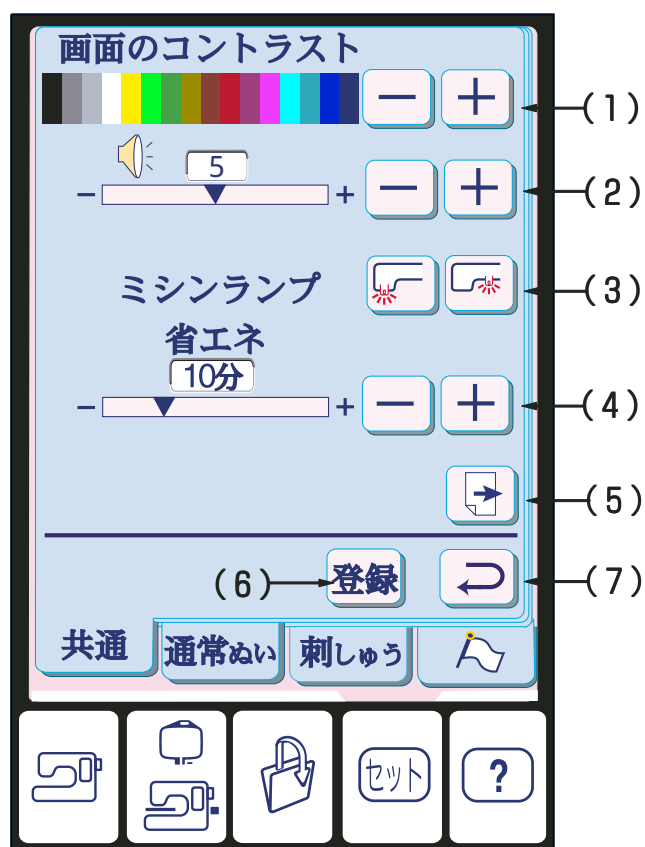
（3）刺しゅうキー

刺しゅうぬいに関わる項目をセットすることができます。

（4）言語選択キー

使用する言語（日本語、英語、ポルトガル語）を選択することができます。

※画面に何も（一色になる）写らなくなったとき、故障ではありませんので電源を入れ直してください。

共通キー

通常ぬい、刺しゅうぬいに共通の項目をセットできます。

(1) コントラスト

表示画面の色合いと明るさの調節ができます。

＋ キーを押すと色合いが濃く画面は暗くなります。

− キーを押すと色合いが淡く画面は明るくなります。

※カラーバーがきれいに見える位置に調節します。

(2) 音量

キー操作時のブザー音量を変えることができます。

＋ キーを押すと大きくなります。

− キーを押すと小さくなります。

「0」では音が消えます。

表示数値は0～10までで、音の大きさの目安として調節してください。デフォルト値(購入時の設定状態)は5です。

(3) ミシンランプ

2箇所のライトの「入」「切」を個々に選択することができます。

キーは針棒室内のライトの「入」「切」を選択します。

キーは懐(ふところ)部のライトの「入」「切」を選択します。

(4) 省エネモード

電源を入れたままでも、ミシンを使用しないとき、一定時間がたつと表示画面とランプ(2ケ所)が消えます。消えるまでの時間を1分から30分の間で設定することができます。

画面に触れると、画面は復帰します。

＋ キーを押すと設定時間は長くなります。
(30分の次は「OFF」省エネモード解除になります。)
− キーを押すと設定時間は短くなります。

初期値(購入時のセット状態)は10分です。

(5) ページキー

キーは後ろのページに他の項目があることを示します。

(6) 登録

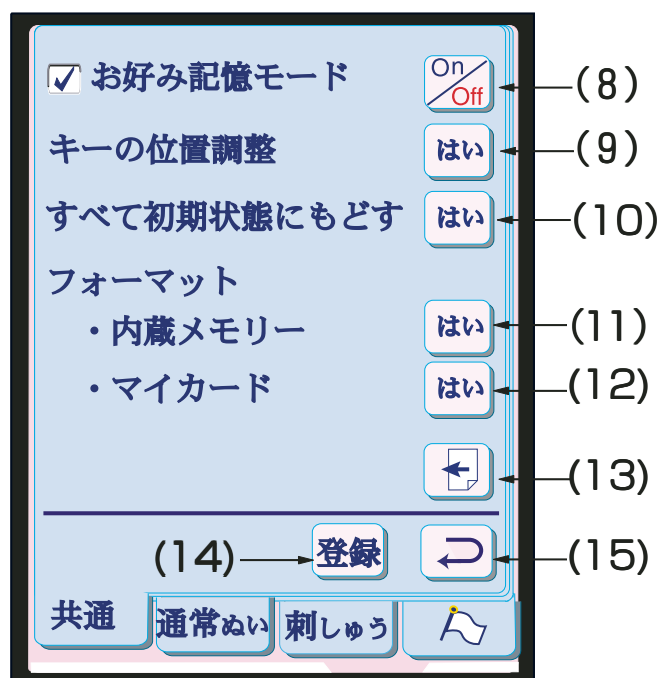
設定した状態を登録し、もとの選択していたモードに戻ります。

(7) 戻りキー

キーを押すと、もとの選択していたモードに戻ります。

(キーの位置調整)

(A)

(B)

キーの位置調整
終了

(8) お好み記憶モード

電源を入れると通常ぬいの直線#1にセットされますが、お好み記憶モード設定すると、電源を切る前の状態（通常ぬいでは、直線#1/刺しゅうでは、内蔵模様刺しゅう）にセットされます。
文字の前の窓にチェック記号のある状態が選択状態です。

(9) キーの位置調整

液晶表示画面（タッチパネル）のキー位置調節ができます。画面と実際のキーの位置がずれていて、うまく押せないときに下記の方法で調整します。

はい キーを押すと、(A) の表示がでますので、

表示されている＋を順番に指で軽く押していきます。

最後の＋表示を押すと (B) 表示され調整が終了します。

(10) すべて初期状態にもどす

ミシンのセット状態を全てデフォルト値（購入時の設定状態）に戻します。

注意 言語設定は、デフォルト値には戻りません。

(11) フォーマットキー（内蔵模様）

内蔵メモリー はい を選択したときに、「内蔵メモリーをフォーマットしますか？」と表示されます。

OK キーを押すとフォーマットします。

取消 キーを押すともとの画面に戻ります。

(12) フォーマットキー（マイカード）

マイカードをセットして、マイカードを選択したときに、「フォーマットしますか？」と表示されます。

OK キーを押すとフォーマットします。

取消 キーを押すともとの画面に戻ります。

(13) ページキー

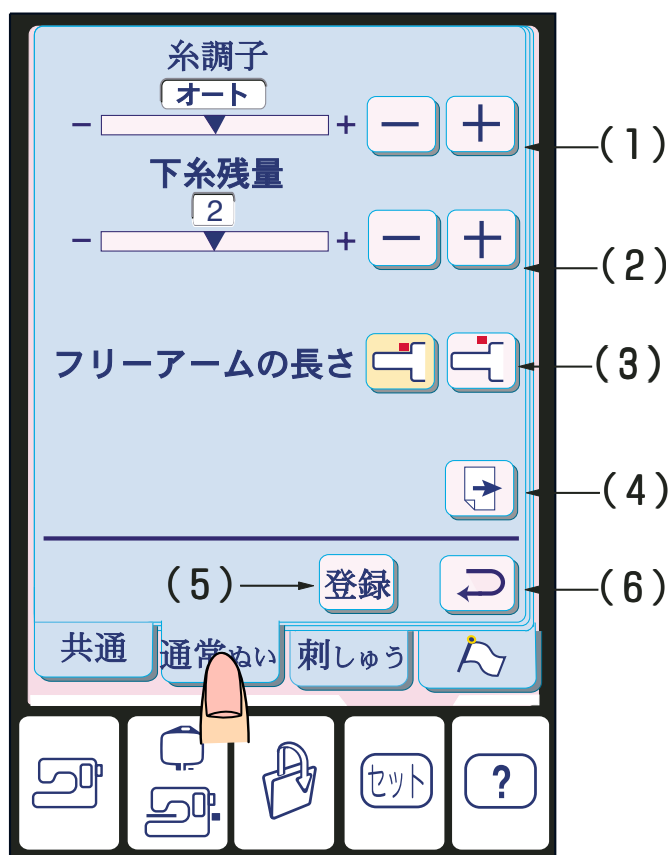
キーは前のページに他の項目があることを示します。

(14) 登録キー

設定した状態を登録し、もとの選択していたモードに戻ります。

(15) 戻りキー

キーを押すと、もとの選択していたモードに戻ります。

通常ぬいキー

通常ぬいに関わる項目をセットすることができます。

(1) 糸調子

オート糸調子の強さを変えることができます。

＋ キーを押すと糸の張力は強く設定されます。

− キーを押すと糸の張力は弱く設定されます。

－５～＋５で１刻み、デフォルト値は０です。

(2) 下糸残量

下糸がなくなりそうになると、ミシンは下糸の交換表示をします。この表示をする時の目安となる下糸残量を変更することができます。
調節表示の数値はデフォルト値を「２」として「０」から「４」まで５段階で示してあります。あくまでも下糸残量の目安としてお使いください。

＋ キーを押すと下糸残量は多くなります。

− キーを押すと下糸残量は少なくなります。

(3) フリーアームの長さ

刺しゅう用キャリッジを移動し、フリーアーム長さを調節することができます。

キーを押すとフリーアーム部が長く使えます。

キーを押すとキャリッジは収納位置に戻ります。

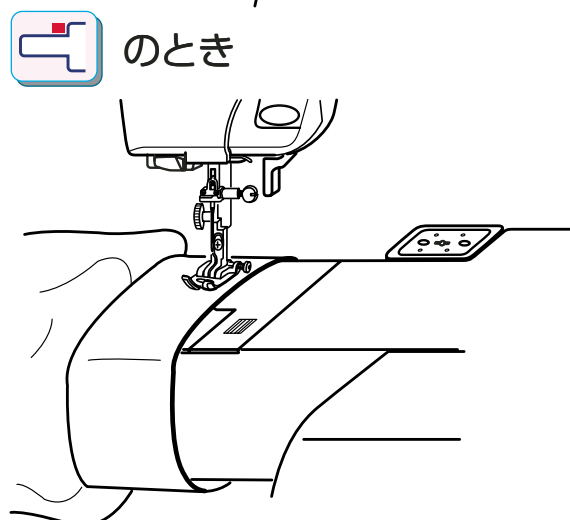
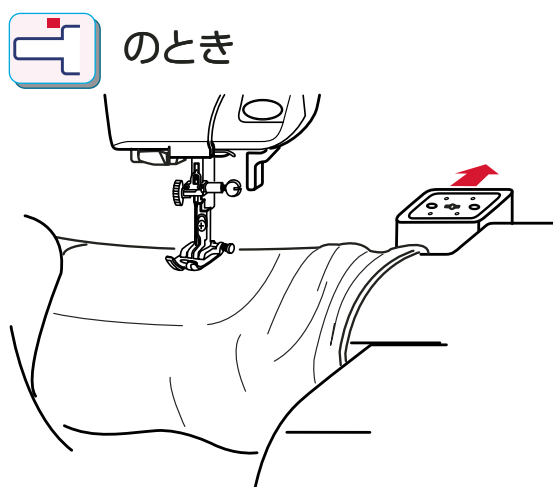
(4) ページキー

キーは後ろのページに他の項目があることを示します。

(5) 登録キー

設定した状態を登録し、もとの選択していたモードに戻ります。

(6) 戻りキー

キーを押すと、もとの選択していたモードに戻ります。

(7) 色設定

表示の背景の色と、模様選択キーの色、ファンクションキーをお好みの色に設定できます。

(7)−1 ← → キーでお好みの背景色を選択してください。

(7)−2 ← → キーでお好みの選択キーの色を選択してください。

(7)−3 キーを押す毎に、ファンクションキーの色をピンク、イエロー、ブルー、グリーンに選べます。

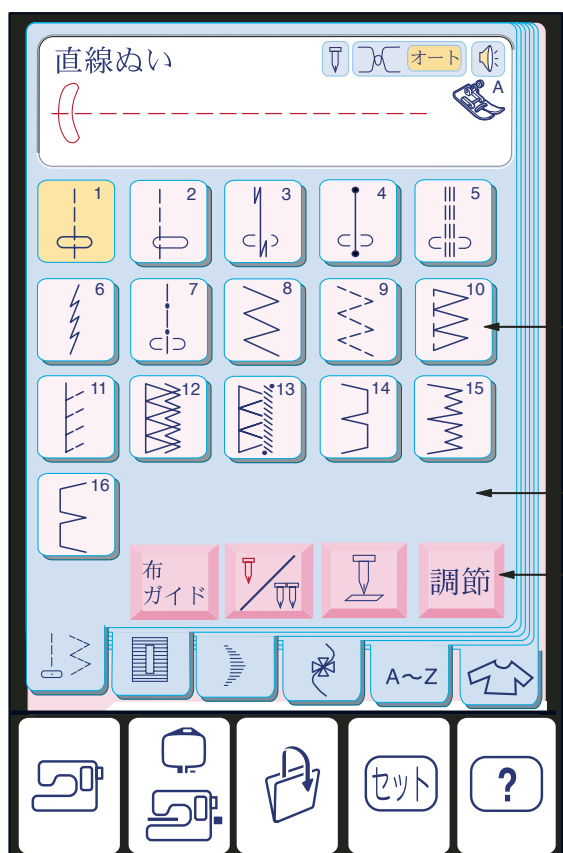
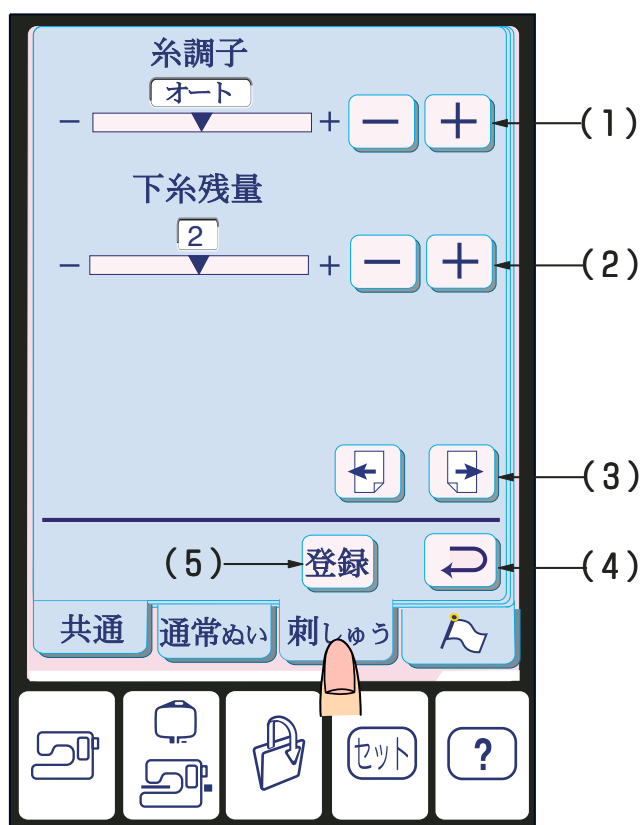
(8) ページキー

キーは前のページに他の項目があることを示します。

(9) 登録キー

設定した状態を登録し、もとの選択していたモードに戻ります。

(10) 戻りキー

キーを押すと、もとの選択していたモードに戻ります。

刺しゅうキー

刺しゅうぬいに関わる項目をセットすることができます。

（1）糸調子キー

オート糸調子の強さを変えることができます。

＋ キーを押すと糸の張力は強く設定されます。

－ キーを押すと糸の張力は弱く設定されます。

－５～＋５で１刻み、デフォルト値は０です。

（2）下糸残量キー

下糸がなくなりそうになると、ミシンは下糸の交換表示をします。この表示をする時の目安となる下糸残量を変更することができます。調節表示の数値はデフォルト値を「2」として「0」から「4」まで５段階で示してあります。
あくまでも下糸残量の目安としてお使いください。

＋ キーを押すと、下糸残量は多くなります。

－ キーを押すと、下糸残量は少なくなります。

（3）ページキー

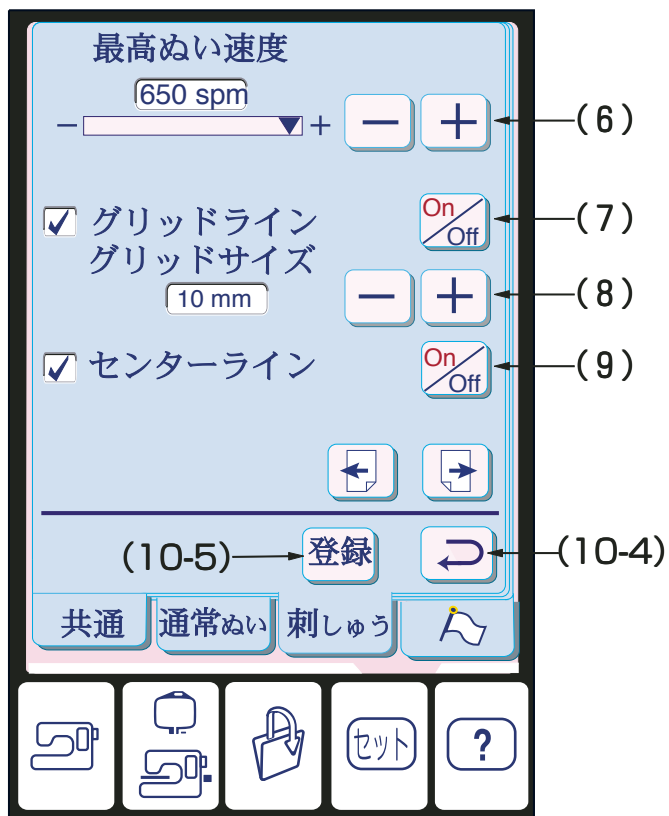
キーは、後ろのページに他の項目があることを示します。

キーは、前のページに他の項目があることを示します。

（4）戻りキー

もとの選択していたモードに戻ります。

（5）登録キー

設定した状態を登録し、もとの選択していたモードに戻ります。

(6) 最高ぬい速度キー

刺しゅうぬいの最高ぬい速度をかえることができます。最高速度は、400～650spm（針/分）の間で調節できます。

デフォルト値は650spm（針/分）です。

－ キーを押すと最高速度は低くなります。

＋ キーを押すと高くなります。

(7) グリッドラインキー

刺しゅう編集画面のグリッドライン有無を切り替えることができます。文字の前の窓にチェック記号の状態がグリッドラインの有る選択状態です。

(8) グリッドサイズキー

刺しゅう編集画面のグリッドラインの間隔を切り替えることができます。間隔は、5 mm、10 mm 15 mmから選択できます。

－ キーを押すと間隔は狭くなります。

＋ キーを押すと間隔は広くなります。

(9) センターラインキー

刺しゅう編集画面の左右及び上下にセンターラインを入れることができます。文字の前の窓にチェック記号の有る状態がセンターラインの有る選択状態です。

(10) 色設定

表示の背景色と、選択キー、ファンクションキーの色をお好みの色に設定できます。

(10-1) 背景色キー

 キーでお好みの色を選択してください。

(10-2) 選択キー

 キーでお好みの色を選択してください。

(10-3) ファンクションキー

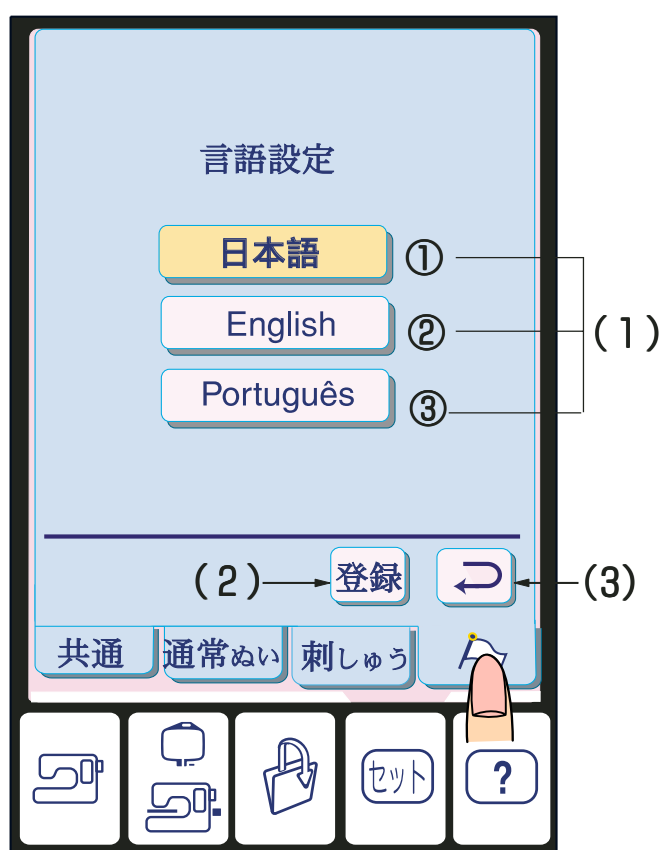
キーを押すとファンクションキーの色選択ができます。キーを押す毎に、ピンク、イエロー、ブルー、グリーンが選べます。

(10-4) 戻りキー

もとの選択していたモードに戻ります。

(10-5) 登録キー

設定した状態を登録し、もとの選択していたモードに戻ります。

言語設定キー

(1)　言語設定キー

それぞれの言語のキーを直接押して選択してください。

① 日本語
② 英語
③ ポルトガル語

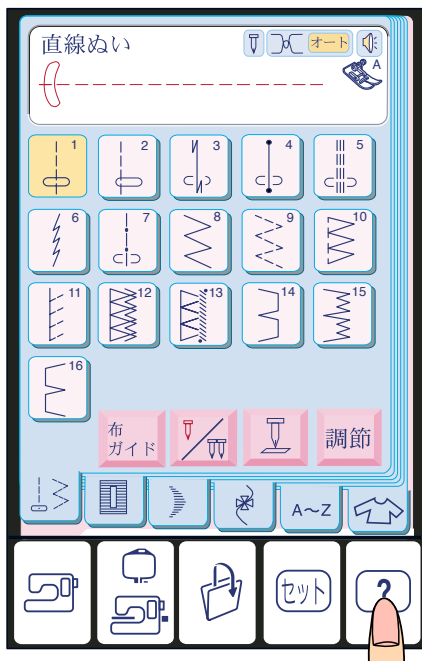
(2) 登録キー

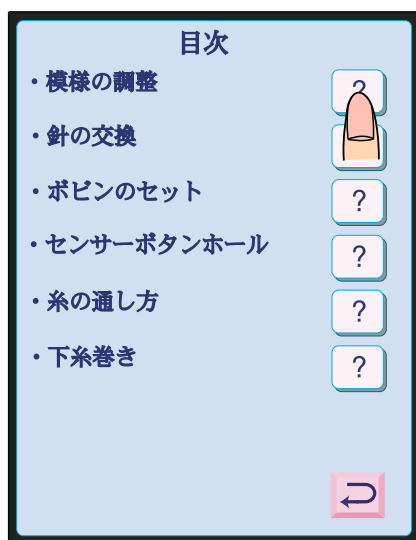
設定した状態を登録し、もとの選択していたモードに戻ります。

(3) 戻りキー

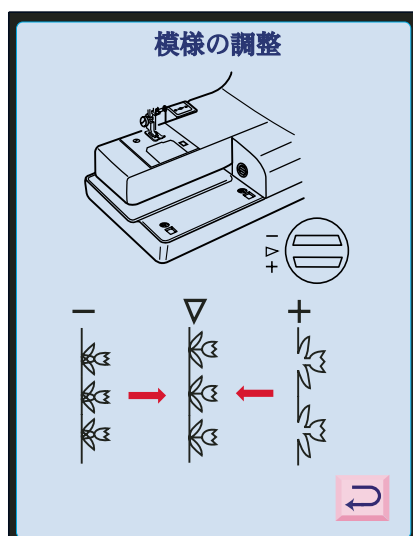
キーを押すと、もとの選択していたモードに戻ります。

ヘルプ

①

① ヘルプキーを押すと、ミシンの重要な基本動作6項目の説明を見ることができます。

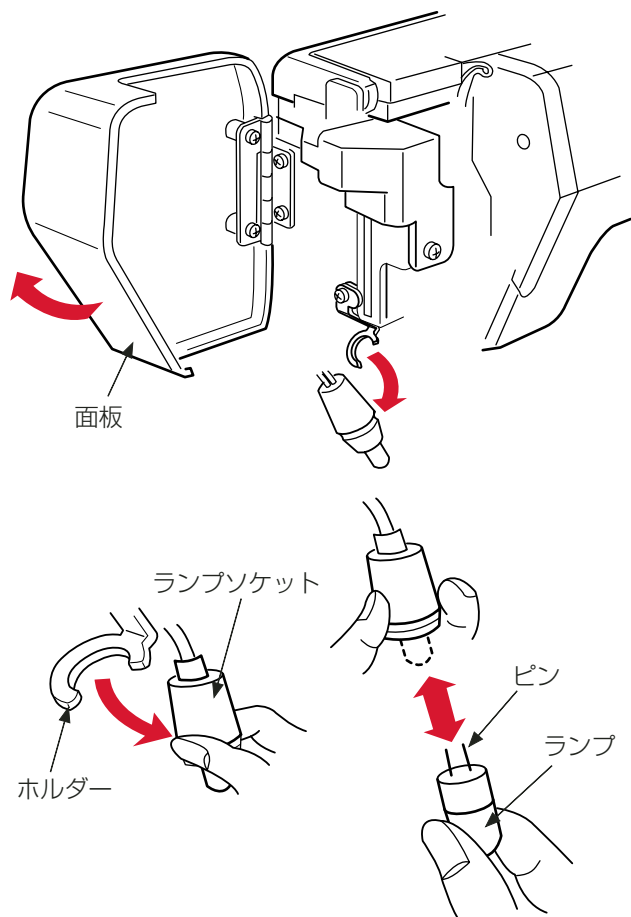
②

② ？ キーを押します。

戻りキーを押すと、はじめの画面に戻ります。

③

③ 説明画面が表示されます。

戻りキーを押すと、目次画面に戻ります。

ミシンのお手入れ

ランプのとりかえ

ランプとりかえは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。また、ランプが冷えてからとりかえてください。

ミシン面板部ランプ

【とりはずし】

1 面板を開けます。
2 ランプソケットをランプホルダーからはずして、ランプを引き抜きます。

【とりつけ】

1 ランプのピンをソケットの穴に合わせながら、差し込みます。
2 ランプソケットをランプホルダーにとりつけ、面板を閉めます。

面板
ランプソケット
ホルダー
ピン
ランプ

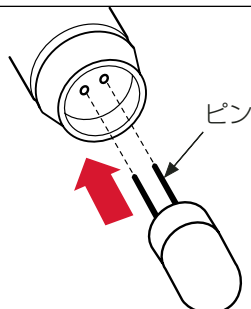
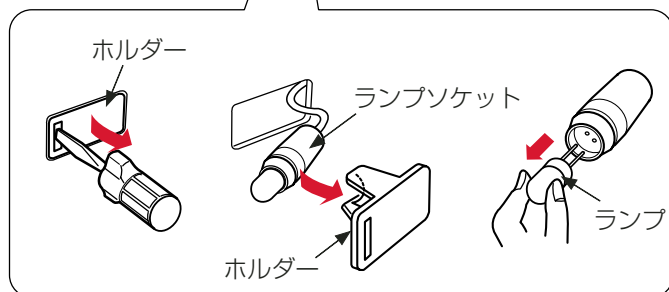
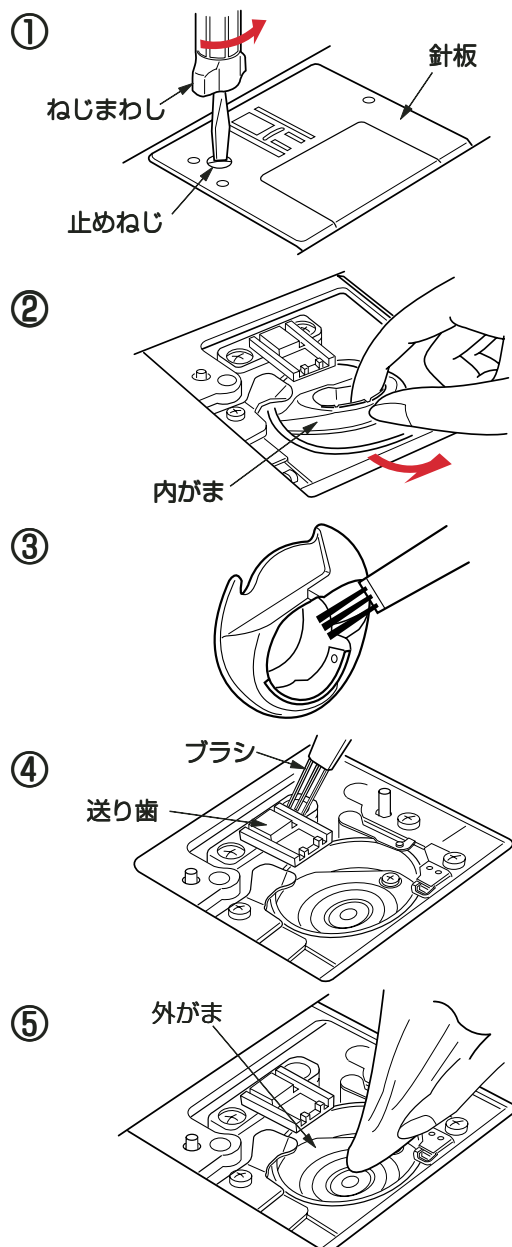
ミシンふところ部ランプ

【とりはずし】

1 ミシンを横にねかせます。
2 ミシンより、ランプホルダーをドライバー等ではずします。
3 ランプホルダーをランプソケットよりはずします。
4 ランプをランプソケットより引き抜きます。

【とりつけ】

1 ランプのピンをランプソケットの穴に合わせながら、差し込みます。
2 ランプソケットをホルダーにとりつけます。
3 ホルダーをミシンにとりつけます。
4 ミシンをおこします。

ホルダー
ランプソケット
ホルダー
ランプ
ピン

かまと送り歯の掃除

お手入れのときは…
※ 上下停針ボタンを押して針をあげてから、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
※ 説明されている箇所以外は分解しないでください。

① 針と押さえをはずします。
針板止めねじをはずし、針板をはずします。

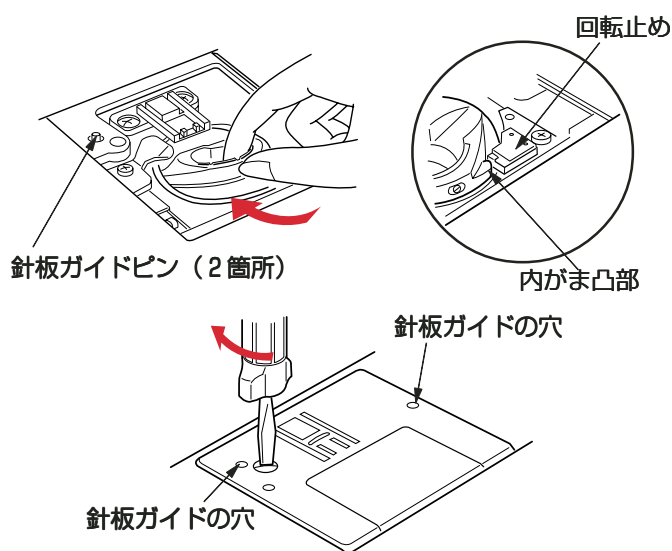
② ボビンを取り出し、内がまは手前を上に引きながらはずします。

③ 内がまをブラシで掃除し､布切れで軽くふきます。

④ 送り歯のごみをブラシで手前に落とし、さらに外がまを掃除します。

⑤ 外がまの中央部を布切れで軽くふきます。

※ ブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは､電気掃除機などで吸いとってください。

内がまと針板の組みつけ

針板ガイドの穴

針板ガイドの穴

① 内がまを差し込みます。
② 内がまの凸部を回転止めの左側におさめます。
③ ボビンを入れ、 2箇所の針板ガイドピンに針板ガイドの穴をあわせ、止めねじをしめます。

※ お手入れが終わったら、忘れずに針と押さえをつけてください。

ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
音が高い。	①かまの部分に、布ぼこり、糸くずが巻きこまれている。 ②送り歯に、布ぼこり、糸くずがたまっている。	161 ページ参照 161 ページ参照
上糸が切れる。	①上糸の掛け方がまちがっていたり、糸が必要以外のところにからみついている。 ②上糸調子が強すぎる。 ③針がまがっていたり、針先がつぶれている。 ④針のつけ方がまちがっている。 ⑤針にくらべて、糸が太すぎる。 ⑥ぬいはじめに、上糸・下糸を押さえの下にそろえて引いていない。 ⑦ぬいはじめに、上糸を糸押さえに掛けていない。	18-19ページ参照 32、154、156ページ参照 23ページ参照 23ページ参照 24ページ参照 （通常ぬい）27 ページ参照 （刺しゅうぬい）111 ページ参照
下糸が切れる。	①下糸の通し方が、まちがっている。 ②内がまの中に、布ぼこり、糸くずがたまっている。 ③ボビンにきずがあり、回転がなめらかでない。	17 ページ参照 161ページ参照 ボビンを交換する。
針が折れる。	①針のつけ方がまちがっている。 ②針がまがっていたり、針先がつぶれている。 ③針止めねじのしめつけが、ゆるんでいる。 ④上糸調子が、特に強すぎる。 ⑤ぬいおわったとき、布を向こう側に引いていない。 ⑥布にくらべて、針が細すぎる。	23ページ参照 23ページ参照 23ページ参照 32、154、156ページ参照 28ページ参照 （通常ぬい）24 ページ参照
液晶表示が見にくい。	①画面のコントラストが合っていない。 ②長時間ミシンを使用した。	152ページ参照 画面のコントラストを再調整する。
ぬい目がとぶ。	①針のつけ方がまちがっている。 ②針がまがっていたり、針先がつぶれている。 ③布に対して、針と糸が合っていない。 ④伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、ブルー針を使っていない。 ⑤上糸の掛け方がまちがっている。 ⑥品質の悪い（錆びている、針穴の仕上げが悪い）針を使用している。 ⑦押さえ圧が弱い。 ⑧刺しゅう枠が正しく取り付いていない。 ⑨刺しゅう枠に布をきちんと張っていない。 ⑩伸縮性のある布に芯地を使っていない。	23ページ参照 23ページ参照 24ページ参照 24ページ参照 18-19ページ参照 針を交換する。 14ページ参照 （刺しゅうぬい）110 ページ参照 （刺しゅうぬい）109 ページ参照 芯地を貼る。
ぬい目がしわになる。	①上糸調子が合っていない。 ②上糸・下糸の掛け方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分にからみついている。 ③布にくらべて針が太すぎる。 ④布にくらべてぬい目があらすぎる。 ⑤押さえ圧が合っていない。 ※特にうすい布をぬうときは、下側に紙をあててぬってください。 ⑥うすい布や、伸縮性のある布に対して、芯地を使っていない。	32、154、156ページ参照 18-19、17ページ参照 24ページ参照 ぬい目を細かくする。 14ページ参照 芯地を貼る。

調子が悪い場合	その原因	直し方
ぬいずれがおこる。	①押さえ圧が合っていない。 ②薄物・ニット地などのぬいずれしやすい素材に適した押さえを使用していない。	14ページ参照 13ページ参照
布送りがうまくいかない。	①送り歯に糸くずがたまっている。 ②押さえ圧が弱い。 ③ぬい目が細かすぎる。 ④厚手の布のぬいはじめに、布が送られない。 ⑤送り歯があがっていない。 ⑥ビニールレザー、皮革などの送りにくい素材に適した押さえを使用していない。	（通常ぬい）161ページ参照 （通常ぬい）14ページ参照 （通常ぬい）ぬい目をあらくする。 （通常ぬい）29ページ参照 （通常ぬい）14ページ参照 （通常ぬい）13ページ参照
ミシンがまわらない。	①コンセントに、プラグがきちんとさしこまれていないか、つなぎ方がまちがっている。 ②かまに、布ぼこり、糸くずがたまっている。（このとき、ミシンの安全装置がはたらいて、モーターを自動停止します。） ③電子回路の制御手順にズレが生じている。 ④フットコントローラー（別売品）が接続されたままで、スタート・ストップボタンを使用している。 ⑤フットコントローラー（別売品）で刺しゅうぬいをしようとしている。 ⑥上糸が正しく通されていない。	8ページ参照 161ページ参照 電源スイッチを切り、ふたたび入れて模様をセットしてください。 （通常ぬい）8ページ参照 （刺しゅうぬい）8ページ参照 18ページ参照
スイッチONで異常音。 （ミシンがまわらない。）	①キャリッジとアームの間に布などがはさまっている。	はさまっているものを取り除く。
模様が整わない。	①指定の押さえを使用していない。 ②上糸調子が強すぎる。 ③布に対して送りが合っていないため、模様・文字・数字が整わない。 ④うすい布や伸縮性のある布に対し、芯地を使っていない。 ⑤刺しゅう枠に布がきちんと張られていない。 ⑥キャリッジの刺しゅう取り付けレバーがゆるんでいる。 ⑦キャリッジの周辺に置いてあるものに当たっている。 ⑧刺しゅうのとき、布が引っ掛かっているか、はさみ込まれている。 ⑨上糸がなくなったときの布裏の処理がわるい。	指定の押さえを使用してください。 32、154、156ページ参照 （通常ぬい）89ページ参照 芯地を貼る。 （刺しゅうぬい）109ページ参照 （刺しゅうぬい）110ページ参照 キャリッジの周辺に物を置かない。 （刺しゅうぬい）布を正しい位置に直す。 布裏の余分な上糸を切ってください。

調子が悪い場合	その原因	直し方
ボタンホールがうまくいかない。	①布に対して、ぬい目のあらさが合っていない。 ②左と右のぬい目のあらさが合っていない。（オートボタンホール） ③伸縮性のある布の時、伸びにくい芯地を使っていない。 ④指定された押さえを使用していない。 ⑤ボタンホールの選択（センサー、またはオート）がまちがっている。	（通常ぬい）49ページ参照 （通常ぬい）89ページ参照 （通常ぬい）芯地を貼る。 （通常ぬい）46ページ参照 （通常ぬい）46、51ページ参照
模様が選べない。	①キーの位置調整がずれている。 ②電子回路の制御手順にズレが生じている。 ③通常ぬいモード・刺しゅうぬいモードの選択がまちがっている。	153ページ参照 電源スイッチを切り、再び入れて模様をセットしてください。 25ページ参照
糸切れ表示がでる。	①上糸、下糸を通し直していない。また、途中から通し直している。	上糸と下糸をはじめから正しく掛け直す。　17、18ページ参照

※（通常ぬい）と記載があるものは、通常ぬいの場合
（刺しゅうぬい）と記載のあるものは、刺しゅうぬいの場合にあてはまります。
何も記載のない項目は、通常ぬい、刺しゅうぬいに共通な場合です。

仕　　　　様	
使　用　電　圧	100V　50/60Hz
消　費　電　力	55W/ランプ3W
外　形　寸　法	幅 45.5 cm X 奥行 21.0 cm X 高さ 32.0 cm（糸巻き軸含まず）
重　　　　量	11 Kg（本体）
使　　用　　針	家庭用　HA × 1
最高ぬい速度	毎分 700 針 フットコントローラー使用時 毎分 860 針（直線ぬい）

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

修理サービスについてのお問い合わせは、お買い求めいただいた直営支店、または下記にお申しつけください。

蛇の目ミシン工業株式会社　お客様相談室

〒 193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地

電話　　0120 － 026 － 557（フリーダイヤル）

　　　　042　－ 661 － 2600

受付　　平日　9：00 ～ 12：00　13：00 ～ 17：00

　　　　（土・日・祝日 , 年末年始を除く）

ホームページ　　　　http://www.janome.co.jp

メールでのお問い合わせ　customer@gm.janome.co.jp